

▶ ホーム

▶ 基本的な使いかた

- ViewNX-i 画面の基本操作
- ▶ ステップ1:カメラとパソコンを接続する
- ▶ ステップ2:ファイルを転送する
- ▶ ステップ3:転送したファイルを確認する
- ▶ ステップ 4:画像や動画を見る
- ▶ ステップ 5: 画像や動画を分類する
- ▶ ステップ 6:画像を編集する
- ▶ ステップ 7:画像や動画をWebサービスへアップロードする
- ▶ ステップ8:画像を印刷する
- ▶ 動作環境と基本動作
 - ▶ 動作環境
 - ▶ ViewNX-i の起動と終了
- ファイルを転送する
 - Nikon Transfer 2 画面の見かた
 - ▶ Nikon Transfer 2 の起動と終了
 - ▶ カメラ以外の接続について
 - ▶ 接続の解除について
 - ▶ 転送元について
 - サムネイル表示について
 - ファイルの属性や転送状態の表示について
 - カテゴリーごとにサムネイルを表示する
 - ▶ 転送するファイルの選択について
 - ▶ 任意のファイルを選択する
 - ▶ 特定の条件に合うファイルを選択する
 - ▶ 転送機能を活用する
 - ▶ 転送先フォルダーを選択する
 - ▶ 転送時にファイル名を変更する
 - ▶ 転送時にバックアップを保存する
 - ▶ 転送時にメタデータを調整ファイルとして保存する
 - ▶ 転送先フォルダーを他のアプリケーションで開く
 - ▶ デバイスの接続と起動について
 - Nikon Transfer 2 をダイアログから起動する(Windows)
 - Nikon Transfer 2 起動について(Mac OS)
 - ▶ [常に選択した動作を行う]の設定を解除するには(Windows)
 - デバイス登録の確認(Windows)
 - Nikon Transfer 2 オプションパネル

Ver1.4.1-1

- ▶ [転送元] パネル
- ▶ [転送先] パネル
- ▶ [バックアップの保存先] パネル
- ▶ [環境設定] パネル
- ▶ Nikon Transfer 2 のメニュー一覧
- ▶ 転送時に問題が発生したら
- ファイルを見る、分類する
 - ViewNX-i 画面の見かた
 - ▶ ツールバー
 - > ツリーボタン
 - ▶ フィルターバー
 - ▶ イメージコントロールバー
 - ▶ 画像操作ツールパレット
 - サムネイルの構成
 - ▶ ViewNX-i 画面のツールについて
 - 表示サイズを変更する
 - ▶ 同時記録画像の表示を切り替える
 - ▶ グループ画像の表示を切り替える
 - ▶ ファイル形式を選択して表示する
 - ▶ 画像を並べ替える
 - 画像を回転する
 - RAW画像を表示する
 - ▶ 白とびを表示する
 - 黒つぶれを表示する
 - ▶ 音声ファイルを再生する
 - ▶ 動画を再生する
 - フォーカスポイントを表示する
 - ヒストグラムを表示する
 - 画像情報を表示する
 - ▶ 処理中のタスクを確認する
 - アウトプットバーをカスタマイズする
 - ▶ ファイル操作
 - ファイルやフォルダーを選択する
 - フォルダーを作成する
 - ファイルやフォルダーの名前を変更する
 - ファイルやフォルダーを移動・コピー・複製する
 - ファイルやフォルダーを削除する
 - ▶ サブフォルダー内の画像を表示する
 - ファイルを保護する(プロテクト)
 - ▶ エクスプローラー / Finderに表示する
 - ▶ 画像に埋め込まれた情報を見る/編集する
 - ラベルを付ける
 - ラベルで見る

- レーティングを割り当てる
- レーティングで見る
- メタデータを表示する
- メタデータを編集する
- ▶ XMP/IPTC 情報をコピー・貼り付けする
- ▶ XMP/IPTC プリセットを利用する
- ▶ ファイル/撮影情報を利用する
- ▶ メタデータの表示項目をカスタマイズする
- ViewNX-i 画面のオプション/環境設定
 - ▶ 一般
 - ▶ サムネイル
 - ▶ ビューアー
 - お気に入りフォルダー
 - ファイルの取り扱い
 - ▶ ダイアログ/警告
 - カラーマネージメント
 - ファイルを開くアプリケーション
 - ▶ XMP/IPTCプリセット
 - ▶ ラベル
 - ▶ 表示
 - ▶ 地図
 - Log Matching
 - ▶ RAW現像
 - ▶ Webサービス
 - ▶ 動画
- ▶ ViewNX-i 画面のメニュー一覧
 - [ファイル] メニュー
 - ▶ [編集] メニュー
 - ▶ [画像] メニュー
 - ▶ [表示] メニュー
 - ・ [ウィンドウ] メニュー
 - ▶ [ヘルプ] メニュー
 - ▶ [ViewNX-i] メニュー (Mac OS のみ)
- ▶ 画像や動画を活用する
 - スライドショーを見る
 - ▶ Capture NX-Dで画像編集する
 - KeyMission 360/170 Utilityを起動する
 - ▶ 画像を印刷する
 - プリンターの設定
 - ▶ 印刷レイアウトの設定
 - 画像情報の印字設定
 - プリンターのカラープロファイルを指定する
 - ▶ セイコーエプソン社製プリンターで印刷する

- ▶ 画像をメールで送信する
 - ▶ 画像を個別に添付する
 - インデックスプリントを添付する
- ▶ その他の便利な機能
 - 自動再生で画像を見る
 - マルチディスプレイで表示する
 - お気に入りフォルダーを登録する
 - ▶ 絞り込みリストで画像を絞り込む
 - ▶ ファイル変換して出力する
 - ▶ インデックス形式で出力する
 - ▶ モーションスナップショットを動画に変換する
 - ▶ 撮影した動画に録音された AF 駆動音のノイズを低減する
 - ▶ Nikon Transfer 2 の転送先フォルダーを開く
 - ▶ Camera Control Pro 2 を使う
 - その他のアプリケーションで開く
 - ▶ その他のアプリケーションで動画を開く
- 画像を編集する
 - 画像編集の流れ
 - ▶ 露出補正(RAW画像のみ)
 - ▶ ホワイトバランス(RAW画像のみ)
 - ▶ ピクチャーコントロール (RAW画像のみ)
 - ▶ 輪郭を強調する
 - コントラストを調整する
 - ▶ 明るさを調整する
 - ハイライト・シャドーを調整する
 - ▶ 階調を補正する(D-ライティングHS)
 - ▶ 彩度を調整する(カラーブースター)
 - ▶ 画像を切り抜く(クロップ)
 - ▶ 傾きを補正する
 - ▶ 赤目を補正する
 - 軸上色収差を補正する
 - ▶ 倍率色収差を補正する
 - ▶ PFフレアを低減する(PFフレアコントロール)
 - ▶ 回折を補正する
 - ▶ 画像の編集を元に戻す
 - ▶ 編集項目の表示をカスタマイズする
 - Picture Control Utility 2
- ▶ 動画を編集する(ViewNX-Movie Editor)
 - ▶ 使ってみよう
 - 動画生成画面の見かた
 - ▶ ステップ1:静止画や動画をストーリーボードに並べる
 - ▶ ステップ 2: 切り換え効果を設定して、タイトルやエンディング、BGMを追加する
 - ▶ ステップ3:編集結果を動画ファイルに出力する

- さらに詳しい使いかた
 - ▶ 素材を並べ換える、追加する、削除する
 - ▶ 静止画や動画の画面に文字情報を表示する
 - ▶ 動画の必要な部分だけを切り出す(トリム)
 - BGM を付ける(オーディオ)
 - 静止画の再生時間を調整する
 - ▶ コマ送りの動画を作成する
 - ▶ 動画を出力する(変換/連結/生成)
 - ▶ 一時保存された設定情報を復元する
- ▶ ViewNX-Movie Editor のメニュー一覧
- Webサービスを活用する
 - ▶ Webサービスにログイン(認証)する
 - ▶ Webサービスへ画像をアップロードする
 - ▶ アップロードした画像や動画を表示・閲覧する
- 位置情報を活用する(地図)
 - 地図上に撮影地点を表示する
 - ▶ 地図上でファイルの詳細情報を確認する
 - ▶ 撮影地点を地図の中央に表示する
 - 地図をWebブラウザーで表示する
 - ▶ 位置情報を操作する
 - ▶ 位置情報を編集する
 - 位置情報を追加する
 - ▶ 位置情報を削除する
 - ▶ 位置情報をコピー・貼り付けする
 - 方位情報を編集/追加する
 - ▶ 位置情報ログを利用する
 - ▶ 位置情報ログファイルを読み込む
 - ▶ 位置情報ログをもとに位置情報を追加する
 - ▶ 位置情報ログの適用方法の設定
 - ▶ 位置情報ログに高度・水深情報ログを結合する
 - ▶ 高度・水深情報ログの適用方法の設定
 - ▶ 位置情報からキーワードを検索する
 - ▶ 撮影ルートを表示する
 - ▶ 撮影ルートを直線で結ぶ
 - ルートに沿って地図をスクロールする
 - ▶ 地図を設定する
- ▶ 付録
 - ▶ バージョン情報を表示する
 - > ソフトウェアをアップデートする
 - ▶ 対応フォーマット
 - 調整ファイルについて
 - ▶ 同時記録画像の取り扱いについて
 - ▶ スマートフォトセレクター画像の取扱いについて

- ▶ ViewNX-i がサポートする色空間について
- ▶ ViewNX-i のアンインストール
- ▶ Nikon Transfer 2 のアンインストール
- ▶ ファイル名の作成ルール
- フォルダー名の作成ルール
- ▶ XMP/IPTC プリセットの管理について
- ▶ FTP画像送信モードで画像を送信した際の送信記録について

ホーム > 基本的な使いかた

基本的な使いかた

ViewNX-i 画面の基本操作

ここではViewNX-iの基本画面と操作を紹介します。

お使いのOS・バージョンによって、表示される画面やメニュー名、操作手順が異なる場合があります。 詳しくはお使いのパソコンやOSのマニュアルをご覧ください。

画像や動画を転送する

ここからは、基本的な使いかたを接続から順を追って説明します。

はじめに、デジタルカメラで撮影した画像や動画を、Nikon Transfer 2 でパソコンに転送しましょう。

Nikon Transfer 2 では、ニコン製デジタルカメラで撮影した画像や動画、またはメモリーカードなどに 記録されている画像や動画を、ご使用のパソコンに簡単に転送できます。 以下のページで、操作の流れを紹介、説明します。

- ▶ ステップ 1:カメラとパソコンを接続する
- ▶ ステップ 2:ファイルを転送する
- ▶ ステップ 3:転送したファイルを確認する

ファイルを見る、分類する、編集する

画像や動画をパソコンに転送したら、次に ViewNX-i 画面でファイルを整理、分類、編集しましょう 以下のページで、操作の流れを紹介、説明します。

- ▶ ステップ 4:画像や動画を見る
- ▶ ステップ 5 : 画像や動画を分類する
- ▶ ステップ 6 : 画像を編集する

画像や動画を共有する

お気に入りの画像や動画を選び出したら、Webサービスにアップロードしたり、印刷したりして友人や 家族と共有しましょう。

- ▶ ステップ 7 : 画像や動画をWebサービスへアップロードする
- ▶ ステップ 8 : 画像を印刷する

動作環境や、ソフトウェアの起動と終了について

- ▶ 動作環境
- ▶ ViewNX-i の起動と終了
- ▶ Nikon Transfer 2 の起動と終了

各画面の見かたについて

- Nikon Transfer 2 画面の見かた
- ▶ ViewNX-i 画面の見かた

各画面のメニュー一覧について

- ▶ Nikon Transfer 2 のメニュー一覧
- ▶ ViewNX-i 画面のメニュー一覧

ホーム > 基本的な使いかた > ViewNX-i 画面の基本操作

ViewNX-i 画面の基本操作

ViewNX-i 画面の中央には、画像表示エリアがあります。画像表示エリアは、画像や動画のサムネイル (縮小画像)一覧、または拡大表示した画像や動画を表示します。

画面各部の名称や機能について詳しくは、「ViewNX-i 画面の見かた」をご覧ください。



- ▶ ワークスペースを切り替える
- パレットを表示する
- ▶ 表示モードを切り替える
- フィルムストリップを表示する
- フォトトレイを表示する

ワークスペースを切り替える

画像を見る、編集するなど目的に合わせて、画面のレイアウトを選択できます。 ワークスペースは、表示モード(後述)の種類、表示するパレットを、作業の目的に合わせてあらかじ め設定した画面レイアウトです。ワークスペースには、[ブラウザー]、[地図]、[エディット]、 [Webサービス]があります。

1. ワークスペースタブの [ブラウザー] / [地図] / [エディット] / [Webサービス] をク リックする



ワークスペースが切り替わります。表示モード、各パレットの表示/非表示が、選択したワークス ペースに合わせて切り替わります。

ワークスペースを切り替えた後でも、パレットの表示/非表示、表示モードの切り替えはできま す。

ワークスペースの種類

[ブラウザー] ワークスペース

初期設定のワークスペースです。画像、動画を探し出すとき、一覧で見るときなどに適しています。



[地図] ワークスペース

地図を表示します。

地図機能では、撮影時に画像に埋め込んだ位置情報をもとに、画像の撮影地点を地図に表示できま す。また、位置情報を画像の調整ファイルとして新しく保存することもできます。



地図機能について詳しくは「位置情報を活用する(地図)」をご覧ください。

[エディット] ワークスペース

画像の編集に適しています。



画像の編集について詳しくは「画像を編集する」をご覧ください。

[Webサービス] ワークスペース

インターネットのソーシャルネットワークサービス(Webサービス)にアクセスして、家族や友人 と画像や動画の共有を楽しむことができます。

Webサービスでの共有について詳しくは「Webサービスを活用する」をご覧ください。

パレットを表示する

ViewNX-i ではパレットを表示して、ファイルを保存したフォルダーを開く、画像を編集するなどの作業を行います。

画面左側に [ナビゲーション] パレット、画面右側に [画像調整/メタデータ] パレットがあります。

1. ViewNX-i 画面の左端または右端のバーをクリックする



パレットが展開します。パレットを閉じるには、バーをもう一度クリックします。

- クリックせずに、しばらくバーの上にマウスカーソルを静止しておくと、パレットが自動で 展開します。
- マウスカーソルをバーから離すと、パレットが自動で閉じます。
 パレットを常に表示した状態にするには、バーをクリックします。
- パレットを自動で展開しないようにするには、「ウィンドウ」メニューの「自動的に表示」 からサブメニューの「ナビゲーション」、「画像調整/メタデータ」を選択し、チェックをは ずします。

[ナビゲーション] パレットについて

[ナビゲーション]パレットでは、ファイルの表示や操作ができます。お気に入りフォルダーを登録したり、絞り込みリストで表示を絞り込んだりすることもできます。

ViewNX-i 画面の基本操作



[お気に入り]

お気に入りフォルダーを登録できます。使いかたについて詳しくは、「お気に入りフォルダー を登録する」をご覧ください。

[フォルダー]

フォルダーに保存している画像や動画を見るときに使用します。使いかたについて詳しくは、 「ファイルやフォルダーを移動・コピー・複製する」をご覧ください。

[絞り込み]

絞り込み項目を選択して画像を絞り込んで表示します。使いかたについて詳しくは、「**絞り込** みリストで画像を絞り込む」をご覧ください。

[画像調整/メタデータ] パレットについて

[画像調整/メタデータ] パレットは、画像のメタデータ情報の表示や編集、画像の調整をします。



[画像調整]

画像の調整ができます。使いかたについて詳しくは、「画像を編集する」をご覧ください。

[ファイル/撮影情報]

画像のファイル情報などを表示します。使いかたについて詳しくは、「**画像に埋め込まれた情** 報を見る/編集する」をご覧ください。

[XMP/IPTC情報]

XMP/IPTC 情報を表示および編集ができます。使いかたについて詳しくは、「**画像に埋め込ま れた情報を見る/編集する**」をご覧ください。

[ヒストグラム]

ヒストグラムを表示します。使いかたについて詳しくは、「**ヒストグラムを表示する**」の 「[画像調整/メタデータ]パレットのヒストグラム」をご覧ください。

パレットと画像表示エリアの表示幅を調整する

パレットの境界線をドラッグして、パレットと画像表示エリアの表示幅を調整できます。



表示モードを切り替える

ViewNX-i では表示モードを切り替えることで、フォルダーに保存されている画像や動画をサムネイル (縮小画像)で一覧表示したり、見たい画像や動画を選んで拡大表示したりできます。

1. 表示モード切り替えメニューから、表示モードを選択する



表示モードは、以下から選択できます。

表示モードの種類

ワークスペースが [ブラウザー]、 [エディット]、 [Webサービス] のとき:

Ⅲ (サムネイル一覧表示)

画像表示エリアに、サムネイルをグリッドに並べて表示します。

目(サムネイル詳細表示)

画像表示エリアに、サムネイルとそのファイルの詳細情報を一行にまとめ、リスト表示します ([Webサービス]を除く)。

🔜 / 📰 / 🔲 (イメージビューアー)

画像表示エリアに、拡大した画像や動画を表示します。画像表示エリアの下または左側にサム ネイルを一列に並べて表示し(フィルムストリップ)、拡大表示する画像や動画を選択できま す。

[ビューアーの設定] で ■ [フィルムストリップを非表示] が選択されていると、フィルムストリップは表示されません。

🔲 (全画面表示)

パソコンのモニター画面全体を表示エリアにして、拡大した画像や動画を表示します。

別画面で全画面表示

この項目はマルチディスプレイ環境が検出されたときのみ表示されます。マルチディスプレイ 環境でお使いのときは、一方のモニターに通常の表示、もう一方のモニターに画像や動画を全 画面表示します。

詳しくは「マルチディスプレイで表示する」をご覧ください。

ワークスペースが [地図] のとき:

🔜 (フィルムストリップを水平表示)

フィルムストリップを水平表示する表示モードです。

III(フィルムストリップを垂直表示)

フィルムストリップを垂直表示する表示モードです。

□ (フィルムストリップを非表示)

フィルムストリップを表示しません。

🔲 (全画面)

パソコンのモニター画面全体を表示エリアにして、地図を表示します。

別画面で全画面表示

この項目はマルチディスプレイ環境が検出されたときのみ表示されます。マルチディスプレイ 環境でお使いのときは、一方のモニターに通常の表示、もう一方のモニターに画像や動画を全 画面表示します。

詳しくは「マルチディスプレイで表示する」をご覧ください。

[全画面表示]、[全画面] モードのときに表示モードを切り替える

表示モードの切り替えメニューは、画面左上にあります。

また画面右上の 🔄 をクリックすると、直前の表示モードに戻ります。



比較表示する

ワークスペースが [ブラウザー]、 [エディット] のときは、画像表示エリアを分割し、複数の異 なる画像を表示できます。

表示するには、表示モード切り替えメニューから[ビューアーの設定]の[2画像比較]にチェックを入れます。



詳しくは「ViewNX-i 画面の見かた」をご覧ください。

フィルムストリップを表示する

表示モードが [イメージビューアー] 、 [全画面表示] 、 [2画像比較] のときは、画面の下または左に 一列でサムネイル一覧(フィルムストリップ)を表示できます。

1. [ウィンドウ] メニューの [フィルムストリップ] にチェックを入れる



フィルムストリップが展開します。

フィルムストリップの表示方法は、垂直、水平、非表示から選択できます。表示モード切り替え メニューの [ビューアーの設定] から [フィルムストリップを垂直表示] 、 [フィルムストリッ プを水平表示] 、 [フィルムストリップを非表示] にチェックを入れて設定します。

フィルムストリップでサムネイルを選択して、拡大した画像や動画を画像表示エリアに表示できます。



フォトトレイを表示する

フォトトレイは、画面下の _____ をクリックすると表示します。フォルダーをまたいで画像や動画を集めたいとき、実際の保管場所を移動せずに一時的に登録できます。



フォトトレイについて詳しくは、「ステップ 5:画像や動画を分類する」をご覧ください。

ホーム > 基本的な使いかた > ステップ 1: カメラとパソコンを接続する

ステップ 1 : カメラとパソコンを接続する

パソコンを起動し、以下の手順でデジタルカメラとパソコンを接続します。

1. カメラの電源をオフにする

2. USB ケーブルを使用して、カメラとパソコンを接続する

お使いのカメラによっては、Wi-Fi接続も可能です。詳しくはカメラの使用説明書をご覧ください。

3. カメラの電源をオンにする

4. Nikon Transfer 2 を起動する

操作の手順は、お使いの OS や、カメラの USB 通信方式によって異なります。画面の指示に従って Nikon Transfer 2 を起動してください。

OS ごとの詳しい手順については、「デバイスの接続と起動について」をご覧ください。

次に「ステップ2:ファイルを転送する」に進みます。

Nikon Transfer 2 で転送可能なファイルについて

Nikon Transfer 2 では以下のファイルをパソコンに転送できます。

- JPEG ファイル(拡張子:.jpg)
- TIFF ファイル(拡張子:.tif / .tiff)
- NEF ファイル(拡張子:.nef)
- NRW ファイル(拡張子:.nrw)
- MOV ファイル(拡張子:.mov)
- MP4 ファイル(拡張子:.mp4)
- AVI ファイル (拡張子 : .avi)
- NDF ファイル(拡張子:.ndf)
- WAV ファイル(拡張子:.wav)
- MPO ファイル(拡張子:.mpo)

- LOG ファイル(拡張子:.log)
- LGA ファイル(拡張子:.lga)
- LGB ファイル(拡張子:.lgb)

V CD や DVD に保存されたファイルについて

Nikon Transfer 2 は、CD や DVD、ハードディスクから他のハードディスクへのファイルの転送 はサポートしていません。OS 付属の転送ツールを用いるか、またはファイルをパソコンに直接コ ピーしてください。

▶ 内蔵メモリー付きカメラの場合

カメラの内蔵メモリーに記録した画像や動画を転送するときは、カメラとパソコンを接続する前 に、カメラからメモリーカードを取りはずしてください。

V Nikon Transfer 2 が自動的に起動しない場合

「転送時に問題が発生したら」をご覧ください。

ホーム > 基本的な使いかた > ステップ 2: ファイルを転送する

ステップ 2:ファイルを転送する

ファイルをパソコンに転送します。

1. 接続したカメラ内にある転送可能なファイルのサムネイルが表示されていることを確認する



2. [転送開始] をクリックする



ファイルの転送が開始されます。

転送の進行状況は[処理状況:]のバーで確認できます。



ファイルの転送が完了すると、カメラとパソコンの接続が自動的に解除され、転送先のフォル ダーが開きます。

次に「ステップ3:転送したファイルを確認する」に進みます。

Nikon Transfer 2 の転送機能を活用する

Nikon Transfer 2 ではファイルを転送するときに、転送するファイルのバックアップを別のドライブな どに同時に保存できます。また画像ファイルを整理、分類するための情報を、調整ファイルとして画像 とは別のファイルに保存することもできます。 詳しくは「転送機能を活用する」をご覧ください。

すでに転送済みファイルがある場合

初期設定では、カメラの内蔵メモリー、またはメモリーカード内にすでに転送されているファイル が含まれているとき、そのファイルは転送されません。設定を変更するには、環境設定パネルの [新しいファイルのみ転送する]のチェックをはずします。

詳しくは「**[環境設定] パネル**」をご覧ください。



ホーム > 基本的な使いかた > ステップ 3: 転送したファイルを確認する

ステップ3:転送したファイルを確認する

初期設定ではファイルの転送が完了すると、カメラとパソコンの接続が自動的に解除され、Nikon Transfer 2 が自動的に終了します。カメラの電源をオフにしてから USB ケーブルを抜いてください。

また ViewNX-i 画面が自動で開き、転送したファイルが表示されます。

「ViewNX-i 画面の基本操作」では、ViewNX-i 画面の基本操作について説明しています。

初期設定の転送先フォルダー

初期設定では、ファイルは以下のフォルダー内の新規サブフォルダーに転送されます。

• Windows :

[(ユーザ名)] > [ピクチャ] > [Nikon Transfer 2]

• Mac OS :

[ユーザ] > [(ユーザ名)] > [ピクチャ] > [Nikon Transfer 2]

ファイルの転送先フォルダーを変更するには、「転送先フォルダーを選択する」をご覧ください。

非表示設定を [ON] に設定したファイルについて (Windows のみ)

カメラで非表示設定を [ON] に設定した画像もサムネイル表示エリアに表示され、パソコンに転送されます。ただし Windows をご使用の場合、パソコンでファイルが表示されないときがあります(隠しファイルになります)。非表示設定した画像をパソコンで確認するには、以下のようにしてください。

- Windows 10: [スタート] ボタンを右クリックして「エクスプローラー」を選択する。 [ファ イル] - [フォルダーと検索のオプションの変更]の順に選択して [フォルダーオプション] ダ イアログを開きます。 [表示] タブの [詳細設定] にある [ファイルとフォルダーの表示] を [隠しファイル、隠しフォルダー、および隠しドライブを表示する] に設定します。
- Windows 8.1: [スタート] ボタンを右クリックして「コントロールパネル」を選択する。
 [デスクトップのカスタマイズ] [フォルダーオプション] の順に選択して [フォルダーオプション] ダイアログを開きます。 [表示] タブの [詳細設定] にある [ファイルとフォルダーの表示] を [隠しファイル、隠しフォルダー、および隠しドライブを表示する] に設定します。

▶ 接続解除するときのご注意

以下の方法でパソコンと接続しているときは、カメラの電源をオフにしたり USB ケーブルを抜いたりする前に、「接続の解除について」をご覧の上、適切な操作をしてから接続を解除してください。

• カメラの [USB設定] を [Mass Storage] にして接続しているとき

メモリーカードをカードリーダーやカードスロットなどで使っているとき

▼ 転送が完了しても ViewNX-i 画面が開かないとき

- Nikon Transfer 2 の [環境設定] パネルの [転送後、転送先フォルダーを次のアプリケーションで開く:]オプションを確認してください。詳しくは「【環境設定】パネル」をご覧ください。
- 初期設定では、カメラやメモリーカード内のファイルがすべて転送済みの場合、アプリケーションは起動しません。

V Nikon Transfer 2 が自動的に終了しないとき

「Nikon Transfer 2 の起動と終了」をご覧ください。

ホーム > 基本的な使いかた > ステップ 4: 画像や動画を見る

ステップ 4 : 画像や動画を見る

- フォルダーに保存している画像や動画を見る
- ▶ 画像表示エリアやフィルムストリップで、ファイルを操作する
- サムネイルを並べ替える

フォルダーに保存している画像や動画を見る

パソコンやメモリーカードなどのフォルダーを選択するには [ナビゲーション] パレットを使用しま す。 [ナビゲーション] パレットに表示しているフォルダーツリーから、フォルダーを選択します。

1. [ナビゲーション] パレット内のフォルダーツリーで、フォルダーを選択する



選択したフォルダーに保存されている画像または動画が、画像表示エリアに表示されます。

[ナビゲーション] パレットにフォルダーツリーが表示されていないとき

[ナビゲーション] パレットは3段に分かれています。2段目にフォルダーツリーが表示されていないときは、[フォルダー]をクリックします。



[ナビゲーション] パレットのその他の機能について

- よく開くフォルダーを「お気に入りフォルダー」として登録して、一覧で表示できます。
 お気に入りフォルダーについて詳しくは、「お気に入りフォルダーを登録する」をご覧ください。
- [絞り込み] では、選択した項目に合致した画像または動画のみサムネイルに表示できます。詳 しくは、「**絞り込みリストで画像を絞り込む**」をご覧ください。

画像表示エリアやフィルムストリップで、ファイルを操作する

ViewNX-i では、エクスプローラーや Finder と同じような操作で、ファイルやフォルダーを整理できます。

画像表示エリアやフィルムストリップでファイルやフォルダーを選択し、ドラッグ&ドロップして別の フォルダーやドライブに移動、コピーできます。



ファイルの選択、移動、コピーなど、ファイル操作について詳しくは「ファイル操作」をご覧ください。

サムネイルを並べ替える

画像表示エリアやフィルムストリップで、サムネイルを名前順や撮影日順などに並べ替えることができます。

1. 並べ替え選択メニューで、並べ替えの条件を選択する



選択した条件でサムネイルが並べ替えられます。

ホーム > 基本的な使いかた > ステップ 5: 画像や動画を分類する

ステップ 5:画像や動画を分類する

ViewNX-iでは、画像や動画を分類し、条件に合ったファイルだけを表示できます。ラベルやレーティングを設定し、絞り込みの条件にすることができます。またフォトトレイを使うと、分類したファイルをフォルダーをまたいで登録できます。

ファイルを分類するときは、ワークスペースを〔ブラウザー〕に切り替えておきます。

▶ ラベルやレーティングを設定する

- ▶ 必要なファイルだけを表示する(フィルターバー)
- ▶ フォトトレイに画像や動画を登録する

ラベルやレーティングを設定する

ラベルは、画像を分類するために設定する機能です。ラベルは1から9までと、ラベルなしの0があり、それぞれ色分けされています。

レーティングは、画像や動画の重要度や評価を 5 段階の星マークと除外候補マークを割り当てて設定す る機能です。

ラベル、レーティングのどちらか片方、または両方を設定できます。

1. ラベルまたはレーティングを設定する画像または動画を選択する

2. [画像] メニューの [ラベル設定] / [レーティング設定] でラベル / レーティングを選択する



選択した画像にラベルまたはレーティングが設定されます。

サムネイルのファイルにカーソルを重ねて表示されるアクセスボタンからも設定できます。

アクセスボタンについて詳しくは、「サムネイルの構成」をご覧ください。

ラベル、レーティングの設定について詳しくは「**画像に埋め込まれた情報を見る/編集する**」をご 覧ください。

必要なファイルだけを表示する(フィルターバー)

現在開いているフォルダー内で、特定の条件に合うファイルだけを表示できます。多くの画像、動画の 中から必要なファイルだけを抽出して、Webサービスにアップロードしたり、印刷したりするときに便 利です。

1. [絞り込み]をクリックする



フィルターバーが表示されます。

特定のファイル形式のファイルだけを表示する

1. レーティングアイコン右横のエリアをクリックして、プルダウンメニューを表示しファイル形式 を選択する



選択したファイル形式のファイルだけが、画像表示エリアまたはフィルムストリップに表示され ます。

画像に設定したラベルやレーティングをもとに、表示する画像を絞り込む

1. フィルターバーで、ラベルまたはレーティングの条件を設定する



ラベルまたはレーティングの条件設定アイコンをクリックして、表示を絞り込むときの条件を設定します。

- 条件に合った画像だけが、画像表示エリアまたはフィルムストリップに表示されます。
 ラベルの番号は複数選択できます。また、レーティングは星マークの数の範囲を指定できます。
 ラベルとレーティングを組み合わせた条件の設定もできます。
- 絞り込みの条件は、別のフォルダーに切り替えても保持されます。

絞り込みを解除する

- ラベルまたはレーティングによる絞り込み表示を解除するには、 をクリックします。
- すべての絞り込み表示の設定を解除するには、フィルターバーの [すべてクリア] をクリックします。



 ・
 絞り込み表示をしているときに
 [絞り込み]をクリックして、フィルターバーを非表示にすると、一
 時的に絞り込み表示を解除できます。
 もう一度
 [絞り込み]をクリックすると、同じ条件で絞り込み表示されます。

フォトトレイに画像や動画を登録する

保存場所を変えずに画像や動画を一時的に登録しておくことができます。複数のフォルダーに保存している画像や動画の中から必要なものだけ集めて、Webサービスにアップロードしたり、印刷したりするときに便利です。フォトトレイは画面下に表示されます。 _____ / ____ で開閉することができます。



- 1. サムネイルでフォトトレイに登録する画像を選択する
- 2. [画像] メニューの [フォトトレイに登録] を選択する



登録ファイル数と、フォトトレイが開いている場合は登録された画像がフォトトレイに表示されます。

[イメージビューアー]および [全画面表示]の場合、フォトトレイはフィルムストリップの表示方向に連動します。フィルムストリップが垂直表示のとき、フォトトレイも垂直方向に表示されます。

[フィルムストリップを非表示] に設定すると、フォトトレイも表示されません。フィルムストリップの表示設定について詳しくは「ViewNX-i 画面の基本操作」をご覧ください。

✓ フォトトレイ登録について

- サムネイルからフォトトレイにファイルをドラッグ&ドロップしても登録できます。
- アクセスボタンについて詳しくは、「**サムネイルの構成**」をご覧ください。
- ViewNX-i再起動時にも登録した内容が復元して表示されます。
- フォトトレイにフォルダーは登録できません。
- Webサービス上のファイルはフォトトレイに登録できません。
- 同時記録表示など、まとまって表示されている画像を登録する場合は、代表の画像のみが登録 されます。

フォトトレイの画像を操作する

ファイルを選択するには、フォトトレイに表示されたサムネイル画像をクリックします。

- ファイルの選択状態はサムネイルと共有されません。
- フォトトレイ上のファイルを選択した場合も撮影情報やXMP/IPTC情報がパレットに表示されます。
- フォトトレイの画像にフィルターバーは適用されません。

フォトトレイの画像を登録解除する

1. フォトトレイで登録解除する画像を選択する

2. ツールバーの 🖬 をクリックする



▶ 登録解除について

- 登録の解除を行うとき、メッセージダイアログは表示されません。
- ViewNX-iやそれ以外のアプリでファイルの移動を行った場合、フォトトレイ上の登録は解除されます。
- ViewNX-iやそれ以外のアプリでファイルの削除を行った場合、フォトトレイ上の登録は解除されます。
- フォトトレイに登録していたファイルが存在しない場合には、フォトトレイ上の登録は解除されます。

ホーム > 基本的な使いかた > ステップ 6: 画像を編集する

ステップ 6:画像を編集する

ViewNX-iには、階調やコントラストの補正、シャープネスの調整など、多彩な画像編集機能があります。

1. [エディット] をクリックして、ワークスペースを切り替える



表示モードが [イメージビューアー] に切り替わり、 [画像調整/メタデータ] パレットが展開します。

2. 編集する画像を選択する

フィルムストリップを表示して、編集する画像を選択できます。

3. [画像調整/メタデータ] パレット上部にある [画像調整] を操作する



編集して ■をクリックすると、編集内容が調整ファイルに保存されます。

編集を中止するときは、「リセット」をクリックします。

画像の編集について詳しくは「画像を編集する」をご覧ください。

ホーム > 基本的な使いかた > ステップ 7: 画像や動画をWebサービスへアップロードする

ステップ 7:画像や動画をWebサービスへアップロードする

[ブラウザー]のワークスペースから画像や動画をアップロードできます。アップロードできるのは下記のWebサービスです。

- NIKON IMAGE SPACE
- YouTube

アップロード先について

- アップロードしたファイルは、アルバムに保存されます。新しいアルバムを作成して保存するか、またはすでにあるアルバムに保存するかを設定できます。
- NIKON IMAGE SPACEでは、同じ階層に同じ名前のファイル、アルバムを保存または作成できます。ファイルやアルバムをアップロードするとき、同じ名前のファイルやアルバムがすでにNIKON IMAGE SPACEにある場合でも、上書きされません。

アップロードする前に

- アップロードできるファイル形式はWebサービスにより異なります。
 JPEG(RGBモード)、RAW(NEF、NRW)、TIFF、MPO(3D 形 式)、MOV、MP4、AVI、モーションスナップショット画像ファイル、音声メモ付き画像ファイ ル
- ファイルをアップロードする前に、利用するWebサービスにログインしておくことをおすすめします。
- また画像ファイルのときは、タグなどの情報の設定やファイル形式の変換などの設定をあらかじ め行っておきます。
- 画像や動画をアップロードするには、ファイルを選択して 🌇 をクリックします。


ステップ 7 : 画像や動画をWebサービスへアップロードする

ご覧ください。

ホーム > 基本的な使いかた > ステップ 8: 画像を印刷する

ステップ8:画像を印刷する

選択した画像を印刷します。 [フルページ] や [インデックスプリント] で印刷したり、既定の用紙サ イズに画像を自動で配置して印刷する [標準写真サイズ] などもできます。

ViewNX-i から印刷できるのは、画像ファイルだけです。 画像を印刷するには、画像を選択して 📑 をクリックします。



画像の印刷について詳しくは、「画像を印刷する」をご覧ください。

ホーム > 基本的な使いかた > 動作環境と基本動作

動作環境と基本動作

- ▶ 動作環境
- ▶ ViewNX-i の起動と終了
- ▶ Nikon Transfer 2 の起動と終了

ホーム > 基本的な使いかた > 動作環境と基本動作 > 動作環境

動作環境

対応 OS をはじめ、最新情報については、弊社ホームページのサポート情報をご覧ください。 http://www.nikon-image.com/support/

ViewNX-i の動作環境です。

- Windows
- Mac OS

Windows

OS

Windows 10 Home / Windows 10 Pro / Windows 10 Enterprise Windows 8.1 / Pro / Enterprise

- すべてプリインストールされているモデルに対応
- 64 ビット版 Windows 10または64ビット版 Windows 8.1 上に ViewNX-i の 64 ビット版をインストールした場合、ViewNX-i および ViewNX-Movie Editor は 64 ビット環境となります。
- Windows 8.1以降 ではデスクトップモードでご使用ください。
- ニコン製デジタルカメラで撮影した4K動画を取り扱う場合は64ビット版が必要となります。

CPU

- 静止画: Intel Pentium Dual-Core 2.4GHz / Core i シリーズ 1.6GHz 以上
- 動画: 再生時: Intel Core i5 以上 編集時: Intel Core i7 以上
- 1280 x 720 ピクセル以上でフレームレート 30 fps 以上、または 1920 x 1080 ピクセル以上で 動画再生をする場合:
 Intel Core i7 以上を推奨
- ニコン製デジタルカメラで撮影した4K動画: Intel Core i7 3.5GHz 相当以上が必要

メモリー(RAM)

32 ビット版 Windows 10、Windows 8.1 : 4 GBが必要 64 ビット版 Windows 10、Windows 8.1 : 4 GB以上が必要

ニコン製デジタルカメラで撮影した4K動画を取り扱う場合は64ビット版8GB以上が必要(16GB)
 以上を推奨)

<u>ハードディスク</u>

インストールおよび使用時: OS 起動ディスクの空き容量が1GB以上(3GB以上推奨)

ビデオカード

ビデオメモリー:2GB以上が必要

 ニコン製デジタルカメラで撮影した4K動画を4Kモニターで再生するには、4K解像度に対応した ビデオカードが必要

モニター

解像度:1366 x 768 ピクセル以上(1920 x 1080 ピクセル以上推奨) 表示色数:24 ビットカラー以上

インターフェース

標準装備された USB ポートが必要です。 ハブを介してカメラとパソコンを接続すると、正しく動作しないことがあります。

対応デジタルカメラ

USB 接続のとき: MTP/PTP または PTP、Mass Storage をサポートしているニコン製デジタルカ メラ

対応ファイル形式

- JPEG 形式の画像(Exif 2.2~2.3 準拠)
- ニコン製デジタルカメラで撮影した RAW(NEF、NRW 形式)、MPO(3D 形式)、TIFF 形式の 画像、動画、音声、イメージダストオフデータ、位置情報ログデータ、高度情報ログデータおよ び水深情報ログデータ
- ニコン製のアプリケーションで保存した RAW(NEF、NRW 形
 式)、TIFF(RGB)、JPEG(RGB)形式の画像および MOV、MP4、AVI 形式の動画

その他

すべての機能を使うには、インターネット接続が必要です。

🔰 3D で撮影された MPO 形式の画像表示について

3D で撮影された MPO 形式の画像を見るには、3D 画像に対応したビューアーが必要です。

V 高度情報ログデータおよび水深情報ログデータについて

高度情報ログデータおよび水深情報ログデータは、気圧を基準に測定されたものであり、衛星測 位システムによって測定された[標高]とは異なります。[標高]と[高度]が混在している場 合は、[標高]が優先されます。

Mac OS

0S

macOS Mojave macOS High Sierra macOS Sierra 64bitモードのみ

CPU

• 静止画 : Intel Core 2 Duo以上(Core i5以上推奨)/ Xeon シリーズ

- 動画: 再生時: Intel Core i5 以上 編集時: Intel Core i7 以上
- 1280 x 720 ピクセル以上でフレームレート 30 fps 以上、または 1920 x 1080 ピクセル以上で 動画再生をする場合:
 Intel Core i7 以上を推奨
- ニコン製デジタルカメラで撮影した4K動画: Intel Core i7 3.5GHz 相当以上が必要

メモリー(RAM)

4 GB以上が必要

• ニコン製デジタルカメラで撮影した4K動画を取り扱う場合は 16 GB以上が必要

ハードディスク

インストールおよび使用時: OS 起動ディスクの空き容量が1GB以上(3GB以上推奨)

ビデオカード

ビデオメモリー:2GB以上

ニコン製デジタルカメラで撮影した4K動画を4Kモニターで再生するには、4K解像度に対応した
 ビデオカードが必要

モニター

解像度:1366 x 768 ピクセル以上(1920 x 1080 ピクセル以上推奨) 表示色数:1670万色以上

インターフェース

標準装備された USB ポートが必要です。 ハブを介してカメラとパソコンを接続すると、正しく動作しないことがあります。

対応デジタルカメラ

USB 接続のとき: MTP/PTP または PTP、Mass Storage をサポートしているニコン製デジタルカメラ

対応ファイル形式

- JPEG 形式の画像(Exif 2.2~2.3 準拠)
- ニコン製デジタルカメラで撮影した RAW(NEF、NRW 形式)、MPO(3D 形式)、TIFF 形式の 画像、動画、音声、イメージダストオフデータ、位置情報ログデータ、高度情報ログデータおよ び水深情報ログデータ
- ニコン製のアプリケーションで保存した RAW(NEF、NRW 形式)、TIFF(RGB)、JPEG(RGB)形式の画像および MOV、MP4、AVI 形式の動画

その他

すべての機能を使うためには、インターネット接続が必要です。

☑ 3D で撮影された MPO 形式の画像表示について

3D で撮影された MPO 形式の画像を見るには、3D 画像に対応したビューアーが必要です。

▶ 高度情報ログデータおよび水深情報ログデータについて

高度情報ログデータおよび水深情報ログデータは、気圧を基準に測定されたものであり、衛星測 位システムによって測定された[標高]とは異なります。[標高]と[高度]が混在している場 合は、[標高]が優先されます。 ホーム > 基本的な使いかた > 動作環境と基本動作 > ViewNX-i の起動と終了

ViewNX-i の起動と終了

ViewNX-i を起動する

お使いのOS・バージョンによって、表示される画面やメニュー名、操作手順が異なる場合があります。 詳しくはお使いのパソコンやOSのマニュアルをご覧ください。

ファイルの転送後に起動する

Nikon Transfer 2 画面の [環境設定] パネルで以下の設定になっているときは、Nikon Transfer 2 で ファイルを転送後、ViewNX-i 画面が自動で開きます。

- [転送後、転送先フォルダーを次のアプリケーションで開く:] にチェックが入っている
- アプリケーションの選択メニューで [ViewNX-i] が選択されている



- ファイル転送の基本的な流れについては「基本的な使いかた」をご覧ください。
- 設定について詳しくは「転送先フォルダーを他のアプリケーションで開く」、「【環境設定】パネル」をご覧ください。

デスクトップから起動する

1. Windows : デスクトップの [ViewNX-i] アイコンをダブルクリックする Mac OS : Dock の [ViewNX-i] アイコンをクリックする

ViewNX-i が起動し、ViewNX-i 画面が開きます。

[スタート] メニューから起動する(Windows)

1. [スタート] メニューから [ViewNX-i] を開く

2. [ViewNX-i] をクリックする

ViewNX-i が起動し、ViewNX-i 画面が開きます。

[アプリケーション] フォルダーから起動する(Mac OS)

1. [アプリケーション] - [Nikon Software] - [ViewNX-i] の順にフォルダーを開く

2. [ViewNX-i] アイコンをダブルクリックする

ViewNX-i が起動し、ViewNX-i 画面が開きます。

ファイルやフォルダーを、アイコンにドラッグ&ドロップして起動する

デスクトップ(Dock)のアイコンにフォルダー、ドライブ、または ViewNX-i で対応している ファイルをドラッグ&ドロップして起動できます。

前回 ViewNX-i を終了したときの表示モードで、フォルダーやドライブをドロップしたときはその フォルダー/ドライブを開いた状態、ファイルをドロップしたときはそのファイルが選択された状 態で起動します。

ViewNX-i を終了する

1. Windows : [ファイル] メニューから [終了] を選択する Mac OS : [ViewNX-i] メニューから [ViewNX-i を終了] を選択する

ViewNX-i が終了します。

ホーム > ファイルを転送する

ファイルを転送する

デジタルカメラからパソコンにファイルを転送できます。ファイルの転送には「Nikon Transfer 2」を 使用します。

ファイル転送の基本的な流れについては「基本的な使いかた」をご覧ください。

Nikon Transfer 2 画面の見かた

画面の見かた、アイコンやボタンについて説明しています。

Nikon Transfer 2 の起動と終了

カメラをパソコンに接続すると、Nikon Transfer 2を起動できます。

カメラ以外の接続について

カメラで撮影した画像や動画が記録されているメモリーカードは、カードリーダーやカードスロットを 使って Nikon Transfer 2 でパソコンに転送することもできます。

接続の解除について

カメラやカードリーダーと、パソコンの接続解除のしかたについて説明しています。

転送元について

カメラやカードリーダーをパソコンに接続したときに、転送元の選択方法について説明しています。

サムネイル表示について

サムネイル表示エリアでは、ファイルの属性や転送状態を確認したり、サムネイルを撮影日やファイルの種類、カメラで設定したフォルダーごとに分けて表示したりできます。

- ファイルの属性や転送状態の表示について
- カテゴリーごとにサムネイルを表示する

転送するファイルの選択について

任意のファイル、特定のファイルだけを選択してパソコンに転送できます。

- ▶ 任意のファイルを選択する
- ▶ 特定の条件に合うファイルを選択する

転送機能を活用する

転送するときに、転送するファイルのバックアップを別のドライブに同時に保存したり、画像を整理、 分類するための情報を調整ファイルとして画像とは別のファイルに保存したりできます。

- ▶ 転送先フォルダーを選択する
- ▶ 転送時にファイル名を変更する
- ▶ 転送時にバックアップを保存する
- ▶ 転送時にメタデータを調整ファイルとして保存する
- ▶ 転送先フォルダーを他のアプリケーションで開く

デバイスの接続と起動について

お使いの OS ごとの、Nikon Transfer 2 起動の詳細とデジタルカメラの認識について説明しています。

転送時に問題が発生したら

ファイルを転送するときに問題が発生したら、こちらをご覧ください。

環境設定

▶ Nikon Transfer 2 オプションパネル

オプションパネルでは、ファイルを転送するときの各種設定ができます。

メニュー一覧

▶ Nikon Transfer 2 のメニュー一覧

Nikon Transfer 2で使用できるメニューの一覧です。

ホーム > ファイルを転送する > Nikon Transfer 2 画面の見かた

Nikon Transfer 2 画面の見かた

Nikon Transfer 2 の画面各部について説明します。

- ▶ Nikon Transfer 2 画面
- オプションエリア
- サムネイル表示エリア
- ▶ 転送キューリスト
- ▶ サムネイル

Nikon Transfer 2 画面



1

メニューバー

それぞれのメニューを選択すると、メニューリストが表示されます。

🛄 Nikon Transfer 2 のメニュー一覧

2

オプションエリア

▶ / ▼ をクリックすると、オプションエリアの表示/非表示が切り替わります。オプションエリアでは、転送元の指定や転送時の設定ができます。

💴 Nikon Transfer 2 オプションパネル

サムネイル表示エリア

▶ / ▶ をクリックして、転送元のカメラやメモリーカードにあるファイルの表示/非表示を切り替えます。

転送キューリスト

▶ / ▼ をクリックして、転送するファイル一覧の表示/非表示を切り替えます。

[処理状況:]

転送の進行状況が表示されます。

[転送開始]

転送を開始します。

オプションエリア



1

▶ / ▼

オプションエリアの表示/非表示を切り替えます。

2

オプションタブ

オプションパネルを切り替えます。初期設定では [転送元] パネルが表示されます。 III Nikon Transfer 2 オプションパネル

3

[転送元]

転送元のカメラ、またはメモリーカードが表示されます。転送元は[転送元]パネルで選択します。

[転送先]

ファイルの転送先フォルダーが表示されます。

サムネイル表示エリア

Nikon Transfer 2 画面の見かた





▶ / ▼

サムネイル表示エリアの表示/非表示を切り替えます。



[カテゴリー:]

表示するサムネイルを日付、拡張子、フォルダーごとに分類できます。 **カテゴリーごとにサムネイルを表示する**

3

選択されたファイル

「選択状態にあるファイルの数 / 記録されているファイルの数」の形式で表示します。

4

サムネイル

ファイルのサムネイルや属性、転送状態が表示されます。

5

1

D / V

[選択するファイル:]

指定した条件のファイルだけを選択したり、削除したりできます。

□□ 特定の条件に合うファイルを選択する

転送キューリスト



2

[転送元] / [転送先]

ファイルの転送元と転送先フォルダーが表示されます。

3

ファイルの選択を解除します。クリックすると、転送キューからファイル名が削除されます。

サムネイル





属性アイコン

ファイルの属性が表示されます。

2

転送状態アイコン

転送状態が表示されます。

□□ ファイルの属性や転送状態の表示について

V サムネイル表示について

サムネイル表示エリアでは、以下のファイルはアイコンで表示されます。

 カメラで取得したイメージダストオフデータ(拡張子:.ndf)
 イメージダストオフデータ(NDF)は Capture NX シリーズの「イメージダストオフ機能」を 使うために、ニコン製デジタル一眼レフカメラおよびミラーレスカメラで取得したデータで す。

詳しくはカメラの使用説明書や Capture NX シリーズのヘルプ、使用説明書をご覧ください。

- 単独の音声ファイル(拡張子:.wav)
- カメラで取得した位置情報ログファイル(拡張子:.log)
- カメラで取得した高度情報ログファイルおよび水深情報ログファイル(拡張子:.lga / .lgb)

ホーム > ファイルを転送する > Nikon Transfer 2 の起動と終了

Nikon Transfer 2 の起動と終了

Nikon Transfer 2 を起動する

Nikon Transfer 2を起動すると、カメラで撮影した画像や動画をパソコンに転送できます。Nikon Transfer 2がインストールされている場合のみ、起動できます。

お使いのOS・バージョンによって、表示される画面やメニュー名、操作手順が異なる場合があります。 詳しくはお使いのパソコンやOSのマニュアルをご覧ください。

デスクトップから起動する

Nikon Transfer 2を単独で起動する場合、デスクトップのアイコンから起動できます。

1. Windows : デスクトップの [Nikon Transfer 2] アイコンをダブルクリックする Mac OS : Dock の [Nikon Transfer 2] アイコンをクリックする

Nikon Transfer 2 が起動します。

[スタート] メニューから起動する(Windows)

1. [スタート] メニューから [Nikon Transfer 2] を開く

2. [Nikon Transfer 2] をクリックする

Nikon Transfer 2 が起動し、Nikon Transfer 2 画面が開きます。

[アプリケーション] フォルダーから起動する(Mac OS)

- 1. [アプリケーション] [Nikon Software] [Nikon Transfer 2] の順にフォルダーを開く
- 2. [Nikon Transfer 2] アイコンをダブルクリックする

Nikon Transfer 2 が起動し、Nikon Transfer 2 画面が開きます。

ニコン製ソフトウェアの画面から起動する

ViewNX-i、Capture NX-D 画面から Nikon Transfer 2 を起動します。

1. アウトプットバーの 🔝 をクリックする

• [ViewNX-i] の場合



• [Capture NX-D] の場合



Nikon Transfer 2 が起動します。

カメラやメモリーカードをパソコンに接続したときに、操作を選択する画面が表示されるように設定することもできます。

操作の手順は、お使いのOSやカメラの通信方式によって異なります。 詳しくは「デバイスの接続と起動について」をご覧ください。

✔ ご注意

Nikon Transfer (バージョン 1.x)、Camera Control Pro シリーズ または Thumbnail Selector が起動しているときは Nikon Transfer 2 を同時に起動できません。

Nikon Transfer 2 を終了する

初期設定ではファイルの転送が完了すると、カメラとパソコンの接続が自動的に解除され、Nikon Transfer 2 が自動的に終了します。カメラの電源をオフにしてから USB ケーブルを抜いてください。 Nikon Transfer 2 が自動で終了しないときは、以下の手順で終了できます。

1. Windows : [ファイル] メニューから [終了] を選択する Mac OS : [Nikon Transfer 2] メニューから [Nikon Transfer 2を終了] を選択する

Nikon Transfer 2 が終了します。

▶ 接続解除時のご注意

以下の方法でパソコンと接続しているときは、カメラの電源をオフにしたり USB ケーブルを抜いたりする前に、「接続の解除について」をご覧の上、適切な操作をしてから接続を解除してください。

メモリーカードをカードリーダーやカードスロットなどで使っているとき

関連項目

- ▶ ステップ 1:カメラとパソコンを接続する
- ▶ ステップ 3:転送したファイルを確認する
- Nikon Transfer 2 の転送先フォルダーを開く

ホーム > ファイルを転送する > カメラ以外の接続について

カメラ以外の接続について

カメラで撮影した画像や動画が記録されているメモリーカードは、カードリーダーやカードスロットを 使って Nikon Transfer 2 でパソコンに転送することもできます。

- カードリーダーを使って接続する
- カードスロットを使って接続する

✓ Windows をご使用の場合

Windows をご使用の場合、メモリーカードをカードリーダーなどを使ってパソコンに接続する と、[自動再生]画面が表示されます。[画像ファイルを取り込む-Nikon Transfer 2 使用]を 選択し、[OK]をクリックしてください。

🚺 CD や DVD に保存されたファイルについて

Nikon Transfer 2 は、CD、DVD およびハードディスクから他のハードディスクへのファイルの 転送はサポートしていません。OS 付属の転送ツールを用いるか、またはファイルをパソコンに直 接コピーしてください。

カードリーダーを使って接続する

カメラから取り出したメモリーカードを、カードリーダーにセットしてパソコンに接続してください。 カードリーダーの接続方法については、カードリーダーの使用説明書をご確認ください。



メモリーカードが挿入されたカードリーダーをパソコンに接続すると、Nikon Transfer 2 が自動的に起動し、メモリーカードに保存された画像や動画のサムネイルが表示されます。

カメラ以外の接続について



Vikon Transfer 2 が自動的に起動しない場合

「転送時に問題が発生したら」をご覧ください。

カードスロットを使って接続する

カメラから取り出したメモリーカードは以下の方法でパソコンに接続できます。

- パソコンに搭載されているメモリーカード専用のスロットに直接挿入する
- メモリーカードをPCカードアダプターにセットし、対応しているパソコンのスロットに挿入する 挿入方法の詳細については、パソコン本体の使用説明書をご確認ください。環境によっては、ソフト ウェアのインストールや登録、設定が必要となる場合があります。ご使用のパソコンおよび OS の使用 説明書をご確認ください。

メモリーカード、もしくはメモリーカードが挿入されたPCカードアダプターをパソコンのスロットに挿入すると、Nikon Transfer 2 が自動的に起動し、メモリーカードに保存された画像や動画のサムネイルが表示されます。



💟 Nikon Transfer 2 が自動的に起動しない場合

「転送時に問題が発生したら」をご覧ください。

関連項目

▶ ステップ 1 : カメラとパソコンを接続する

▶ 転送元について

ホーム > ファイルを転送する > 接続の解除について

接続の解除について

パソコンとの接続解除の方法は、ご使用の OS、接続している機器、USB 通信方式(カメラのとき)に よって異なります。

- カードリーダーやカードスロットを接続しているとき
- ▶ その他の接続のとき

カードリーダーやカードスロットを接続しているとき

メモリーカードをカードリーダーやカードスロットを使って接続している場合は、必ず次の操作をしてからUSB ケーブルを抜いてください。

Windows

パソコン画面右下の[ハードウェアを安全に取り外してメディアを取り出す]アイコンをクリック して[リムーバルディスクの取り出し]を選択します。



Mac OS X

デスクトップに表示しているメモリーカードのアイコンを、「Dock」内の「ゴミ箱」アイコンにド ラッグします(ドラッグすると、 📑 が 🤮 に変化します)。

メモリーカードをフォーマットしたカメラの機種に応じて、メモリーカードのアイコン名が以下の ように付けられます。

- ニコン製デジタル一眼レフカメラおよびミラーレスカメラでフォーマットした場合:機種名 「NIKON xxxx」
- その他ニコン製カメラでフォーマットした場合: 「NO_NAME」

接続の解除について



Mac OS X

[環境設定] パネルの [転送後、接続を自動的に解除する] にチェックが入っているときは、 ファイルの転送完了後、メモリーカードの接続が解除され、デスクトップから「NO_NAME」ア イコンが自動的に消えます。そのままUSBケーブルを抜いてください。

[環境設定] パネルについては「[環境設定] パネル」をご覧ください。

その他の接続のとき

カメラの USB 通信方式を「MTP/PTP」または「PTP」に設定している場合、カメラの電源をオフにして USB ケーブルを抜いてください。

ホーム > ファイルを転送する > 転送元について

転送元について

カメラやメモリーカードが挿入されたカードリーダーなどをパソコンに接続すると、Nikon Transfer 2 が起動します。 [オプション] の左側にある ▶ をクリックすると、オプション表示エリアが開き、 [転 送元] パネルにカメラ名またはリムーバブルディスクのデバイスボタンが表示されます。

- ▶ 「MTP/PTP」または「PTP」モードで接続されたカメラのとき
- マスストレージモードで接続されたカメラまたはカードリーダーのとき
- ▶ 複数のカメラやメモリーカードを同時に接続したとき

「MTP/PTP」または「PTP」モードで接続されたカメラのとき

カメラ名のデバイスボタンを確認してください。

▼ オプション		载送元:	
転送元	転送先	バックアップの保存先	環境設定
表示対象			
	A.,		

スロットが2 つ以上あるカメラの場合

カメラ名のデバイスボタンが表示され、デバイスボタンの右下に 💌 が表示されます。この状態で はスロット1に挿入されたメモリーカードのファイルだけが転送されます。

スロット 2 に挿入されたメモリーカードからファイルを転送するには、以下のいずれかの方法でスロットを切り替えるサブメニューを表示してください。

デバイスボタンがオンの状態のとき:

• デバイスボタンをクリックする

デバイスボタンがオフの状態のとき:

- デバイスボタンを右クリックする(Windows)。
- Control キーを押しながらデバイスボタンをクリックする、またはデバイスボタン上でマウスを 長押しする(Mac OS)。

サブメニューからスロットを選択できます。

2 つのスロットから順番にファイルを転送するように設定するには「【環境設定】パネル」をご覧

マスストレージモードで接続されたカメラまたはカードリーダーのとき

リムーバブルディスクのデバイスボタンが表示されます。



スロットが2つ以上ある場合

挿入されているメモリーカードの数だけデバイスボタンが表示されます。サムネイル表示エリアを 開いて、メモリーカードに保存されているファイルを確認してから転送してください。

複数のカメラやメモリーカードを同時に接続したとき

複数のカメラやメモリーカードを同時に接続した場合、それぞれのデバイスボタンが表示されます。

転送元のデバイスボタンを選択し、[転送開始]をクリックします。

関連項目

- ▶ ステップ 1:カメラとパソコンを接続する
- ▶ カメラ以外の接続について
- ▶ [転送元] パネル

ホーム > ファイルを転送する > サムネイル表示について

サムネイル表示について

サムネイル表示エリアでは、ファイルの属性や転送状態を確認したり、サムネイルを撮影日やファイルの種類、カメラで設定したフォルダーごとに分けて表示したりできます。



ファイルの属性や転送状態の表示について

カテゴリーごとにサムネイルを表示する

✓ サムネイル表示について

サムネイル表示エリアでは、以下のファイルはアイコンで表示されます。

 カメラで取得したイメージダストオフデータ(拡張子:.ndf) イメージダストオフデータ(NDF)は Capture NX シリーズの「イメージダストオフ機能」を 使うために、ニコン製デジタル一眼レフカメラおよびミラーレスカメラで取得したデータで す。

詳しくはカメラの使用説明書や Capture NX シリーズのヘルプ、使用説明書をご覧ください。

- 単独の音声ファイル(拡張子:.wav)
- カメラで取得した位置情報ログファイル(拡張子:.log)
- カメラで取得した高度情報ログファイルおよび水深情報ログファイル(拡張子:.lga / .lgb)

▶ 単独の音声ファイルの転送について

- 単独の音声ファイルを転送するには、メモリーカードをカードリーダーまたはパソコンのカードスロットに差し込み転送してください。
- 「転送先]パネルで [カメラで指定したフォルダーに分けて転送する] にチェックが入っているとき、単独の音声ファイル(拡張子「.wav」)は「xxxSOUND」または「xxxSOUNE」というフォルダーに転送されます。フォルダー名は、お使いのカメラの機種によって異なります。

[転送先] パネルについては「**[転送先] パネル**」をご覧ください。

ホーム > ファイルを転送する > サムネイル表示について > ファイルの属性や転送状態の表示 について

ファイルの属性や転送状態の表示について

- ファイルの属性表示について
- ファイルの転送状態について

ファイルの属性表示について

サムネイルの下に表示される属性アイコンで、そのファイルの種類やカメラでの設定などを確認できます。



ファイルの属性を示すアイコンの意味は以下のとおりです。



音声付き画像

3D

3D で撮影された MPO 形式の画像

Ő[‡]

スマートフォトセレクター表示代表画像

連写パッケージで撮影された画像

퉀

動画ファイル

モーションスナップショット画像

200

1

カメラで転送マークが付けられているファイル

011

カメラでプロテクト設定されているファイル

NDF

イメージダストオフデータ(NDF)を示すアイコンです。



カメラで記録した位置情報ログファイル(LOG)を示すアイコンです。

カメラで記録した高度情報ログファイル(LGA)を示すアイコンです。

LOG

カメラで記録した水深情報ログファイル(LGB)を示すアイコンです。

Þ

音声ファイル(WAV)を示すアイコンです。

мро (Mac OSのみ)

MPO(3D形式)ファイルを示すアイコンです。一部のカメラを使用しているときに表示されます。

🚺 同時記録された RAW 画像と JPEG 画像について

- 撮影するときに同時記録された RAW 画像(NEF、NRW)と JPEG 画像は、ひとつのサムネイルとして表示します。転送するときは、RAW 画像と JPEG 画像の両方が転送されます。
 ただし、メモリーカードスロットが2つ以上あるカメラで「画像記録モード」を [RAW + JPEG 分割記録]に設定しているとき、RAW 画像と JPEG 画像は個別のファイルとして、それぞれのファイルのサムネイルを表示します。
- 同時記録した画像でも RAW 画像と JPEG 画像のファイル名が異なるときは、個別のファイル としてそれぞれのファイルのサムネイルを表示します。

🚺 スマートフォトセレクター表示の画像について

- スマートフォトセレクター表示の画像は、代表画像をひとつのサムネイルとして表示します。
 転送するときは 5 枚の画像が転送されます。「NEF + JPEG 同時記録」の場合は 10 枚の画像が転送されます。
- 💟 COOLPIX S30、S31、S32、S33で撮影した音声メモ付き画像について

COOLPIX S30、S31、S32、S33 では1 枚の静止画に2 種類の音声メモを付けられます。

Nikon Transfer 2 で転送する場合、2 種類の音声メモは自動的に 1 ファイルに変換されます。転送前と転送後のファイル名は以下のとおりです。

- 転送前 静止画:DSCNXXXX.JPG 音声メモ1:DSCAXXXX.WAV 音声メモ2:DSCBXXXX.WAV
- 転送後
 静止画:DSCNXXXX.JPG
 音声メモ:DSCNXXXX.WAV

なお、音声メモ1のみ(DSCAXXXX.WAV)が付けられている場合でも、転送後は DSCNXXXX.WAV に変換されます。

V モーションスナップショットのアイコン表示について

MOV形式で撮影されたモーションスナップショット画像に、 Mov形式で撮影されたモーションスナップショット画像に、

ファイルの転送状態について

サムネイルの下に表示される転送状態アイコンで、そのファイルの転送状態を確認できます。



ファイルの転送状態を示すアイコンの意味は以下のとおりです。

🖌 (転送待ち)

[転送開始] ボタンをクリックすると、ファイルが転送されます

(なし)

[転送開始] ボタンをクリックしても、ファイルは転送されません

🔳 (転送中)

ファイルはパソコンに転送中です

☞(転送済み)

すでに転送済みのファイルです

ホーム > ファイルを転送する > サムネイル表示について > カテゴリーごとにサムネイルを表示する

カテゴリーごとにサムネイルを表示する

サムネイル表示エリアでは、初期設定ではファイルの作成日時順にサムネイルを表示します。またサム ネイル表示エリアの [カテゴリー:]、または [表示] メニューの [カテゴリー別表示] から選ぶこと で、表示されるサムネイルをグループごとに表示することもできます。たくさんのファイルの中から転 送したいファイルを選択するときなどに便利です。



カテゴリーの表示について

[カテゴリー:]および [カテゴリー別表示]の各設定の意味は以下のとおりです。

[撮影日]

ファイルを撮影した日時に分けて表示します。

[拡張子]

ファイルを拡張子の種類ごと(アルファベット順)に分けて表示します。

[フォルダー]

ファイルを、カメラで設定したフォルダーごとに分けて表示します。

[なし]

カテゴリーごとの表示はしません。

関連項目

▶ 転送先フォルダーを選択する

ホーム > ファイルを転送する > 転送するファイルの選択について

転送するファイルの選択について

転送するファイルの選択は、サムネイル表示エリアで行います。



ファイルを選択するには、以下の方法があります。

- ▶ 任意のファイルを選択する
- ▶ 特定の条件に合うファイルを選択する

▼ 非表示設定について(Windows のみ)

カメラで非表示設定を[ON]にしたファイルもサムネイル表示エリアに表示され、パソコンに転送されます。ただし、ご使用のパソコンの設定によってはパソコンでファイルが表示されない場合があります。

詳しくは「ステップ 3:転送したファイルを確認する」をご覧ください。

ホーム > ファイルを転送する > 転送するファイルの選択について > 任意のファイルを選択す る

任意のファイルを選択する

1. サムネイル表示エリアの [選択するファイル:] から 📷 (選択解除)をクリックする



2. 転送するファイルのサムネイルを1回クリックしてハイライト状態にする



続けて他のファイルをハイライト状態にしたい場合は、以下のいずれかの方法で選択してください。

- Ctrl キー(Mac OS は Command キー)を押しながらファイルをクリックすると、クリック したすべてのファイルがハイライト状態になります。
- Shift キーを押しながらもうひとつのファイルをクリックすると、最初にクリックしたファイルの間にあるファイルもハイライト状態になります。
- Shift キーを押しながらカーソルキーを押すと、カーソルキーで指定したすべてのファイルが ハイライト状態になります。
- Shift キーを押しながら指定したいサムネイルの範囲をマウスでドラッグすると、指定した範囲のすべてのファイルがハイライト状態になります。

ファイルの選択を解除するには、Ctrl キー(Mac OS は Command キー)を押しながらサム ネイルをクリックします。

3. ハイライト状態になったサムネイルをもう一度クリックする、またはキーボードのスペースキー を押す

ハイライト状態になったファイルの転送状態アイコンが 🔽 (転送待ち)になります。

複数のファイルがハイライト状態になっているときは、どれかひとつのファイルをクリックする と、ハイライト状態のすべてのファイルが転送待ちになります。



4. [転送開始] をクリックする



ファイルの転送状態アイコンが 🔽 (転送待ち)になった画像だけが転送されます。

画像がハイライト状態になっているだけでは、 [転送開始] をクリックしても画像は転送されま せん。

たくさんのファイルから選択する

サムネイル表示エリアの [カテゴリー:]を選ぶことによって、サムネイルをグループごとに整理 することができます。特定のファイルを選択するときなどに便利です。

詳しくは「**カテゴリーごとにサムネイルを表示する**」をご覧ください。

ファイルの選択を解除する

選択したファイルは、以下の方法で選択を解除できます。

- 選択を解除するサムネイルの (転送待ち)をクリックして (なし)にする サムネイルの部分をクリックしても、選択は解除されません。必ず、転送状態アイコンをクリッ クしてください。 ハイライト状態のファイルが複数あるとき、どれかひとつのファイルの転送待ちアイコンをク リックすると、ハイライト状態のすべてのファイルの転送待ちが解除されます。Ctrl キー(Mac OSは Command キー)を押しながら転送待ちアイコンをクリックすると、クリックされたファ イルだけ転送待ちが解除されます。
- 転送キューリストを開き、ファイル名の右にある 🔣 (選択解除)をクリックする

関連項目

ファイルの属性や転送状態の表示について

ホーム > ファイルを転送する > 転送するファイルの選択について > 特定の条件に合うファイ ルを選択する

特定の条件に合うファイルを選択する

サムネイル表示エリアの [選択するファイル:] で、特定の条件に合うファイルを選択できます。



- ▶ [選択するファイル:]のボタンについて
- すべてのファイルを選択する
- カメラで転送マークをONにしたファイルだけ選択する
- ▶ カメラでプロテクトをONにしたファイルだけ選択する

[選択するファイル:]のボタンについて

[選択するファイル:]で、特定のファイルだけを選択できます。それぞれのボタンの意味は以下のとおりです。

(すべてのファイルを選択)

表示されているファイルをすべて選択します。

🔜 (転送マークONのファイルを選択)

表示されているファイルのうち、転送マークONのファイルのみ選択します。

cm(プロテクトONのファイルを選択)

選択したファイルのうち、プロテクトONのファイルのみ選択します。

(選択を解除)

ファイルの選択をすべて解除します。

📰 (削除)

選択したファイルをカメラ、またはメモリーカードから削除します。

転送マークやプロテクトの指定については、サムネイルの下に表示される属性アイコンで確認できます。

すべてのファイルを選択する

1. サムネイル表示エリアの [選択するファイル :] から 田 (すべてのファイルを選択) をクリッ クする



すべてのファイルの転送状態アイコンが 🔽 (転送待ち)になります。

2. [転送開始] をクリックする



転送が開始されます。

カメラで転送マークをONにしたファイルだけ選択する

1. サムネイル表示エリアの [選択するファイル :] から 🎆 (選択を解除)をクリックする
特定の条件に合うファイルを選択する



すべてのファイルの転送状態アイコンが ── (なし)になります。

2. 🔜 (転送マークONのファイルを選択)をクリックする



サムネイルの属性に 🔤 が表示されているファイルだけが 📝 (転送待ち)になります。

3. [転送開始] をクリックする

ファイルの転送状態アイコンが 🔽 (転送待ち)になったファイルだけが転送されます。

カメラでプロテクトをONにしたファイルだけ選択する

1. サムネイル表示エリアの [選択するファイル :] から 🎆 (選択を解除)をクリックする

特定の条件に合うファイルを選択する



すべてのファイルの転送状態アイコンが □ (なし)になります。

2. 🔚 (プロテクトONのファイルを選択)をクリックする



サムネイルの属性に 📰 が表示されているファイルだけが 🔽 (転送待ち)になります。



ホーム > ファイルを転送する > 転送機能を活用する

転送機能を活用する

- ▶ 転送先フォルダーを選択する
- ▶ 転送時にファイル名を変更する
- ▶ 転送時にバックアップを保存する
- ▶ 転送時にメタデータを調整ファイルとして保存する
- ▶ 転送先フォルダーを他のアプリケーションで開く

ホーム > ファイルを転送する > 転送機能を活用する > 転送先フォルダーを選択する

転送先フォルダーを選択する

Nikon Transfer 2 では、ファイルの転送先フォルダーを選択できます。また転送先フォルダー内に自動 でサブフォルダーを作成し、サブフォルダーにファイルを転送できます。転送先フォルダーの選択は、 オプションエリアの [転送先] パネルで設定します。

- ▶ 転送先フォルダーを選択する
 - サブフォルダー作成の設定について

転送先フォルダーを選択する

1. オプションエリアの [転送先] タブをクリックする

[転送先] パネルが表示されます。

2. [転送先フォルダー:] メニューから [参照...] を選択する



フォルダーを選択する画面が表示されます。

3. ファイルを転送するフォルダーを選択し、[OK]をクリックする

初期設定では [転送開始] をクリックすると、選択したフォルダー内に自動でサブフォルダーを 作成し、ファイルを転送します。

初期設定の転送先フォルダー

初期設定では、以下のフォルダー内に自動でサブフォルダーを作成し、ファイルを転送します。

• Windows :

[(ユーザ名)] > [ピクチャ] > [Nikon Transfer 2]

• Mac OS :

[ユーザ] > [(ユーザ名)] > [ピクチャ] > [Nikon Transfer 2]

サブフォルダー作成の設定について

[転送先] パネルで、転送先フォルダー内に自動で作成されるサブフォルダーについて設定できます。



[転送のたびに転送先フォルダーに新規サブフォルダーを作成する] (初期設定)

転送するたびに、 [転送先フォルダー:] で指定したフォルダー内に自動でサブフォルダーを作成 します。ファイルはそのサブフォルダーに転送されます。

サブフォルダー名の命名ルールは、 [編集...] をクリックすると表示される [フォルダー名の作成 ルール] 画面で設定します。

詳しくは「フォルダー名の作成ルール」をご覧ください。

[同じ名前のサブフォルダーがすでにあれば使用する]

チェックを入れると、設定した名前と同じ名前のサブフォルダーがすでにあるとき、そのサブ フォルダーにファイルが転送されます。サブフォルダーに同名のファイルがすでにあるとき は、あとから転送されたファイルのファイル名に、連番が自動で追加されます。

[転送先フォルダー下のサブフォルダーを指定する]

[転送先フォルダー:]で指定されているフォルダー内に、新規サブフォルダーが作成されます。
 サブフォルダー名は、転送先オプションエリアの上部に表示されている[転送先]のテキストボックスに入力します。
 最近使用したフォルダー名はパネル左上の[転送先フォルダー:]の
 ● をクリックすると、5つ前までの履歴が表示されます。

[サブフォルダーを使用しない]

サブフォルダーを作成せずに、 [転送先フォルダー:] で指定されているフォルダー内にファイル が転送されます。

[カメラで指定したフォルダーに分けて転送する]

チェックを入れると、カメラに記憶された状態のまま(「100NIKON」「NCFL」などのフォルダー ごと)、ファイルが新規フォルダー内に転送されます。

カメラから転送された位置情報ログおよび高度情報ログ、水深情報ログは「NCFL」フォルダー、または「GNSS」フォルダーに保存されます。カメラの機種によってログファイルの転送にカードリー ダーが必要な場合があります。

ログファイルの転送について詳しくは、お使いのカメラの使用説明書をご覧ください。

関連項目

▶ [転送先] パネル

ホーム > ファイルを転送する > 転送機能を活用する > 転送時にファイル名を変更する

転送時にファイル名を変更する

Nikon Transfer 2 ではファイルを転送するときに、ファイル名を自動で変更できます。ファイル名の変更は、オプションエリアの [転送先] パネルで設定します。

1. [転送先] タブをクリックする

[転送先] パネルが表示されます。

2. [転送中に名前を変更する] にチェックを入れる



3. [転送中に名前を変更する] の下にある [編集...] をクリックする



[ファイル名の作成ルール] 画面が表示されます。

ファイル名の作成ルール				×
サンプル				
	〈元の名前〉	001.JPG		
ブルフィックス ●元の名前			サフィックス 〇元の名前	2
Otal			●なし	
○新規作成			○新規作成	
○元の名前+新規作成			○元の名前+新	模作成
○新規作成+元の名前			○新規作成+元	の名前
(m. r				100
1759-11- M	121		180	
	開始番	号:		
	001			
	和日本	t.		
	□ 開始番号	を北てする		
			-	_
			OK	キャンセル
			-	

入力のしかたについては「ファイル名の作成ルール」をご覧ください。

4. ファイル名の作成ルールを設定し、 [OK] ボタンをクリックする

設定が確定します。

転送を開始すると、設定したルールに従って、転送されたファイルのファイル名が変更されます。

関連項目

▶ [転送先] パネル

ホーム > ファイルを転送する > 転送機能を活用する > 転送時にバックアップを保存する

転送時にバックアップを保存する

Nikon Transfer 2では、転送先フォルダー以外にも、別のフォルダーに同じファイルを同時に保存できます。大切な写真をパソコン上で誤って削除してしまってもバックアップが残っているので安心です。

- ▶ バックアップを保存する
- ▶ バックアップの保存先を変更する

バックアップを保存する

1. オプションエリアの [バックアップの保存先] タブをクリックする

[バックアップの保存先] パネルが表示されます。

2. [ファイルのバックアップを保存する] にチェックを入れる



転送を開始すると、パソコンに転送したファイルのバックアップが自動的に保存されます。

初期設定のバックアップ保存先フォルダー

初期設定では、ファイルのバックアップは以下のフォルダー内の新規サブフォルダーに保存されます。

• Windows :

[(ユーザ名)] > [ピクチャ] > [Image Backup]

• Mac OS :

[ユーザ] > [(ユーザ名)] > [ピクチャ] > [Image Backup]

上記以外の保存先に変更するには下記「バックアップの保存先を変更する」をご覧ください。

バックアップの保存先を変更する

1. オプション表示エリアの [バックアップの保存先] にある [ファイルのバックアップを保存する] にチェックを入れる



2. [バックアップの保存先フォルダー:]の 💌 をクリックして [参照...]を選択する



フォルダーを選択する画面が表示されます。

3. バックアップを保存するフォルダーを選択し、[OK]をクリックする

選択したフォルダーが、バックアップの保存先に表示されます。

[転送先と同じ設定を使用する] チェックボックスについて

チェックを入れると、バックアップの保存先の設定を除く、新規サブフォルダーや転送後のファイル名についての設定が[転送先]パネルの設定と同じになります。

転送時にバックアップを保存する



▼ 転送先フォルダーとバックアップの保存先フォルダーが同じとき

バックアップの保存先として選択したフォルダーが [転送先] パネルで選択した転送先フォル ダーと同じフォルダーの場合、警告が表示され、バックアップは保存されません。また、バック アップの保存先フォルダーが転送先フォルダーの中にある場合(または転送先フォルダーが保存 先フォルダーの中にある場合)も警告が表示され、バックアップは保存されません。

関連項目

- ▶ 転送先フォルダーを選択する
- ▶ [バックアップの保存先] パネル

ホーム > ファイルを転送する > 転送機能を活用する > 転送時にメタデータを調整ファイルとして保存する

転送時にメタデータを調整ファイルとして保存する

Nikon Transfer 2 では、画像を転送するとき、メタデータ(XMP/IPTC 情報)を調整ファイルとして、 画像とは別のファイルに保存できます。メタデータを調整ファイルとして保存するときは、 [環境設 定] パネルで設定します。

- 転送時にメタデータを調整ファイルとして保存できるのは、画像ファイルだけです。
- XMP/IPTC 情報を調整ファイルとして保存するときは、XMP/IPTC 情報の各項目を設定した 「XMP/IPTCプリセット」をあらかじめ登録してください。

XMP/IPTC情報とは

XMP/IPTC 情報とは、画像についてのキーワード、説明、タグなどの情報です。

- IPTC 情報とは国際新聞通信評議会(International Press Telecommunications Council)により制定された、出版業界および報道機関向けの、撮影画像に関連するデータ(作成日時、作成者、データ形式、タイトル、キーワードなど)の規格です。
- XMP(Extensible Metadata Platform)とは画像に関連するデータの規格で、Adobe 社により 提唱され、XML で記述されています。IPTC をはじめ、さまざまな情報も XMP ファイルとして 取り扱うことができます。
- ▶ XMP/IPTC プリセットを登録する
- ▶ 転送時に XMP/IPTC 情報を調整ファイルとして保存する

XMP/IPTC プリセットを登録する

1. オプション表示エリアから [環境設定] タブをクリックする

[環境設定] パネルが開きます。

2. [ファイルに付加情報を追加する] にチェックを入れる。

転送時にメタデータを調整ファイルとして保存する



3. [編集...] をクリックする



[XMP/IPTCプリセット]の管理画面が表示されます。

MP/IPTCJUセット				
			<てチョ	199
著作権のみ	■ 9 5			1
エキシビションゲーム 結婚式	ラベル	11 · 1/21×	Ø	
	レーティング	⊡ ★★★☆☆		
	キーワード			
	1219			1
	TACH			
	タイトル			
	著作權情報	(C)2018 (著作権所有者名), all rights reserved		
新規	■作成者			-
7820	作成者	(作成者名)		
AID8	作成者 没错	Nikonデジタルカメラユーザー		
白の項目にチェックマークを	作成者 住所			
「けると、フリセット適用後そ 「項目のデータは消去されま	作成者 市町村名			
le l			-	

• 管理画面の使いかたについては「XMP/IPTC プリセットの管理について」をご覧ください。

• XMP/IPTC プリセットの各項目の入力方法については「メタデータを編集する」をご覧くだ さい。

入力後 [OK] をクリックすると、 [XMP/IPTCプリセット] 画面が閉じ、XMP/IPTC プリ セットの登録状態が更新されます。

転送時に XMP/IPTC 情報を調整ファイルとして保存する

- 画像を転送するときに XMP/IPTC 情報を調整ファイルとして保存するには、登録されている XMP/IPTC プリセットを [XMP/IPTCプリセット:]メニューから選択します。
- XMP/IPTC 情報を調整ファイルとして保存しないときは、 [XMP/IPTCプリセット:] メニューから [なし]を選択します。

調整ファイルとして保存した XMP/IPTC 情報は転送後、ViewNX-i 画面で確認できます。 詳しくは「メタデータを表示する」をご覧ください。

レーティング設定機能があるカメラをお使いのとき

XMP/IPTC プリセットから [レーティング] の項目を読み込んだとき、カメラで設定したレーティングではなく、XMP/IPTC プリセットのレーティングが調整ファイルに保存されます。

カメラで設定したレーティングを調整ファイルに保存するときは、 [オリジナルファイルのレー ティング設定を適用する (機種限定)] にチェックを入れて登録してください。

		■ すべてチェッ
■ \$ Ű		
ラベル	1 • √9F	
レーティング	⊡ ★★★☆☆	
キーワード		
■説明		

ホーム > ファイルを転送する > 転送機能を活用する > 転送先フォルダーを他のアプリケー ションで開く

転送先フォルダーを他のアプリケーションで開く

ファイルの転送が完了すると、初期設定では ViewNX-i 画面が自動で開き、転送したファイルが表示されます。

ファイル転送後に起動するアプリケーションを変更できます。変更するには、オプションエリアの [環 境設定] パネルで設定します。

1. オプションエリアから [環境設定] タブをクリックする

[環境設定]パネルが表示されます。[転送後、転送先フォルダーを次のアプリケーションで開く:]にチェックが入っていることを確認します。



2. 💌 をクリックして一覧からアプリケーションを選択する

一覧にないアプリケーションは、 [参照...] を選択して表示される画面で選択できます。

Windows では、さらにアプリケーション選択画面の [その他...] をクリックして、選択画面にはないアプリケーションを選択することもできます。

関連項目

▶ [環境設定] パネル

ホーム > ファイルを転送する > デバイスの接続と起動について

デバイスの接続と起動について

- Nikon Transfer 2 をダイアログから起動する(Windows)
- Nikon Transfer 2 起動について(Mac OS)
- ▶ [常に選択した動作を行う]の設定を解除するには(Windows)

デバイス登録の確認(Windows のみ)

通常では、カメラは ViewNX-i がインストールされたパソコンに最初に接続されたときに、自動的に Windows のデバイス マネージャーに登録されます。

ViewNX-i をインストールしたパソコンにカメラが正しく認識されない場合は、カメラが正しく登録されていないことが考えられます。ご使用の OS とカメラをお確かめの上、該当するデバイス登録の確認手順をご覧ください。

▶ デバイス登録の確認(Windows)

ホーム > ファイルを転送する > デバイスの接続と起動について > Nikon Transfer 2 をダイ アログから起動する (Windows)

Nikon Transfer 2 をダイアログから起動する (Windows)

カメラやメモリーカードを接続したときに操作を選択する画面が表示された場合は、表示されたダイア ログから Nikon Transfer 2 を起動できます。

Nikon Transfer 2 を単体で起動する場合は、「Nikon Transfer 2 の起動と終了」をご覧ください。

1. カメラとパソコンを接続し、カメラの電源をオンにする

ダイアログが表示されます。



2. ダイアログをクリックする

カメラに対して行う操作を選択する画面が表示されます。接続したカメラによって、表示される 内容が異なります。



3. [画像ファイルを取り込む Nikon Transfer 2] をクリックする

Nikon Transfer 2 が自動的に起動します。

[画像ファイルを取り込む Nikon Transfer 2] をクリックすると、次回起動時から Nikon Transfer 2 が自動的に起動するようになります。

この設定を解除するには、「[常に選択した動作を行う]の設定を解除するには(Windows)」 をご覧ください。

▼ ダイアログを表示するには

[自動再生]の設定画面で[デバイス]のカメラ名の項目を[毎回動作を確認する]に設定する 必要があります。

詳しくは「**[常に選択した動作を行う]の設定を解除するには(Windows)**」をご覧ください。

ホーム > ファイルを転送する > デバイスの接続と起動について > Nikon Transfer 2 起動について (Mac OS)

Nikon Transfer 2 起動について(Mac OS)

常に Nikon Transfer 2 を起動させるには、 [イメージキャプチャ] アプリケーションを起動して、カメ ラやメモリーカードを接続したときに開くアプリケーションとして Nikon Transfer 2 を設定してくださ い。

1. カメラを接続して [イメージキャプチャ] を起動する

[イメージキャプチャ] が起動します。

2. カメラを選択して、 [このカメラを接続時に開くアプリケーション:]から [その他...]を選択 する

		イメージキャフ	197				
954FX		6.0	80	011	v 271	(2045	-
		DSC_0827	JPG	2014/12/03 10:00:10		145 KB	2.464
		DSC_0825	09L	2014/12/03 10:00:06		145 KB	2,464
		DSC_0826	JPG	2014/12/03 10:00:06		145 KB	2,464
14.14							
20 A×9 を展開時に開くアプリテーション: (著 <メージキ+プチ+ 日本)	5 8000t:	💼 ビクチャ		3 (104		すべてを読み	λ0)
8			3 80				·

3. Nikon Transfer 2を選択して [OK] をクリックする

カメラを接続するとNikon Transfer 2が自動的に起動するようになります。接続するカメラやメ モリーカードごとに、この設定を行う必要があります。

Nikon Transfer 2 を単体で起動する場合は、「Nikon Transfer 2 の起動と終了」をご覧ください。

ホーム > ファイルを転送する > デバイスの接続と起動について > [常に選択した動作を行う] の設定を解除するには (Windows)

[常に選択した動作を行う] の設定を解除するには (Windows)

- 1. [スタート] ボタンを右クリックして「コントロールパネル」を選択する。
- **2. [ハードウェアとサウンド] [自動再生] を選択し、 [自動再生] ウィンドウを開く** [自動再生] の設定画面が表示されます。
- 3. [カメラ ストレージ] の項目または [デバイス] のカメラ名の項目を [毎回動作を確認する] に する

18X±			- 0	×
- + + Mi + 2/10-5/095 + 1	ハーデウエアとラウンド + 自動用生		= 6 3240-57750WW	. #
それぞれの確認のメディアまたは	デバイスを挿入したとき自動作を選択してください			0
日本へてのメディアとデバイスで意動再生が	E#300			
14-175-1917				
- 10-1076 PH/7	RELEMPS	~		
□ あがらびかくためを見たれたあた	t arwi			
H 174+	RELEASE	2		
¥ (71	RELATE	-		
🖉 ta-Styff	REEMPER	1		
※ 単なしたエンデンド	RELATES			
8/9396-9				
18 AU12-F	MREAMY2	-		
	第第2015年間(法長期)法長(Makon Taraher 2) 第第2017年時の(1月)上の(1))			
DVD	高王 (Writing Madia Player).			
∰ 0×0.1-€-	同ちしない フォルダーを聞いてファイルを表示(エクスアローラー)			
(唐 田岡 DiO &-E-	#ID71#212			
Q 20.0VD	RESERVE			
∰ DVD #-Fet	RELEFIC	~		
78-64 9127				
# 72-64 9423 b-E-	RECEPTION			
(i) wate-Let #43.9	Messies.			_
			#85 912250	

4. [保存] をクリックする

[常に選択した動作を行う]の設定が解除されます。

ホーム > ファイルを転送する > デバイスの接続と起動について > デバイス登録の確認

(Windows)

デバイス登録の確認(Windows)

以下の手順で、カメラの登録が正しく行われているかを確認してください。ここでは、機種名をXXXと 記載します。

1. パソコンを起動し、Administrator(管理者)権限を持つアカウントでログオンする

2. [スタート] ボタンを右クリックして「コントロールパネル」を選択する。

3. [ハードウェアとサウンド] - [デバイス マネージャー] の順に選択する

[デバイス マネージャー] 画面が表示されます。

4. [ポータブル デバイス]の横にある 🕟 をクリックする

[ポータブル デバイス]の下に [XXX] が表示されます。



5. [XXX] をダブルクリックする

[XXXのプロパティ] 画面が表示されます。 [全般] パネルにある [デバイスの状態] に、 [このデバイスは正常に動作しています。] が表示されていることを確認し、 [OK] をクリックして [XXX のプロパティ] 画面を閉じてください。

===のプロパティ					×
全般 ドライバ	- 詳細	イベント	電源の管理		
デバ	イスの種類:	ポー:	タブル デバイス		
製造	元:	Nike	on Corporation		
場所	2	Por	t_#0003.Hub_#000	4	
デバイスの状態	¢		1		
たのデバイス	は正常に動作	しています	0		0
					0
				~	العليدينا
3				UK	477210

6. [デバイス マネージャー] を閉じる

▼ [XXX] が [その他のデバイス] として表示されている場合

[XXX] を削除して、カメラの電源を入れなおしてください。

ホーム > ファイルを転送する > Nikon Transfer 2 オプションパネル

Nikon Transfer 2 オプションパネル

ファイルを転送するときの、各種設定ができます。

- ▶ [転送元] パネル
- ▶ [転送先] パネル
- ▶ [バックアップの保存先] パネル
- ▶ [環境設定] パネル

ホーム > ファイルを転送する > Nikon Transfer 2 オプションパネル > [転送元] パネル

[転送元] パネル

[転送元] パネルでは、ファイルの転送元を選択できます。



[表示対象]

[転送元] パネルに表示されるデバイスの種類を選択できます。

デバイスボタン

接続したデバイス名のボタンが自動的に表示されます。

- □ カメラ以外の接続について
- □□ 転送元について

ホーム > ファイルを転送する > Nikon Transfer 2 オプションパネル > [転送先] パネル

[転送先] パネル

[転送先]パネルでは、ファイルの転送先フォルダーや、転送中にファイル名を自動で変更する機能を 設定できます。



1

[転送先フォルダー:]

ファイルを転送するフォルダーを表示します。新しいフォルダーを選択するときは、 💌 をクリッ クして、一覧から [参照...] を選択します。

□□ 転送先フォルダーを選択する

2

転送先フォルダーのサブフォルダーの設定

転送時に、転送先フォルダー内にサブフォルダーを作成できます。

📖 転送先フォルダーを選択する

3

[転送中に名前を変更する]

チェックを入れると、転送時にファイル名を自動で変更できます。

[編集...]をクリックすると、[ファイル名の作成ルール]画面が表示され、ファイル名を変更するルールを設定できます。ルールを設定すると、[編集...]ボタン左のテキストボックスにサンプルが表示されます。

📖 転送時にファイル名を変更する

📖 ファイル名の作成ルール

ホーム > ファイルを転送する > Nikon Transfer 2 オプションパネル > [バックアップの保存先] パネル

[バックアップの保存先] パネル

[バックアップの保存先] パネルでは、転送するファイルのバックアップについて設定できます。



1

[ファイルのバックアップを保存する]

チェックを入れると、通常の転送と同時に、転送するファイルのバックアップを作成します。 バックアップは別のフォルダーやドライブに転送できます。

📖 転送時にバックアップを保存する

[バックアップの保存先フォルダー:]

バックアップの保存先フォルダーが表示されます。他のフォルダーを選択するときは、 ■ をク リックして、一覧から [参照...]を選択します。

[転送先と同じ設定を使用する]

チェックを入れると、バックアップの保存先の設定を除く、新規サブフォルダーや転送後のファ イル名についての設定が[転送先]パネルの設定と同じになります。

2

[転送のたびにバックアップの保存先フォルダーに新規サブフォルダーを作成する]

チェックを入れると、バックアップの保存先フォルダー内にサブフォルダーを作成し、そのサブ フォルダーにファイルを転送します。

[編集...]をクリックすると、[ファイル名の作成ルール]画面が表示され、フォルダー名を変更 するルールを設定できます。ルールを設定すると、[編集...]ボタン左のテキストボックスにサン プルが表示されます。

[同じ名前のサブフォルダーがすでにあれば使用する]

チェックを入れると、設定した名前と同じ名前のサブフォルダーがすでにあるときは、そのサブ フォルダー内にファイルが転送されます。ただし、ファイルのファイル名が重複する場合は、 ファイル名に連番が自動的に追加されます。

[カメラで指定したフォルダーに分けて転送する]

チェックを入れると、カメラに記憶された状態のまま(「100NIKON」「NCFL」などのフォル ダーごと)、新規サブフォルダー内に転送されます。

カメラから転送された位置情報ログおよび高度情報ログ、水深情報ログは「NCFL」フォルダー、または「GNSS」フォルダーに保存されます。カメラの機種によってログファイルの転送にカードリー

ダーが必要な場合があります。

ログファイルの転送について詳しくは、お使いのカメラの使用説明書をご覧ください。

▼ 転送先フォルダーとバックアップの保存先フォルダーが同じとき

バックアップの保存先フォルダーとして選択したフォルダーが [転送先] パネルで選択した転送 先フォルダーと同じフォルダーの場合、警告が表示され、バックアップは保存されません。ま た、バックアップの保存先フォルダーが転送先フォルダーの中にある場合(または転送先フォル ダーが保存先フォルダーの中にある場合)も警告が表示され、バックアップは保存されません。 ホーム > ファイルを転送する > Nikon Transfer 2 オプションパネル > [環境設定] パネル

[環境設定] パネル

[環境設定] パネルでは、Nikon Transfer 2 の起動と終了について、また転送する画像の調整ファイル を保存するための設定ができます。

₹ 1750 8886		転送税: CHOenikaeRhohmaRikan Tande 2
KURE KURE, 1600-70180 K (BHURE) 204-60702044648955 304/070270241 305 48	■ FLC19+(AdMEETS ちょうほうかに、たらの日月10時日エイムーラーにより考え 10月	
1	2 NERTE 65-REIDHCOMBIS	3

1

[ファイルに付加情報を追加する]

チェックを入れると転送するときに、画像とは別に調整ファイルを保存します。以下の [XMP/IPTCプリセット]、[オリジナルファイルのレーティング設定を適用する(機種限定)] を設定できます。

💴 転送時にメタデータを調整ファイルとして保存する

[XMP/IPTCプリセット:]

選択した XMP/IPTC プリセットを表示します。 E をクリックすると、登録されている XMP/IPTC プリセットのリストが表示されます。

[編集...]をクリックすると、XMP/IPTC プリセットの管理画面が表示されます。

□□ 転送時にメタデータを調整ファイルとして保存する

[オリジナルファイルのレーティング設定を適用する (機種限定)]

チェックを入れると、カメラで設定したレーティング情報が優先されます。

2

[新しいファイルのみ転送する]

チェックを入れると、すでに転送されているファイルは[転送開始]ボタンをクリックしても転送されません。

[カメラ接続時に、カメラの日付と時刻をコンピューターに合わせる(機種限定)]

チェックを入れると、カメラを接続したときに自動的に、カメラの日時設定をパソコンの日時設定に合わせます。また[同期]ボタンをクリックすると、現在カメラが接続されているとき、その場でカメラの日時設定をパソコンに合わせることができます。この機能は、パソコンからの時刻設定をサポートしているカメラを MTP/PTP (PTP)で接続したときだけ使用できます。 Mac OS の[システム環境設定]から「言語と地域]で、[暦法:]を[西暦(グレゴリオ暦)] 以外に設定されている場合、カメラへの日時設定は行えません。

[転送完了後、もう一方のスロットに切り換える]

チェックを入れると、1枚目のカードのファイル転送が終了した後、2枚目のカードのファイル 転送を行うかどうかを確認するアラートが表示されます。この機能は、2つのカードスロットを 持つカメラを MTP/PTP(PTP)で接続したときだけ使用できます。

3

[転送後、接続を自動的に解除する]

チェックを入れると、ファイルの転送完了後にカメラまたはメモリーカードの接続を自動的に解除します。

[転送後、元ファイルを削除する]

チェックを入れると、転送されたファイルがカメラやメモリーカードから削除されます。転送されなかったファイルと、カメラでプロテクトがONに設定されているファイルは削除されません。 チェックをはずすと、転送したファイルはカメラやメモリーカード内に残ります。 初期設定では、このオプションはオフです。

[転送後、転送先フォルダーを次のアプリケーションで開く:]

チェックを入れると、ファイルの転送完了後に 💌 で選択したアプリケーションが自動的に起動 します。初期設定では、 [ViewNX-i] が選択され、転送が完了すると ViewNX-i 画面で転送先 フォルダーが開きます。

起動するアプリケーションを変更するには、「**転送先フォルダーを他のアプリケーションで開く**」 をご覧ください。

[新しいファイルのみ転送する] にチェックが入っていて、カメラやメモリーカード内の画像がす べて転送済みのときは、アプリケーションは自動的に起動しません。

▼ マスストレージ接続時の「転送後、接続を自動的に解除する」設定について

複数のメモリーカードが挿入されたマスストレージ機器をパソコンに接続して転送する場合、接続時にそれらのメモリーカードがデバイスボタンに表示されます。

「転送後、接続を自動的に解除する」が選択されていると、転送完了後に、それらすべてのメモ リーカードの接続が解除されます。

このため、複数のメモリーカードのデータを続けて転送する場合は、「転送後、接続を自動的に 解除する」の選択を解除してから操作を実行してください。

ホーム > ファイルを転送する > Nikon Transfer 2 のメニュー一覧

Nikon Transfer 2 のメニュー一覧

Nikon Transfer 2 で使用できるメニューの一覧です。

- ▶ [ファイル] メニュー (Windows のみ)
- ▶ [編集] メニュー
- ▶ [表示] メニュー
- [ウィンドウ] メニュー
- ▶ [ヘルプ] メニュー
- ▶ [Nikon Transfer 2] メニュー (Mac OS のみ)

[ファイル] メニュー (Windows のみ)

[終了]

Nikon Transfer 2 を終了します。 Image: Ctrl + Q (Windows)

[編集] メニュー

[元に戻す] (Windows) / [取り消す] (Mac OS)

現在の操作を取り消して、ひとつ前の操作に戻ります。 Windows) / Command + Z (Mac OS)

[やり直す] (Mac OS のみ)

取り消しの操作を取り消します。 Command + Shift + Z (Mac OS)

[切り取り] (Windows) / [カット] (Mac OS)

選択している内容を切り取ります。

Ctrl + X (Windows) / Command + X (Mac OS)

[コピー]

選択している内容をクリップボードにコピーします。 Weight Ctrl + C (Windows) / Command + C (Mac OS)

[貼り付け] (Windows) / [ペースト] (Mac OS)

切り取りまたはコピーした内容を貼り付けます。

Ctrl + V (Windows) / Command + V (Mac OS)

選択している内容を削除します。

[ファイルを選択]

特定の条件に合うファイルだけを選択します。

□□ 特定の条件に合うファイルを選択する

[すべて選択] (Windows) / [すべてを選択] (Mac OS)

すべてのファイルを選択します。

Ctrl + A (Windows) / Command + A (Mac OS)

[選択解除]

ファイルの選択を解除します。

[音声入力を開始...] (Mac OS のみ)

音声入力を開始します。

[表示] メニュー

[カテゴリー別表示]

画像表示エリアの画像をフォルダー、拡張子、日付ごとに表示します。

カテゴリーごとにサムネイルを表示する

[最新の情報に更新] (Windows のみ)

デバイスボタンの表示を更新します。

F5+- (Windows)

[フルスクリーンにする] / [フルスクリーンを解除] (Mac OS のみ)

画面全体に表示と元のサイズで表示を切り替えます。

[ウィンドウ] メニュー

[オプション]

オプションエリアの表示/非表示を切り替えます。

[サムネイル]

サムネイル表示エリアの表示/非表示を切り替えます。

[転送キュー]

転送キューの表示/非表示を切り替えます。

[ヘルプ] メニュー

[Nikon Transfer 2ヘルプ]

このヘルプを表示します。

F1 (Windows)

[ソフトウェアのアップデート...]

インターネットを通じて、Nikon Transfer 2 のアップデートの有無を確認します。

[バージョン情報...]

Nikon Transfer 2 のバージョン情報画面を表示します。バージョン情報画面を閉じるには、画面の 任意の位置をクリックします。

[Nikon Transfer 2] メニュー (Mac OS のみ)

[Nikon Transfer 2について]

Nikon Transfer 2 のバージョン情報画面を表示します。バージョン情報画面を閉じるには、画面の 任意の位置をクリックします。

[サービス]

別のアプリケーションの機能を利用できます。

[Nikon Transfer 2を隠す]

Nikon Transfer 2を非表示にします。

[ほかを隠す]

Nikon Transfer 2以外のアプリケーションを非表示にします。

[すべてを表示]

実行中のすべてのアプリケーションを表示します。

[Nikon Transfer 2を終了]

Nikon Transfer 2 を終了します。

Command + Q (Mac OS)

ホーム > ファイルを転送する > 転送時に問題が発生したら

転送時に問題が発生したら

- Nikon Transfer 2 が自動的に起動しない
- ▶ CD や DVD をパソコンに挿入しても [転送元] パネルに表示されない
- ファイルが転送されない
- サムネイル画像が表示されない
- ▶ 画像の転送が完了しても ViewNX-i 画面が開かない

Nikon Transfer 2 が自動的に起動しない

- カメラやリムーバブルディスクがデバイスとして認識されていますか?(Windows のみ)
 「デバイスの接続と起動について」をご覧ください。
- Windows をご使用のとき、カメラやリムーバブルディスクを接続したときの設定が[何もしない]
 になっていませんか?

以下の方法で設定を変更してください。

[自動再生] 画面で [カメラ ストレージ] またはカメラ名の [デバイス] 項目を [毎回動作を確認する] に変更してください。 [自動再生] 画面を表示するには、「**[常に選択した動作を行う] の設定** を解除するには(Windows)」をご覧ください。

• Mac OS をご使用のとき、 [イメージキャプチャ] アプリケーションの設定で、Nikon Transfer 2 が選択されていますか?

Mac OS の [イメージキャプチャ] アプリケーションを起動して、カメラやメモリーカードを接続したときに開くアプリケーションとして Nikon Transfer 2 を設定してください。

CD や DVD をパソコンに挿入しても [転送元] パネルに表示されない

Nikon Transfer 2 は、CD や DVD、ハードディスクから他のハードディスクへのファイルの転送はサポートしていません。OS 付属の転送ツールを用いるか、またはファイルをパソコンに直接コピーしてください。

ファイルが転送されない

- **[転送元] パネルにカメラやメモリーカードのデバイスボタンが表示されていますか?** 表示されていない場合は、カメラの電源がオンになっているか、ケーブルがきちんと接続されている か、カードリーダーやカードスロットにメモリーカードがきちんと挿入されているかを確認してくだ さい。
- [転送元] パネルで、転送したい画像が記録されたカメラやメモリーカードのデバイスボタンがオフ になっていませんか?

カメラやリムーバブルディスクのデバイスボタンをクリックしてオンにしてください。

サムネイル画像が表示されない

 イメージダストオフデータ(拡張子「.ndf」)、単独の音声ファイル(拡張子「.wav」)、位置情報 ログファイル(拡張子「.log」)、高度情報ログファイル(拡張子「.lga」)、水深情報ログファイル (拡張子「.lgb」)は、サムネイル表示エリアではアイコンで表示されます。

画像の転送が完了しても ViewNX-i 画面が開かない

- [環境設定] パネルで以下の設定がされているかを確認してください。
 - [転送後、転送先フォルダーを次のアプリケーションで開く:] にチェックが入っている
 - アプリケーションの選択メニューで [ViewNX-i] が選択されている

• カメラやメモリーカード内の画像がすべて転送済みの画像ではありませんか?

[新しいファイルのみ転送する] にチェックが入っていて、画像がすべて転送済みのとき は、ViewNX-i 画面やその他のアプリケーションは起動しません。 詳しくは「転送先フォルダーを他のアプリケーションで開く」、「[環境設定]パネル」をご覧くだ さい。 ホーム > ファイルを見る、分類する

ファイルを見る、分類する

ViewNX-i メイン画面の機能について説明しています。

ワークスペースの切り替え、パレットの表示、表示モードの切り替えなど、ViewNX-i 画面の基本操作 については「ViewNX-i 画面の基本操作」をご覧ください。

ViewNX-i 画面の見かた

画面の見かた、アイコンやボタンについて説明しています。

ViewNX-i 画面のツールについて

画像の回転、ヒストグラムの表示、動画や音声ファイルの再生など、各種ツールの使いかたについて説 明しています。

ファイル操作

エクスプローラーや Finder と同じような操作で、ファイル、フォルダーの移動、コピー、削除、プロテクトができます。

画像に埋め込まれた情報を見る/編集する

画像を分類したり、評価したりするために、画像にラベル、レーティングを設定できます。 撮影時のカメラの設定情報を確認したり、画像についてのキーワードや説明などの情報を編集したりで きます。

環境設定

▶ ViewNX-i 画面のオプション/環境設定

ViewNX-i の環境設定ができます。

メニュー一覧

▶ ViewNX-i 画面のメニュー一覧

ViewNX-i で使用できるメニューの一覧です。

ホーム > ファイルを見る、分類する > ViewNX-i 画面の見かた

ViewNX-i 画面の見かた

ViewNX-iの画面各部について、表示モードごとに説明します。

表示モードについて

表示モードは、ViewNX-i 画面左上の表示モード切り替えメニューで変更します。



詳しくは「ViewNX-i 画面の基本操作」をご覧ください。

- ▶ [サムネイルー覧表示] / [サムネイル詳細表示] モード
- [イメージビューアー] モード
- ▶ [全画面表示] モード
- ▶ [2画像比較] モード
- サムネイルに表示するアイコンの見かたについては「サムネイルの構成」をご覧ください。

[サムネイル一覧表示] / [サムネイル詳細表示] モード
ViewNX-i 画面の見かた



1

メニューバー

各モードで使用できるメニューを表示します。

2

ワークスペースタブ

ワークスペースを切り替えます。画像を見る、地図を表示するなど目的に合わせて、画面のレイ アウトを選択できます。

□ ViewNX-i 画面の基本操作

3

ツリーボタン

お気に入りフォルダーエリアおよびフォルダーエリアの表示をコントロールします。

4

ナビゲーションパレット

ファイルやフォルダーの管理に使用します。お気に入りフォルダーエリア、フォルダーエリアと 絞り込みリストエリアで構成されます。

5

アウトプットバー

各出力機能を選びます。

💴 アウトプットバーをカスタマイズする

ツールバー

よく使うツールをボタンで表示します。表示項目は、ツールバーの上にマウスカーソルを置き、 右クリック(Mac OS は Control キーを押しながらクリック)するとカスタマイズできます。

7

フィルターバー

条件を設定して、その条件に合うファイルだけを表示できます。フィルターバーは [絞り込み] をクリックして、表示/非表示を切り替えます。

8

画像表示エリア

サムネイル(縮小画像)を表示します。

9

フォトトレイ

保存場所を変更しないで画像を一時的に登録できます。

ViewNX-i 画面の基本操作

10

画像調整/メタデータパレット

メタデータやヒストグラムなどの情報表示や、画像の調整ができます。

[イメージビューアー] モード



各モードで使用できるメニューを表示します。

2

ワークスペースタブ

ワークスペースを切り替えます。画像を見る、地図を表示するなど目的に合わせて、画面のレイ アウトを選択できます。

ViewNX-i 画面の基本操作

3

ツリーボタン

お気に入りフォルダーエリアおよびフォルダーエリアの表示をコントロールします。

4

ナビゲーションパレット

ファイルやフォルダーの管理に使用します。お気に入りフォルダーエリア、フォルダーエリアと 絞り込みリストエリアで構成されます。 フィルターバーは [絞り込み] をクリックして、表示/非表示を切り替えます。

5

アウトプットバー

各出力機能を選びます。表示内容はカスタマイズできます。 アウトプットバーをカスタマイズする

6

ツールバー

よく使うツールをボタンで表示します。表示項目は、ツールバーの上にマウスカーソルを置き、 右クリック(Mac OS は Control キーを押しながらクリック)するとカスタマイズできます。

7

イメージコントロールバー

RAW画像の表示の変更、ヒストグラムなどの情報の表示切り替えなどができます。

8

フィルムストリップ

サムネイルを一列に表示します。

ViewNX-i 画面の基本操作

画像表示エリア

拡大した画像、動画を表示します。

10

画像操作ツールパレット

画像表示エリア上でマウスカーソルが動くときに表示されます。

11

画像調整/メタデータパレット

メタデータやヒストグラムなどの情報表示や、画像の調整ができます。

[全画面表示] モード



1

イメージコントロールバー

RAW画像の表示の変更、ヒストグラムなどの情報の表示切り替えなどができます。

2

ツリーボタン

お気に入りフォルダーエリアおよびフォルダーエリアの表示をコントロールします。

3

ナビゲーションパレット

ファイルやフォルダーの管理に使用します。お気に入りフォルダーエリア、フォルダーエリアと 絞り込みリストエリアで構成されます。

4

フィルムストリップ

ViewNX-i 画面の見かた

サムネイルを一列に表示します。

□ ViewNX-i 画面の基本操作

5

画像表示エリア 拡大した画像、動画を表示します。

6

画像操作ツールパレット

表示位置にマウスカーソルを重ねると表示されます。

7

画像調整/メタデータパレット

メタデータやヒストグラムなどの情報表示や、画像の調整ができます。

[2画像比較] モード



1

メニューバー

各モードで使用できるメニューを表示します。

2

ワークスペースタブ

ワークスペースを切り替えます。画像を見る、地図を表示するなど目的に合わせて、画面のレイ アウトを選択できます。

ViewNX-i 画面の基本操作

3

ツリーボタン

お気に入りフォルダーエリアおよびフォルダーエリアの表示をコントロールします。

4

ナビゲーションパレット

ファイルやフォルダーの管理に使用します。お気に入りフォルダーエリア、フォルダーエリアと 絞り込みリストエリアで構成されます。

5

アウトプットバー

各出力機能を選びます。表示内容はカスタマイズできます。 アウトプットバーをカスタマイズする

6

ツールバー

よく使うツールをボタンで表示します。表示項目は、ツールバーの上にマウスカーソルを置き、 右クリック(Mac OS は Control キーを押しながらクリック)するとカスタマイズできます。

7

イメージコントロールバー

RAW画像の表示の変更、ヒストグラムなどの情報の表示切り替えなどができます。

8

画像表示エリア

2つの異なる画像を表示できます。画像を表示したいエリアを選択した後、フィルムストリップの 画像をクリックします。

9

フィルムストリップ

サムネイルを一列に表示します。 つ ViewNX-i 画面の基本操作

10

画像調整/メタデータパレット

メタデータやヒストグラムなどの情報表示や、画像の調整ができます。

ホーム > ファイルを見る、分類する > ViewNX-i 画面の見かた > ツールバー

ツールバー

よく使うツールをボタンで表示します。

		1 × 1 × 1 × 1
CONTRACTOR OF	an a b c ta c shine Ministria	11 AND 10

[]

表示しているサムネイルおよび画像にフォーカスポイントを表示します。

5 0

表示している画像をそれぞれの方向に回転します。

F / **F**

撮影したときに同時記録された RAW 画像(NEF、NRW)と JPEG 画像をひとつのファイルとして扱ったり、個別のファイルとして扱ったりします。

📖 同時記録画像の表示を切り替える

連写パッケージやスマートフォトセレクター表示画像をひとつのファイルとして扱ったり、個別のファイルとして扱ったりします。

📖 グループ画像の表示を切り替える

(並べ替え選択メニュー)

画像表示エリア、フィルムストリップのサムネイルを並べ替えます。

💷 画像を並べ替える

[絞り込み]

フィルターバーの表示/非表示を切り替えます。 ファイル形式を選択して表示する

≙

画像表示エリアに表示中の画像をフォトトレイに登録します。

■ <u>· · • • · · · •</u> ■

表示しているサムネイルを拡大/縮小します。

面

選択または表示しているファイルまたはフォルダーを削除します。 [全画面表示] モードのと きは表示している画像や動画ファイルを削除します。

$\leftrightarrow \rightarrow$

[ナビゲーション] パレットおよび [画像調整/メタデータ] パレットの開閉を切り替えます。

◀ / ▶

画像表示エリアやフィルムストリップで、現在選択しているひとつ前 / 後のファイルやフォル ダーを選択します。 [全画面表示] モードのときは、現在のフォルダー内でひとつ前 / 後の画 像や動画ファイルを表示します。 ホーム > ファイルを見る、分類する > ViewNX-i 画面の見かた > ツリーボタン

ツリーボタン

現在開いているフォルダーの移動など、お気に入りフォルダーエリアおよびフォルダーエリアの表示を コントロールします。





ひとつ前に表示していたフォルダーを表示します。



▲ をクリックしてひとつ前に表示していたフォルダーに戻ったとき、 ● をクリックすることでひとつ先のフォルダーを表示します。

Û

現在表示しているフォルダーのひとつ上の階層のフォルダーを表示します。

-0

クリックするとお気に入りフォルダーのリストを開きます。リストからフォルダーを選択して、そのフォルダーに移動できます。

お気に入りフォルダーには、よく開くフォルダーやドライブを登録できます。また一部の二コ ン製ソフトウェアがインストールされているときは、 [Transfer転送先フォルダー] などが自 動的に登録されます。

📖 お気に入りフォルダーを登録する

ホーム > ファイルを見る、分類する > ViewNX-i 画面の見かた > フィルターバー

フィルターバー

フィルターバーはツールバーの [絞り込み] をクリックして、表示/非表示を切り替えます。条件を設定 して、その条件に合うファイルだけを表示(フィルター表示)できます。

フィルター表示しているときに、 [絞り込み] をクリックしてフィルターバーを非表示にすると、一時 的にフィルター表示を解除できます。



0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

設定されたラベルを選択して、サムネイルを表示します。

📖 ラベルで見る

⊗ö★★★★★

(ファイル形式選択メニュー)

ファイル形式を選択して、サムネイルを表示します。 また[動画のみ]、[音声レコードを表示]を選択して、動画ファイルまたは音声ファイルの 表示/非表示を切り替えます。

□□ ファイル形式を選択して表示する

[検索:]

キーワードを入力して Enter キー(Mac OS は return キー)を押すと、キーワードを持つ ファイルだけを表示します。

[すべてクリア]

フィルターバーのフィルター設定をすべて解除します。

ホーム > ファイルを見る、分類する > ViewNX-i 画面の見かた > イメージコントロールバー

イメージコントロールバー

イメージコントロールバーは、表示モードが [イメージビューアー]、 [全画面表示]、 [2画像比 較]、 [別画面で全画面表示] モードのときに表示されます。

画像の表示倍率の変更、ヒストグラムなどの情報の表示切り替えなどができます。



RAW

画像表示エリアに RAW 画像を表示しているとき、RAW 画像内のプレビュー(簡易表示)と RAW データを切り替えて表示します。 RAW のときは、RAW 画像内のプレビュー(簡易表示)を表示します。

RAW のときは、設定されている調整値で RAW 画像を表示します。

RAW画像を表示する

C / C

[2画像比較] モードのときのみ表示されます。 C のときは比較画像の表示位置や拡大倍率が 同期します。

(ファイル名)

表示している画像や動画ファイルのファイル名と、画像の現在の表示倍率を表示します。 同時記録された RAW 画像(NEF、NRW)と JPEG 画像をひとつのファイルとして表示してい るときは、ファイル名の右に(NEF+JPEG)または(NRW+JPEG)と表示されます。

(座標、RGB 値)

画像表示エリアの画像内にマウスカーソルがあるとき、その位置の座標と RGB 値を表示します。

i

表示している画像の撮影日、撮影した機種、ファイル容量などの主要な情報を画像表示エリアの左上に表示します。同時記録された RAW 画像(NEF、NRW)と JPEG 画像は、RAW 画像ファイルの情報を表示します。

📖 画像情報を表示する

B....

表示している画像のヒストグラムを、画像表示エリアの右上に表示します。ボタン右の ■ をク リックして [RGB] 、 [R/G/B] 、 [明度] から表示内容を選択します。 □ **ヒストグラムを表示する**

e / e / ‡

画像表示エリアで画像全体を表示したときに、表示方法を切り替えます。

📖 表示サイズを変更する

xq.5 x,1 x,2 x,4

■像表示エリアの画像を拡大/縮小表示します。
 □ 表示サイズを変更する

[全画面表示] モードのとき

[全画面表示]および [別画面で全画面表示] モードのときは、上記のコントロールに加えて以下のコ ントロールも表示されます。



₽

[全画面表示] モードを終了し、直前の表示モードに戻ります。

ホーム > ファイルを見る、分類する > ViewNX-i 画面の見かた > 画像操作ツールパレット

画像操作ツールパレット

表示モードが [イメージビューアー]、 [全画面表示] の場合、画面操作ツールパレットの表示位置に マウスカーソルを重ねると表示されます。フォトトレイへの画像登録、ラベルやレーティングの設定な どができます。



ォ

画像操作ツールパレットの常時表示のオン/オフを設定します。クリックして M に変わると画像操作ツールパレットは常時表示されます。

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

選択または表示中の画像にラベルを設定します。

05****

選択または表示している画像にレーティングを設定します。

2

画像表示エリアに表示中の画像をフォトトレイに登録します。

3 / C

表示している画像をそれぞれの方向に回転します。

◀ / ▶

画像表示エリアで現在選択しているひとつ前 / 後のファイルを選択します。

1/4

「現在選択しているファイルの順番/現在のフォルダー内の全ファイル数」の形式で表示します。

ホーム > ファイルを見る、分類する > ViewNX-i 画面の見かた > サムネイルの構成

サムネイルの構成

画像表示エリアやフィルムストリップのサムネイルには、ファイル名やラベル設定、レーティング設定 などの各種情報が表示されます。





1

サムネイル/アイコン

サムネイルまたはアイコンを表示します。

保存されている画像フォルダーの中にサブフォルダーがある場合に表示します。サブフォル ダーの表示する順番を変更できます。また、画像表示エリア、フィルムストリップにフォル ダーを表示しないように設定することもできます。設定については「ViewNX-i 画面のオプ ション/環境設定」/「サムネイル」をご覧ください。



イメージダストオフデータ(NDF)を示すアイコンです。 NDF は Capture NX シリーズの「イメージダストオフ機能」を使うために、ニコン製デジタル 一眼レフカメラおよびミラーレスカメラで取得したデータです。詳しくはカメラの使用説明書 や Capture NX シリーズのヘルプ、使用説明書をご覧ください。



カメラで記録した位置情報ログファイル(LOG)を示すアイコンです。位置情報ログファイル については「位置情報ログファイルを読み込む」をご覧ください。 TEA V

カメラで記録した高度情報ログファイル(LGA)を示すアイコンです。



カメラで記録した水深情報ログファイル(LGB)を示すアイコンです。

V

音声ファイル(WAV)を示すアイコンです。再生については「**音声ファイルを再生する**」をご 覧ください。

2

ラベル

設定したラベルを表示します。ラベルの設定と表示のしかたについては「**ラベルを付ける**」、 「**ラベルで見る**」をご覧ください。

3

編集済みアイコン

RAW 画像(NEF、RAW)の編集の有無を表示します。

/ / E

✔ は 画像がCapture NX-D、ViewNX-i、ViewNX 2、PictureProjectまたはCapture 4で編 集済みであることを示します。

■ は画像が Capture NX シリーズ(Capture NX-Dを除く)で編集済みであることを示します。

4

ファイル名

サムネイルのファイル名を表示します。

5

レーティング

設定したレーティングを表示します。レーティングの設定と表示のしかたについては「**レーティ** ングを割り当てる」、「レーティングで見る」をご覧ください。

6

状態アイコン

画像の状態を表示します。以下のアイコンが左から順に表示されます。

i.

XMP/IPTC情報が埋め込まれた画像です。XMP/IPTC 情報については「**メタデータを表示す** る」をご覧ください。

RAW 画像(NEF、NRW)と JPEG 画像を同時記録した画像です。

♪

音声メモ付きの画像です。音声メモについては「音声ファイルを再生する」をご覧ください。

3D

3D で撮影された MPO 画像です。

360

360度の画像または動画ファイルです。

떣 / 뭐

スマートフォトセレクター表示画像に表示されます。

🖼 は代表画像です。

🖫 は個別画像です。

モーションスナップショット画像に表示されます。MOV 形式で撮影されたモーションスナップ ショット画像には表示されません。

/ 54 / 111 / 120 / 130 / 156 / 270 / 380

クロップ撮影に対応したカメラの静止画モードで撮影された画像、および動画モードで撮影された静止画に表示されます。

🌃 は撮像範囲が縦横比3:2で撮影された静止画です。

國 は撮像範囲が縦横比5:4(30x24)で撮影された静止画です。

■ は撮像範囲が縦横比1:1(24x24)で撮影された静止画です。静止画モードでのみ撮影できます。

🔜 は焦点距離の約 1.2 倍相当の画角にクロップされた静止画です。

■ は DX フォーマットに対して焦点距離の約 1.3 倍相当の画角にクロップされた静止画です。

下記のアイコンは動画モードで撮影された静止画にのみ表示されます。

- 國 は焦点距離の約 1.5 倍相当の画角にクロップされた静止画です。
- 🔤 は焦点距離の約 2.7 倍相当の画角にクロップされた静止画です。
- 🔜 は焦点距離の約 3.0 倍相当の画角にクロップされた静止画です。

惈

動画ファイル(AVI、MP4、MOV、MPG、WMV)を示すアイコンです。再生については「動画 を再生する」、「その他のアプリケーションで動画を開く」をご覧ください。

₩n

については「撮影した動画に録音された AF 駆動音のノイズを低減する」をご覧ください。

簱 / 1.3 / 2.7*

🌃 は縦横比 3:2 にクロップされた動画です。

■ は DX フォーマットに対して焦点距離の約 1.3 倍相当の画角にクロップされた動画です。
■ は焦点距離の約 2.7 倍相当の画角にクロップされた動画です。

۲

位置情報が埋め込まれた画像です。位置情報については「位置情報を活用する(地図)」をご 覧ください。

О'n

プロテクトがかかっているファイルです。ファイルのプロテクトについては「**ファイルを保護 する(プロテクト)**」をご覧ください。

9

撮影後にカメラで編集された JPEG 画像です。

アクセスボタン

サムネイル画像にカーソルを重ねると、サムネイルの周辺に以下のアイコンが表示されます。



â

選択された画像をフォトトレイに登録します。

5 6

選択された画像をそれぞれの方向に回転します。

0

選択または表示中の画像にラベルを設定します。

뉶

選択または表示している画像にレーティングを設定します。

ホーム > ファイルを見る、分類する > ViewNX-i 画面のツールについて

ViewNX-i 画面のツールについて

表示に関する各種ツールの使いかたを機能ごとに説明しています。

▶ 表示サイズを変更する

画像表示エリアやフィルムストリップのサムネイルや画像を拡大/縮小表示できます。

同時記録画像の表示を切り替える

撮影するときに同時記録した RAW 画像(NEF形式) と JPEG 画像を、ひとつのファイルとして扱うことができます。

▶ グループ画像の表示を切り替える

画像表示エリアやフィルムストリップで、スマートフォトセレクター表示画像の代表画像表示と個別表示を切り替えて表示できます。

▶ ファイル形式を選択して表示する

画像表示エリアやフィルムストリップで、指定した形式のファイルだけを表示できます。また動 画、音声ファイルの表示/非表示を切り替えることもできます。

▶ 画像を並べ替える

サムネイルを名前順や撮影日順などに並べ替えることができます。

▶ 画像を回転する

画像表示エリアやフィルムストリップで、表示している画像を 90 度または 180 度回転できます。

► RAW画像を表示する

設定されている調整値の RAW データと、RAW 画像内のプレビュー(簡易表示)を切り替えて表示 できます。

▶ 白とびを表示する

露出オーバーしている部分を色分けして表示し、白とびを確認できます。

黒つぶれを表示する

露出アンダーしている部分を色分けして表示し、黒つぶれを確認できます。

▶ 音声ファイルを再生する

カメラで撮影したときに付けた音声メモや、COOLPIXの音声レコード機能で録音した音声データを 再生できます。

▶ 動画を再生する

動画を再生できます。

フォーカスポイントを表示する

カメラで撮影したときにピントが合った部分をサムネイルや画像に表示します。

ヒストグラムを表示する

[イメージビューアー] モード、 [全画面表示] モードで、赤(R)、緑(G)、青(B)の各チャンネルおよび明度の値の分布を示すグラフを、画像表示エリアの右上に表示できます。

▶ 画像情報を表示する

[イメージビューアー] モード、 [全画面表示] モードで画像、動画ファイルの撮影日、撮影した 機種、ファイル容量などの主要な情報を、画像表示エリアの左上に表示できます。

▶ 処理中のタスクを確認する

大量の画像をコピー、回転、調整などをしているとき、処理中の経過を確認したり、中止したりで きます。

アウトプットバーをカスタマイズする

アウトプットバーの表示/非表示、アウトプットバーに表示するボタンの種類を設定できます。

ホーム > ファイルを見る、分類する > ViewNX-i 画面のツールについて > 表示サイズを変更 する

表示サイズを変更する

画像表示エリアやフィルムストリップのサムネイルや画像を拡大/縮小表示できます。

- ▶ サムネイルを拡大/縮小表示する
- ▶ 画像を拡大/縮小表示する
- ▶ Shift キーで表示サイズを切り替える

サムネイルを拡大/縮小表示する

画像表示エリアやフィルムストリップのサムネイルを拡大/縮小表示できます。

画像表示エリアのサムネイルを拡大/縮小表示する

1. ツールバーの 🔲 または 同 をクリックする



- 🔲 をクリックすると、サムネイルが拡大表示します。
- をクリックすると、サムネイルが縮小表示します。

 サムネイルは、目盛りをクリックする、またはスライダーをドラッグしても拡大/縮小表示できます。

フィルムストリップのサムネイルを拡大/縮小表示する

1. フィルムストリップと画像表示エリアの境界線をドラッグする



その他の方法...

- [表示] メニューの [サムネイルサイズ] にカーソルを合わせ、変更したいサイズを選択する
- 画像表示エリア、またはフィルムストリップの任意の場所をクリックしてから、Ctrl キーを押し ながら「+」キーまたは「-」キーを押す(Windows のみ)
 Ctrl と「+」キーを押すと拡大表示します。Ctrlと「-」キーを押すと縮小表示します。

画像を拡大/縮小表示する

[イメージビューアー]、[全画面表示]、[2画像比較] モードのとき、画像表示エリアに表示してい る画像を拡大/縮小表示できます。

動画やイメージダストオフデータ(NDF)は拡大/縮小表示できません。

- 1. イメージコントロールバーの目盛りをクリックするか、 📷 / 📷 / ன を選択する
 - [イメージビューアー] モードの場合



 (全画面表示)の場合



画像表示エリアでの画像の表示について







目盛りの 📱 をクリックすると 🔟 / 🔟 のいずれかの選択している方法で画像全体を

表示します。

- [50%] をクリックすると実サイズの 50% の大きさで表示します。
- [100%] をクリックすると実サイズで表示します。
- [200%]、[400%]をクリックすると実サイズの200%、400%で表示します。

画像の拡大/縮小表示は以下の方法でもできます。

Ctrl と「+」キーを押すと拡大表示します。Ctrl と「-」キーを押すと縮小表示します。 • [表示] メニューの [ビューアー] にカーソルを合わせ、表示倍率、または画像全体を表示した

 ・ 「表示」メニューの「ビューアー」にカーソルを合わせ、表示倍率、または画像全体を表示した
 ときの表示方法を選択する

Shift キーで表示サイズを切り替える

[イメージビューアー]モードや [全画面表示] モードで、表示している画像の表示サイズを一時的に 変更します。

1. Shift キーを押すか、またはマウスをクリックする

- ・ 画像表示中にshiftキーを押すかマウスを長押しすると、「ViewNX-i 画面のオプション/環 ・ 境設定」/「ビューアー」で設定された倍率で表示されます。
- 画像を (ウィンドウに合わせて全体表示)、 (図)(縦横画像を同じ倍率で全体表示)、
 (短辺をウィンドウに合わせて表示)で表示しているときは、一時的に [50%]、
 [100%]、[200%]、[400%]のいずれかで表示します。このときの倍率は
 [ViewNX-i 画面のオプション/環境設定]/「ビューアー」で設定を行います。
- [50%]、[100%]、[200%]または[400%]で表示するときには、マウスカーソル の位置を中心にして拡大表示が行われます。

✔ ご注意

- [イメージビューアー] モードで Shift キーを押して画像サイズを変更するには、画像表示エリアにマウスカーソルを移動して実行してください。画像表示エリア以外の場所にカーソルがあるときは、この機能が働きません。
- Windows では連続して Shift キーを 5 回押すと、「固定キー機能」が設定されたことを示す 画面が表示されます。 [キャンセル] をクリックすると「固定キー機能」が解除されます。

ホーム > ファイルを見る、分類する > ViewNX-i 画面のツールについて > 同時記録画像の表 示を切り替える

同時記録画像の表示を切り替える

撮影するときに同時記録したRAW画像(NEF、NRW)と JPEG画像を、ひとつのファイルとして扱う ことができます。

ひとつのファイルとして扱っているときは、ひとつのサムネイルを選択すれば、RAW 画像と JPEG 画像 両方同時に移動やコピーなどができます。

1. 📑 / 📑 をクリックする



クリックするたびに、ボタンの表示が 🕝 または 🌈 に切り替わります。

• ボタンが 📑 のとき

画像表示エリアやフィルムストリップで、同時記録された RAW 画像(NEF、NRW)と JPEG 画像を、ひとつのファイルとして表示します。

・ボタンが 📄 のとき

画像表示エリアやフィルムストリップで、同時記録された RAW 画像、JPEG 画像を個別の ファイルとして表示します。

▶ 同時記録画像の表示についてのご注意

RAW 画像(NEF、NRW)と JPEG 画像のファイル名が異なるときは、ViewNX-i は同時記録画像として扱いません。

ホーム > ファイルを見る、分類する > ViewNX-i 画面のツールについて > グループ画像の表 示を切り替える

グループ画像の表示を切り替える

グループ画像とは、スマートフォトセレクターや連写パッケージで撮影された画像を指しま す。ViewNX-iでは、複数のファイルで構成されたグループ画像をひとつのファイルのようにまとめて表 示できます。1 セットの中からカメラが自動選択した代表画像が [ベストショット] です。ベスト ショットには 🖬 が表示されます。ベストショット画像を代表画像として複数の画像はグループ化さ れ、ひとつのファイルとして扱うことができます。

グループ化はスマートフォトセレクターや連写パッケージ機能を使って撮影された画像をNikon Transfer 2で転送した場合に有効になります。

1. 😼 / 🛐 をクリックする



クリックするとボタンの表示が 🖪 と 😼 に切り替わります。

• ボタンが 🙀 のとき

画像表示エリアやフィルムストリップで、代表画像を1枚だけ表示します。

• ボタンが 🖪 のとき

画像表示エリアやフィルムストリップで、5 カットの画像に展開した状態で表示します。

▶ グループ画像の同時記録について

グループ画像が同時記録で撮影されていた場合、 **一** と **B** の両方が選択された場合のみ、グ ループ化して表示されます。代表画像が1枚だけ表示されます。

グループ画像 1セットについての表示枚数と表示形式の関係は以下のとおりです。

- 📑 😼 : 1 枚(代表画像 × 1 枚)
- 📑 🔄 : 5 枚(NEF × 5 枚) 初期設定
- 🕝 😼 :2 枚(代表画像 NEF、JPEG 各 1 枚)
- 📑 🖪 : 10 枚(NEF × 5 枚、JPEG × 5 枚)

ホーム > ファイルを見る、分類する > ViewNX-i 画面のツールについて > ファイル形式を選 択して表示する

ファイル形式を選択して表示する

画像表示エリアやフィルムストリップで、指定した形式のファイルだけを表示できます。また動画、音 声ファイルの表示/非表示を切り替えることもできます。

- 1. [絞り込み] をクリックして、フィルターバーを表示する
- 2. レーティングアイコン右横のエリアをクリックして、プルダウンメニューを表示しファイル形式 を選択する



選択したファイル形式のファイルだけが、画像表示エリアまたはフィルムストリップに表示されます。

- 動画や音声ファイルは [動画のみ]、 [音声レコードを表示]を選択して表示/非表示を切り 替えます。
- 選択したファイル形式にかかわらず、フォルダー、イメージダストオフデータ(NDF)、位置情報ログファイル(LOG)、高度情報ログファイル(LGA)、水深情報ログファイル (LGB)のアイコンは表示されます。
- フィルターバーでは、ファイル形式に加えて、画像に設定されたラベルまたはレーティングによる条件で抽出表示できます。
 ラベル、レーティングについては「画像に埋め込まれた情報を見る/編集する」をご覧ください。

すべて

すべての RAW(NEF、NRW)、JPEG、TIFF、MPO 形式の画像、イメージダストオフデータ

(NDF)、動画および音声ファイル(WAV)、位置情報ログファイル(LOG)、高度情報ログファ イル(LGA)、水深情報ログファイル(LGB)を表示します。

NEF | NRW

RAW 画像(NEF、NRW)のみを表示します。

JPEG

JPEG 画像のみを表示します。

TIFF

TIFF 画像のみを表示します。

MPO

MPO 画像(3D 形式)のみを表示します。

静止画のみ

静止画のみを表示します。

動画のみ

動画のみを表示します。

プロテクト

プロテクトされた画像のみを表示します。

音声レコードを表示

選択してチェックを入れると音声ファイル(WAV)を表示します。チェックをはずすと表示しません。

[すべてクリア] について

フィルターバーの [すべてクリア] をクリックすると、フィルターバーのフィルター設定をすべて 解除します。

また、画像に設定されたラベルまたはレーティングによる表示の絞り込みの設定も解除されます。

ホーム > ファイルを見る、分類する > ViewNX-i 画面のツールについて > 画像を並べ替える

画像を並べ替える

画像表示エリアやフィルムストリップで、サムネイルを名前順や撮影日順などに並べ替えることができます。

1. ツールバーで、並べ替えたい項目を選択する



選択した項目でサムネイルが並べ替えられます。

ABC (名前)

ファイル名順に並べ替えます。

1211 (撮影日)

撮影日順に並べ替えます。

💼 (変更日)

変更日(更新日)順に並べ替えます。

MB (サイズ)

ファイルサイズ順に並べ替えます。

₩₩ (種類(拡張子))

ファイル形式ごとに並べ替えます。

12(ラベル)

設定されているラベルの順番に並べ替えます。

[昇順]を選択すると1から9、ラベルなしの0の順番に並べ替えます。[降順]を選択するとラベルなしの0、9から1の順番に並べ替えます。

📷 (レーティング)

設定されているレーティングの星の数の順番に並べ替えます。

ISO感度)

ISO感度順に並び替えます。

💽 (露出時間)

露出値順に並び替えます。

💽 (焦点距離)

焦点距離順に並び替えます。

昇順 / 降順

選択した項目を昇順 / 降順に並べ替えます。

サムネイルは以下の方法でも並べ替えることができます。

- [表示] メニューの [サムネイル表示順] にカーソルを合わせ、並べ替えたい順番を選択する
- ・
 「サムネイル詳細表示] モードでサムネイルを表示しているときに、画像表示エリア上部にある
 各項目名をクリックする



項目名をクリックするごとに、その項目の昇順、降順で並べ替えることができます。

▶ 名前順に並べ替えるときのご注意

Mac OS では、OS の [言語と地域] で表示言語が英語に設定されているとき、ファイル名に半角 英数字以外の文字を含む場合は正しく並べ替えられません。

ホーム > ファイルを見る、分類する > ViewNX-i 画面のツールについて > 画像を回転する

画像を回転する

画像表示エリアやフィルムストリップで、表示している画像を 90 度または 180 度回転できます。

回転できるのは、画像ファイルだけです。

1. 回転する画像を選択する

2. ツールバーの 🛐 または 👩 をクリックする



画像が指定した方向に回転します。

- [全画面表示] モードのときは、画像操作ツールパレットの
 ● または
 ● をクリックします。
- 画像の回転は、 [画像] メニューの [90°回転(時計回り)] 、 [90°回転(反時計回り)] また は [180°回転] を選択することによってもできます。

✓ ツールバーで、同時記録された RAW 画像(NEF、NRW)と JPEG 画像を個別のファイルとして表示する設定(□)にしているとき

同時記録された RAW 画像(NEF、NRW) と JPEG 画像のどちらかを回転すると、個別のファイルとして扱われる場合があります。

個別のファイルとして扱う条件について詳しくは「**同時記録画像の取り扱いについて**」をご覧く ださい。 ホーム > ファイルを見る、分類する > ViewNX-i 画面のツールについて > RAW画像を表示 する

RAW画像を表示する

ViewNX-i は RAW 画像(NEF、NRW)を表示するとき、初期設定では RAW 画像内のプレビュー(簡 易表示)を表示します。

RAW 画像を表示するとき、プレビュー画像と RAW データを切り替えて表示できます。RAW 画像内に プレビュー画像がないときは、常に RAW データを表示します。

RAW 画像(NEF、NRW)内のプレビュー(簡易表示)について

RAW 画像内のプレビューとは、ひとつの RAW 画像ファイル内に、RAW データとは独立して埋め込んだ JPEG 形式の画像データをいいます。プレビューを使用することで、撮影した RAW 画像を確認するときなどに高速で表示できます。

1. イメージコントロールバーの RAW をクリックする



[イメージビューアー] モード、 [全画面表示] モード、 [2画像比較] モードで表示されている RAW 画像を、RAW データに切り替えて表示します。

ボタンが RAW のときは、他の RAW 画像に選択を切り替えても RAW データで表示します。

プレビュー画像(簡易表示)に戻すには、 RAW をもう一度クリックします。

ただし、RAWデータがキャッシュされている場合は、キャッシュされたRAWデータがそのまま 表示されます。

• RAW データの表示は、 [表示] メニューの [ビューアー] にカーソルを合わせ、 [RAW画 像を表示] を選択することによってもできます。

- RAW 画像内にプレビュー(簡易表示)データが保存されていない画像
- Nik Color Efex Pro シリーズを使用して編集された RAW 画像
- RAW 画像(NEF、NRW) 以外の画像
- ViewNX-i にインストールされていない「オプションピクチャーコントロール」を使用して撮影・編集された RAW 画像

▼ ピクチャーコントロールを適用した RAW 画像について

RAW 画像のプレビューを表示したとき(ボタンが RAW のとき)と RAW データを表示(ボタンが RAW のとき)したときとで、画像の色合いが異なることがあります。

ホーム > ファイルを見る、分類する > ViewNX-i 画面のツールについて > 白とびを表示する

白とびを表示する

露出オーバーしている部分を色分けして表示し、白とびを確認できます。白とびが発生していない部分 は黒で表示され、白とびが発生している部分は黒以外の色で表示されます。色分けについては「白とび の色分けについて」をご覧ください。動画ファイルやイメージダストオフデータ(NDF)の白とび表示 はできません。

白とびとは

白とびとは、被写体の明るい部分が真っ白になることです。明暗差が大きい被写体を撮影すると き、暗い部分に露出を合わせると、明るい部分に白とびが発生することがあります。反対に明るい 部分に露出を合わせると、露出アンダーとなり黒つぶれが発生することがあります。

1. 表示モードを [イメージビューアー] モードにして、白とびを表示する画像を選択する

2. [画像] メニューの [白とび表示] を選択する

選択した画像の白とびが表示されます。白とび表示の色分けについては「白とびの色分けについて」をご覧ください。



白とびは、 [全画面表示] モードに切り替えても表示されます。 白とび表示を解除するには、 [画像] メニューから [白とび表示] をもう一度選択します。

その他の方法...

- 「H」キーを押す
- [全画面表示] モードで画像を表示した後で右クリック(Mac OS は Control キーを押しながら クリック)し、[白とび表示]を選択しても白とびが表示されます。

白とびの色分けについて

[白とび表示]した画像では、各チャンネルとも値が254以下の部分は黒で表示され、いずれかのチャン ネルにおいて値が255の部分は状況に応じて黒以外の色で表示されます。「ヒストグラム」と併用して表 示することで、それぞれのカラーチャンネルの状況を確認することができます。

白

赤(R)、緑(G)、青(B)の各チャンネルの値が255の部分

黄

赤(R)、緑(G)の各チャンネルの値が255の部分

マゼンタ

赤(R)、青(B)の各チャンネルの値が255の部分

シアン

緑(G)、青(B)の各チャンネルの値が255の部分

赤

赤(R)のチャンネルの値が255の部分

禄

緑(G)のチャンネルの値が255の部分

青

青(B)のチャンネルの値が255の部分

黒

赤(R)、緑(G)、青(B)の各チャンネルのどの値も255に達していない部分

関連項目

- ▶ 黒つぶれを表示する
- ヒストグラムを表示する

ホーム > ファイルを見る、分類する > ViewNX-i 画面のツールについて > 黒つぶれを表示す る

黒つぶれを表示する

露出アンダーしている部分を色分けして表示し、黒つぶれを確認できます。黒つぶれが発生していない 部分は白で表示され、黒つぶれが発生している部分は白以外の色で表示されます。色分けについては 「黒つぶれの色分けについて」をご覧ください。動画ファイルやイメージダストオフデータ(NDF)の 黒つぶれ表示はできません。

黒つぶれとは

黒つぶれとは、被写体の暗い部分が真っ黒になることです。明暗差が大きい被写体を撮影すると き、明るい部分に露出を合わせると、暗い部分に黒つぶれが発生することがあります。反対に暗い 部分に露出を合わせると、露出オーバーとなり白とびが発生することがあります。

1. 表示モードを [イメージビューアー] モードにして、黒つぶれを表示する画像を選択する

2. [画像] メニューの [黒つぶれ表示] を選択する

選択した画像の黒つぶれが表示されます。黒つぶれ表示の色分けについては「黒つぶれの色分け について」をご覧ください。



黒つぶれは、「全画面表示」モードに切り替えても表示されます。

黒つぶれ表示を解除するには、 [画像] メニューから [黒つぶれ表示] をもう一度選択します。

その他の方法...

- 「S」キーを押す
- [全画面表示] モードで画像を表示した後で右クリック(Mac OS は Control キーを押しながら クリック)し、[黒つぶれ表示]を選択しても黒つぶれが表示されます。

黒つぶれの色分けについて

[黒つぶれ表示]した画像では、各チャンネルとも値が1以上の部分は白で表示され、いずれかのチャン ネルで値が0の部分は状況に応じて白以外の色で表示されます。ヒストグラムと併用して表示すること で、それぞれのカラーチャンネルの状況を確認することができます。

黒

赤(R)、緑(G)、青(B)の各チャンネルの値が0の部分

青

赤(R)、緑(G)の各チャンネルの値が0の部分

禄

赤(R)、青(B)の各チャンネルの値が0の部分

赤

緑(G)、青(B)の各チャンネルの値が0の部分

シアン

赤(R)のチャンネルの値が0の部分

マゼンタ

緑(G)のチャンネルの値が0の部分

黄

青(B)のチャンネルの値が0の部分

白

赤(R)、緑(G)、青(B)の各チャンネルのどの値も1以上の部分

関連項目

▶ 白とびを表示する

ヒストグラムを表示する
ホーム > ファイルを見る、分類する > ViewNX-i 画面のツールについて > 音声ファイルを再 生する

音声ファイルを再生する

カメラで撮影したときに付けた音声メモや、COOLPIXの音声レコード機能で録音した音声データを再生 できます。

音声メモ付き画像について

音声メモ付き画像として認識されるのは、音声メモのファイル名と画像のファイル名の拡張子を除いたファイル名が一致した場合です。「エクスプローラー」(Mac OS は Finder)や、他のアプリケーションで画像のファイル名を変更した場合は、拡張子を除いたファイル名を同じにすることで音声メモ付き画像として認識させることができます。

またニコン製デジタルカメラによっては、音声メモのファイル名と画像のファイル名とが異なる場合があります。このときも ViewNX-i では音声メモ付き画像として扱います。

1. 音声メモ付き画像または音声ファイル(WAV)を選択する

2. [ファイル] メニューの [音声メモ] にカーソルを合わせ、 [再生] を選択する



音声ファイルが再生されます。音声メモ付き画像または音声ファイルを複数選択しているときは、再生できません。

ツールバーの 🕞 で再生

ツールバーをカスタマイズすると、 ● を表示できます。その場合、音声ファイルを選択して ● をクリックすると音声ファイルが再生されます。カスタマイズするには、ツールバーの上にマウス カーソルを置き、右クリック(Mac OS は control キーを押しながらクリック)し、 [カスタマイズ] がら [音声メモ] にチェックを入れます。

音声ファイル再生中は、ツールバーのアイコンが ■ に変わります。再生を停止するには、 ■ を クリックします。また再生中に他のファイルやフォルダーを選択すると停止します。

その他の方法...

 ・ 音声メモ付き画像または音声ファイルを右クリック(Mac OS は Control キーを押しながらク リック)し、
 [音声メモ]にカーソルを合わせ
 [再生]を選択する

音声メモ付きの画像のサムネイルについて

音声メモ付きの画像のサムネイルには N が表示されます。サムネイルの表示サイズを [最小] 、 または [小] にしているときは N は表示されません。

[全画面表示] モードのとき

[全画面表示] モードで画像を表示したときは、音声ファイルは自動で再生されません。再生する には右クリック(Mac OS は Control キーを押しながらクリック)し、[音声メモ] にカーソルを 合わせ [再生] を選択してください。

また、「ViewNX-i 画面のオプション/環境設定」/「一般」メニューで設定することで、 [全画 面表示] モードで音声ファイルを自動で再生できます。



単独の音声ファイル(WAV)を表示するには、フィルターバーのファイル形式選択メニューで [音声レコードを表示]が選択されている必要があります。詳しくは「**ファイル形式を選択して** 表示する」をご覧ください。

音声メモ付き画像から音声メモファイルを削除する

音声メモ付き画像のうち、音声メモファイルだけを削除できます。

1. 音声メモ付き画像を選択し、 [ファイル] メニューの [音声メモ] にカーソルを合わせ、 [削 除] を選択する

削除の確認画面が表示されます。

[はい]をクリックすると、音声メモ付き画像から音声メモファイルだけが「ごみ箱」(Mac OS は「ゴミ箱」)に移動し、サムネイルから ■ が取り除かれます。

単独の音声ファイル(WAV)や、音声メモ付き画像のうち音声メモファイルと画像ファイルの両 方を同時に削除するときは「ファイルやフォルダーを削除する」をご覧ください。 ホーム > ファイルを見る、分類する > ViewNX-i 画面のツールについて > 動画を再生する

動画を再生する

画像表示エリアで動画を再生できます。デジタルカメラで撮影した動画に対応しています。

1. 表示モードを [イメージビューアー] モードまたは [全画面表示] モードにして、動画ファイル を表示する

動画の1フレーム目が表示されます。動画ファイルによっては、動画内の一部分の画像が表示されます。

2. 動画再生コントローラの 🕞 をクリックする



動画が再生されます。

動画再生コントローラの操作

動画再生を操作します。動画再生コントローラは、簡易表示/詳細表示を選択できます。



■をクリックすると、詳細動画再生コントローラへ表示が切り替わります。



■ をクリックすると、簡易動画再生コントローラへ表示が戻ります。

×

動画再生コントローラの常時表示のオン/オフを設定します。クリックして Mail に変わると動画 再生コントローラは常時表示されます。

.

動画再生を始めると表示フレームノブが移動します。表示フレームノブをドラッグすると再生 位置を変更できます。

再生中に画像の表示方法を変更すると、再生を一時停止します。

動画展開表示エリア

動画全体の流れがわかるように7つに分けてサムネイル表示します。左右の 開始点・終了点の位置を示します。

クリックすると再生位置を1フレーム前後に移動します。動画再生中にクリックすると、一時停止状態となり、再生位置をそこから1フレーム前後に移動します。

()

をクリックすると音量がオフになります。 をクリックすると音量がオンになります。

囵

クリックすると、静止画切り出し保存ダイアログが表示され、保存ボタンをクリックするその 時点で再生画面に表示されているフレームが静止画として保存されます。動作再生中の場合 は、動画は一時停止状態となります。詳しくは、下記の「静止画切出し保存について」をご覧 ください。

選択したファイルがモーションスナップショットだった場合、ファイルを動画に変換します。 クリックすると、変換された動画の保存先とファイル名を設定する画面が表示されます。詳し くは「**モーションスナップショットを動画に変換する**」をご覧ください。

05****

選択している動画にレーティングを設定します。

表示中の動画をフォトトレイに登録します。

◀ / ▶

画像表示エリアで現在選択しているひとつ前 / 後のファイルを選択します。

7/14

「現在選択している動画の順番/現在のフォルダー内の全動画数」の形式で表示します。

静止画切り出し保存について

動画再生コントローラの Mar をクリックすると、動画の中から任意のフレームを静止画として JPEG形式で保存することができます。

	フレームを静止回として休け	_
22	£:	
	簡易設定 ∨	
	以下の設定で停止圏を出力します	
	形式 JPEG	
	サイズ ^{320×240}	
	面質 最低面質(最高圧縮)	
保存	9先:	
	● 元ファイルと同じフォルダー	
	○指定されたフォルダー	
		.46, 273
		19月1日
77-	1ル名:	
	MO VIE[01 23] ipe	
	保存	キャンセル

下記の内容を設定して、 [保存] ボタンをクリックして保存します。

• [設定:]

[簡易設定]または [詳細設定]を選択します。 [簡易設定]では、 [サイズ] と [画質] が自動的に設定されます。 [詳細設定] では、 [サイズ] と [画質] をリスト項目から選択します。 ファイル保存場所の設定を [元ファイルと同じフォルダー] または [指定されたフォルダー] から選択します。 [指定されたフォルダー]を選択すると、 [参照...] ボタンをクリックして保存するフォルダーを指定します。

[ファイル名:]
 ファイル名を入力します。

外部のアプリケーションで動画を再生する

お使いの OS で関連付けられた外部のアプリケーションで動画を開くこともできます。

詳しくは「**その他のアプリケーションで動画を開く**」をご覧ください。

▶ インストール時のご注意

ViewNX-i インストール時にインターネットに接続していない場合、動画に関連する機能をご利用いただけないことがあります。

動画に関連する機能をご利用いただくには、インターネットに接続していることをご確認の上、 もう一度 ViewNX-i のインストールを行ってください。

関連項目

- ▶ その他のアプリケーションで動画を開く
- ファイルを開くアプリケーション

ホーム > ファイルを見る、分類する > ViewNX-i 画面のツールについて > フォーカスポイン トを表示する

フォーカスポイントを表示する

表示している画像のフォーカスポイントを表示できます。構図を工夫して撮影したときなど、画像の フォーカスポイントやピントを確認できます。

フォーカスポイントはサムネイルでも、拡大表示した画像でも表示されます。 フォーカスポイントを表示できるのは、フォーカスポイント情報を持つ画像ファイルだけです。

1. ツールバーの 👩 をクリックする



表示しているサムネイルおよび画像にフォーカスポイントが表示されます。 ツールバーのアイコンが [1] に変わります。



• フォーカスポイントを非表示にするには、ツールバーの 🗂 をもう一度クリックします。

• [画像] メニューの [フォーカスポイント表示] にチェックを入れても表示できます。

✔ ご注意

- フォーカスロック後に構図を変えて撮影したときには、ピントが合っている場所とフォーカス ポイント表示が一致していない場合があります。
- CPU レンズを装着したニコン製デジタル一眼レフカメラおよびミラーレスカメラ、または COOLPIX A で撮影したときに使用したフォーカスポイントが表示されます。
 以下の画像の場合、フォーカスポイントは表示されません。
 - 非 CPU レンズを装着して撮影した画像
 - マニュアルフォーカスで撮影した画像
 - **一部の機種**でピントが合っていない状態で撮影した画像
 - 他のアプリケーションで編集した画像

ホーム > ファイルを見る、分類する > ViewNX-i 画面のツールについて > ヒストグラムを表示する

ヒストグラムを表示する

[イメージビューアー] モードまたは [全画面表示] モードで、画像のヒストグラムを表示できます。 赤(R)、緑(G)、青(B)のカラーチャンネルをそれぞれ表示したり、すべてのカラーチャンネル (RGB)を同時に表示したりできます。

ヒストグラムを表示できるのは、画像ファイルだけです。

「ヒストグラム」とは

「ヒストグラム」とは、画像の明るさの分布を表す山状のグラフのことです。横軸は画像の明る さ、縦軸はピクセル数を表します。明るい画像では山が右に寄り、暗い画像では左に寄ります。山 裾が右端に達している画像は白とびの状態で、左に達している画像は黒つぶれを起こしていること になります。

1. イメージコントロールバーの 🔣 をクリックする



ヒストグラムが表示されます。

2. 📱 をクリックして、ヒストグラムの表示種類を選択する



ヒストグラムの表示種類が変わります。

ヒストグラムを非表示にするには、イメージコントロールバーの <u></u> をもう一度クリックしま す。

ヒストグラムは以下の方法でも表示できます。

- [イメージビューアー] モードで [表示] メニュー > [ビューアー] > [ヒストグラム] にカー ソルを合わせ、[ヒストグラムを表示] にチェックを入れる
- キーボードの Space キーを押す

ヒストグラムの表示種類について

- [RGB]を選択すると赤、緑、青のカラーチャンネルを同じ表示領域に重ねて表示します。
 [RGB]を選択しているときの色分けについては「ヒストグラムの色分けについて」をご覧ください。
- [R/G/B]を選択すると赤、緑、青のカラーチャンネルごとに上から並べて表示します。
- [明度]を選択してチェックを入れると明度の分布を [RGB] または [R/G/B] のグラフの下に 表示します。 [RGB] 、 [R/G/B] のチェックをはずして明度のみを表示することもできます。
- [RGB] 、 [明度] 選択時:



• [R/G/B] 、 [明度] 選択時 :



ヒストグラムは他の画像に切り替えたときも表示されます。またヒストグラムは、 [全画面表示] モードに切り替えても表示されます。

✔ ご注意

画像表示エリアの高さが足りないときは、ヒストグラムのグラフの下部が隠れて、グラフ全体が 表示されません。ヒストグラムの表示種類を変更するか、サムネイルの表示サイズや ViewNX-i のウィンドウのサイズを調整してください。

[画像調整/メタデータ] パレットのヒストグラム

[画像調整/メタデータ] パレットの下部にもヒストグラムが表示されます。

- [画像調整/メタデータ] パレットのヒストグラムは、サムネイル表示でも画像を1つだけ選択 した場合表示されます。
- 赤、緑、青のカラーチャンネルを上から並べて表示する [R/G/B] はなく、 [RGB] / [R] / [G] / [B] / [明度] から選択して個別に表示します。
- ヒストグラムのパレットが閉じている場合は、[ヒストグラム]をクリックすると開きます。

ヒストグラムの色分けについて

表示の種類で [RGB] を選択しているとき、赤、緑、青のヒストグラムは相互に重なり合って表示されます。各チャンネルが重なり合う領域は、異なる色で分けられて表示されます。



赤(R)のチャンネル

禄

緑 (G) のチャンネル

青

青 (B) のチャンネル

黄

赤(R)、緑(G)の各チャンネルが重なっている領域

マゼンタ

赤(R)、青(B)の各チャンネルが重なっている領域

シアン

緑(G)、青(B)の各チャンネルが重なっている領域

白

すべてのカラーチャンネル(RGB)が重なっている領域

関連項目

▶ 白とびを表示する

▶ 黒つぶれを表示する

ホーム > ファイルを見る、分類する > ViewNX-i 画面のツールについて > 画像情報を表示す る

画像情報を表示する

[イメージビューアー] モード、[全画面表示] モード、[2画像比較] モードで画像、動画ファイルの 撮影日、撮影した機種、ファイル容量などの主要な情報を、画像表示エリアの左上に表示できます。

1. ファイルを選択または表示し、イメージコントロールバーの 🌆 をクリックする



画像情報が表示されます。



画像情報を非表示にするには、
 をもう一度クリックします。

その他の方法...

• [表示] メニューの [ビューアー] にカーソルを合わせ、 [画像情報] を選択する

• 「I」キーを押す

画像情報の表示項目について

- 表示される項目は画像、動画、音声(WAV)ファイルによって、または撮影した機種によって 異なります。
- デジタルカメラ撮影画像の場合、撮影日、撮影機種、レンズ、画像サイズ、ファイルサイズ、焦 点距離、ISO感度、シャッタースピード、絞り、露出補正、ホワイトバランス、XMP/IPTC情 報の「タイトル」、「説明」、「キーワード」を表示します。情報が設定されていない、または 保存されていない項目は表示しません。
- 同時記録された RAW 画像(NEF、NRW) と JPEG 画像は、RAW 画像の情報を表示します。
- [画像調整/メタデータ] パレットではさらに詳細な情報を表示できます。「**画像に埋め込まれ** た情報を見る/編集する」をご覧ください。

ホーム > ファイルを見る、分類する > ViewNX-i 画面のツールについて > 処理中のタスクを 確認する

処理中のタスクを確認する

ViewNX-i は大量の画像をコピー、回転、調整しているとき、処理が完了するのを待つことなく連続して操作ができるようにマルチタスク機能を備えています。処理の実行中に経過の確認や処理の中止ができます。

マルチタスクで処理される機能

- ファイルのコピー処理
- ファイルの移動処理
- アップロード処理
- ファイル変換処理
- 印刷処理
- 回転処理
- メタデータ編集の適用処理
- ラベルの設定処理
- レーティングの割り当て処理
- 位置情報の適用処理
- 画像編集の適用処理

1. マルチタスクで処理される機能を実行する



プログレスバーが表示されます。

1. マルチタスクで処理される機能を実行する



2. 🔣 をクリックする

実行中の処理がキャンセルされます。

キャンセルをした場合、キャンセルの確認画面は表示されません。

複数の処理を行うと、バーの左横に ■が現れる場合があります。クリックすると処理項目がリスト表示 され、キャンセルする処理を選べます。 ホーム > ファイルを見る、分類する > ViewNX-i 画面のツールについて > アウトプットバー をカスタマイズする

アウトプットバーをカスタマイズする

アウトプットバーの表示方法を変更できます。

[ウィンドウ] メニューの [アウトプットバーをカスタマイズ] にカーソルを合わせ、設定したい項目 を選択する

アウトプットバーに表示する機能を選択できます。チェックされている機能が表示されます。

ホーム > ファイルを見る、分類する > ファイル操作

ファイル操作

ViewNX-i では Windows のエクスプローラーや Mac OS の Finder と同じような操作でファイルや フォルダーを整理できます。デスクトップにあるファイルを ViewNX-i のフォルダーツリーにドラッグ &ドロップしたり、反対に ViewNX-i のフォルダーツリーからデスクトップなどへドラッグ&ドロップ することで、ファイルのコピーや移動ができます。ラベルやレーティングとあわせて使用すれば画像の 選択が簡単に行えます。

- ファイルやフォルダーを選択する
- ▶ フォルダーを作成する
- ▶ ファイルやフォルダーの名前を変更する
- ▶ ファイルやフォルダーを移動・コピー・複製する
- ファイルやフォルダーを削除する
- ▶ サブフォルダー内の画像を表示する
- ファイルを保護する(プロテクト)
- ▶ エクスプローラー / Finderに表示する

▼ ツールバーで、同時記録された RAW 画像(NEF、NRW)と JPEG 画像をひとつのファイルとして表示する設定() にしているとき

同時記録された RAW 画像(NEF、NRW) と JPEG 画像は、ファイル操作(ファイルの選択、名前変更、移動、コピー、複製、削除、プロテクト)するとき、ひとつのファイルとして扱われます。

▶ 音声メモ付き画像について

音声メモ付き画像はファイル操作するとき、ひとつのファイルとして扱われます。

COOLPIX S30、S31、S32、S33 で撮影した音声メモ付き画像について

COOLPIX S30、S31、S32、S33 では1 枚の静止画に2 種類の音声メモを付けられます。

- Nikon Transfer 2 で転送する場合
 2 種類の音声メモは自動的に 1 ファイルに変換されます。転送後のファイル名は 「DSCNXXXX.WAV」となり、ViewNX-i でファイル操作を行う際、1 枚の静止画とひとつの 音声ファイルは関連付けされた状態で扱われます。
- その他の方法でパソコンに転送する場合
 2種類の音声メモは、別ファイルとして転送されます。ViewNX-iでファイル操作を行う際、1 枚の静止画とふたつの音声ファイルは関連付けされない個別のファイルとして扱われます。

ホーム > ファイルを見る、分類する > ファイル操作 > ファイルやフォルダーを選択する

ファイルやフォルダーを選択する

すべてのファイルやフォルダーを選択したり、特定のファイルだけを簡単に選択したりできます。

- ▶ マウスドラッグで複数のファイルやフォルダーを選択する
- マウスクリックで複数のファイルやフォルダーを選択する
- すべてのファイルとフォルダーを選択する
- ▶ 選択状態を反転する
- ▶ 自動的に分割記録された動画ファイルを選択する
- ▶ 特定のファイルを選択する

マウスドラッグで複数のファイルやフォルダーを選択する

画像表示エリアまたはフィルムストリップで、マウスドラッグで複数のファイルやフォルダーを選択で きます。

1. サムネイル上の、画像またはアイコンの周囲からドラッグを開始する



ドラッグした範囲内のファイルやフォルダーが選択されます。 [サムネイル詳細表示] モードで サムネイルを表示しているときは、サムネイル画像の周囲の位置からドラッグを開始します。ド ラッグの開始位置がサムネイルの画像、アイコン、フォルダーのときは、複数選択できません。

マウスクリックで複数のファイルやフォルダーを選択する

画像表示エリアまたはフィルムストリップで、マウスクリックで複数のファイルやフォルダーを選択で

きます。

1. Ctrl キー(Mac OS は Command キー)を押しながら、ファイルまたはフォルダーをクリック する



クリックしたファイルやフォルダーがすべて選択されます。

Ctrl キー(Mac OS は Command キー)を押しながらもう一度同じファイルまたはフォルダーを クリックすると、選択が解除されます。

その他の方法...

最初にファイルまたはフォルダーを選択し、その後 Shift キーを押しながら画像またはフォルダー をクリックする

最初にクリックしたファイルまたはフォルダーから、その後にクリックしたファイルまたはフォル ダーまでの連続した画像、またはフォルダーがすべて選択されます。

すべてのファイルとフォルダーを選択する

1. [編集] メニューの [すべて選択] (Mac OS は [すべてを選択])を選択する

画像表示エリア、またはフィルムストリップに表示されているすべての画像、動画、音声ファイル、イメージダストオフデータ(NDF)、フォルダーが選択状態になります。

選択状態を反転する

画像表示エリアまたはフィルムストリップで、すでに選択されているファイルやフォルダーと、選択さ

れていないファイルやフォルダーの選択状態を反転できます。

1. [編集] メニューの [選択状態を反転] を選択する

選択状態が反転し、選択されていたファイルやフォルダーの選択が解除され、選択されていな かったファイルやフォルダーが選択状態になります。

自動的に分割記録された動画ファイルを選択する

動画撮影中に動画ファイルのサイズが4GBを超えると、撮影が中断されます。しかし一部の機種では、 自動的に新しい動画ファイルを作成して記録し続けることが可能です。そのような機種で撮影した、自 動的に分割記録された動画ファイルだけをまとめて選択できます。

1. 自動的に分割記録された動画ファイルを右クリック(Mac OSはControlキーを押しながらクリック)し、[分割して記録された動画を探す]を選ぶ

自動的に分割記録された動画ファイルが選択状態になります。

特定のファイルを選択する

特定のファイルだけを選択状態にできます。

1. [編集] メニューの [ファイルを選択] にカーソルを合わせ、選択状態にする項目を選択する

選択した項目のファイルだけが選択状態になります。

すべて

表示しているすべての RAW(NEF、NRW)、JPEG、TIFF 形式の画像、イメージダストオフデー タ(NDF)、動画および音声ファイル(WAV)、位置情報ログファイル(LOG)、高度情報ログ ファイル(LGA)、水深情報ログファイル(LGB)を選択状態にします。フォルダーは選択されま せん。

NEF/NRW形式

表示しているすべてのRAW(NEF、NRW)画像を選択状態にします。

JPEG形式

表示しているすべての JPEG 形式の画像を選択状態にします。

TIFF形式

表示しているすべての TIFF 形式の画像を選択状態にします。

MPO形式

表示しているすべての MPO 画像(3D 形式)を選択状態にします。

動画

表示しているすべての動画ファイルを選択状態にします。

音声レコード

表示しているすべての音声ファイル(WAV)を選択状態にします。音声メモ付き画像は選択されま せん。

IPTC情報付き画像

表示している画像のうち、IPTC 情報が付けられている画像を選択状態にします。

音声メモ付き画像

表示している画像のうち、すべての音声メモ付き画像を選択状態にします。

ラベル

[ラベル] にカーソルを合わせ、ラベルを選択することで、選択したラベルが付けられているすべての画像を選択状態にします。

(0)を選択すると、ラベルが設定されていないすべての画像を選択状態にします。

レーティング

[レーティング] にカーソルを合わせ、レーティングの Mail (星マーク)を選択することで、選択したレーティングのすべての画像を選択状態にします。

◎ (0)を選択すると、レーティングが設定されていないすべての画像を選択状態にします。

同時記録されたRAW画像(NEF、NRW)とJPEG画像をひとつのファイルとして表示する設定にして いるとき

- [NEF/NRW形式]を選択したとき、同時記録された RAW 画像(NEF、NRW)と JPEG 画像は 選択状態になります。
- [JPEG形式]を選択したとき、同時記録された RAW 画像(NEF、NRW)と JPEG 画像は選択 状態になりません。

同時記録画像の表示の切り替えについて詳しくは、「**同時記録画像の表示を切り替える**」をご覧く ださい。 ホーム > ファイルを見る、分類する > ファイル操作 > フォルダーを作成する

フォルダーを作成する

現在開いているフォルダーに、新しくサブフォルダーを作成できます。

1. [ファイル] メニューから [新規フォルダー] を選択する

新規フォルダーが作成され、フォルダー名が変更できる状態になります。

2. フォルダー名を入力し、Enter キー(Mac OS は return キー)を押す



フォルダー名が確定されます。

後からフォルダー名を変更するには「**ファイルやフォルダーの名前を変更する**」をご覧ください。

フォルダーの作成について

画像表示エリアまたはフィルムストリップで、フォルダーのアイコンをファイルの前に表示する か、または後に表示するかを設定できます。

設定について詳しくは「ViewNX-i 画面のオプション/環境設定」/「サムネイル」をご覧ください。

ホーム > ファイルを見る、分類する > ファイル操作 > ファイルやフォルダーの名前を変更する

ファイルやフォルダーの名前を変更する

ファイルやフォルダーの名前を変更できます。また複数のファイルを、特定のルールに従って一括で変 更することもできます。

- ▶ ファイルやフォルダーの名前を変更する
- ▶ 複数画像の名前を変更する

ファイルやフォルダーの名前を変更する

1. 名前を変更するファイルまたはフォルダーを選択する

2. [ファイル] メニューの [名前変更...] を選択する

3. ファイル名を入力し、Enter キー(Mac OS は return キー)を押す



名前が変更されます。

その他の方法(ファイルがひとつのとき)

名前を変更したい画像を選択し、その後ファイル名をクリックする ファイル名を入力し、Enter キー(Mac OS は return キー)を押します。

複数画像の名前を変更する

複数の画像の名前を一括で変更できます。

複数フォルダーの一括変更はできません。フォルダーの名前を変更するにはひとつずつ行ってください。

1. 名前を変更したい画像をすべて選択する

画像の複数選択については「**ファイルやフォルダーを選択する**」をご覧ください。

2. [ファイル] メニューの [名前変更...] を選択する

「ファイル名の作成ルール」画面が表示されます。

3. 各項目を設定して [OK] をクリックする

ファイノ	ル名の作成ルール ×
サンプル	
B	ower1_001.JPG
ブレフィックス ● 元の名前	サフィックス ○元の名前
○なし	●なし
○新規作成	○新規作成
○元の名前+新規作成	○元の名前+新規作成
○ 新規作成+元の名前	○新規作成+元の名約
アンダーバー 連番	↓ なし ↓
	開始書号:
100	
	桁数
	· · · · · · ·
t.	□ 開始番号 を1にする
	OK(0) キャンセル(C)

設定したルールで、選択した画像の名前が変更されます。

[ファイル名の作成ルール] 画面の操作については「ファイル名の作成ルール」をご覧ください。

て表示する設定(📄) にしているとき

同時記録された RAW 画像(NEF、NRW)と JPEG 画像のどちらかのファイル名を変更すると、 名前の変更以降、個別ファイルの扱いになります。

同時記録ファイルとして扱う場合は **一**の状態にして、ひとつのファイルとして表示させてから、名前を変更します。

▶ 音声メモ付き画像について

音声メモ付き画像は、音声メモのファイルと画像ファイルの両方が名前変更されます。

🚺 グループ画像について

グループ画像の代表画像のファイル名を変更するとき、 Ba のときはグループ化された画像全体のファイル名も変更されます。 Ba のときは、個別の画像としてファイル名を変更できます。

ホーム > ファイルを見る、分類する > ファイル操作 > ファイルやフォルダーを移動・コ ピー・複製する

ファイルやフォルダーを移動・コピー・複製する

画像表示エリア、フィルムストリップまたは [ナビゲーション] パレットで、ファイルやフォルダーを 他のフォルダーやドライブに、移動またはコピーできます。

またファイルやフォルダーを、デスクトップ、エクスプローラー、Finder から ViewNX-i にドラッグ& ドロップして、移動またはコピーすることもできます。

ファイルやフォルダーの移動またはコピーについて

ファイルやフォルダーを同じドライブ内にドラッグ&ドロップすると、ファイルやフォルダーはドロップ先に移動され、元の保存場所には残りません。ファイルやフォルダーを別のドライブにドラッグ&ドロップすると、ファイルやフォルダーはドロップ先にコピーされ、また元の保存場所にも残ります。

- 別のドライブに移動するには Shift キー(Mac OS は Command キー)を押しながらドラッグ &ドロップします。
- 同じドライブにコピーするには Ctrl キー(Mac OS は Option キー)を押しながらドラッグ&ドロップします。

また Mac OS では、同じフォルダー内にファイルやフォルダーを複製できます。

ファイルやフォルダーを移動またはコピーする

1. ファイルやフォルダーを選択して、移動先またはコピー先のフォルダーやドライブにドラッグ& ドロップする



選択したファイルやフォルダーが移動またはコピーされます。

その他の方法...

- 1. コピーしたいファイルまたはフォルダーを選択して、[編集] メニューの [コピー] を選択す る
- 2. コピー先のフォルダーを開き、[編集]メニューの[貼り付け](Mac OSは[ペースト]) を選択する

以下の操作でファイルを移動またはコピーできます

ファイルを、画像表示エリアまたはフィルムストリップから、以下の場所へドラッグ&ドロップする

- [ナビゲーション] パレットのフォルダーツリー
- [ナビゲーション] パレットのお気に入りフォルダー一覧にあるフォルダーやドライブ
- デスクトップやエクスプローラー (Mac OS は Finder)

デスクトップやエクスプローラー(Mac OS は Finder)から、フィルムストリップ で対応してい るファイルを以下の場所へドラッグ&ドロップする

- 画像表示エリアまたはフィルムストリップ
- [ナビゲーション] パレットのフォルダーツリー
- [ナビゲーション] パレットのお気に入りフォルダー一覧にあるフォルダーやドライブ

以下の操作でフォルダーを移動またはコピーできます

サムネイル表示領域上のフォルダーを以下の場所へドラッグ&ドロップする

- [ナビゲーション] パレットのフォルダーツリー
- デスクトップやエクスプローラー (Mac OS は Finder)

デスクトップやエクスプローラー(Mac OS は Finder)から、フォルダーを以下の場所へドラッグ&ドロップする

- 画像表示エリアまたはフィルムストリップ
- [ナビゲーション] パレットのフォルダーツリー お気に入りフォルダー一覧のエリアへフォルダーをドラッグ&ドロップしたときは、お気に入り フォルダーへの登録操作となります。詳しくは「お気に入りフォルダーを登録する」をご覧くだ さい。

Windows では、ファイルやフォルダーを右クリックした状態でドラッグして、他のフォルダーに 移動またはコピーできます。



マウスボタンを離したときに表示されるメニューから、処理を選択します。

ファイルやフォルダーを複製する(Mac OS のみ)

1. 複製したいファイルやフォルダーを選択して、[編集] メニューの [複製] を選択する

選択したファイルやフォルダーが複製されます。複製されたファイルやフォルダーには、元の名 前の後に「のコピー」が付きます。 ホーム > ファイルを見る、分類する > ファイル操作 > ファイルやフォルダーを削除する

ファイルやフォルダーを削除する

ファイルやフォルダーを削除できます。

1. 削除するファイルまたはフォルダーを選択または表示する

2. ツールバーの 🖬 をクリックする



ファイルまたはフォルダーが「ごみ箱」(Mac OS は「ゴミ箱」)に移動します。

その他の方法...

[全画面表示] モード以外のとき:

- ファイルやフォルダーを「ごみ箱」(Mac OS は「ゴミ箱」) にドラッグ&ドロップする
- [編集] メニューの [削除] (Mac OS は [ゴミ箱に入れる])を選択する

すべての表示モードのとき:

• Deleteキー(Mac OS は Command + Delete キー)を押す

グループ画像を削除する

🔥 のとき :

• グループ画像の代表画像を削除すると、グループ化された画像も一緒に削除されます。

🖫 のとき:

- グループ画像を個別に削除する場合、削除する画像が代表画像以外であれば、グループ化の情報 は維持されます。
- 削除する画面に代表画像が含まれる場合、グループ化の情報は削除されます。残った画像は通常

の画像と同じ扱いで表示されます。

また、グループ化された画像 5 枚中 4 枚を削除すると、残り 1 枚が代表画像であってもグルー プ化は解除されます。

✔ ご注意

- 削除するフォルダー内にプロテクトがかかっているファイルが含まれていても、フォルダーは「ごみ箱」(Mac OS は「ゴミ箱」)に移動します。
- [ナビゲーション] パレットのお気に入りフォルダーエリアでフォルダーを選択しているとき は、お気に入りフォルダーの登録を削除する操作となります。

お気に入りフォルダーエリアでの操作については「お気に入りフォルダーを登録する」をご覧く ださい。 ホーム > ファイルを見る、分類する > ファイル操作 > サブフォルダー内の画像を表示する

サブフォルダー内の画像を表示する

選択されたフォルダーの画像だけでなく、そのサブフォルダーに含まれている画像も一緒にサムネイル に表示することができます。

1. サブフォルダーを含んだフォルダーを選択する

2. [ファイル] メニューの [サブフォルダーの表示] から [現在のフォルダーのサブフォルダー以下の画像を表示] を選択する



選択されたフォルダーとそのサブフォルダーのアイコンが 🎦 に変わり、そのフォルダー以下の画 像がすべてサムネイルに表示されます。

解除する場合は、親フォルダーを選択し[ファイル]メニューの[サブフォルダーの表示]から [現在のフォルダーのサブフォルダー以下の画像を非表示]を選択します。

✔ ご注意

- USB接続の外付けハードディスクなどには、この機能は使えません。
- サブフォルダーの表示を設定しているときには、「オプション」(Mac OS は [環境設定])
 でフォルダーアイコンを表示する設定にしていてもフォルダーアイコンは表示しません。
- 親フォルダーとサブフォルダーに同名の画像がある場合、同名のまま表示します。
- 同名のファイルを同時にコピー&ペーストする場合は、ペースト先ではファイル名がリネーム されます。また、ペースト先がサブフォルダー表示と設定されていても、選択されたフォル ダーにのみペーストされます。

ホーム > ファイルを見る、分類する > ファイル操作 > ファイルを保護する(プロテクト)

ファイルを保護する(プロテクト)

誤って削除などしないように、ファイルにプロテクトをかけることができます。 ファイルをプロテクトすると、ViewNX-i でファイルの削除、ファイル名の変更ができなくなります。 グループ画像の場合、 R のときはグループ化された画像全体にプロテクトがかかります。 のとき は、個別の画像にプロテクトをかけることができます。

1. プロテクトをかけるファイルを選択して、 [ファイル] メニューの [プロテクト設定] にカーソ ルを合わせ、 [プロテクトON] を選択する

ファイルにプロテクトがかかり、サムネイルに 🗔 が表示されます。



プロテクトを解除する

1. [ファイル] メニューの [プロテクト設定] にカーソルを合わせ、 [プロテクトOFF] を選択する

ファイルのプロテクトが解除され、サムネイルから M が取り除かれます。グループ画像の場合、 R のときはグループ化された画像全体のプロテクトが解除されます。 M のときは、個別の画像でプロテクトを解除できます。

プロテクトを示すアイコンについて

サムネイルの表示サイズを [最小] 、または [小] にしているときは 🏊 は表示されません。



• プロテクトがかかっているファイルを含んだフォルダーを削除しようとすると、削除の確認画

面が表示されます。 [OK] をクリックするとフォルダーは「ごみ箱」 (Mac OS は「ゴミ 箱」) に移動します。

• カメラで設定したプロテクトは、ViewNX-i に転送してもプロテクトONの状態になります。

ホーム > ファイルを見る、分類する > ファイル操作 > エクスプローラー / Finderに表示する

エクスプローラー / Finderに表示する

現在開いているフォルダーを、エクスプローラー(Mac OS は Finder)で表示できます。

1. [ファイル] メニューの [エクスプローラーで開く] (Mac OS は [Finderに表示]) を選択す る

「エクスプローラー」 (Mac OS は Finder) が起動し、フォルダーが表示されます。

🗸 ご注意

調整ファイルとの関連付けが解除されないように、画像および動画ファイルの移動・コピー・名前の変更はViewNX-i上で操作してください。
ホーム > ファイルを見る、分類する > 画像に埋め込まれた情報を見る/編集する

画像に埋め込まれた情報を見る/編集する

ラベル

ラベルは、画像を分類するために設定する機能です。ラベルは1から9までと、ラベルなしの0があり、それぞれ色分けされています。

▶ ラベルを付ける

▶ ラベルで見る

ラベルを活用する

たとえば屋外で撮影した画像にラベルの「1」を付け、屋内で撮影した画像にラベルの「2」を付け ます。「1」のラベルを付けた画像だけを表示して印刷するなどの使いかたができます。また「2」 のラベルだけを表示して、まとめて別のフォルダーにコピーしたり、削除したりするなどの使いか たができます。

ViewNX-i のラベルは Capture NX-D で設定する「ラベル」と互換性があります。

レーティング

レーティングは、画像や動画の重要度や評価を5段階の星マークを割り当てて設定する機能です。

- ▶ レーティングを割り当てる
- レーティングで見る

レーティングを活用する

評価が高い画像だけを表示したり、あるいは評価の範囲を指定して表示したりすることもできます。 す。たとえば、評価が標準以上の画像だけを表示して印刷するなどの使いかたができます。

ViewNX-iのレーティングは、Capture NX-D で設定する XMP 情報に対応した「レーティング」 と互換性があります。

メタデータ

メタデータは画像ファイルに埋め込まれた各種のテキスト情報です。 ViewNX-i 画面では、画像に埋め込まれているメタデータを表示できます。メタデータの一部の項目は 編集して、調整ファイルとして別ファイルに保存できます。

- メタデータを表示する
- メタデータを編集する
- ▶ XMP/IPTC 情報をコピー・貼り付けする
- ▶ XMP/IPTC プリセットを利用する
- ファイル/撮影情報を利用する
- メタデータの表示項目をカスタマイズする

▶ ラベル、レーティングの設定、メタデータの編集についてのご注意

- ・
 ・
 画像のラベル、レーティングの設定、メタデータの編集をすると、調整ファイルとして別の
 ファイルに保存され編集内容が記録されます。
- Capture NX バージョン 1 のラベルと ViewNX-i のラベルは互換性がありません。

✓ ツールバーで、同時記録された RAW 画像(NEF、NRW)と JPEG 画像を個別のファイルとして表示する設定() にしているとき

同時記録された RAW 画像(NEF、NRW) と JPEG 画像のどちらかに、ラベルまたはレーティン グを設定したり、メタデータを編集したりすると、別々のファイルとして扱われる場合がありま す。

個別のファイルとして扱う条件について詳しくは「**同時記録画像の取り扱いについて**」をご覧く ださい。

関連項目

▶ 転送時にメタデータを調整ファイルとして保存する

Nikon Transfer 2 では、画像をパソコンに転送するときに、メタデータの情報を調整ファイルとして保存することができます。

ホーム > ファイルを見る、分類する > 画像に埋め込まれた情報を見る/編集する > ラベルを 付ける

ラベルを付ける

ラベルを設定することで、画像や動画を分類できます。ラベルには1から9までと、ラベルなしの0が あり、それぞれ色分けされています。また、ラベル名を変更することもできます。

ラベルを付けた画像を見るには「ラベルで見る」をご覧ください。

1. ラベルを設定する画像を選択する

2. [画像] メニューから [ラベル設定] にカーソルを合わせ、設定したいラベルを選択する



選択した画像にラベルが設定されます。

- 設定したラベルは「XMP/IPTC情報」の[ラベル]フィールドにも反映されます。
 XMP/IPTC 情報については「メタデータを表示する」をご覧ください。
- 画像表示エリアやフィルムストリップのサムネイルに、設定したラベルが表示されます。
- ラベルを設定すると、調整ファイルとして別ファイルに保存されます。元画像のラベル情報 は変更されません。



ラベルは以下の方法でも設定できます。

- [画像調整/メタデータ] パレットの [XMP/IPTC情報] で、ラベルを選択する
- [イメージビューアー]、 [全画面表示]、 [自動再生] で表示される画像操作ツールパレット でラベルを選択する

画像操作ツールパレットについて詳しくは「イメージコントロールバー」をご覧ください。

- サムネイルのファイルにカーソルを重ねて表示されるアクセスボタンでラベルを設定する アクセスボタンについて詳しくは、「サムネイルの構成」をご覧ください。
- キーボードの「0」から「9」の数字を押すと数字に対応したラベルが付きます。

ラベル名を付けるには

[画像調整/メタデータ] パレット内の [ラベル] や、 [画像] メニューの [ラベル設定] を選択 したときに表示されるラベル名を変更できます。変更したラベル名は XMP 領域の [ラベル] に書 き込まれます。またラベル名を変更すると、「XMP/IPTCプリセット」にも反映されます。

ラベル名の変更については「ViewNX-i 画面のオプション/環境設定」/「ラベル」を、XMP/IPTC プリセットについては「XMP/IPTC プリセットを利用する」をご覧ください。

	オプション
一般 サムネイル ビューアー お切じ 入りつ+ルダー	ラベル名をカスクマイズできます 図1回時線を使用する
ファイルの取り扱い ダイアログ/警告 カラーマネージズント ファイルを繋(アフリケーション	tot tot
NKA 智景色 地図 Log Matching	
RAW視像 IIIebサービス	5%~ 10 P-7/e
	200920092009
	OK(0) #+5/26(0)

ラベルを取り除く

1. [画像] メニューから [ラベル設定] にカーソルを合わせ、 🔟 を選択する



選択した画像のラベルが取り除かれます。



<u>ラベ</u>ルで見る

あらかじめ画像にラベルを設定しておくことで、設定したラベルで絞り込みをかけて表示、または非表示にできます。

ラベルの設定については「ラベルを付ける」をご覧ください。

1. 表示モードを [サムネイル一覧表示] 、 [サムネイル詳細表示] または [イメージビューアー] にして、 [絞り込み] をクリックする



フィルターバーが表示されます。

2. フィルターバーで、表示するラベルの数字をクリックする



指定したラベルで表示が絞り込まれ、該当する画像が画像表示エリアに表示されます。 指定したラベルの画像が現在開いているフォルダーにない場合は、「表示できるファイルが見つ

ラベルによる絞り込み表示について

- をクリックすると、ラベルが設定されていない画像を表示します。
- Alt キー(Mac OS は Command キー)を押しながら数字をクリックすると、クリックした数字 だけを非表示にします。
- ラベルは複数選択できます。
 - 表示したいラベルの数字を順番にクリックします。
- ラベルは範囲を指定して表示できます。
 - ラベルの数字の上でドラッグすると、ドラッグした範囲のラベルだけを表示します。
 - 任意の数字のラベルをクリックし、続いて Shift キーを押しながら他の数字をクリックして 範囲を指定できます。
 - Alt キー(Mac OS は Command キー)を押しながらドラッグすると、ドラッグした範囲の ラベルを非表示にします。

ラベルによる絞り込み表示を解除する

1. フィルターバーの 🗾 をクリックする



ラベルによる絞り込み表示が解除されます。また、フィルターバーの 🗾 が非表示になります。

絞り込み表示の解除について

- ・
 絞り込み表示しているときに、
 [絞り込み]をクリックして、フィルターバーを非表示にする
 と、
 ー時的に絞り込み表示を解除できます。

 ホラー度
 「
 がり込み】
 たクリックして、
 フィルターバーを非表示にする
 - もう一度[絞り込み]をクリックすると、同じ条件で絞り込み表示されます。
- フィルターバーの [すべてクリア] をクリックすると、フィルターバーのフィルター設定をすべて解除します。

関連項目

- ▶ ファイル形式を選択して表示する
- ▶ レーティングで見る



レーティングを割り当てる

レーティングを割り当てることで、画像の重要度などを設定できます。レーティングは削除候補と1か ら5個の 📷 (星マーク)の数で表されます。動画にレーティングを設定できるカメラで撮影した場合 のみ、動画ファイルにもレーティングを割り当てることができます。

レーティングを割り当てた画像を見るには「レーティングで見る」をご覧ください。

1. レーティングを設定する画像を選択する

 2. [画像] メニューから [レーティング設定] にカーソルを合わせ、設定したいレーティングの 【
 (星マーク)を選択する

Strated and						
プラウザー	WERE ENTRY/C CALCER					
+ - E 82	180°语影(0)	🖬 🗞 7-1 AIC -	8922	- 🛆		
- BRICAU	フォーカスポイント表示(F) Cbi+Shitt+	F				
Transferdi Millio		senter				
Transfer Big R	# 294.000000				6	
Tratation (1977	ラベル設定(1)			1.1	- 6	
	レーディング設定に向	00	Ctrl+0	447		
11 F201-97	-78-7600	, B C0	Alt+Delete			-
E 62994	2オトトレイに登録(2)	*0	Cirl+1	100		
0 E71	97	**0	Chi+2	1.11		
		***0	GH+3			
		*****	Cirl+4			
* 7#B9-		*****	CH1+5			

選択した画像にレーティングが設定されます。

- 指定したレーティングは「XMP/IPTC情報」の「レーティング」にも適用されます。
 XMP/IPTC 情報については「メタデータを表示する」をご覧ください。
- ・ 画像表示エリアやフィルムストリップのサムネイルに、設定したレーティングの
 ・
 マーク)が表示されます。
- レーティングを設定すると、その情報は調整ファイルとして別ファイルに保存されます。元の画像ファイルのレーティング情報には変更ありません。



レーティングは以下の方法でも設定できます。

- [画像調整/メタデータ] パレットの [XMP/IPTC情報] で、レーティングの 🔛 (星マーク) を選択する
- 〔イメージビューアー〕、〔全画面表示〕、〔自動再生〕で表示される画像操作ツールパレットの

 ▲ (星マーク)を選択する

 画像操作ツールパレットについて詳しくは「イメージコントロールバー」をご覧ください。
- サムネイル画像にカーソルを重ねると表示されるアクセスボタンでレーティングを選択する アクセスボタンについて詳しくは「サムネイルの構成」をご覧ください。

レーティングをリセットする

1. [画像] メニューから [レーティング設定] にカーソルを合わせ、 🔊 を選択する

37913(0) MERE(1)	111(1) (111(11) フインドラ(11) ヘルフ(11)	and the second se		
7509-	90°田町(時計田切)(C) C++5+i 90°田町(長時計田切)(W) C++5+i	tell	MICE .	
			8/12/9 *	
- SREAU	2#=DAR12Fitter) Cur+Std			
Transferfit Billig		379	-	
Transfer Big 77	5代14日定(1)		1	
	レーティング設定的	• OU	Chil+0	
101 97291-97.	- 71-76(1) フォトトレイに登録(P)	+ B E0 ★0	Alt+Lesele Orf+1	-
6 578	TOWALD-C	_ ★ ★∞	Orf+2 3	G +A Ros
		*** **	Cri+3	
10000	and the second second	****	Chi+4	

選択した画像のレーティングがリセットされます。

ホーム > ファイルを見る、分類する > 画像に埋め込まれた情報を見る/編集する > レーティ ングで見る

レーティングで見る

あらかじめ画像にレーティングを割り当てて画像の重要度などを設定することで、割り当てたレーティングで絞り込みをかけて表示できます。レーティングによる絞り込み表示は範囲を指定することもできます。

重要度が高い画像だけを表示して、スライドショーや印刷などの機能を使用したり、まとめて別のフォ ルダーにコピーしたり、削除するなどのファイル操作を容易にします。ラベルの設定と組み合わせて使 用することもできます。

レーティングの割り当てについては「レーティングを割り当てる」をご覧ください。

1. 表示モードを [サムネイルー覧表示] 、 [サムネイル詳細表示] または [イメージビューアー] にして、 [絞り込み] をクリックする

フィルターバーが表示されます。

2. フィルターバーで、表示するレーティングの値を 📓 または 🕎 (星マーク)をクリックして指定 する



指定したレーティングで表示が絞り込まれ、該当する画像が画像表示エリアに表示されます。 ■ をクリックすると、レーティングが設定されていない画像を表示します。

指定したレーティングの画像が現在開いているフォルダーにない場合は、「表示できるファイル が見つかりません」と表示されます。レーティングにより表示が絞り込まれているときは、フィ ルターバーに 🔽 が表示されます。

レーティングによる絞り込み表示について

レーティングは範囲を指定して表示できます。 • 任意の位置の星をクリックし、続けて別の星をクリックする

- レーティングの星の上でドラッグする
- Shift キーを押しながら、任意の位置の星をクリックする
 レーティング設定なし(○)からクリックした任意の位置までの範囲が指定されます。

レーティングによる絞り込み表示を解除する

1. フィルターバーの 🗾 をクリックする



レーティングの絞り込み表示が解除されます。レーティングの表示がリセットされると、フィル ターバーの 🔽 が非表示になります。

絞り込み表示の解除について

- フィルターバーの [すべてクリア] をクリックすると、フィルターバーのフィルター設定をすべて解除します。

関連項目

- ▶ ファイル形式を選択して表示する
- ラベルで見る

ホーム > ファイルを見る、分類する > 画像に埋め込まれた情報を見る/編集する > メタデー タを表示する

メタデータを表示する

ViewNX-i では、画像や動画に埋め込まれているメタデータを表示できます。

メタデータとは

メタデータは画像ファイルに埋め込まれた各種のテキスト情報です。メタデータには、たとえば以下の情報があります。

- 撮影日などの情報や、露出、焦点距離など撮影時のカメラの設定情報(ファイル/撮影情報)。
 撮影時に自動的に埋め込まれます。
- 画像についてのキーワード、説明、タグなどの情報(XMP/IPTC 情報)。ラベルやレーティング も含まれます。これらの情報は、編集できます。

XMP/IPTC情報とは

- IPTC 情報とは国際新聞通信評議会(International Press Telecommunications Council)により制定された、出版業界および報道機関向けの、撮影画像に関連するデータ(作成日時、作成者、データ形式、タイトル、キーワードなど)の規格です。
- XMP(Extensible Metadata Platform)とは画像に関連するデータの規格で、Adobe 社により 提唱され、XML で記述されています。IPTC をはじめ、さまざまな情報も XMP ファイルとして 取り扱うことができます。
- 1. メタデータを表示するファイルを選択し、 [画像調整/メタデータ] パレットを表示する



現在選択しているファイルのメタデータの簡易画面が、パレットに表示されます。

[画像調整/メタデータ] パレットが自動的に表示されないときは、画面の右端の をクリックします。

2. [ファイル/撮影情報] または [XMP/IPTC情報] の右にある 🔲 をクリックして、詳細な表示 形式にする



各項目タイトルの左にある ■ をクリックすると、各項目の内容を表示できます。

▼ ファイル/撮影情報 すべて ▲
▶ 7ァイル情報 1
▶ <mark>ファイル情報 2</mark>
▼ カメラ情報
モデル名: Nikon COOLPIX4
焦点距離: 9.3mm
電子ズーム倍率: 1.00
コンバーター: なし
フォーカスモード: AF-C
手ブレ補正:

- 簡易な表示形式に戻すときは、 🛐 をクリックします。
- メタデータの編集については「メタデータを編集する」をご覧ください。
- 複数のファイルを選択しているときは、選択したすべてのファイルで値が共通する項目はそのまま表

示され、異なる項目は「--」と表示されます。

ホーム > ファイルを見る、分類する > 画像に埋め込まれた情報を見る/編集する > メタデー タを編集する

メタデータを編集する

画像に埋め込まれたメタデータのうち、「XMP/IPTC 情報」は編集して調整ファイルとして別ファイル で保存できます。

XMP/IPTC 情報の編集について

- ラベル、レーティングも、XMP/IPTC 情報の一部です。ラベル、レーティングは画像操作ツール パレット、 [画像調整/メタデータ] パレットのどちらでも設定できます。
- ViewNX-i で編集できる XMP/IPTC 情報は、Capture NX-D、Capture NX 2、Nikon Transfer、Nikon Transfer 2、Thumbnail Selector で設定する「XMP/IPTC 情報」と互換性が あります。
- 編集内容は XMP 領域と IPTC 領域の両方に同一内容が保存されます。
 XMP 領域と IPTC 領域で同一の項目名が存在する場合は、XMP 領域のものを優先して表示します。

1. [XMP/IPTC情報] を詳細表示にする

[XMP/IPTC情報]の詳細表示については、「メタデータを表示する」をご覧ください。

2. 必要に応じて項目の編集を行う

メタデータを編集する

▼ XMP/IPTC情報	すべて	Ť Î
- 91		
	ラベル	ા
	レーティング	05*1
	キーワード	
		追加 位 会情:
- 説明		
	イベント	
	タイトル	
3	著作権情報	
▼ 作成者		
	作成者	

各項目タイトルの左にある ■ をクリックすると、各項目の内容を表示できます。 編集できる項目には、選択メニューやテキスト入力ボックスがあります。

3. 📰 をクリックする

入力、編集した XMP/IPTC 情報は、調整ファイルとして別ファイルに保存されます。元画像の XMP/IPTC 情報は変更されません。

XMP/IPTC 情報が埋め込まれた画像のサムネイルには、 🔲 が表示されます。



 複数の画像を選択しているときは、選択しているすべての画像に同一の内容が調整ファイル として保存されます。 ・編集を中止するには、[リセット]をクリックします。
 最後に ■をクリックしたときの状態にリセットされます。

主な項目の編集方法

- [ラベル]
 クリックして、設定したいラベルを選択します。
- [レーティング]

▲ (星マーク)をクリックするか、またはドラッグして割り当てます。 レーティングを解除するには、 ▲ をクリックします。

[キーワード]

設定したいキーワードを入力します。キーワードは複数設定できます。キーワードを入力した後、 [追加]をクリックすると追加され、設定済み一覧にキーワードが表示されます。キーワードは100個まで追加できます。

追加したキーワードを削除するには、設定済み一覧から削除したいキーワードを選択して [削除] をクリックします。

一度設定したキーワードは、履歴として記憶されます。履歴は次回以降、エディットボックスの
 ■ をクリックして選択できます。

Windows では、キーワードの設定の履歴を削除できます。エディットボックスの Defection をクリックして表示された一覧のうち、履歴から削除したいキーワードにカーソルを合わせ、Delete キーを押します。

• [説明]

画像に関する説明を入力します。

[説明]には半角 2000 文字 / 全角 1000 文字まで入力できます。改行することもできます。

• [ISO国コード]

ISO3166-1 準拠の国コードの 3 桁を入力します。 例: 日本 = JPN、アメリカ合衆国 = USA など

• [作成日]

「yyyy/mm/dd」の形式で入力します。

例: 2006/08/31

Windows では m をクリックすると、カレンダーを表示し、作成日を選択できます。Mac OS では [作成日] のエディットボックスを選択すると、今日の日付が表示されます。

・ [カテゴリー]

3桁の英数字のみを入力します。

• [追加カテゴリー]

追加したいカテゴリーを入力します。カテゴリーは複数を追加できます。カテゴリーを入力した後、 [追加]をクリックすると、一覧にカテゴリーが追加されます。カテゴリーは100個まで追加できます。追加したカテゴリーを削除するには、カテゴリーを選択して [削除]をクリックします。

一度入力したカテゴリーは次回以降、エディットボックスの 🔽 をクリックして選択できます。

編集したメタデータの保存について

■ をクリックせずに他の画像を選択したり、他の操作を行ったりすると、保存の確認画面が表示されます。

[はい]をクリックすると入力、編集した内容が調整ファイルに保存されます。

別名で保存する

メタデータを編集した画像が1枚だけのときは、別名で保存できます。 📓 をクリックすると、保存先とファイル名を設定する画面が表示されます。

位置情報をもとにキーワードを検索する

位置情報が埋め込まれた画像のときは、パレットの [位置情報を利用...]をクリックして、撮影した地点の住所や地名、撮影した地点に関連がある用語などを検索できます。検索した地名や用語は、XMP/IPTC 情報の [キーワード] として設定できます。

詳しくは「**位置情報からキーワードを検索する**」をご覧ください。

関連項目

- ▶ ラベルを付ける
- レーティングを割り当てる

ホーム > ファイルを見る、分類する > 画像に埋め込まれた情報を見る/編集する > XMP/IPTC 情報をコピー・貼り付けする

XMP/IPTC 情報をコピー・貼り付けする

XMP/IPTC 情報のすべての項目をコピーし、他の画像や他のアプリケーションに貼り付け(ペースト)できます。複数の画像の調整ファイルに同じ内容を同時に貼り付けできます。

1. XMP/IPTC 情報をコピーする画像をひとつ選択し、 [編集] メニューから [IPTC情報のコ ピー] を選択する

XMP/IPTC 情報がクリップボードにコピーされます。

XMP/IPTC 情報の各項目は1行ずつ、パレット上の「XMP/IPTC 情報」に表示された内容のまま、項目名とその値をタブで区切ったデータとしてコピーされます。

2. 貼り付ける画像を選択し、[編集]メニューから[IPTC情報の貼り付け](Mac OS は[IPTC 情報のペースト])を選択する

クリップボードの XMP/IPTC 情報が画像の調整ファイルとして保存されます。

XMP/IPTC 情報の貼り付けについて

 貼り付けの操作を行ったときに [画像調整/メタデータ] パレットを表示しているときは、コ ピーした XMP/IPTC 情報が [XMP/IPTC情報] 詳細表示の入力ボックスに入力されます。 のしックすると XMP/IPTC 情報が調整ファイルに保存されます。
 [画像調整/メタデータ] パレットを表示していないときは、 [XMP/IPTC情報の保存の確認]
 画面が表示されます。 [はい] をクリックすると、選択した画像の調整ファイルに XMP/IPTC 情報が保存されます。

✔ ご注意

- XMP/IPTC 情報のうち、 [ラベル]、 [レーティング]の項目はコピーされません。また複数の画像を選択しているときはコピーできません。
- 画像にすでに XMP/IPTC 情報が調整ファイルとして保存されているときは、既存の XMP/IPTC 情報は貼り付けた XMP/IPTC 情報に上書きされます。
- Capture NX 2 以降でコピーされた XMP/IPTC 情報は貼り付けできません。

ホーム > ファイルを見る、分類する > 画像に埋め込まれた情報を見る/編集する > XMP/IPTC プリセットを利用する

XMP/IPTC プリセットを利用する

メタデータの XMP/IPTC 情報は、各項目を入力した「XMP/IPTC プリセット」としてあらかじめ登録し ておくことができます。登録済みの XMP/IPTC プリセットを読み込んで、画像の調整ファイルに保存す ることができます。

XMP/IPTC プリセットは複数登録できます。また XMP/IPTC プリセットの削除、XMP/IPTC プリセット 名の変更などの管理もできます。

XMP/IPTC プリセットを登録する

1. [編集] メニューの [オプション...] (Mac OS は [ViewNX-i] メニューの [環境設定...]) を選択する

[オプション] (Mac OS は [環境設定]) 画面が表示されます。

[XMP/IPTCプリセット]を選択する

XMP/IPTCプリセットの管理画面に変わります。

サムネイル	■ ¥<7733				
ビューアー お気に入りつきパダー ファイルの取り扱い ダイアログ/音音 カラーマネージメント ファイルを開発(アクリケーション)	部行物のみ エキシモンルンゲーム NDMIK	● 95 5<% レーティング キーワード	圓•碌⊎ 暫立立立立立		
5代6 貿易色		• 10.49			
MELSI Los Matchino		1640			
RAW視像		101			
用他サービス		<u>ቅ</u> ብትቤ			
		著作権情報	(C)2014 (著作権所有者名), al righ	•	
	PER.	- 0x5#			
	28.04	2.1994 B	100-00-00 AT		
	1.00	nuste	(110548-96)	2	
	N'D8	11.66者 役間	NearF29%かパウユーザー	2	
	空白の頃日にチェックマークを 付けると、フリセット適用はそ	1106 (27)			
	の項目のゲータは消去されま	作成者清町村名			
		作成者都遗府県名			
		作成者国名		Ο,	

- 管理画面の使いかたについては「XMP/IPTC プリセットの管理について」をご覧ください。
- XMP/IPTC プリセットの各項目の入力方法については「メタデータを編集する」をご覧くだ さい。

入力後 [OK] をクリックすると、XMP/IPTC プリセットの登録状態が更新されます。

ViewNX-i 画面から XMP/IPTC プリセットを読み込んで、XMP/IPTC 情報を画像の調整ファイルとして 保存するには下記「登録済みの XMP/IPTC 情報を読み込む」をご覧ください。

Nikon Transfer 2 で登録する

XMP/IPTC プリセットは、Nikon Transfer 2 でも登録できます。また Nikon Transfer 2 で画像 をパソコンに転送するときに、XMP/IPTC 情報を調整ファイルとして保存することができます。

詳しくは「**転送時にメタデータを調整ファイルとして保存する**」をご覧ください。

登録済みの XMP/IPTC 情報を読み込む

ViewNX-i 画面では、登録した XMP/IPTC プリセットを読み込んで、画像の調整ファイルとして保存することができます。

1. 画像を選択し、[編集] メニューの [XMP/IPTCプリセットの読み込み] にカーソルを合わせ、 読み込みたい XMP/IPTC プリセットを選択する

選択した XMP/IPTC プリセットの内容の XMP/IPTC 情報が、画像の調整ファイルとして保存されます。

- 「XMP/IPTC プリセットの管理について」の入力フィールドで、チェックを入れた項目だけ が読み込まれます。
- XMP/IPTC プリセットを登録していないときは、 [編集] メニューから [XMP/IPTCプリ セットの読み込み] は選択できません。

XMP/IPTC プリセットの読み込みについて

 [XMP/IPTCプリセットの読み込み]の操作を行ったときに [画像調整/メタデータ] パレット を表示しているときは、読み込まれた XMP/IPTC 情報が [XMP/IPTC情報]の入力ボックスに 入力されます。 アイルとして保存されます。
 [画像調整/メタデータ] パレットを表示していないときは、 [XMP/IPTC情報の保存の確認]
 画面が表示されます。 [はい] をクリックすると、XMP/IPTC 情報が調整ファイルとして保存されます。

✔ ご注意

- すでに XMP/IPTC 情報が画像の調整ファイルとして保存されているとき、既存の XMP/IPTC 情報は XMP/IPTC プリセットから読み込まれた項目に上書きされます。
- XMP/IPTC プリセットで「消去」の指定がされている項目の内容は、消去されます。



ファイル/撮影情報を利用する

ファイル/撮影情報は、露出、焦点距離など撮影時の設定情報で、メタデータの一部です。ファイル/撮 影情報をクリップボードにコピーしたり、テキストファイルとして書き出したりできます。

- ▶ ファイル/撮影情報をクリップボードにコピーする
- ▶ ファイル/撮影情報を書き出す

ファイル/撮影情報をクリップボードにコピーする

メタデータのうち、ファイル/撮影情報をクリップボードにコピーし、他のアプリケーションで貼り付け できます。

1. ファイル/撮影情報をコピーするファイルを選択し、[編集] メニューから [ファイル/撮影情報 のコピー] を選択する

ファイル/撮影情報のすべての項目がクリップボードにコピーされます。

ファイル/撮影情報の各項目は1行ずつ、パレット上の[ファイル/撮影情報]に表示された内容のまま、項目名とその値をタブで区切ったデータとしてコピーされます。

ファイル/撮影情報のうち任意のカテゴリーをコピーする

ファイル/撮影情報のうち任意のカテゴリーだけをコピーできます。 [画像調整/メタデータ] パ レットの [ファイル/撮影情報] を詳細表示にして、コピーしたいカテゴリーの上にマウスカーソ ルを置き、右クリック (Mac OS は Control キーを押しながらクリック) して [この情報のコ ピー] を選択します。 ファイル/撮影情報を利用する

▼ ファイル/撮影情報 すべて 🍼 🚹
撮影日: 00:00:00 地域と日時:
画質モード: Jpeg Fine (8-l
▼ カメラ情報
モデル名: Nikon D100
レンズ: VR 80-400mn
<u></u>
すべての項目を開く(E)
すべての項目を閉じる(C)
ファイル/撮影情報のコピー(A)
この情報 (カメラ情報) のコピー(F)
 表示する情報セット(s)
フラッシュ名:

ファイル/撮影情報を書き出す

複数のファイルのファイル/撮影情報をまとめて書き出して、テキストファイルまたはCSVファイルとして保存できます。

保存したテキストファイルまたはCSVファイルを表計算ソフトなどで開くと、行を各ファイル、列 をファイル/撮影情報の各項目とした一覧表として表示できます。

1. ファイル/撮影情報を書き出したいファイルを選択し、[ファイル] メニューから[ファイル/撮影情報の書き出し...]を選択する

書き出すテキストファイルまたは CSV ファイルの保存先、ファイル名、ファイル形式を指定する 画面が表示されます。

ファイル形式はテキストファイル(.txt) または CSV ファイル(.csv)のいずれかを選択しま す。表計算ソフト、データベースソフトなど、目的や対応状況に応じてファイル形式を選択して ください。

- テキストファイル (.txt) は、項目どうしをタブで区切ったデータです。
- CSV ファイル(.csv)は、項目どうしをカンマで区切ったデータです。
 ファイルを選択していなかったときは、現在表示しているすべてのファイルのファイル/撮影 情報が書き出されます。

2. 保存先、ファイル名とファイル形式を指定し、 📰 をクリックする

ファイル/撮影情報を書き出したテキストファイル、または CSV ファイルが保存されます。

ホーム > ファイルを見る、分類する > 画像に埋め込まれた情報を見る/編集する > メタデー タの表示項目をカスタマイズする

メタデータの表示項目をカスタマイズする

[画像調整/メタデータ]パレットにある [ファイル/撮影情報] / [XMP/IPTC情報] 項目の表示をカス タマイズできます。よく使う項目だけを表示したり、または使う頻度の順に表示を変更したりできま す。

[画像調整/メタデータ]パレットの詳細表示については、「メタデータを表示する」をご覧ください。

メタデータ項目の表示方法を選択する

メタデータの表示項目をすべて表示するか、基本的なものだけにするかを選択できます。

1. [ファイル/撮影情報] / [XMP/IPTC情報] 右の ■ をクリックして項目を選択する



表示項目が変更されます。

[すべて]、[基本]から選択できます。

メタデータ項目の表示/非表示、表示順をカスタマイズする

[ファイル/撮影情報] / [XMP/IPTC情報] 各項目の表示/非表示、表示の順番を設定できます。 各項目の表示/非表示、表示順の設定内容は、プリセットとして登録できます。

1. [ファイル/撮影情報] / [XMP/IPTC情報] 右の ▲ をクリックして、選択項目から [カスタム 設定...] を選択する

▼ ファイル/撮影情報	ब्रे र
 ▶ ファイル情報 1 ▶ ファイル情報 2 ▶ カメラ情報 	 すべて 基本
・露出	力スタム設定
 ▶ フラッシュ ▶ 画像設定 	
▶ 仕上がり設定	
▶ 位直情報	
▼ XMP/IPTC情報	রুম্বে 📩 💼
▶ 90	
▶ 説明	

設定画面が表示されます。

2. [新規] をクリックする

登録されているカスタム設定:	表示する項目:	
新規	 □ファイル情報21 □ファイル情報22 □カメラ情報1 □露出 □フラッシュ □画像設定 □ビクチャーコントロール/仕上がり設定 □位置情報8 □フォルダー □スキャナー 	
THEA		

[登録されているカスタム設定:] に新規プリセットが作成されます。

3. 各項目の表示/非表示、表示順を設定する

以下の設定ができます。

• [表示する項目:] で、表示する項目にチェックを入れ、表示しない項目はチェックをはず す • [表示する項目:]で項目を選択し、 / マ をクリックして、表示する順番を並べ替える 項目名をクリックするごとに、その項目の選択/非選択が切り替わります。項目は複数選択で きます。

4. [OK] をクリックする

設定したプリセットが登録されます。

[ファイル/撮影情報] / [XMP/IPTC情報] 右の ■ をクリックすると、登録したプリセットが 選択項目の中に表示されます。プリセットを選択すると、表示項目が変更されます。



プリセットの管理について

プリセットの修正、削除などは、[ファイル/撮影情報パネルのカスタム設定]/[XMP/IPTC情報 パネルのカスタム設定]を表示して行います。

プリセットを修正する

修正するプリセットを一覧から選択し、上記の手順3(各項目の表示/非表示、表示順の設定) 以降の操作をします。

- プリセット名を変更する
 名前を変更するプリセットを一覧から選択し、もう一度そのプリセットをクリックします。名前
 が変更できる状態になります。
- プリセットを複製する
 任意のプリセット名を一覧から選択して [複製] をクリックすると、そのプリセットのコピー
 が、連番をつけた名前で作成されます。入力されている項目のうち一部のみを変更して、新しい
 プリセットを作成したいときに便利です。
- プリセットを削除する 削除するプリセットを一覧から選択して [削除] をクリックします。

ホーム > ファイルを見る、分類する > ViewNX-i 画面のオプション/環境設定

ViewNX-i 画面のオプション/環境設定

以下の項目を設定できます。

- ▶ 一般
- ▶ サムネイル
- ▶ ビューアー
- ▶ お気に入りフォルダー
- ファイルの取り扱い
- ▶ ダイアログ/警告
- カラーマネージメント
- ファイルを開くアプリケーション
- ▶ XMP/IPTCプリセット
- ▶ ラベル
- ▶ 表示
- ▶ 地図
- Log Matching
- ▶ RAW現像
- ▶ Webサービス
- ▶ 動画

オプション(環境設定)画面を表示する

1. [編集] メニューの [オプション...] (Mac OS は [ViewNX-i] メニューの [環境設定...]) を選択する

[オプション] (Mac OS は [環境設定]) 画面が表示されます。

2. 変更する項目を選択し、各設定をする

87982		
		874
	Alamitti san Alamitti san Alamitti san Alamitti san Alamitti san	¢ ()
	75.24(84+102 8+10222(開発する場所)	017)25800- 015-
	CHUtersRuserNapDataRLocalPhilamPrivewHDCHCather RETECTING T	
		0400 447/540

3. [OK] をクリックする

設定が完了します。

一般

[オプション] (Mac OS は [環境設定])の [一般] メニューでは、以下の設定ができます。

オブション		- 3
	Alarnitti aani Alarnitti aani Alarnitti aani Alarnitti aani Alarnitti aani	î
	76446447302 877502593764891	14/H- H_
	CHUtersHuterHäppDelaRLocatRNRentViewNX.48Cathe	
		territo.

[音声メモ]

音声メモの自動再生を設定します。

[全画面表示モードで表示している画像に音声メモがある場合、自動的に再生する]

チェックを入れると、音声メモ付き画像を全画面表示モードで表示したとき、音声メモを自動 的に再生します。

[通知音]

通知音を設定します。

[処理終了時に通知音を鳴らす]

チェックを入れると、処理が終了したとき通知音を鳴らします。一覧から通知音に設定したい 音声ファイルを選択します。

[サムネイルキャッシュ]

画像のキャッシュを設定します。

[キャッシュを削除...]

表示に使用した画像キャッシュを削除します。

[キャッシュを保存する場所:]

画像キャッシュの保存場所を変更します。

変更するときは [参照...] をクリックし、表示される [フォルダーの参照] 画面で変更場所を 指定し、 [OK] をクリックします。

キャッシュについては下記「キャッシュとは」をご覧ください。

[設定を初期値に戻す]

このメニューの設定項目をすべて初期設定に戻します。

キャッシュとは

キャッシュとは、画像の表示を高速化するため、画像データをハードディスク内に作成し、処理を 高速化するための仕組みです。OSやViewNX-iがインストールされていないローカルドライブに十 分な空き容量がある場合は、キャッシュの保存場所をそのローカルドライブに変更することで、最 適なパフォーマンスで使用できます。

関連項目

▶ 音声ファイルを再生する

ホーム > ファイルを見る、分類する > ViewNX-i 画面のオプション/環境設定 > サムネイル

サムネイル

[オプション] (Mac OS は [環境設定])の [サムネイル] メニューでは、以下の設定ができます。

(7542		×
	745+15歳号環境の2459-7422 第 2459-7422後期に満分す8 ○ 2459-7422後期に満分す8 ○ 2459-7422を開発しない 記念を把助機に発す	
	OKO	\$928360

[サムネイル表示領域のフォルダーアイコン]

画像表示エリア、フィルムストリップのフォルダーアイコンの表示順を設定します。

[フォルダーアイコンを最初に表示する]

画像表示エリア、フィルムストリップで、フォルダーを画像よりも前に表示します。

[フォルダーアイコンを最後に表示する]

画像表示エリア、フィルムストリップで、フォルダーを画像よりも後に表示します。

[フォルダーアイコンを表示しない]

画像表示エリア、フィルムストリップにフォルダーを表示しません。

[設定を初期値に戻す]

このメニューの設定項目をすべて初期設定に戻します。

関連項目

- ViewNX-i 画面の基本操作
- ▶ サムネイルの構成

ホーム > ファイルを見る、分類する > ViewNX-i 画面のオプション/環境設定 > ビューアー

ビューアー

[オプション] (Mac OS は [環境設定])の [ビューアー] メニューでは、以下の設定ができます。

#7949		×
-평 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	SMAR+C2482大県市 金属型た3イイージビンア・T着きを用作中に3MR+-E作した場合の単形端本 ○ 50%来市 ○ 200%来市 ○ 400%来市 ※前モーブの時行 万ムキイルを行行 万ムキイルを行行 つ 4.5%かりついた場合の単分モデ ○ イージビンア・ ● 金属面示 図 5編面で金属面素件 (7345 * 4371-47場場の場合) 日本での単位 日本での 日本で	
	000	4426340

[Shiftキーによる拡大表示]

表示している画像のサイズが [全体表示] のとき、Shift キーを押すか、またはマウスを長押しした ときの表示サイズを選択します。

[50%表示]

実サイズの 50% で表示します。

[100%表示]

実サイズで表示します。

[200%表示]

実サイズの 200% で表示します。

[400%表示]

実サイズの 400% で表示します。

[表示モードの移行]

ワークスペースが [地図] 以外のときに、画像表示エリアまたはフィルムストリップのサムネイル をダブルクリックしたときの動作を設定します。

Enter キー(Mac OS は return キー)を押した場合も同様の動作となります。

[イメージビューアー]

[サムネイル一覧表示]、 [サムネイル詳細表示] モードのとき:

画像表示エリアのサムネイルをダブルクリックすると[イメージビューアー]モードに切り替わります。

[イメージビューアー]、[全画面表示] モードのとき:

フィルムストリップのサムネイルをダブルクリックすると、 [サムネイル一覧表示] または

[サムネイル詳細表示] モードに切り替わります。

[全画面表示]

各表示モードで、画像表示エリアまたはフィルムストリップのサムネイルをダブルクリックす ると [全画面表示] モードに切り替わります。

[別画面で全画面表示 (マルチディスプレイ環境の場合)]

チェックを入れると、マルチディスプレイ環境のときは、ダブルクリックでセカンダリーモニ ター(2台目のモニター)に[全画面表示]モードで画像や動画を開きます。 この設定はショートカットとしてキーボードの「F」キーを押した場合、または[イメージ ビューアー]モードで画像表示エリアの画像をダブルクリックした場合にも適用されます。マ ルチディスプレイ表示モードについては「**その他の便利な機能」/「マルチディスプレイで表示 する**」をご覧ください。

[設定を初期値に戻す]

このメニューの設定項目をすべて初期設定に戻します。

🚺 ワークスペースが [地図] のとき

フィルムストリップのサムネイルをダブルクリックしても、表示モードは変更されません。

関連項目

▶ 表示サイズを変更する

```
ホーム > ファイルを見る、分類する > ViewNX-i 画面のオプション/環境設定 > お気に入り
フォルダー
```

お気に入りフォルダー

[オプション](Mac OSは[環境設定])の[お気に入りフォルダー]メニューでは、以下の設定がで きます。

#7582		×
	9778547465* ☐ 9778547465* ☐ 81828578 BITHER#: N7	
		0403 442280

[デフォルトフォルダー]

[ナビゲーション]パレットの「お気に入り」に表示する内容を設定します。

一部のニコン製アプリケーションをインストールしているとき、お気に入りフォルダーには専用の フォルダーが自動で登録されます。 [お気に入りフォルダー] メニューでは専用フォルダーの表示 位置、または表示/非表示を切り替えることができます。

[デフォルトフォルダーを表示する]

チェックを入れると、お気に入りフォルダーを表示する以下の各一覧で、ニコン製アプリケー ションの専用フォルダーを表示します。

- [ナビゲーション] パレットの [お気に入り]
- [表示] メニューの [お気に入りフォルダー]

チェックをはずすと、ニコン製アプリケーションの専用フォルダーは表示しません。

[先頭に表示する]

チェックを入れると、お気に入りフォルダーを表示する各一覧で、ニコン製アプリケーション の専用フォルダーを先頭に表示します。

[設定を初期値に戻す]

このメニューの設定項目をすべて初期設定に戻します。

関連項目

- ▶ お気に入りフォルダーを登録する
- ▶ Nikon Transfer 2 の転送先フォルダーを開く
```
ホーム > ファイルを見る、分類する > ViewNX-i 画面のオプション/環境設定 > ファイルの
取り扱い
```

ファイルの取り扱い

[オプション](Mac OS は[環境設定])の[ファイルの取り扱い]メニューでは、以下の設定がで きます。

87982		×
	€->из/37579399 ☐ 122-300000000000000000000000000000000000	
	00	44725MO

[モーションスナップショット]

ニコン製動画編集ソフトウェアに NMS 形式 (MOV + JPEG) のモーションスナップショット画像 を渡す際に MOV ファイルだけを渡すか、MOV ファイルと JPEG 画像の 2 種類を渡すかどうかを設 定します。

[ニコン製の動画編集ソフトウェアにJPEG画像を渡す]

チェックを入れると、NMS 形式(MOV + JPEG)のモーションスナップショット画像に含まれる MOV ファイルと JPEG 画像の両方を渡すよう設定します。

チェックをはずすと、NMS 形式(MOV + JPEG)のモーションスナップショット画像に含まれる MOV ファイルと JPEG 画像のうち、MOV ファイルのみを渡すよう設定します。

[設定を初期値に戻す]

このメニューの設定項目をすべて初期設定に戻します。

```
ホーム > ファイルを見る、分類する > ViewNX-i 画面のオプション/環境設定 > ダイアログ/
警告
```

ダイアログ/警告

[オプション](Mac OS は[環境設定])の[ダイアログ/警告]メニューでは、以下の設定ができま す。

17942			\times
- 毎	7470788 128662074707888LSU/REEYEN F6	() PEN	
		04(0) 847/2540	

[ダイアログ画面]

各ダイアログ画面の [次回からこのダイアログを表示しない] のチェックボックスを初期状態に戻します。 [リセット] をクリックすると初期状態に戻ります。

ホーム > ファイルを見る、分類する > ViewNX-i 画面のオプション/環境設定 > カラーマ ネージメント

<u>カラーマネー</u>ジメント

[オプション](Mac OS は[環境設定])の[カラーマネージメント]メニューでは、以下の設定が できます。

-毎 7.57.6 ビューアー あまこ入(2-6-5) フィムを取り扱い タイアロクアルー 参加23-05/05 二、 フィムを取り用い 「フリート・ション メルル(2-7) ディン・ション メルル(2-7) ディン・ション メルル(2-7) 生い うくな 素子 しの) Matching たみの構築 Weight -ビス 、	たつ-マッジッグプロファイム 第4500年まだのたま2第 Teleon INGR 400.0001	
EA		

[カラーマッチングプロファイル](Windows)/[画像のデフォルトプロファイル](Mac OS)

画像の色空間(カラープロファイル)に関する設定をします。

[標準RGB色空間] (Windows) / [RGBデフォルト:] (Mac OS)

画像のデフォルトの色空間を変更できます。 変更するには
をクリックして、プロファイルを選択します。
色空間については「ViewNX-i がサポートする色空間について」をご覧ください。

[画像を開くときに、埋め込みプロファイルの代わりに使用する]

チェックを入れると、画像に埋め込まれているプロファイルを自動的に[標準RGB色空間] (Mac OS は [RGBデフォルト:]) オプションで定義されているプロファイルに変換します。

[プリンタープロファイル]

プリンタープロファイルに関する設定をします。

[プリント用のプロファイルを指定する]

プリンタープロファイルを変更できます。 変更するには 🗔 をクリックして、 プリンタープロファイルを選択します。

[マッチング手法:]

印刷するときのマッチング手法を 💿 をクリックして選択します。

[相対的な色域]

色の正確性が高いマッチング手法です。

選択した画像の色が、設定したプリンタープロファイルが持つ色域内にある場合は、色の変更 を行いませんが、設定したプリンタープロファイルが持つ色域外にある場合には、できるだけ 近い色に置き替えます。

[知覚的]

明度や彩度を下げ、色全体を調整して、プリント用プロファイルに近い再現性を持つマッチン グ手法です。

選択した画像の色が、設定したプリンタープロファイルが持つ色域の外にある場合にプリン タープロファイルの色域内におさまるように画像の色全体を圧縮します。

[モニタープロファイル] (Windows) / [ディスプレイプロファイル] (Mac OS)

モニタープロファイルを変更します。

変更するには [モニタープロファイルを変更...] (Mac OS は [ディスプレイプロファイルの変更...])をクリックします。お使いの OS での設定画面が表示されます。

[出力]

ファイル変換するときにカラープロファイルを変換します。

[画像変換を行う場合、sRGBにプロファイル変換する]

チェックを入れると、以下の操作を行うときに、変換後の画像データに sRGB の色空間を適用 します。埋め込まれていたカラープロファイルは破棄されます。

- ファイル変換
- NIKON IMAGE SPACEにアップロードするときに、ファイル形式を JPEG または TIFF 形式 に変換する場合

[サムネイル]

[サムネイルにカラーマネージメントの設定を適用する]

チェックを入れると、画像表示エリアやフィルムストリップのサムネイルにもカラーマネージ メントの設定を適用します。

▼ [カラーマネージメント] 設定の反映について

[カラーマネージメント] メニューで設定されたプロファイルは、次回 ViewNX-i を起動したときに反映されます。

関連項目

- ▶ 画像を印刷する
- ファイル変換して出力する

ホーム > ファイルを見る、分類する > ViewNX-i 画面のオプション/環境設定 > ファイルを 開くアプリケーション

ファイルを開くアプリケーション

[オプション](Mac OS は[環境設定])の[ファイルを開くアプリケーション]メニューでは、以 下の設定ができます。

- ▶ アプリケーションを登録する
- ▶ 動画再生を設定する

アプリケーションを登録する

選択した画像を他のアプリケーションで開くために、プログラムを登録できます。登録できるアプリ ケーションは最大 10 個までです。

1. [登録...] をクリックする

オブション				×
-8	20121-04520	と第日は16077リアーションを使用し	07/14R0/22-0288121	r
E1-77- あまこ入り25 あター フィジルの方法し、 ダイアログ理論 なか-78-79/201 マインタンター シンパル マインタンター シンパル 第二 単型 Log Matching RAW構造 WebS=-ビス 単型	-6.12	4.1+		
	ж≣явойд € vewori nt 0 97%75/70	考査 第章付7565 (1,486 部7 7) 7-5 x	2#-	A CARD
	-16		04(0)	##2/£560

「アプリケーションの選択」画面が表示されます。

2. 登録するアプリケーションプログラムを選択する

Windows では、「アプリケーションの選択」画面に現在インストールされているアプリケーションの一覧が表示されます。アプリケーションを選択し[OK]をクリックします。 [その他...]を クリックして、一覧にないアプリケーションを直接選択することもできます。

Mac OS では、「アプリケーションの選択」画面で [選択] をクリックします。



選択したアプリケーションが登録されます。

登録したアプリケーションは [ファイル] メニューの「他のアプリケーションを使用してファイルを開く」にカーソルを合わせると表示されます。

 アプリケーションは、エクスプローラー(Mac OS は Finder)からアプリケーションプログ ラムをドラッグ&ドロップすることによっても登録できます。

登録したアプリケーションを解除する

1. 登録解除するアプリケーションを選択し、 [登録解除] をクリックする

7942				
-8	2013)-C&22016	実育は15077リケーションを使用してファイ34開く」メ	22-12.8481.8	r
£1=7=	610	4.57		
あまに入りフォルター	E SIDE	C#Windows#System328mgpant.eve		
F4705/@#	100000			
100-89-0501				
ファイルを開くアプリケーション				
5/06 5/06				
用于				
4 <u>2</u>				
log watting low復會				
Ne07-13				
E.E.	1			B (BACIN
	NUMBER OF STREET			2020
	ERALOUZ			
	· vewer Ptcs	12.		
	0.978799754	用単位でもちている外部アフリアーションで再生		
	-			
			Canada	The second

選択したアプリケーションの登録が解除されます。

動画再生を設定する

ViewNX-i での動画ファイルの扱いを設定します。再生可能な動画ファイルについては「対応フォー

ファイルを開くアプリケーション

マット」をご覧ください。

~4	20131-0-03205	5項目は1687707-5958第第	LTTHEAMCHICS.COMMENT	ŕ
 *** 	8.0	4.9		
	В.Щ.Я.Б.ОНД	考点 発展でで45-01-45-87259-5	<u>まれ。</u> ロンで再生	Educ
	-		04(0)	442860

[ViewNX-i 内で再生]

対応している動画ファイルを ViewNX-i で再生します。 詳しくは「**動画を再生する**」をご覧ください。

[ダブルクリックし、関連付けられている外部アプリケーションで再生]

動画ファイルをダブルクリックしたときに、ViewNX-i で再生せず、OS で関連付けられている外部のアプリケーションを起動します。

詳しくは「その他のアプリケーションで動画を開く」をご覧ください。

関連項目

- その他のアプリケーションで開く
- ▶ 動画を再生する
- ▶ その他のアプリケーションで動画を開く

```
ホーム > ファイルを見る、分類する > ViewNX-i 画面のオプション/環境設定 > XMP/IPTC
プリセット
```

XMP/IPTCプリセット

[オプション...] (Mac OS は [環境設定...])の [XMP/IPTCプリセット] メニューでは、XMP/IPTC 情報の各項目を入力して「XMP/IPTC プリセット」として登録しておくことができます。登録済みの XMP/IPTC プリセットを読み込んで、任意の画像にその XMP/IPTC 情報を保存できます。

XMP/IPTCプリセットはデフォルトで[著作権のみ]、[エキシビションゲーム]、[結婚式]が登録されています。



- XMP/IPTC プリセットは、Nikon Transfer 2 または ViewNX-i 画面どちらでも登録できます。
 XMP/IPTC プリセットの登録、管理方法については、「XMP/IPTC プリセットの管理について」をご覧ください。
- XMP/IPTC プリセットを読み込んで画像に保存するには、画像を選択し、[編集] メニューから [XMP/IPTCプリセットの読み込み]を選択します。詳しくは「XMP/IPTC プリセットを利用する」 をご覧ください。

ホーム > ファイルを見る、分類する > ViewNX-i 画面のオプション/環境設定 > ラベル

ラベル

[オプション] (Mac OS は [環境設定])の [ラベル] メニューではラベルの名前を変更できます。 画像にラベルを付けると、設定されたラベル名が XMP 領域の [ラベル] に書き込まれます。

17982		>
	<pre>>KSath257/fffest Streammrs 1 Unf 2 fs/od 1 fs/od 1 fs/od 2 fs/o 2 fs/o 2 fs/o 2 fs/o 2 fs/o 2 fs/o</pre>	
	000	847550

[初期値を使用する]

チェックを入れると、すべてのラベルの項目で初期値のラベル名を使用します。

(ラベル)

入力ボックスに任意のラベル名を入力できます。入力するには、 [初期値を使用する] のチェック をはずします。

設定したラベル名は、ViewNX-i で以下の項目に表示・反映されます。

[画像調整/メタデータ]の[ラベル]

[画像] メニューの [ラベル設定]

[編集] メニューの [ファイルを選択] から [ラベル]

ViewNX-i、Nikon Transfer 2の [XMP/IPTCプリセット]

XMP/IPTC 情報や XMP/IPTC プリセットについては「**メタデータを表示する**」、「XMP/IPTC プ リセットを利用する」をご覧ください。

表示

[オプション] (Mac OS は [環境設定])の [表示] メニューでは、以下の設定ができます。

#7982		×
-毎 7.3.343。 という。 あたこ人に2.4.5 クイワログ港自 25-73-55 25-73-555 25-74-548(7735-545) 3049(FTC7)を30- 74(548(7735-545) 3049(FTC7)を30- 54 100 Matching AxW現金 Weith=23 数単	<pre>X平とア13-00%(X ● 単単 ○ 単本 (100%) ○ 大 (150%) ○ 地太 (200%) 単身色 7).5*(AA:2/3)と2-単単の単色を設立てきます ターラフジー・ × 設立をに記念二単す</pre>	
	04(0)	14283(C)

[文字とアイコンのサイズ]

パレットやメニューなどの、文字とアイコンの表示サイズを変更します。

[背景色]

画像表示エリアとフィルムストリップの背景色を設定します。

[設定を初期値に戻す]

[表示] で設定した項目を初期値に戻します。

ホーム > ファイルを見る、分類する > ViewNX-i 画面のオプション/環境設定 > 地図

地図

接続する地図サーバーや、 [地図] のホームポジションを設定できます。



[地図] メニューの操作については「地図を設定する」をご覧ください。

```
ホーム > ファイルを見る、分類する > ViewNX-i 画面のオプション/環境設定 > Log
Matching
```

Log Matching

[オプション] (Mac OS は [環境設定])の [Log Matching] では以下の設定ができます。

#79#2		×
モデション 一番 フムチイム ビューアー お用に入れフォルター ファイルの形式しい タイフログ港番 オク・マネージント フィイムを取くアフリーション メの様 電子 単二 日の Medame Rawg達 Weith ーごス	 第第一条項目標準 第一条(小)・キャングのは大心は就変を使用する 〇・(ハ)・トシ ライム・トン サイム・トン サイム・トン<th></th>	
EX.	 ● 単先のレーラックポイントの成先使用する ○ 取扱のトラックポイントの成長使用する ● 保存する意思・大量トラックポイントの範囲: 	
[04(0) ##20(34)	

[高度・水深の単位]

[オペレーティングシステムの設定を使用する]以外に、高度・水深グラフで使用する単位系 をメートル(m)とフィート(ft)から選択することができます。ここでの選択は、グラフの表 示にのみ影響します。

[タイムゾーン]

撮影した地域のタイムゾーンや、画像に位置情報を割り当てる方法を設定できます。設定方法 については「位置情報ログの適用方法の設定」をご覧ください。

[位置情報の割り当て]

画像に位置情報を割り当てる方法を設定します。設定方法については「位置情報ログをもとに 位置情報を追加する」をご覧ください。 ホーム > ファイルを見る、分類する > ViewNX-i 画面のオプション/環境設定 > RAW現像

RAW現像

[オプション] (Mac OS は [環境設定])の [RAW現像] メニューでは、以下の設定ができます。



[現像時の色空間]

RAW画像(NEF)の現像時に使用する色空間を選択できます。 [撮影時]を選択すると、撮影時に 設定した色空間を使用します。

[RAWサイズ S/M]

現像するRAW画像(NEF)のサイズがSかMのとき、出力する画像サイズを変更できます。 [推奨される現像処理を行う] にチェックを入れると、カメラと同じサイズで現像されます。チェックを外すと、カメラで出力するよりも大きなサイズで現像されます。

[カラープロセス]

使用するピクチャーコントロールを設定します。

[最新のピクチャーコントロール]

ご使用のニコン製ソフトウェアに搭載されている最新のピクチャーコントロールを適用します。

[カメラ互換]

ご使用のニコン製デジタルカメラで対応しているピクチャーコントロールまたはカラーモード を適用します。

▶ 設定の反映について

[RAW現像] で変更した内容は、次回ViewNX-iを起動したときに反映されます。

💟 RAW 画像を撮影したカメラの機種とピクチャーコントロールの適用について

適用できるピクチャーコントロールは、RAW 画像を撮影した機種によって異なります。

 最新のカラーマネジメントが搭載されたニコン製デジタル一眼レフカメラおよびミラーレスカメラで撮影した NEF 形式 RAW 画像 ご使用のカメラで適用しているピクチャーコントロールは、最新のものとなります。そのため [オプション] (Mac OS は [環境設定])の [RAW現像] 画面で選択した設定にかかわら ず、最新のピクチャーコントロールが使用されます。
 [オプション] (Mac OS は [環境設定])の [RAW現像] 画面で選択したピクチャーコント ロールが適用されます。
 NRW 形式 RAW 画像

[オプション](Mac OS は [環境設定])の [RAW現像] 画面で選択した設定にかかわら ず、 [カメラ互換] が適用されます。

```
ホーム > ファイルを見る、分類する > ViewNX-i 画面のオプション/環境設定 > Webサービス
```

Webサービス

[オプション](Mac OS は[環境設定])の[Webサービス]では、Webサービスのアカウントおよ び認証情報の設定ができます。

#75.82			×
ー紙 サムオイム ビューテー お花に入りてきるデー カオイムの分子紙 オクマクター オクマクター オクマクター アイムを載くアフリーション メムのドワフリーション メムのドワフリーション	071748度 NACON ANAGE SPACE メーカアドレス パスワード □ パスワードを用意する 071775年に、場面は20年ワリックしていただい NACON MANGE SPACE		8742
19年 Log Matching たANNE★ MATCHILE 転載	Voulute		81
		0401	47/040

詳しくは、「Webサービスにログイン(認証)する」をご覧ください。

動画

[オプション] (Mac OS は [環境設定])の [動画] メニューでは、以下の設定ができます。

#75#2		×
 一番	₩2 ☐ 74-34->6#8,978	

[動画] (Windows のみ)

動画の再生時に、色の再現と再生速度のどちらを優先するかを設定します。

[フレームレートを優先する]

チェックを入れると、動画を遅延なく再生することを優先するよう設定します。 チェックを外すと、色の再現を優先して動画を再生するよう設定します。

ホーム > ファイルを見る、分類する > ViewNX-i 画面のメニュー一覧

ViewNX-i 画面のメニュー一覧

ViewNX-i 画面で使用できるメニューの一覧です。

- ▶ [ファイル] メニュー
- ▶ [編集] メニュー
- ▶ [画像] メニュー
- ▶ [表示] メニュー
- ▶ [ウィンドウ] メニュー
- ▶ [ヘルプ] メニュー
- [ViewNX-i] メニュー (Mac OS のみ)

ホーム > ファイルを見る、分類する > ViewNX-i 画面のメニュー一覧 > [ファイル] メ ニュー

[ファイル] メニュー

[新規フォルダー]

現在のフォルダーに、新しいサブフォルダーを作成します。

Ctrl + N (Windows) / Command + N (Mac OS)

🛄 フォルダーを作成する

[サブフォルダーの表示]

サブフォルダー以下の画像について表示の設定を選択します。

🛄 サブフォルダー内の画像を表示する

[Transferで画像を取り込む]

Nikon Transfer 2 を起動します。

🛄 Nikon Transfer 2 の起動と終了

[Camera Control Pro 2を起動]

Camera Control Pro 2 を起動します。

💴 Camera Control Pro 2 を使う

[撮影した画像を直ちに表示]

Camera Control Pro 2 で撮影した画像を、ViewNX-i で表示します。

このコマンドは Camera Control Pro 2 バージョン 2.8.0 以降がインストールされているときのみ 使用できます。

🛄 Camera Control Pro 2 を使う

[Capture NX-Dで開く]

選択した画像を Capture NX-D で開きます。

Ctrl + O (Windows) / Command + O (Mac OS)

Capture NX-Dで画像編集する

[Movie Editorを起動]

ViewNX-Movie Editor を起動します。

📖 動画を編集する(ViewNX-Movie Editor)

[KeyMission 360/170 Utilityを起動]

KeyMission 360/170 Utilityを起動します。

🛄 KeyMission 360/170 Utilityを起動する

[他のアプリケーションを使用してファイルを開く]

あらかじめ登録してある他のアプリケーションを起動します。 アプリケーションを登録するには [アプリケーションの登録...]を選択します。

💴 ファイルを開くアプリケーション

[エクスプローラーで開く] (Windows) / [Finderに表示] (Mac OS)

エクスプローラー(Mac OS は Finder)を表示します。

📖 エクスプローラー / Finderに表示する

[Picture Control Utility 2を起動]

Picture Control Utility 2を起動します。

Picture Control Utility 2

[取り出し] / [切断] (Windows) / [取り出し] (Mac OS)

取りはずし可能なディスクを取りはずします。 Windows でネットワークドライブを選択しているときは、切断します。

[プロテクト設定]

画像にプロテクトをかけます。または解除します。

💴 ファイルを保護する(プロテクト)

[名前変更...]

画像やフォルダーの名前を変更します。 ファイルやフォルダーの名前を変更する

[保存]

画像の回転、調整、XMP/IPTC編集を行ったファイルを保存します。 Ⅲ Ctrl + S (Windows) / Command + S (Mac OS)

[別名で保存...]

画像の回転、調整、XMP/IPTC編集を行ったファイルを別名で保存します。
 Cmd + Shift + S (Mac OS)

[ファイル変換...]

画像のファイル形式を変換します。

Ctrl + E (Windows) / Command + E (Mac OS)

□ ファイル変換して出力する

[インデックス出力...]

インデックス形式で出力します。 □ **インデックス形式で出力する**

[メール送信...]

選択した画像をメールに添付します。

💷 画像をメールで送信する

[アップロード]

NIKON IMAGE SPACEやさまざまな Web サービスを利用するためのサブメニューを表示します。

[スライドショー...]

スライドショーを再生します。

📖 スライドショーを見る

[自動再生]

画像の自動再生を実行します。

💴 自動再生で画像を見る

[音声メモ]

音声ファイルを再生、停止します。または音声メモ付き画像の音声メモファイルを削除します。

[ファイル/撮影情報の書き出し...]

選択しているファイルのファイル/撮影情報を、テキストファイルまたは CSV ファイルに書き出します。

📖 ファイル/撮影情報を利用する

[モーションスナップショットを動画に変換...]

モーションスナップショットを 動画 ファイルに書き出します。

🚨 モーションスナップショットを動画に変換する

[AF駆動音低減...]

動画内の AF 駆動音を低減して、ファイルを再保存します。

□□ 撮影した動画に録音された AF 駆動音のノイズを低減する

[ページ設定...]

印刷時の用紙サイズや向きを設定します。

Ctrl + Shift + P (Windows) / Command + Shift + P (Mac OS)

🛄 画像を印刷する

[印刷...]

選択した画像を印刷します。

Ctrl + P (Windows) / Command + P (Mac OS)

🛄 画像を印刷する

[EPSON 写真印刷...]

選択した画像をセイコーエプソン社製の印刷ユーティリティー「E-Photo」に転送します。

[Epson Print Layoutで印刷...]

選択した画像をセイコーエプソン社の印刷プラグイン「Epson Print Layout」で設定して印刷します。

💴 セイコーエプソン社製プリンターで印刷する

[終了] (Windows のみ)

ViewNX-i を終了します。

Ctrl + Q (Windows)

🛄 ViewNX-i の起動と終了

ホーム > ファイルを見る、分類する > ViewNX-i 画面のメニュー一覧 > [編集] メニュー

[編集] メニュー

[元に戻す] (Windows) / [取り消す] (Mac OS)

テキストを入力したときに、入力操作を取り消します。
 Ctrl + Z (Windows) / Command + Z (Mac OS)

[やり直す] (Mac OS のみ)

取り消ししたテキスト入力操作をやり直します。

Command + Shift + Z (Mac OS)

[切り取り] (Windows)/ [カット] (Mac OS)

編集中のテキストの切り取り(カット)をします。 Windows) / Command + X (Mac OS)

[コピー]

ファイルやフォルダーをコピーします。

テキストを編集しているときは、選択した部分のテキストをコピーします。

Ctrl + C (Windows) / Command + C (Mac OS)

📖 ファイルやフォルダーを移動・コピー・複製する

[貼り付け] (Windows)/ [ペースト] (Mac OS)

コピーしたファイルやフォルダーを貼り付けます。 テキストを編集しているときは、コピーしたテキストを貼り付け(ペースト)します。 Ctrl + V (Windows) / Command + V (Mac OS) ファイルやフォルダーを移動・コピー・複製する

[複製] (Mac OS のみ)

ファイルやフォルダーを複製します。

Command + D (Mac OS)

📖 ファイルやフォルダーを移動・コピー・複製する

[削除] (Windows) / [ゴミ箱に入れる] (Mac OS)

ファイルやフォルダーを削除します。

お気に入りフォルダー一覧上でフォルダーを選択しているときは、お気に入りフォルダーの登録を 削除する操作となります。このときMac OSでは項目名が [削除] と表示されます。

Del (Windows) / Command + Delete (Mac OS)

ファイルやフォルダーを削除する

💴 お気に入りフォルダーを登録する

[ファイル/撮影情報のコピー]

ファイル/撮影情報のコピーをクリップボードにコピーします。

🔍 ファイル/撮影情報を利用する

[IPTC情報のコピー]

XMP/IPTC情報をクリップボードにコピーします。

📖 XMP/IPTC 情報をコピー・貼り付けする

[IPTC情報の貼り付け] (Windows) / [IPTC情報のペースト] (Mac OS)

コピーした XMP/IPTC 情報を貼り付けます。

📖 XMP/IPTC 情報をコピー・貼り付けする

[XMP/IPTCプリセットの読み込み]

あらかじめ登録してある「XMP/IPTCプリセット」を読み込みます。

🛄 XMP/IPTC プリセットを利用する

🛄 XMP/IPTCプリセット

[位置情報のコピー]

画像に埋め込まれた位置情報をコピーします。

📖 位置情報をコピー・貼り付けする

[位置情報の貼り付け] (Windows) / [位置情報のペースト] (Mac OS)

コピーした位置情報を画像に貼り付けます。

📖 位置情報をコピー・貼り付けする

[位置情報の削除]

画像に埋め込まれた位置情報を削除します。

🛄 位置情報を削除する

[方位の削除]

画像に埋め込まれた方位情報を削除します。

📖 方位情報を編集/追加する

[すべて選択](Windows)/[すべてを選択](Mac OS)

画像表示エリア、またはフィルムストリップに表示されている画像、動画、イメージダストデータ (NDF)、音声ファイル、およびフォルダーをすべて選択します。また、編集中の項目内のテキス トをすべて選択します。

Ctrl + A (Windows) / Command + A (Mac OS)

📖 ファイルやフォルダーを選択する

[選択状態を反転]

選択状態を反転します。

Ctrl + I (Windows) / Command + I (Mac OS)

コァイルやフォルダーを選択する

[選択解除]

選択状態を解除します。

[ファイルを選択]

選択した特定のファイルだけを選択します。 ファイルやフォルダーを選択する

[最後に保存された状態に戻す]

選択されている画像や動画に調整ファイルが関連付けられている場合、調整ファイルが削除されま す。画像や動画ファイルに書き込まれているメタデータや画像が表示されます。

[スペル] (Mac OS のみ)

入力中のテキストをスペルチェックします。

[音声入力を開始...] (Mac OS のみ)

音声入力を開始します。

[特殊文字...] / [絵文字と記号] (Mac OS のみ)

特殊入力するための「文字パレット」を表示します。 メニュー項目はOSのバージョンによって変わります。

[オプション...] (Windows のみ)

[オプション] 画面を表示します。

Ctrl + K (Windows)

ViewNX-i 画面のオプション/環境設定

ホーム > ファイルを見る、分類する > ViewNX-i 画面のメニュー一覧 > [画像] メニュー

[画像] メニュー

[90°回転(時計回り)]

選択した画像を90度時計回りに回転します。

Ctrl + R (Windows) / Command + R (Mac OS)

📖 画像を回転する

[90°回転(反時計回り)]

選択した画像を90度反時計回りに回転します。

Ctrl + Shift + R (Windows) / Command + Shift + R (Mac OS)

💷 画像を回転する

[180°回転]

選択した画像を180度回転します。

🛄 画像を回転する

[フォーカスポイント表示]

画像のフォーカスポイントを表示します。

Ctrl + Shift + F (Windows) / Command + Shift + F (Mac OS)

📖 フォーカスポイントを表示する

[白とび表示]

画像の白とびを表示します。

H (Windows) / H (Mac OS)

🛄 白とびを表示する

[黒つぶれ表示]

画像の黒つぶれを表示します。

S (Windows) / S (Mac OS)

🛄 黒つぶれを表示する

[ラベル設定]

ラベルを設定します。設定するには任意のラベルを選択します。

🔤 (0 から 9 までの数字キー)

🛄 ラベルを付ける

[レーティング設定]

レーティングを設定します。設定するには任意のレーティングを選択します。

- Ctrl + (0 から 5 までの数字キー) (Windows) / Command + (0 から 5 までの数字キー) (Mac OS)
- 🤤 Alt + Del(Windows) / Option + Delete(Mac OS) (削除候補の設定)

レーティングを割り当てる

[グループ化]

グループ画像の設定を変更するサブメニューを表示します。

サブメニューの [代表画像の変更] では選択された画像を代表画像に設定します(代表画像以外が 選ばれているときに選択可能です)。

サブメニューの [グループ化解除] ではグループ画像のグループ解除を行います。

[フォトトレイに登録]

選択されている画像や動画をフォトトレイに登録します。

📖 ステップ 5:画像や動画を分類する

ホーム > ファイルを見る、分類する > ViewNX-i 画面のメニュー一覧 > [表示] メニュー

[表示] メニュー

[フォルダー移動]

フォルダーツリー(ディレクトリー)の階層を移動します。

[お気に入りフォルダー]

登録されているお気に入りフォルダーへ移動します。

💴 お気に入りフォルダーを登録する

[ワークスペース]

ワークスペースを切り替えます。ワークスペースは【ブラウザー】、【地図】、【エディット】、[Webサービス】から選択できます。

[サムネイル一覧表示]

[サムネイル詳細表示]

表示モードを [サムネイル詳細表示] モードに切り替えます。

[イメージビューアー]

[全画面表示]

表示モードを [全画面表示] モードに切り替えます。 Image F (Windows) / F (Mac OS)

[ビューアーの設定]

フィルムストリップの表示方向や表示の有無を設定したり、2画像比較をオンに設定したりします。

ViewNX-i 画面の基本操作

ViewNX-i 画面の見かた

[別画面で全画面表示]

マルチディスプレイ環境のときは、2台目のモニターに[全画面表示]モードで画像や動画を開きます。

マルチディスプレイ環境が検出された場合のみ表示されます。

マルチディスプレイで表示する

[サムネイルサイズ]

画像表示エリア、またはフィルムストリップのサムネイルサイズを変更します。

□□ 表示サイズを変更する

[サムネイル表示順]

画像表示エリア、またはフィルムストリップのサムネイルを並べ替えます。

🛄 画像を並べ替える

[サムネイル表示項目]

画像表示エリアまたはフィルムストリップで、サムネイル上のファイル名、ラベル、レーティン グ、アイコンなどの表示/非表示を切り替えます。 サムネイルの表示サイズを [最小] または [小] にしているときは設定内容にかかわらず、ラベル

[同時記録表示]

画像表示エリアで、同時記録したRAW画像(NEF、NRW)とJPEG画像をひとつのファイルとして 表示または、個別のファイルとして表示します。

回時記録画像の表示を切り替える

とファイル名のみが表示されます。

[グループ化]

グループ画像をひとつのファイルとして表示または、個別のファイルとして表示します。

🛄 グループ画像の表示を切り替える

[アクセスボタンを表示]

アクセスボタンの表示を設定します。チェックを入れるとアクセスボタンがオンになります。 **サムネイルの構成**

[絞り込み]

画像表示エリアに、特定の条件に合うファイルだけを表示します。 サブメニューの [絞り込みを使用] を選択すると、フィルターバーが表示されます。

[ビューアー]

[イメージビューアー] モードのとき、画像を操作します。

[最新の情報に更新]

画像表示エリア、フィルムストリップの表示を最新の情報に更新します。Ⅲ F5 (Windows) / Option + R (Mac OS)

[フルスクリーンにする] / [フルスクリーンを解除] (Mac OS のみ)

画面全体に表示と元のサイズで表示を切り替えます。

ホーム > ファイルを見る、分類する > ViewNX-i 画面のメニュー一覧 > [ウィンドウ] メ ニュー

[ウィンドウ] メニュー

[しまう] (Mac OS のみ)

ViewNX-i を Dock にしまいます。 Command + m (Mac OS)

[拡大/縮小] (Mac OS のみ)

ViewNX-iのウィンドウを拡大/縮小します。

[ナビゲーション]

[ナビゲーション] パレットを表示します。

[画像調整/メタデータ]

[画像調整/メタデータ] パレットを表示します。

<u>[フィルムストリップ]</u>

フィルムストリップの表示/非表示を切り替えます。

[自動的に表示]

[ナビゲーション]パレット、 [画像調整/メタデータ]パレットを表示していないとき、表示/非 表示を切り替えるバーやボタンの上でマウスカーソルを静止して、自動で展開するかどうかを設定 します。

ViewNX-i 画面の基本操作

[お気に入り]

[ナビゲーション] パレットのお気に入りフォルダー一覧の表示/非表示を切り替えます。 お気に入りフォルダーを登録する

[絞り込み]

絞り込みリストの表示/非表示を切り替えます。

[アウトプットバーをカスタマイズ]

アウトプットバーをカスタマイズします。 アウトプットバーをカスタマイズする ホーム > ファイルを見る、分類する > ViewNX-i 画面のメニュー一覧 > [ヘルプ] メニュー

[ヘルプ] メニュー

[ViewNX-i ヘルプ]

- このヘルプを表示します。
- F1 (Windows)

[ソフトウェアのアップデート...]

インターネットを通じて、ViewNX-iのアップデートの有無を確認します。 ン
ソフトウェアをアップデートする

[Capture NX-Dダウンロード…]

Web ブラウザーが起動し、Capture NX-D をダウンロードできるホームページが開きます。

[Camera Control Pro 2無償試用ダウンロード...]

Web ブラウザーが起動し、Camera Control Pro 2 無償試用版をダウンロードできるホームページ が開きます。

[バージョン情報] (Windows のみ)

ViewNX-i のバージョン情報画面を表示します。バージョン情報画面を閉じるには、画面の任意の 位置をクリックします。

📖 バージョン情報を表示する

ホーム > ファイルを見る、分類する > ViewNX-i 画面のメニュー一覧 > [ViewNX-i] メ ニュー (Mac OS のみ)

[ViewNX-i] メニュー (Mac OS のみ)

Mac OS の機能です。

[ViewNX-i について]

ViewNX-i のバージョン情報画面を表示します。バージョン情報画面を閉じるには、画面の任意の 位置をクリックします。

📖 バージョン情報を表示する

[環境設定...]

「環境設定」画面を表示します。

Command + , (Mac OS)

ViewNX-i 画面のオプション/環境設定

[ViewNX-i を終了]

ViewNX-i を終了します。

Command + Q (Mac OS)

🛄 ViewNX-i の起動と終了

ホーム > 画像や動画を活用する

画像や動画を活用する

ViewNX-i には、画像や動画を活用するためのさまざまな機能が搭載されています。

スライドショーを見る

選択した画像をスライドショーで見ることができます。

Capture NX-Dで画像編集する

RAW 画像(NEF、NRW)、JPEG 画像、TIFF 画像を選択して、Capture NX-Dで開いて、画像調整な どの編集ができます。

KeyMission 360/170 Utilityを起動する

KeyMission 360/170 Utilityを起動します。

画像を印刷する

選択した画像を印刷します。インデックスプリントで印刷したり、既定の用紙サイズに画像を自動で配 置して印刷する標準写真サイズプリントなどもできます。

画像をメールで送信する

ViewNX-i がメール送信用の添付ファイルを作成し、メールソフトを起動します。画像を1枚ずつ添付するほか、複数の画像をインデックス形式にして添付することもできます。

その他の便利な機能

ファイル形式を変換して新しいファイルとして保存する、ViewNX-iから他のアプリケーションを起動 するなどの便利な機能について説明しています。 ホーム > 画像や動画を活用する > スライドショーを見る

スライドショーを見る

画像表示エリアやフィルムストリップで、選択した画像を使用してスライドショーを再生できます。ス ライドショーを実行するには、ViewNX-Movie Editorがインストールされている必要があります。

静止画像を連続再生しながら、ラベルやレーティングを付けたい場合は自動再生をお使いください。自 動再生について詳しくは、「**自動再生で画像を見る**」をご覧ください。

- スライドショーを見る
- スライドショーの設定
- ▶ スライドショーの操作

スライドショーを見る

1. アウトプットバーの 🛐 をクリックする



スライドショーの設定画面が表示されます。

2. 各項目を設定する

٩	ViewNX-Movie Editor (スライドショー) ×
	スタイル: スタンダード ~ 前後の写真や動画を自然に融合させて再生します
	静止画再生時間: 普通 v D BGMをつける 参照 参照
	 □ 動画を対象とする □ 連続再生する
	OK \$7>セル

設定項目については「スライドショーの設定」をご覧ください。

3. [OK] をクリックする

スライドショーが開始されます。

画像を選択していないとき、または1枚のみ選択していたときは、画像表示エリア、またはフィ ルムストリップの表示順にスライドショーで再生されます。

画像を2枚以上選択していたときは、選択した画像のみがスライドショーで再生されます。

スライドショー再生中の操作については「スライドショーの操作」をご覧ください。

スライドショーを終了する

- **1. スライドコントロールバー以外の、画面の任意の場所をクリックする** スライドショーが終了し、もとの ViewNX-i 画面に戻ります。
 - スライドショーは、スライドコントロールバーの
 をクリックするか、「Esc」キーを押す ことによっても終了します。



スライドショーの設定

画像切り替え時の間隔や効果、BGMなどを設定できます。

[スタイル:]

切り替えの効果が設定されます。プレビューエリアで再生して効果を確認できます。

[スタンダード]

静止画(写真)や動画を消えることなく滑らかに切り替えて再生します。

[フェードイン/フェードアウト]

静止画(写真)や動画がゆっくり消えて現れる切り替えかたで再生します。

[ワイプ]

静止画(写真)や動画を右から左へ書き替えるように再生します。

[ランダム]

静止画(写真)や動画にいろいろな切り替えの効果をつけて再生します。

[静止画再生時間:]

静止画の切り替え時間を[短め]=3秒、[普通]=5秒、[長め]=10秒から選択できます。

[BGMをつける]

チェックを入れると、音楽ファイル(1曲のみ)をスライドショーのBGMとして設定できま す。テキストボックスに音楽ファイルをドラッグ&ドロップ、または[参照...]をクリックす ると表示される画面で選択します。

[動画を対象とする]

チェックを入れると、動画ファイルをスライドショーの素材として再生できます。

[連続再生する]

チェックを入れると、スライドショーを繰り返し再生します。

スライドショーの操作

スライドショー再生中の操作はスライドコントロールバーで行います。

設定変更... 動業主成... H II H 4/15 40 つ

[設定変更...]

クリックすると、スライドショーを終了し、設定画面を表示します。

[動画生成...]

クリックすると、スライドショーを終了し、動画生成画面を表示します。スライドショーで使

用した素材、BGMファイル、スタイルの情報が動画生成画面に引き継がれます。動画生成画面 については、「**動画生成画面の見かた**」をご覧ください。

■ をクリックすると表示している画像のひとつ前の画像を表示します。 ■ をクリックする と次の画像を表示します。

► / II

をクリックすると、スライドショーを一時停止します。 をクリックすると再生します。

4/7

現在表示されている素材の位置および素材の全数を表示します。

スライドショー再生音量のオンとオフを切り替えます。

₽

スライドショーを停止します。

スライドショー再生終了後の操作

スライドショー再生が終了するとアクションボタンが表示され、スライドショーを再開したり設定の変 更などができます。



[もう一度再生する]

初めの素材からスライドショー再生を行います。

[設定を変更する]

スライドショー再生画面を閉じ、スライドショー設定画面を表示します。

[保存する]

スライドショー再生画面を閉じ、動画生成画面を表示します。動画生成画面については、「動 **画生成画面の見かた**」をご覧ください。

[閉じる]

スライドショーを終了します。
ホーム > 画像や動画を活用する > Capture NX-Dで画像編集する

Capture NX-Dで画像編集する

選択した画像を、Capture NX-Dで開いて、画像の編集をします。Capture NX-Dがインストールされている場合のみ編集ができます。

1. 画像を選択して、 📉 をクリックする



Capture NX-D が起動し、選択していた画像が Capture NX-D で表示されます。

Capture NX-D の使いかたについては、Capture NX-D のヘルプや使用説明書をご覧ください。

同時記録されたRAW画像(NEF、NRW)とJPEG画像をひとつのファイルとして表示する設定にして いるとき

RAW 画像(NEF、NRW)と JPEG 画像のどちらを Capture NX-D で開くかを選択する画面が表示されます。

開きたい画像の形式を選択して [OK] をクリックします。同時記録された RAW 画像

(NEF、NRW) と JPEG 画像両方を同時に開くこともできます。

同時記録画像の表示の切り替えについて詳しくは、「**同時記録画像の表示を切り替える**」をご覧く ださい。

✓ Capture NX-D で開くときのご注意

- Capture NX-D がインストールされているときのみ使用できます。
- Capture NX-D で開くことができるのは、RAW(NEF、NRW)、JPEG、TIFF の画像ファイ ルだけです。対応していないファイルを同時に選択していたときは、対応する画像のみが Capture NX-D で開きます。
- 画像はフォトトレイからも選択できますが、複数の画像を選択してCapture NX-Dを起動した

場合、先頭の画像のフォルダーのみ開きます。

• 編集内容を保存せずにCapture NX-Dを起動した場合、保存の確認画面が表示されます。 [はい]をクリックすると編集した内容が調整ファイルに保存されます。

ホーム > 画像や動画を活用する > KeyMission 360/170 Utilityを起動する

KeyMission 360/170 Utilityを起動する

KeyMission 360/170 Utilityを起動します。KeyMission 360/170 Utilityがインストールされている場 合のみ、起動できます。

1. 画像または動画を選択して、 膕 をクリックする



KeyMission 360/170 Utilityの使いかたについては、KeyMission 360/170 Utilityのヘルプをご 覧ください。

V KeyMission 360/170 Utilityの起動について

- KeyMission 360/170 Utilityがインストールされているときのみ起動できます。
- [Webサービス] ワークスペースでは、KeyMission 360/170 Utilityを起動できません。
- 画像を右クリック(Mac OSはControlキーを押しながらクリック)して [KeyMission 360/170 Utility]を選択しても、KeyMission 360/170 Utilityを起動できます。

ホーム > 画像や動画を活用する > 画像を印刷する

画像を印刷する

選択した画像を印刷します。 [フルページ] や [インデックスプリント] で印刷したり、既定の用紙サ イズに画像を自動で配置して印刷する [標準写真サイズ] などもできます。

ViewNX-i から印刷できるのは、画像ファイルだけです。

1. 印刷する画像を選択する

2. アウトプットバーの 📳 をクリックする



印刷の設定画面が表示されます。

印刷の設定は、前回行った内容が保存されています。

3. プリンターやレイアウトなどを設定する

	10年の(方 コンジャナ - フルテージス フルテージス フルテージ Annual IFEDoursed Wite 開始: At
	PZ.
	709-data (2003)
SAM//	100 12
	- FORSSCIEREN, BRAILBERTS - ARTISTIC VICENTAS - 488-500 VICENTAS
	665/704 1 - 21/4
	Instatute PE-

- はじめに、プリンターの種類、印刷の品質、印刷部数などを設定します。
 詳しくは「プリンターの設定」をご覧ください。
- 次に、印刷レイアウトと余白の扱いを設定します。
 詳しくは「印刷レイアウトの設定」をご覧ください。
- [情報を印刷する] にチェックを入れて、撮影日時、撮影時のカメラの設定などの撮影情報 を画像の下に配置して印刷できます。
 詳しくは「画像情報の印字設定」をご覧ください。

4. [印刷] をクリックする

画像の印刷が開始されます。

印刷結果をプレビューする

印刷の設定画面で、印刷プレビューを確認できます。

	1080 (7) [] 7157-882 7157-3 Hered 9 886: At	iper-f Stouwert linie	
			UZ.
the second se	70月-建筑	C/21pt	
A star and a star	第月:ままか/ひ.の:	APAt	
	598:	1.0	
	10-31-(20)		
Konstan	C#8954Gaab		
	二半点的出版(以)(25)	E42	
	NB2	100	
TANK STORE AND	66407069	1.0	1.7
sens a Martin Changer an	1.000000		PZ-
	C#2414888722	608030	

▲ または ▶ をクリックすると、前、または次の画像をプレビューします。

印刷するページが複数あるときは、 をクリックして指定したページのプレビューを表示できます。

印刷イメージをファイル出力...

[ファイル出力...]をクリックして、印刷イメージを 96 dpiの JPEG 形式の画像として出力し、 保存できます。新しい画像ファイルとして、さまざまな用途にご活用いただけます。



クリックすると、印刷イメージ用 JPEG 画像の保存先とファイル名を指定する画面が表示されま す。複数の画像を選択していたときは、JPEG 画像は、指定したファイル名の最後に連番を追加し たファイル名で保存されます。

「E-Photo」について

セイコーエプソン社製の「E-Photo」がインストールされているときは、選択した画像を E-Photo に転送して印刷できます。

E-Photo は、セイコーエプソン社製インクジェットプリンターのドライバーにバンドルされている 印刷ユーティリティーです。画像の印刷枚数、印刷レイアウトを設定できるほか、画像の撮影日時 を画像内に重ねて印刷できます。詳しくは「セイコーエプソン社製プリンターで印刷する」をご覧 ください。

「Epson Print Layout」について

セイコーエプソン社製の印刷プラグイン「Epson Print Layout」がインストールされているときは、選択した画像を Epson Print Layout で設定して印刷できます。

Epson Print Layout は、セイコーエプソン社製対応プリンターで使用できる印刷プラグインで す。画像の印刷枚数、印刷レイアウトなどが設定できます。詳しくは「セイコーエプソン社製プリ ンターで印刷する」をご覧ください。

▼ プリンターや用紙サイズなどの設定について

[印刷]をクリックすると、すぐに印刷が開始されます。

使用するプリンターの機種、用紙サイズ、給紙方法、印刷の向きなどは「**プリンターの設定**」で 最初に設定しておいてください。

✓ ピクチャーコントロールを適用した RAW 画像について

画像の正しい色合いを確認するには、「イメージビューアー」または「全画面表示」の表示モードで、RAW 画像の表示切り替えボタンを RAW にしてください。

RAW 画像のプレビューを表示したとき(ボタンが RAW のとき)と RAW データを表示(ボタンが RAW のとき)したときとで、画像の色合いが異なることがあります。

RAW 画像の表示方法の切り替えについては「RAW画像を表示する」をご覧ください。

関連項目

- ▶ プリンターの設定
- ▶ 印刷レイアウトの設定
- 画像情報の印字設定
- ▶ セイコーエプソン社製プリンターで印刷する

ホーム > 画像や動画を渦	用する > 画像を印刷す	する > プリンターの設定
---------------	--------------	---------------

プリンターの設定

使用するプリンターの機種、印刷の品質、印刷部数などの設定について説明します。



[プリンター:]、[用紙:]

現在設定されているプリンターの機種と用紙サイズが表示されます。 右側にある [設定...]をクリックすると、プリンターの機種、用紙サイズ、印刷の向きなどを設定 する画面が表示されます。

[プリンター種類:]

[インクジェット] または [その他] を選択します。

[インクジェット]

360 x 360 dpi の解像度で画像を印刷します。

[その他]

300 x 300 dpi の解像度で画像を印刷します。

プリンターの解像度が上記より低い場合は、プリンターの解像度で印刷します。

[画質と速度のバランス:]

RAW 画像(NEF、NRW)を印刷するときの設定です。

[画質優先]

RAW データを使用して印刷します。

[速度優先]

RAW 画像に埋め込まれたプレビュー(簡易表示)を使用して印刷します。 RAW 画像に埋め込まれたプレビューについては「RAW画像を表示する」をご覧ください。

[部数:]

🚺 RAW 画像を印刷するとき

以下の RAW 画像は [画質と速度のバランス:] で [画質優先] が選択されている場合で も、RAW 画像に埋め込まれたプレビュー(簡易表示)を使用して印刷します。

- Nik Color Efex Pro シリーズ を使用して編集された RAW 画像
- ViewNX-i にインストールされていない「オプションピクチャーコントロール」を使用して撮影・編集された RAW 画像

レイアウトの設定で [インデックスプリント] が選択されているときは、 [画質と速度のバラン ス:]は [速度優先] に固定されます。

レイアウトの設定については「印刷レイアウトの設定」をご覧ください。

ホーム > 画像や動画を活用する > 画像を印刷する > 印刷レイアウトの設定

印刷レイアウトの設定

印刷レイアウトの設定について説明します。

レイアウトを設定する前に、使用するプリンターの機種、用紙のサイズなどを「**プリンターの設定**」で 設定しておいてください。

- ▶ 印刷タイプの設定
- ▶ 各印刷タイプに共通な設定

印刷タイプの設定

[印刷タイプ:]から [フルページ]、 [インデックスプリント]、 [標準写真サイズ] のいずれかを 選択します。印刷タイプごとにレイアウトを設定します。



[フルページ]

用紙1枚あたりにひとつの画像だけを配置します。

印刷レイアウトの設定



[サイズを変更:]

スライダーで、配置した画像を拡大または縮小します。

[インデックスプリント]

用紙1枚あたりに複数の画像を並べます。



ひとつの画像を配置する「コマ」の数またはサイズを設定します。 配置方法を以下から選択します。

[通常プリント]

コマの数を指定して用紙に配置します。

コマの数を、一覧から選択します。コマひとつあたりのサイズは、用紙サイズに合わせて自動 で設定されます。

[画像サイズ]

ひとつあたりのコマのサイズを指定して用紙に配置します。

コマのサイズを [横:]、 [縦:] に入力します。配置されるコマの数は、用紙サイズに合わ せて自動で設定されます。

入力できる値は、最小値は 20.0 mm、最大値は用紙の印刷可能領域の値です。

[列と行]

コマの列数、行数を指定して用紙に配置します。

入力ボックスに、列数、行数を入力します。コマひとつあたりのサイズは、用紙サイズに合わ

せて自動で設定されます。

入力できる値は、列数、行数ともに1から10までです。

[枚/ページ]

コマの数を指定して用紙に配置します。

コマの数を [枚数:] から選択します。コマひとつあたりのサイズは、用紙サイズに合わせて 自動で設定されます。

選択できる値は、1、2、4、8、16、25、40です。

[ページの余白:]

印刷時の余白を設定します。スライダーで余白を少なくしたり、多くしたりできます。

[標準写真サイズ]

画像を規定のサイズに拡大または縮小して、用紙に配置します。



[写真サイズ:]

→ をクリックして、規定のサイズを選択します。

1 枚の用紙あたりに配置される画像の数は、自動で設定されます。

▶ [標準写真サイズ] についてのご注意

[標準写真サイズ]で設定するのは、画像 1つあたりの印刷サイズです。印刷する用紙のサイズ は、プリンターの設定で設定します。

各印刷タイプに共通な設定

画像の周囲にできる余白の扱いなどについて設定します。

	1080-(7) 7524-952 7524-1952 7524-1955 7524-1955 7524-1955 1955 м	get−g Shouwet linie	
		1	72
	7.77-018	1/// 01	
SNM//	100 C 10 10 0 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 1	1.2	
- MARKA	m-durma	121	
and the second second			-
	T#1054(543)	84186775	
	Techsistaan.	RALINCTS EFG	
		84588275 815 <u>80() -</u>	i.
	Transference	RASBETS ETS <u>RO() v</u> 1 v ft	

[余白が少なくなるように画像を回転させる]

チェックを入れると、規定の用紙の向きに合わせ、余白を少なくするよう画像を回転します。

[余白が出ないように配置する]

チェックを入れると、余白が出ないように画像と用紙の中心を自動的に合わせ、はみ出した部分を トリミングします。

[背景色:]

余白部分を、指定した単一色で印刷できます。 ■ をクリックして、色を選択します。初期設定は [ホワイト] で、余白部分に色は印刷されません。

[縁取りの幅:]

配置した各画像の周りに境界線を描くことができます。 📄 をクリックして、境界線の幅を選択しま す。初期設定は [0] で、境界線は描かれません。

境界線の色は、 [背景色:] で選択した色によって黒色または白色に自動設定されます。

[各画像の印刷回数:]

同じ画像を繰り返し使用する回数を、99回までの間で選択します。 💽 をクリックして選択します。

[情報を印刷する]

チェックを入れると、画像のファイル名や撮影日、撮影情報などを画像の下に配置して印刷します。

詳しくは「**画像情報の印字設定**」をご覧ください。

[サムネイルデータを使用する(ドラフトモード)]

画像のサムネイルを使って印刷を行います。印刷速度は速くなりますが、画質が低下します。画像 によっては、チェックを入れても本画像を使用する場合があります。

[カラープロファイルを指定する]

カラープロファイルの指定の設定を行います。 詳しくは「**プリンターのカラープロファイルを指定する**」をご覧ください。 ホーム > 画像や動画を活用する > 画像を印刷する > 画像情報の印字設定

画像情報の印字設定

印刷するときに画像のファイル名や撮影日、撮影情報などを画像の下に配置して印刷します。また、用 紙のヘッダー(上部)やフッター(下部)にタイトルなどのテキストや、ページ番号を挿入できます。

印刷の設定画面で[情報を印刷する]にチェックを入れて、チェックボックス右にある[設定...]をク リックすると、[印刷情報の詳細設定]画面が表示されます。

	印刷情報の詳細	设定	×
撮影日時/コメント メタデ	ータ ヘッダー / フッター		
□撮影日			
── 攝影時刻			
ロューザーコメント			
裏示位罢·			
 画面内右上 			
◉ 画面内右下			
◎ 画面外右下			
つきた酸素・			
MS UI Gothic	~ 標準	◇ 自動 ◇ 📕	
サンプル			
	2016/03/01 08:21	-20.00	
	2010/00/01 00:21		
		OK キャン	セル

- ▶ [撮影日時/コメント] タブ
- [メタデータ] タブ
- [ヘッダー / フッター] タブ

[撮影日時/コメント] タブ

撮影日時を挿入して、画像を印刷できます。

[撮影日]

チェックを入れると、撮影日を印刷します。さらに [撮影時刻] にチェックを入れると、撮影日に 加えて撮影時刻も印刷します。

[ユーザーコメント]

チェックを入れると、ボックスに文字を入力できます。

[表示位置:]

撮影日(撮影時刻)の表示位置を設定します。

[画面内右上]、[画面内右下]を選択すると、撮影日(撮影日時)を画像の上に重ねて印刷しま す。

[画面外右下]を選択すると、撮影日(撮影日時)を画像のすぐ右下に印刷します。

[フォント設定:]

フォントの種類、スタイル(太字、斜体など)、フォントサイズ、フォントの色を設定します。 フォントサイズで[自動]を選択すると、画像の印刷領域に合わせて自動で適切なフォントサイズ に設定されます。

[メタデータ] タブ

画像に埋め込まれたメタデータを挿入して、画像を印刷できます。 印刷できるのは、撮影情報の一部と、XMP/IPTC 情報の [説明] です。内容は [画像調整/メタデー タ] パレットの [ファイル/撮影情報] で確認できます。 詳しくは 「**メタデータを表示する**」 をご覧ください。

[ファイル名]

チェックを入れると、ファイル名を印刷します。

[撮影日]

チェックを入れると、撮影日を印刷します。さらに [撮影時刻] にチェックを入れると、撮影日に 加えて撮影時刻も印刷します。

[画像コメント]

チェックを入れると、「ファイル情報2」の [画像コメント] フィールドの内容を印刷します。

[説明]

チェックを入れると、XMP/IPTC 情報の [説明] の内容を印刷します。

[基本情報] 、 [詳細情報]

撮影情報を印刷します。印刷する撮影情報の項目をチェックボックスで選択できます。

[位置情報]

位置情報を印刷します。

位置情報については「**位置情報を活用する(地図)**」をご覧ください。

[整列:]

[メタデータ]を印刷するときの文字列の配置を指定します。

[フォント設定:]

フォントの種類、スタイル(太字、斜体など)、フォントサイズを設定します。

フォントサイズで[自動]を選択すると、画像の印刷領域に合わせて自動で適切なフォントサイ

ズに設定されます。

• フォントの色は、印刷の設定画面で設定した [背景色:] によって、白または黒に自動設定されます。

[ヘッダー / フッター] タブ

ヘッダーまたはフッターに、タイトルなどの任意のテキストやページ数を印刷します。

[ヘッダー]

チェックを入れると、ページのヘッダーにテキストを印刷します。 テキストボックスに任意の文字を入力し、ヘッダーの配置を選択します。

[整列:]

入力したテキストのヘッダー内での表示位置を設定します。

[ページ番号]

チェックを入れると、ページ番号を印刷します。ページ番号の表示位置を設定できます。

[総ページ数(1/2)]

チェックを入れると、総ページ数をページ番号の右側に印刷します。

[表示位置:]

ページ番号の表示位置を上部(ヘッダー内)、または下部(フッター内)から選択します。

[整列:]

ページ番号の、ヘッダー内またはフッター内での配置を選択します。

同じ位置にページ番号とヘッダーのテキスト、あるいはフッターのテキストを配置することは できません。

[フッター]

チェックを入れると、ページのフッターにテキストを印刷します。 テキストボックスに任意の文字を入力し、フッターの配置を選択します。

[整列:]

入力したテキストのフッター内での表示位置を設定します。

[フォント設定:]

フォントの種類、スタイル(太字、斜体など)、フォントサイズを設定します。

- フォントサイズで[自動]を選択すると、画像の印刷領域に合わせて自動で適切なフォントサイズに設定されます。
- フォントの色は、印刷の設定画面で設定した [背景色:] によって、白または黒に自動設定されます。

▶ 撮影情報の印刷についてのご注意

レイアウトの設定で、[余白が少なくなるように画像を回転させる]にチェックを入れて画像の向きを変更したとき、撮影情報の向きは変更されません。

• 【メタデータ】タブで印刷指定した内容は、印刷領域によっては一部が印刷されない場合があります。

ホーム > 画像や動画を活用する > 画像を印刷する > プリンターのカラープロファイルを指定 する

プリンターのカラープロファイルを指定する

指定したプリンタープロファイルにもとづいて、カラーマネージメントを行います。 印刷の設定画面 で、 [カラープロファイルを指定する] の横の [設定...] ボタンをクリックすると、以下の設定ダイア ログが開きます。

カラーブロファイルの指定			
プリンタープロファイル:	使用可能なカラーブロファイルが見つ		
マッチング手法:	知道的	~	
	ОК	キャンセル	

[プリンタープロファイル:]

OS側に設定されたプロファイルの一覧のドロップダウンリストが表示されます。ドロップダウンリ ストから選択されたプロファイルを使用してカラーマネージメントを行います。

[マッチング手法:]

選択可能なマッチング方法を[知覚的]、[相対的な色域]から選択します。

[知覚的]

印刷した画像の配色が人間の目に自然に見えるよう、色の相対関係を維持するマッチング方法 です。このマッチング方法を選択すると、色の関係性は保たれますが、画像の実際の色値は変 更されます。

[相対的な色域]

指定したプロファイルで設定されている色域外の色を本来の色に近づけるようにマッピングするマッチング方法です。このマッチング方法を選択すると、印刷を行うプリンターの対応範囲内の色はすべて正確に再現されます。

ホーム > 画像や動画を活用する > 画像を印刷する > セイコーエプソン社製プリンターで印刷 する

セイコーエプソン社製プリンターで印刷する

セイコーエプソン社製のユーティリティーやプラグインをインストールすると、ViewNX-iからセイコー エプソン社製プリンターを使って画像を印刷することができます。

- ▶ E-Photo で印刷する
- Epson Print Layout で印刷する

E-Photo で印刷する

セイコーエプソン社製の「E-Photo」がインストールされているときは、選択した画像を E-Photo に転送して印刷できます。

E-Photo は、セイコーエプソン社製インクジェットプリンターのドライバーにバンドルされている印刷 ユーティリティーです。画像の印刷枚数、印刷レイアウトを設定できるほか、画像の撮影日時を画像内 に重ねて印刷できます。

1. 印刷する画像を選択する

2. [ファイル] メニューから [EPSON 写真印刷...] を選択する

E-Photo が起動し、選択していた画像が E-Photo で表示されます。

E-Photoの使いかたや機能については、E-Photoのヘルプをご覧いただくか、セイコーエプソン 社へお問い合わせください。

✔ ご注意

- E-Photo がインストールされているときのみ、 [ファイル] メニューにコマンドが表示されま す。
- ViewNX-i から E-Photo に転送できるのは、JPEG 画像または TIFF 画像のみです。

Epson Print Layout で印刷する

セイコーエプソン社製の印刷プラグイン「Epson Print Layout」がインストールされているときは、選択した画像を Epson Print Layout で設定して印刷できます。

Epson Print Layout は、セイコーエプソン社製対応プリンターで使用できる印刷プラグインです。画像の印刷枚数、印刷レイアウトなどが設定できます。

1. 印刷する画像を選択する

2. [ファイル] メニューから [Epson Print Layoutで印刷...] を選択する

Epson Print Layout が起動し、選択していた画像が Epson Print Layout で表示されます。

Epson Print Layout の使いかたや機能については、Epson Print Layout のヘルプをご覧いただ くか、セイコーエプソン社へお問い合わせください。

🗸 ご注意

- Epson Print Layout がインストールされているときのみ、 [ファイル] メニューにコマンドが 表示されます。
- ViewNX-i から Epson Print Layout に転送できるのはRAW 画像(NEF、NRW)、JPEG 画像 または TIFF 画像のみです。

ホーム > 画像や動画を活用する > 画像をメールで送信する

画像をメールで送信する

ViewNX-i がメール送信用の添付ファイルを作成し、メールソフトを起動します。画像を1枚ずつ添付するほか、複数の画像をインデックス形式にして添付することもできます。

メール送信機能を使用できるのは、画像ファイルだけです。

以下のメールソフトに対応しています:

- Windows : Thunderbird、Outlook
- Mac OS : Mail、Outlook for Mac、Thunderbird

OS で既定として設定されているメールソフトが起動します。設定は Windows では「インターネットオ プション」、Mac OS では「Mail」で確認、変更できます。

1. メール送信用の添付ファイルにする画像を選択する

2. アウトプットバーの 📈 をクリックする



[メール送信] 画面が表示されます。 設定は前回行った内容が保存されています。

3. [添付方法:]の 🔄 をクリックし、メール添付する画像の形式を選択する

画像をメールで送信する

メール送信	[選択された画像 : 添付方法:	1 枚] 画像6添付		
C BY	面像支换: 圧缩率:	JPEG: 1024x768 高振背		۷
■ 1 V / 1 ▶ 画像は Moreoth Cutlook に近けされます。	建雄		年中之七后	

4. 選択した [添付方法:] に合わせて各項目を設定する

設定できる項目については「**画像を個別に添付する**」、「**インデックスプリントを添付する**」を ご覧ください。

5. [送信] をクリックする

【メール送信】画面で設定した内容で、選択していた画像のコピーが JPEG 形式で作成されま す。 [変換しない] を選択した場合はオリジナル画像の形式、サイズのまま添付されます。メー ルソフトが起動し、作成された JPEG 画像を添付ファイルとして設定した状態で、メールの新規 作成画面が開きます。

✔ ご注意

添付ファイル用画像のカラープロファイルは「sRGB」に設定されます。

ホーム > 画像や動画を活用する > 画像をメールで送信する > 画像を個別に添付する

画像を個別に添付する

画像を個別のファイルとして、メールに添付できます。また、添付する画像のサイズ(ピクセル寸法) を変更できます。 画像を個別ファイルとして添付するには、「メール送信」画面の[添付方法:]で、 [画像を添付]を選択して、各項目を設定します。

メール送	信[選択された画像:	1枚]	×
(3)	添付方法: 画像实项: 圧缩率:	編巻き550 (1)25250-12750年1 (2)25250-12750年1 (2)25250-12750年1 (2)25250-12750年1 (2)25250 (2)25250 (2)255	v
	36 /2	84.475	

[画像変換:]

画像サイズを変更して添付します。サイズを変更するには ● をクリックして選択します。 [JPEG: 元のサイズのまま]を選択すると、オリジナルのサイズのまま添付されます。 [変換しな い]を選択すると、もとの画像の形式(NEF、NRW、JPEG、TIFF)のまま、非圧縮で添付しま す。

[圧縮率:]

画像の圧縮率を指定します。圧縮率の指定はスライダーを左右にドラッグします。 圧縮率は左から [最低画質(最高圧縮)] / [低画質] / [標準画質] / [高画質] / [最高画質] の順 番で指定できます。

JPEG 画像の圧縮率について

JPEG 画像の圧縮率は、[最低画質(最高圧縮)]ではファイル容量が小さくなりますが、画質が劣化します。反対に[最高画質]はファイル容量が大きくなりますが、画質の劣化が少なくなります。

✓ 画像を個別に添付するとき

添付ファイルはもとの画像の縦横比が保持されます。画像が縦位置のときは、プルダウンメ ニューで選択した画像サイズの高さにあわせて、縦長の JPEG 画像として添付ファイルが作成さ れます。 ホーム > 画像や動画を活用する > 画像をメールで送信する > インデックスプリントを添付する

インデックスプリントを添付する

複数の画像をインデックス形式にして、メールに添付できます。また、台紙の色を変更したり、画像の ファイル名を付けてインデックス形式にすることもできます。 画像のインデックスプリントを添付する には、「メール送信」画面の [添付方法:] で、 [インデックスプリントを添付] を選択して、各項目 を設定します。



[画像変換:]

台紙のサイズ(ピクセル寸法)を選択します。 🕞 をクリックしてサイズを選択します。

[圧縮率:]

画像の圧縮率を指定します。圧縮率の指定はスライダーを左右にドラッグします。 圧縮率は左から [最低画質(最高圧縮)] / [低画質] / [標準画質] / [高画質] / [最高画質] の順 番で指定できます。

JPEG 画像の圧縮率について

JPEG 画像の圧縮率は、[最低画質(最高圧縮)]ではファイル容量が小さくなりますが、画質が劣化します。反対に[最高画質]はファイル容量が大きくなりますが、画質の劣化が少なくなります。

[レイアウト:]

1 枚の台紙に配置する画像のレイアウトを → をクリックして選択します。
 [画像変換:] で選択したサイズによって、選択できるレイアウトが異なります。

[名前をタイトルとして使用]

チェックを入れると、各画像の下にファイル名を付けます。

[背景色:]

台紙の背景色を設定します。 [背景色:]の右にある現在設定されている色のサンプルをクリック すると、色を設定する画面が表示され、台紙の背景に使う色を設定できます。 ホーム > 画像や動画を活用する > その他の便利な機能

その他の便利な機能

自動再生で画像を見る

選択したフォルダーにある画像を全画面で自動的に順次表示します。

マルチディスプレイで表示する

マルチディスプレイ環境でお使いのときは、一方のモニターに任意の表示モード、もう一方のモニ ターに画像や動画を [全画面表示] モードで表示できます。

▶ お気に入りフォルダーを登録する

よく開くフォルダーやドライブをお気に入りフォルダーとして登録できます。

▶ 絞り込みリストで画像を絞り込む

撮影日やレンズなどの項目を選んで画像を表示できます。

ファイル変換して出力する

選択した画像のファイル形式を変換します。また、画像サイズの変更もできます。

・インデックス形式で出力する

複数の画像をインデックス形式で出力します。

モーションスナップショットを動画に変換する

モーションスナップショット画像を動画に変換します。

▶ 撮影した動画に録音された AF 駆動音のノイズを低減する

[AF駆動音低減...]を使って、撮影した動画ファイルに収録された駆動音のノイズを低減できます。

Nikon Transfer 2 の転送先フォルダーを開く

Nikon Transfer 2 の [Transfer転送先フォルダー] や [Transferバックアップ保存先フォルダー] へ移動できます。

Picture Control Utility 2

Picture Control Utility 2 を起動すると、RAW 画像(NEF、NRW)を調整するカスタムピクチャー コントロールを管理できます。

Camera Control Pro 2 を使う

Camera Control Pro 2 がインストールされているときは、ViewNX-i から簡単に起動できます。

その他のアプリケーションで開く

あらかじめ他のアプリケーションを ViewNX-i に登録しておけば、ViewNX-i を終了することなく、登録したアプリケーションでファイルを開くことができます。

その他のアプリケーションで動画を開く

外部のアプリケーションを起動して、動画を再生できます。

ホーム > 画像や動画を活用する > その他の便利な機能 > 自動再生で画像を見る

自動再生で画像を見る

自動再生では、選択したフォルダーにある静止画を全画面で自動的に順次表示します。自動再生しているときに、フォトトレイへの登録やラベル、レーティングの設定などできます。

- ▶ 自動再生で見る
- 自動再生の操作

自動再生で見る

1. アウトプットバーの 🗾 をクリックする

自動再生が開始されます。



画像表示のしかた

- 1 枚の画像を選択した場合
 選択した画像が最初に表示され、その画像の1つ前の画像表示が行われると自動再生は終了します。
- 複数の画像を選択した場合
 選択した画像のみ自動再生で再生され、最後尾の画像が表示されると自動再生は終了します。
- 画像を選択していない場合
 フォルダー内の先頭画像が最初に表示され、最後尾の画像が表示されると自動再生は終了します。

自動再生の操作

自動再生実行中に、画像操作ツールパレットで表示の操作や画像に関する設定などができます。



1

画像操作ツールパレットの常時表示のオン/オフを設定します。チェックを入れると画像操作ツール パレットは常時表示されます。

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

選択または表示中の画像にラベルを設定します。

05****

選択または表示している画像にレーティングを設定します。

● をクリックすると表示している画像のひとつ前の画像を表示します。 ● をクリックすると次の画像を表示します。 ● をクリックすると、自動再生を一時停止します。 ● をクリックすると 再生します。

[遅い] / [標準] / [早い]

1画像あたりの表示速度を設定します。速度は、 [遅い] = 7秒、 [標準] = 3秒、 [早い] = 1秒か ら選択できます。

S / C

表示している画像をそれぞれの方向に回転します。

画像表示エリアに表示中の画像をフォトトレイに登録します。

i

表示している画像の画像情報の表示/非表示を、クリックして切り替えます。情報がない項目は表示 しません。

... –

表示している画像のヒストグラムを表示します。ヒストグラムについては「ヒストグラムを表示す る」をご覧ください。

¢

自動再生を停止します。

ホーム > 画像や動画を活用する > その他の便利な機能 > マルチディスプレイで表示する

マルチディスプレイで表示する

ViewNX-i は、マルチディスプレイ環境では2台までの画面構成に対応しています。 マルチディスプレイ環境でお使いのときは、一方のモニターに任意の表示モード、もう一方のモニター に画像や動画を [全画面表示] モードで表示できます。

✔ ご注意

- この機能を使うには、お使いのパソコンと OS であらかじめマルチディスプレイ環境の構築、
 設定を行う必要があります。詳しくはパソコン、ハードウェア、OS の使用説明書やヘルプをご覧ください。
- マルチディスプレイ環境が検出された場合のみ、アウトプットバーに 2 (2nd disp)が表示 されます。
- マルチディスプレイ環境のとき、カラーマネージメントの適用方法はお使いの OS によって異なります。詳しくは「ViewNX-i 画面のオプション/環境設定」/「カラーマネージメント」をご覧ください。

1. アウトプットバーの 🗾 を選択する



選択していた画像や動画が、セカンダリーモニター(2台目のモニター)に[全画面表示]モード で表示されます。



- プライマリーモニター(1台目のモニター)側で他の画像や動画を選択すると、セカンダリー
 モニター側でその画像や動画が表示されます。
- イメージコントロールバーが画面上に表示されます。
 イメージコントロールバーについて詳しくは、「イメージコントロールバー」をご覧ください。
- [別画面で全画面表示]では、 [2画像比較] でも表示できます。

その他の方法...

- ・ [表示] メニューから [別画面で全画面表示] を選択する
 この項目はマルチディスプレイ環境が検出された場合のみ表示されます。
- プライマリーモニター側のサムネイルをダブルクリックして、マルチディスプレイ表示モードで 表示するように変更できます。詳しくは「ViewNX-i 画面のオプション/環境設定」/「ビュー アー」をご覧ください。

マルチディスプレイ表示を解除する

1. セカンダリーモニター側で 📓 をクリックする



セカンダリーモニター側の全画面表示が閉じます。

その他の方法...

Esc キーを押す

ホーム > 画像や動画を活用する > その他の便利な機能 > お気に入りフォルダーを登録する

お気に入りフォルダーを登録する

よく開くフォルダーやドライブを、お気に入りフォルダーとして登録できます。

登録したフォルダーやドライブは、 [ナビゲーション] パレットの [お気に入り] にリストで表示され、クリックまたは選択でそのフォルダーやドライブをすぐに開くことができます。

また、一部のニコン製ソフトウェアがインストールされているとき、お気に入りフォルダーには専用の フォルダーが自動で登録され、お気に入りフォルダーエリアとリストそれぞれの上部に表示されます。

ニコン製ソフトウェアの専用フォルダーは「ViewNX-i 画面のオプション/環境設定」/「お気に入り フォルダー」で表示/非表示を切り替えることができます。

ニコン製ソフトウェアの専用のフォルダー

- Nikon Transfer 2:「Transfer転送先フォルダー」、「Transferバックアップ保存先フォル ダー」、直近に転送したフォルダーとして「Transfer最新転送先フォルダー」
- Camera Control Pro 2: Camera Control Pro転送先フォルダー
 これらのフォルダーはお気に入りフォルダー一覧上で名前変更や削除はできません。
- Nikon Transfer 2の [Transfer転送先フォルダー] については「転送先フォルダーを選択する」、 [Transferバックアップ保存先フォルダー] については「転送時にバックアップを保存する」をご覧ください。
- Camera Control Pro 2の専用フォルダーについては、各ソフトウェアのヘルプや使用説明書を ご覧ください。
- ▶ お気に入りフォルダーを登録する
- ▶ お気に入りフォルダーの登録を削除する

お気に入りフォルダーを登録する

お気に入りフォルダーエリアは、 [ナビゲーション] パレットに表示されます。 [お気に入り] をク リックして表示 / 非表示を切り替えます。

1. 登録するフォルダーやドライブを、フォルダーツリーまたは画像表示エリアで選択する



フォルダーまたはドライブがお気に入りフォルダーに登録されます。



- ・ツリーボタンのお気に入りフォルダーのリストを使用すれば、[ナビゲーション]パレット を表示していないときでも、登録したフォルダーやドライブをすぐに開くことができます。
- フィルムストリップやデスクトップ、エクスプローラー(Mac OS は Finder)にある ViewNX-i で対応するファイルを、お気に入りフォルダー一覧のエリア内にあるフォルダー にドラッグ&ドロップして、ファイルの移動やコピーができます。

[ナビゲーション] パレットに [お気に入り] (お気に入りフォルダーエリア)が表示されていないと き

[お気に入り] (お気に入りフォルダーエリア)が表示されていないときは、 [ウィンドウ] メ ニューから [お気に入り] にチェックを入れると表示されます。

お気に入りフォルダーの登録と操作について

- お気に入りフォルダーは以下の方法でも登録できます:
 デスクトップ、エクスプローラー(Mac OS は Finder)からフォルダーやドライブをお気に入りフォルダーエリアにドラッグ&ドロップする
- お気に入りフォルダーは [表示] メニューの [お気に入りフォルダー] からも開くことができます。
- 初期設定では、お気に入りフォルダーに「デスクトップ」と「ピクチャ」(Windows)、「ピクチャ」(Mac OS)、「ビデオ」(Windows)、「ムービー」(Mac OS)が登録されています。
- お気に入りフォルダーエリア内では、フォルダーをドラッグ&ドロップして表示順を変更できます。

✔ ご注意

- お気に入りフォルダーエリア内では、お気に入りフォルダーの登録、選択、登録の削除、表示 順の変更などお気に入りフォルダーを選択・管理する操作のみ行うことができます。
- 以下の場合、お気に入りフォルダーエリアやリストにお気に入りフォルダーが表示されていて
 も、そのフォルダーを開くことはできません。
 - エクスプローラーや Finder で、お気に入りフォルダーに登録されているフォルダーを名前 変更、削除した場合
 - エクスプローラーや Finder で、お気に入りフォルダーに登録されているフォルダーの親 フォルダーを名前変更、削除した場合
 - リムーバブルディスクやメモリーカードをお気に入りフォルダーに登録して、そのディス クやカードが接続または挿入されていないなどの場合

お気に入りフォルダーの登録を削除する

1. お気に入りフォルダーエリアで、登録を削除したいフォルダーを選択する



2. ツールバーの 🖬 をクリックする



お気に入りフォルダーエリアから登録が削除されます。削除の確認画面は表示されません。

その他の方法...

- お気に入りフォルダーエリアでフォルダーを選択して、[編集]メニューから[削除] (Mac OS は [ゴミ箱に入れる])を選択する
- お気に入りフォルダーエリアでフォルダーを選択して、Windows のときは Delete キー
 を、Mac OS のときは Command キーを押しながら Delete キーを押す

✔ ご注意

この操作では、フォルダー自体の削除は行われません。フォルダー自体を削除するときは、 「ファイル操作」/「ファイルやフォルダーを削除する」をご覧ください。

関連項目

- ViewNX-i 画面のオプション/環境設定
- お気に入りフォルダー

ホーム > 画像や動画を活用する > その他の便利な機能 > 絞り込みリストで画像を絞り込む

絞り込みリストで画像を絞り込む

絞り込みリストは、画像表示エリア内のサムネイル表示画面、およびフィルムストリップに表示する画像を絞り込む項目の一覧を表示します。絞り込みの項目を選択すると、選択した項目のデータを持つ画像のみサムネイル表示画面に表示されます。

絞り込みリストは、 [ナビゲーション] パレットに表示されます。 [絞り込み] をクリックして表示 / 非表示を切り替えます。

1. カテゴリー名をクリックする



絞り込み項目が表示されます。項目には、 [撮影日] 、 [カメラ名] 、 [ISO感度] 、 [焦点距 離] などがあります。

2. 表示したい絞り込み項目をクリックする



選択した項目にマッチした画像のみサムネイル表示画面に表示されます。

絞り込みリストメニューについて

絞り込みリストのタイトルバーの右端の == をクリックして表示します。

[すべて展開]

絞り込みリストに表示されているすべてのカテゴリーを展開し、カテゴリーに含まれるすべて の項目を絞り込みリスト上に表示します。

[すべて折りたたむ]

絞り込みリストに表示されるカテゴリーの項目をすべて折りたたみ、絞り込みリスト上にはカ テゴリーのみ表示します。

カテゴリーリスト

絞り込みリストに表示しないカテゴリーを選択できます。非表示にするには、選択してチェックをはずします。

✔ ご注意

- 絞り込みリストはフォトトレイには適用されません。
- カテゴリーにあてはまる情報のない画像は、「-」となります。

ホーム > 画像や動画を活用する > その他の便利な機能 > ファイル変換して出力する

ファイル変換して出力する

JPEG、TIFF、RAW 画像(NEF、NRW)を JPEG 画像、または TIFF 画像に変換できます。複数の画像 を一括して変換することもできます。

変換するとき、サイズの変更、撮影情報や XMP/IPTC 情報の削除、カラープロファイルの削除もできます。また、同一のファイル形式に変換して、サイズの変更や各種情報の削除などもできます。 動画、音声ファイル(WAV)およびイメージダストオフデータ(NDF)はファイル変換できません。

1. 変換する画像を選択する

2. アウトプットバーの 📷 をクリックする



[ファイル変換] 画面が表示されます。

設定は前回行った内容が保存されています。
ファイル変換して出力する

元画像: 選択中の画像 ~	Ĩ.				
読み込みフォルター:Ci¥Users¥user	r¥Picture	5			参照
サブフォルダーを含める		一处理	後、元面像を読み	り込みフォルダ	ーから削除する
麦换形式: JPEG ∽		7	pイル数:		1
詳細設定: 画教:恣画教		9	計サイズ(推定):		211 KB
			-	85	1
□画像サイズを変更する (元画修	೩サイズ:	1024 x (580 ピクセル)		
	長辺:	1024	ピクセル -		
	長辺: 短辺:	1024 680	2021]		
□撮影情報を削除する	長辺: 短辺:	1024 680	ピクセル ピクセル]	師際する	
 □ 撮影情報を削除する □ カラープロファイルの注意加須収余 	長辺: 短辺:	1024 680	ピクセル ピクセル] XMP/IPTC情報 () 追加	ध्याविक्षेत्रव ्रहा	18
□撮影情報を利除する □カラープロファイルの追加剤原 保存先:指定されたフォルダー	長辺: 短辺: ▽	1024 680	ビクセル コ ビクセル コ コ () XMP/IPTC信報記述 () 注意力の	19843 0 AU	8
□撮影情報を削除する □カラープロファイルの追加剤原 保存先:指定されたフォルダー 保存先フォルダー:C:¥Users¥user¥	長辺: 短辺: ~ Pictures	1024 680	ピクセル ピクセル] XMP/IPTC情報8 (*)追加	ध्याविक्षेत्रव ्राष)) 今昭
 □ 撮影情報を利除する □ カラーブロファイルの注意加須収除 (保存先:指定されたフォルダー (保存先フォルダー:C:¥Users¥user¥) □ ファイル支換のたびに新規サブフ: 	長辺: 短辺: Pictures ォルダーを	1024 680	ビクセル] ビクセル] NMP/IPTC情報8 ()追加	師「除する ○ 前」 名	注 参照 前の訳定
 □ 撮影情報を削除する □ カラーフロファイルの追加/削除 保存先:指定されたフォルダー 保存先フォルダー:C:¥Users¥user¥ □ ファイル変換のたびに新規サブフ: □ ファイル名を変更する 	長辺: 短辺: Pictures ォルダーを	1024 680 Efftsta	ビクセル] ビクセル] NMP/IPTC情報8 ()追加		锋 参照 前の設定

3. [ファイル変換] 画面で、各項目の設定をする

設定できる項目については「ファイル変換の設定項目」をご覧ください。

4. [ファイル変換]をクリックする

変換した画像が、指定した場所に出力されます。変換前の画像はそのまま残ります。

出力先に同名のファイルがすでに存在する場合、出力するファイル名の末尾に「_01」の番号が 自動的に追加されて保存されます。

▶ ファイル変換についてのご注意

- JPEG 画像を JPEG 画像に変換するときは、画像の再圧縮を行うため、画質が劣化する場合が あります。
- 一部のアプリケーションで編集した画像はファイル変換できない場合があります。
- フォーカスポイントが正しく表示されない場合があります。
- AFエリアモードの情報が表示されない場合があります。
- RAW+JPEG画像が選択された場合には、RAWファイルを変換対象とし、JPEGに対しては変換 を行いません。
- 画像に調整ファイルが関連付けられている場合、メタデータ(ファイル/撮影情報、XMP/IPTC 情報)がファイル変換で出力されるファイルに直接書き込まれます。ファイル変換の設定で書 き込まないようにすることもできます。

☑ 以下の場合に該当する RAW 画像はファイル変換できません。

- Nik Color Efex Pro シリーズ を使用して編集された RAW画像
- ViewNX-i にインストールされていない「オプションピクチャーコントロール」を使用して撮影・編集されたRAW画像
- ファイル変換が可能な画像と、可能でない画像を同時に選択して操作を行おうとしたときは、 可能な画像のみにファイル変換を行います。

ファイル変換の設定項目

ファイル変換

元画像:

ファイル変換の対象を設定します。

[選択中の画像]

ファイル変換の対象は選択中の画像です。

[選択したフォルダー]

[参照…] ボタンをクリックしてファイル変換の対象フォルダーを選択し、[OK] をクリック します。サブフォルダーを含める場合は、[サブフォルダーを含める] にチェックを入れま す。ファイル変換後、フォルダーから元画像を削除する場合は、[処理後、元画像を読み込み フォルダーから削除する] にチェックを入れます。

変換形式:

出力するファイルの変換形式を選択します。

[JPEG]

JPEG 形式に変換して出力します。変換元の画像が JPEG 画像の場合は再圧縮します。

[TIFF (16 ビット)]

TIFF 形式(16bit)に変換して出力します。

[TIFF (8 ビット)]

TIFF 形式(8bit)に変換して出力します。

LZW圧縮を使用する

[変換形式:] で [TIFF (16 ビット)]、または [TIFF (8 ビット)] が選択されているとき、 チェックを入れると、TIFF 画像を LZW 圧縮します。

TIFF 画像の LZW 圧縮について

LZW 圧縮を使用すると、画質を劣化させずに TIFF 画像のファイル容量を小さくできます。

• 16bit の TIFF 画像をLZW 圧縮すると、ファイル容量が大きくなることがあります。

LZW 圧縮した TIFF 画像は、アプリケーションによっては開けない場合があります。

画質

[変換形式:]で[JPEG]が選択されているとき、画像の圧縮率を指定します。 圧縮率の指定はス

ライダーを左右にドラッグします。

圧縮率は左から [最低画質(最高圧縮)] / [低画質] / [標準画質] / [高画質] / [最高画質] の順 番で指定できます。

スライダー右横の入力ボックスに、0~100までの数値を入力して圧縮率を設定することもできま す。

JPEG 画像の圧縮率について

JPEG 画像の圧縮率は、 [最低画質(最高圧縮)] ではファイル容量が小さくなりますが、画質 が劣化します。反対に [最高画質] はファイル容量が大きくなりますが、画質の劣化が少なく なります。

ファイル数:

選択した画像の数が表示されます。

合計サイズ(推定):

ファイル変換後の推定出力ファイルサイズが表示されます。

画像サイズを変更する

チェックを入れると、変換後の画像サイズを変更します。

[長辺:]の入力ボックスに変換後の画像サイズを、ピクセル単位で入力します。[長辺:]を入 力すると[短辺:]は自動的にサイズが決定されます。長辺:と短辺:の比率は変更できません。

画像サイズの設定について

- [元画像:] で [選択中の画像] を選んだ場合は、選択した画像の元サイズが表示されま す。ただし、異なるサイズの画像を複数選択した場合には、「(サイズの異なる画像が選択 されています)」とのみ表示されます。
- 入力ボックスには前回入力した値が保存されています。保存された値と、現在選択している 画像の長辺のうち最大値を比較して、小さいほうの値が入力ボックスに表示されます。
- 変換元の画像サイズより大きくすることはできません。
- 変換できる最小値は、長辺 320 ピクセルです。
- 長辺が 320 ピクセル未満の画像のみを選択していたときは、画像のサイズ変更はできません。
- 縦横比または画像サイズが異なる複数の画像を選択していたときは、[長辺:]で入力した 値をそれぞれの画像の長辺として、縦横比を維持して出力します。[短辺:]は表示されま せん。入力した値未満の長辺を持つ画像があるときは、その画像のサイズ変更は行いませ ん。

撮影情報を削除する

チェックを入れると、撮影情報を削除して出力します。

XMP/IPTC情報を削除する

チェックを入れると、XMP/IPTC 情報を削除して出力します。

カラープロファイルの追加/削除

チェックを入れると、カラープロファイルを追加または削除して出力します。追加するカラープロ ファイルは、 [オプション] (Mac OS は [環境設定])のカラーマネージメントで設定したカ ラーマッチングプロファイルです。 カラープロファイルについては [**カラーマネージメント**]をご 覧ください。

保存先:

変換後の画像の保存先を選択します。

[元ファイルと同じフォルダー]

変換元の画像が保存されているフォルダーに出力します。出力するファイル名の末尾に「_01」 の通し番号が自動的に付加されます。

[指定されたフォルダー]

変換後の画像の保存先を指定します。 [参照...] をクリックすると、保存先のフォルダーを選 択する画面が表示されます。

ファイル変換のたびに新規サブフォルダーを作成する

チェックを入れると、指定した保存先のフォルダー内に自動でサブフォルダーを作成し、保存します。

[名前の設定...]をクリックすると、自動作成されるサブフォルダー名の作成ルールを設定できます。設定内容については「フォルダー名の作成ルール」をご覧ください。

ファイル名を変更する

チェックを入れると、変換後のファイル名を変更して保存します。

[名前の設定...]をクリックすると、変更するファイル名の作成ルールを設定できます。作成ルールは画像の名前を変更する場合と同じ項目を設定します。「ファイル名の作成ルール」をご覧ください。

ホーム > 画像や動画を活用する > その他の便利な機能 > インデックス形式で出力する

インデックス形式で出力する

JPEG、TIFF、NEF、NRWのいずれかの画像が選択されているとき、複数の画像をインデックス形式にして、ファイルに出力できます。

1. 変換する画像を選択する

2. アウトプットバーの 🌇 をクリックする



設定は前回行った内容が保存されています。

[インデックス出力] 画面が表示されます。



[ページレイアウト] 以外の項目については、「ファイル変換の設定項目」をご覧ください。

[ページレイアウト] については、「**印刷レイアウトの設定**」の [インデックスプリント] をご 覧ください。

4. [ファイル出力...]をクリックする

インデックス出力の設定項目

ファイルの種類

出力するファイルの変換形式を選択します。

[JPEG]

JPEG 形式に変換して出力します。変換元の画像が JPEG 画像の場合は再圧縮します。

[TIFF]

TIFF 形式に変換して出力します。

画像変換:

出力するファイルのサイズを選びます。

圧縮率:

画像の圧縮率を指定します。圧縮率の指定はスライダーを左右にドラッグします。 圧縮率は左から [最低画質(最高圧縮)] / [低画質] / [標準画質] / [高画質] / [最高画質] の順 番で指定できます。

ページレイアウト

「印刷レイアウトの設定」の[インデックスプリント]をご覧ください。

ホーム > 画像や動画を活用する > その他の便利な機能 > モーションスナップショットを動画 に変換する

モーションスナップショットを動画に変換する

「モーションスナップショット」とは静止画を撮影する感覚で、動画が撮影できる機能です。シャッ ターを1回切る間に、動画と静止画を同時記録します。撮影した約1.5秒間の動画を「スローモーショ ンと静止画を合わせた映像に音楽がついた状態」にカメラが自動編集します。

「モーションスナップショット」機能を使う場合、NMS 形式(MOV + JPEG)と MOV 形式(MOV の み)の 2 種類の形式で撮影できます。お使いのカメラによって、MOV 形式に対応していない機種があり ます。その場合は NMS 形式(MOV+JPEG)のみの撮影となります。

MOV 形式で撮影されたモーションスナップショットは、ViewNX-i ではMOV ファイルとして扱われま す。ViewNX-i では、NMS 形式(MOV+JPEG)のモーションスナップショット画像をMOV ファイルに 変換できます。MOV ファイルに変換することで、ほかのアプリケーションでも、ViewNX-i と同様 にモーションスナップショットを表示できます。

1. MOV ファイルに変換したいモーションスナップショット画像を選択する

2. [ファイル] メニューから [モーションスナップショットを動画に変換...] を選択する

変換された動画の保存先とファイル名を設定する画面が表示されます。



ファイル名の初期設定は「(モーションスナップショット名).MOV」となっています。

3. 保存先とファイル名を設定し、 [保存] をクリックする

選択したモーションスナップショット画像が動画ファイルとして変換されます。

書き出される 動画 ファイルについて

書き出される 動画 ファイルのフォーマットは以下のとおりです。

- 拡張子: .mov
- ビデオ圧縮方法: H.264
- オーディオ形式:AAC
- フレームレート : 24 fps
- サイズ: 1920 x 1080 (16:9)

ホーム > 画像や動画を活用する > その他の便利な機能 > 撮影した動画に録音された AF 駆動 音のノイズを低減する

撮影した動画に録音された AF 駆動音のノイズを低減する

動画を撮影しているときに、オートフォーカスの駆動音が収録されてしまうことがあります。ViewNX-iでは [AF駆動音低減] 処理を行うことで、撮影した動画ファイルに収録された駆動音のノイズを低減できます。

[AF駆動音低減]機能が使えるのは、MP4形式とMOV 形式の動画ファイルです。モーションスナップ ショット画像には対応していません。

1. 収録された AF 駆動音を低減したい動画ファイルを選択する

2. [ファイル] メニューから [AF駆動音低減...] を選択する

AF 駆動音低減処理の実行を確認するダイアログが表示されます。処理を続ける場合は [はい] を クリックします。



処理後の動画ファイルの書き出し先を設定する画面が表示されます。

初期設定は [ユーザー] の下にある [ビデオ] フォルダー(Mac は [ムービー] フォルダ)と なっています。

3. 出力先フォルダーを設定し、[OK]をクリックする

選択した動画ファイルが、AF 駆動音低減処理済みの動画ファイルとして、設定したフォルダーに 書き出されます。 撮影した動画に録音された AF 駆動音のノイズを低減する



ファイル名の初期設定は、選択した動画ファイルと同じファイル名になります。出力先フォル ダーに同名のファイルがある場合には、「(選択されたファイル名_番号).MP4」または「(選 択されたファイル名_番号).MOV」となります(例:AAA_1.MOV)。 ホーム > 画像や動画を活用する > その他の便利な機能 > Nikon Transfer 2 の転送先フォル
 ダーを開く

Nikon Transfer 2 の転送先フォルダーを開く

Nikon Transfer 2 の転送先フォルダーを ViewNX-i 画面で簡単に開くことができます。

1. [表示] メニューの [お気に入りフォルダー] から、 [Transfer最新転送先フォルダー] 、 [Transfer転送先フォルダー] または [Transferバックアップ保存先フォルダー] を選択する



- [Transfer最新転送先フォルダー]を選択すると、Nikon Transfer 2 で最後に転送したフォ ルダーを表示します。
- [Transfer転送先フォルダー]を選択すると、Nikon Transfer 2 で設定した転送先フォル ダーを表示します。
- [Transferバックアップ保存先フォルダー]を選択すると、Nikon Transfer 2 で設定した バックアップの保存先フォルダーを表示します。

Nikon Transfer 2 のTransfer転送先フォルダーについては「転送先フォルダーを選択する」、Transfer バックアップ保存先フォルダーについては「転送時にバックアップを保存する」をご覧ください。

その他の方法...

[ナビゲーション]パレットのお気に入りフォルダーエリアで[Transfer転送先フォルダー]、 [Transferバックアップ保存先フォルダー]または[Transfer最新転送先フォルダー]のいずれか をクリックする Nikon Transfer 2 の転送先フォルダーを開く



▼ Nikon Transfer 2 の転送先フォルダーがお気に入りフォルダーに表示されないとき

「**ViewNX-i 画面のオプション/環境設定**」/「**お気に入りフォルダー**」で、[デフォルトフォル ダーを表示する]にチェックを入れてください。 ホーム > 画像や動画を活用する > その他の便利な機能 > Camera Control Pro 2 を使う

Camera Control Pro 2 を使う

Camera Control Pro 2 を起動する

ViewNX-i から簡単に Camera Control Pro 2 を起動できます。Camera Control Pro 2 がインストー ルされている場合のみ、起動できます。

1. [ファイル] メニューから [Camera Control Pro 2を起動] を選択する

Camera Control Pro 2 が起動します。

Camera Control Pro 2 の使いかたについては、Camera Control Pro 2 のヘルプや使用説明書 (PDF) をご覧ください。

✔ ご注意

- Camera Control Pro 2 がインストールされている場合のみ使用できます。
- Nikon Transfer 2 が起動しているときは Camera Control Pro 2 を同時に起動できません。

Camera Control Pro 2で撮影した画像を表示する

Camera Control Pro 2 で撮影したとき、ViewNX-i を自動的に起動して、撮影した画像を表示できます。Camera Control Pro 2 バージョン 2.8.0 以降がインストールされている必要があります。

1. [ファイル] メニューの [撮影した画像を直ちに表示] を選択する

Camera Control Pro 2 で撮影したとき、[サムネイル一覧表示]モード、[サムネイル詳細表 示]モード、または[イメージビューアー]モードで撮影画像の保存フォルダーが開きます。

撮影画像の保存場所の変更や Camera Control Pro 2 の使いかたについては、Camera Control Pro 2 のヘルプ、使用説明書(PDF)をご覧ください。

✔ ご注意

Camera Control Pro 2 側で、撮影したときに ViewNX-i で表示する設定にされていない場合、 画像は表示されません。 ホーム > 画像や動画を活用する > その他の便利な機能 > その他のアプリケーションで開く

その他のアプリケーションで開く

あらかじめ画像を開いたり、編集したりできるアプリケーションを登録しておくことで、ViewNX-iで表示している画像を登録したアプリケーションで開くことができます。

アプリケーションの登録については「ViewNX-i 画面のオプション/環境設定」/「ファイルを開くアプ リケーション」をご覧ください。

イメージダストオフデータ(NDF)は他のアプリケーションで開くことはできません。

1. 他のアプリケーションで開く画像をすべて選択する

2. [ファイル] メニューの [他のアプリケーションを使用してファイルを開く] にカーソルを合わ せ、開くアプリケーションを選択する

選択したアプリケーションが起動し、画像が表示されます。

以降の操作は、起動したアプリケーションによって異なります。起動したアプリケーションのへ ルプや使用説明書をご覧ください。

同時記録されたRAW画像(NEF、NRW)とJPEG画像をひとつのファイルとして表示する設定にして いるとき

同時記録された RAW 画像(NEF、NRW) と JPEG 画像を他のアプリケーションで開こうとする と、どちらの画像を開くかを選択する画面が表示されます。

開きたい画像の形式を選択して [OK] をクリックします。同時記録された RAW 画像 (NEF、NRW) と JPEG 画像両方を同時に開くこともできます。

同時記録画像の表示の切り替えについて詳しくは、「**同時記録画像の表示を切り替える**」をご覧く ださい。



登録したアプリケーションによっては画像が開けない場合があります。詳しくは登録したアプリ ケーションの対応フォーマット等をご確認ください。 ホーム > 画像や動画を活用する > その他の便利な機能 > その他のアプリケーションで動画を 開く

その他のアプリケーションで動画を開く

外部のアプリケーションを起動して動画を開くことができます。

外部のアプリケーションで動画を開くには、あらかじめ「ViewNX-i 画面のオプション/環境設定」/ 「ファイルを開くアプリケーション」で「ダブルクリックし、関連付けられている外部アプリケーショ ンで再生」を選択してください。

1. 動画ファイルを選択する

2. 動画のサムネイルをダブルクリックする



OS で関連付けられている外部のアプリケーションが起動します。

「ViewNX-i 画面のオプション/環境設定」/「ファイルを開くアプリケーション」であらかじめ他のアプリケーションを登録しておき、そのアプリケーションを指定して動画を開くこともできます。詳しくは「その他のアプリケーションで開く」をご覧ください。

• ViewNX-i で直接再生するには、「動画を再生する」をご覧ください。

✔ ご注意

動画ファイルを表示するには、フィルターバーのファイル形式選択メニューで [動画のみ] が選 択されている必要があります。詳しくは「**ファイル形式を選択して表示する**」をご覧ください。

関連項目

- ▶ 動画を再生する
- ファイルを開くアプリケーション

ホーム > 画像を編集する

画像を編集する

ViewNX-i には、階調の補正、シャープネスの調整、画像の切り抜き(クロップ)など、多彩な画像編 集機能があります。

画像編集の流れ

はじめに、画像編集の大まかな流れを確認しましょう。

- ▶ 露出補正(RAW画像のみ)
- ホワイトバランス(RAW画像のみ)
- ▶ ピクチャーコントロール(RAW画像のみ)
- ▶ 輪郭を強調する
- コントラストを調整する
- ▶ 明るさを調整する
- ハイライト・シャドーを調整する
- ▶ 階調を補正する(D-ライティングHS)
- ▶ 彩度を調整する(カラーブースター)
- ▶ 画像を切り抜く(クロップ)
- ▶ 傾きを補正する
- ▶ 赤目を補正する
- 軸上色収差を補正する
- ▶ 倍率色収差を補正する
- ▶ PFフレアを低減する(PFフレアコントロール)
- ▶ 回折を補正する
- ▶ 画像の編集を元に戻す

編集を行い、保存した画像を、保存前の状態に戻すことができます。

▶ 編集項目の表示をカスタマイズする

[画像調整/メタデータ] パレットにある画像の編集項目の表示をカスタマイズできます。

Picture Control Utility 2

✓ 以下の場合に該当するRAW画像は編集できません。

- Nik Color Efex Pro シリーズ を使用して編集されたRAW画像
- ViewNX-i にインストールされていない「オプションピクチャーコントロール」を使用して撮

影・編集されたRAW画像

詳しくは「**ピクチャーコントロール(RAW画像のみ)**」、「**対応フォーマット**」をご覧ください。

編集が可能な画像と、可能でない画像を同時に選択して編集を行おうとしたときは、可能な画像のみに編集を行います。

▼ [自動ゆがみ補正]機能を [ON] に設定して撮影した RAW 画像について

[自動ゆがみ補正]機能を [ON] に設定して撮影した RAW 画像(NEF、NRW) は、設定が適用された状態で表示します。ViewNX-i では設定の ON/OFF を切り替えることはできません。

[自動ゆがみ補正]機能の設定の ON/OFF は、 [画像調整/メタデータ] パレットの [ファイル/ 撮影情報] で確認できます。

✓ サムネイルコントロールバーで、同時記録された RAW 画像(NEF、NRW)と JPEG 画像を個別のファイルとして表示する設定(■) にしているとき

同時記録された RAW 画像(NEF、NRW) と JPEG 画像のどちらかを編集すると、別々のファイルとして扱われる場合があります。

ホーム > 画像を編集する > 画像編集の流れ

画像編集の流れ

RAW 画像(NEF、NRW)、JPEG 画像、TIFF 画像を編集するときの流れを説明します。

1. [エディット] をクリックして、ワークスペースを切り替える



表示モードが[イメージビューアー]に切り替わり、 [画像調整/メタデータ] パレットが展開します。

2. 編集する画像を選択する

フィルムストリップまたはフォトトレイを表示して、編集する画像を選択できます。

3. [画像調整/メタデータ] パレット上部にある [画像調整] を操作する



4. 🟢 をクリックする



編集内容が調整ファイルに保存されます。

編集を中止するときは、「リセット」をクリックします。

[エディット] 以外のワークスペースで画像編集する

[エディット] ワークスペースだけでなく、 [ブラウザー] ワークスペース、 [地図] ワークス ペースでも画像を編集できます。

- ・ [画像調整/メタデータ]パレットを表示させ、
 [画像調整]の左にある
 』をクリックすると、
 編集項目が表示されます。
- 編集する画像は、 [フィルムストリップ]、 [サムネイル]、または [フォトトレイ]から選択します。

編集した画像の保存について

- 複数の画像を選択しているときは、選択したすべての画像に同一の編集内容が適用されます。選択している画像の中に、その編集機能に対応していない画像やファイルがあるときは、対応する 画像のみに編集内容を適用します。
- [画像調整/メタデータ] パレットで、画像の編集とメタデータの編集を同時に行い をク リックすると、メタデータの編集内容も同時に保存されます。
 メタデータの編集については「メタデータを編集する」をご覧ください。

別名で保存する

編集前の状態に戻す

編集して保存した画像を、編集前や撮影時の状態に戻すことができます。詳しくは「**画像の編集を 元に戻す**」をご覧ください。

色収差補正について

ViewNX-i では、レンズによって生じる色収差を補正できます。色収差とは、異なる波長の光がレンズを通るときその屈折角が異なるために、被写体に色づきや色ずれが起こる現象で、軸上色収差と倍率色収差があります。

- ・軸上色収差とは、光の波長の違いによって結像位置が前後方向にずれる現象をいいます。
 軸上色収差の補正については「軸上色収差を補正する」をご覧ください。
- ・ 倍率色収差とは、光の波長の違いによって結像する像の大きさが異なる現象をいいます。倍率色 収差により、画像の周辺部で被写体の縁に色ずれが生じることがあります。
 倍率色収差の補正については「倍率色収差を補正する」をご覧ください。

スマートフォトセレクター表示画像の画像編集について

- 5 の場合、画像編集は代表画像のみに適用されます。
- 🖪 の場合、画像編集は選択した画像のみに適用されます。

✔ ご注意

- [露出補正]、 [ホワイトバランス]、 [ピクチャーコントロール] は RAW 画像 (NEF、NRW)のみに適用できます。
- 上記以外の編集機能は、RAW 画像(NEF、NRW)、JPEG 画像、TIFF 画像に適用できます。
- 対応しているファイル形式でも条件によって、ViewNX-i で編集できない場合があります。詳しくは「対応フォーマット」をご覧ください。

ホーム > 画像を編集する > 露出補正(RAW画像のみ)

露出補正(RAW画像のみ)

RAW 画像(NEF、NRW)の露出を補正できます。

1. [露出補正]のスライダーをドラッグして値を設定する



画像の露出が補正されます。

設定できる値は、-5.0EV から +5.0EV の範囲で0.01EV ずつです。

値は、入力ボックスに小数点第二位まで入力して設定することもできます。



ホーム > 画像を編集する > ホワイトバランス(RAW画像のみ)

ホワイトバランス(RAW画像のみ)

RAW 画像(NEF、NRW)のホワイトバランスを調整できます。

1. [ホワイトバランス]の 🚽 をクリックして、適用したい項目を選択する



選択した項目でホワイトバランスが調整されます。選択できる項目は「ホワイトバランスの選択 項目と色温度での設定値」をご覧ください。

グレーポイントを選択したときは「グレーポイントを使用する」をご覧ください。

2. さらに詳細に設定するときは、 [微調整] 、 [色味] スライダーをドラッグして値を設定する



設定した値をもとにホワイトバランスが調整されます。

・ 色温度の調整は [微調整] スライダーをドラッグします。設定できる値はホワイトバランスの選択項目によって異なります。「ホワイトバランスの選択項目と色温度での設定値」をご覧ください。

- ・ 色味の調整は [色味] スライダーをドラッグします。設定できる値は -12 から 12 までの範囲で、プラスに設定するとマゼンタ色が弱まり(緑色が強まり)、マイナスに設定すると緑色が弱まり(マゼンタ色が強まり)ます。
- 値は、入力ボックスに数値を入力して設定することもできます。

ホワイトバランスの選択項目と色温度での設定値

• 撮影時の設定

撮影時のホワイトバランスが反映されます。

• 自動調整

撮影したRAW画像をもとに、ViewNX-iがホワイトバランスを自動的に調整します。

- 色温度の [微調整] を行うときの初期設定値と設定範囲は、自動で設定されます。RAW 画像(NEF、NRW)を複数選択しているときは、色温度の [微調整] は設定できません。
- COOLPIX で撮影された NEF 形式の RAW 画像のときは、 [自動調整] は適用できません。
 (COOLPIX A は除く)
- ・オート0

白色の表現を重視した色調に自動的に調整します。

- 撮影したカメラによっては適用できない場合があります。
- 画像を複数選択したとき、その中に [オート0] に対応していない画像やファイルが含まれ ていると、選択したすべての画像やファイルに [オート0] は適用できません。
- ・オート1

ほとんどの撮影状況に適しています。

- 撮影したカメラによっては適用できない場合があります。
- 画像を複数選択したとき、その中に [オート1] に対応していない画像やファイルが含まれ ていると、選択したすべての画像やファイルに [オート1] は適用できません。
- ・オート2

白熱電球下で撮影した RAW 画像をもとに、ViewNX-i が電球色の暖かみを残した色調に自動的に調整します。

- 撮影したカメラによっては適用できない場合があります。
- 画像を複数選択したとき、その中に [オート2] に対応していない画像やファイルが含まれ ていると、選択したすべての画像やファイルに [オート2] は適用できません。
- ・自然光オート

晴天、曇天、日陰など自然光下での撮影に適したホワイトバランスにカメラが調節します。 撮影したカメラによっては適用できない場合があります。

電球

白熱電球下で撮影した画像に適しています。

色温度:3000K

色温度設定範囲:2610K - 3533K

・ 蛍光灯(3000K) / 蛍光灯(3700K) / 蛍光灯(4200K) / 蛍光灯(5000K) / 蛍光灯(6500K) / 蛍光灯(7200K)

蛍光灯下で撮影した画像に適しています。

色温度: 3000K / 3700K / 4200K / 5000K / 6500K / 7200K 色温度設定範囲: 2610K - 3533K / 3125K - 4545K / 3472K - 5319K / 4000K - 6666K / 4926K - 9090K / 5319K - 9090K 高演色蛍光灯(3000K) / 高演色蛍光灯(3700K) / 高演色蛍光灯(4200K) / 高演色蛍光 灯(5000K) / 高演色蛍光灯(6500K) 高演色蛍光灯下で撮影した画像に適しています。 色温度: 3000K / 3700K / 4200K / 5000K / 6500K 色温度設定範囲: 2610K - 3533K / 3125K - 4545K / 3472K - 5319K / 4000K - 6666K / 4926K - 9090K 晴天 晴天の順光で撮影した画像に適しています。 色温度:5200K 色温度設定範囲: 2500K - 7042K 晴天日陰 晴天の日陰で撮影した画像に適しています。 色温度:8000K 色温度設定範囲: 5714K - 9090K 量天 曇天時に撮影した画像に適しています。 色温度:6000K 色温度設定範囲: 4629K - 8620K フラッシュ ニコン製スピードライトを使用して撮影した画像に適しています。 色温度:5400K 色温度設定範囲:4255K - 7407K • FL-G1 ニコン製スピードライトに、蛍光灯用フィルター(FL-G1、SZ-3FL)を装着して撮影した画像 に適しています。 色温度:5464K 色温度設定範囲: 4301K - 7553K • FL-G2 ニコン製スピードライトに、蛍光灯用フィルター(FL-G2)を装着して撮影した画像に適してい

ます。

色温度:5988K

色温度設定範囲: 4610K - 8562K

• TN-A1

ニコン製スピードライトに、電球用フィルター(TN-A1、SZ-3TN)を装着して撮影した画像に 適しています。

色温度:2445K

色温度設定範囲:2180K - 2789K

• TN-A2

ニコン製スピードライトに、電球用フィルター(TN-A2)を装着して撮影した画像に適しています。

色温度:5000K

色温度設定範囲: 4000K - 6622K

- ナトリウム灯混合光
 野球場、体育館など、ナトリウム灯の混合光を使った撮影に適しています。
 色温度: 2700K
 色温度設定範囲: 2380K 3125K
- 水中

水中で撮影した画像に適しています。

- [水中]をサポートしているカメラで撮影された RAW 画像のみ [水中] は適用できます。
- 画像を複数選択したとき、その中に[水中]に対応していない画像やファイルが含まれていると、選択したすべての画像やファイルに[水中]は適用できません。
- グレーポイントを使用

グレーポイントを選択したときは「グレーポイントを使用する」をご覧ください。

グレーポイントを使用する

[ホワイトバランス] で [グレーポイントを使用] を選択したときは、画像のグレーの部分を指定して、その RGB 値を基準にしてホワイトバランスを調整できます。グレーポイントのサンプルが取れるのは、選択しているRAW画像(NEF、NRW)のみです。

1. [ホワイトバランス]の[グレーポイントを使用]を選択する

2. 💌 をクリックしてサンプルする範囲を選択する



グレーポイントを画像上で指定するとき、クリックした位置からサンプルする範囲を[1画素]、 [3x3画素平均]、[5x5画素平均]から選択します。

3. [開始] をクリックする

カーソルがスポイトツールに変わります。

4. 画像のグレーの部分をクリックする

グレーポイントの指定は、 [終了] をクリックするまで何度でもやり直すことができます。画像 を拡大表示すると、より細かい部分でグレーポイントを指定できます。画像を拡大表示するには 「**表示サイズを変更する**」をご覧ください。

編集中の画像がRAW画像の場合に限り、サムネイルをクリックしてもグレーポイントを指定できます。

[ホワイトバランス]を調整せずにスポイトツールを終了するには、グレーポイントを指定せず に[終了]をクリックするか、または画像やサムネイル以外の部分をクリックしてください。

5. [終了] をクリックする



グレーポイントを使用して [ホワイトバランス] が調整されます。

ホーム > 画像を編集する > ピクチャーコントロール (RAW画像のみ)

ピクチャーコントロール(RAW画像のみ)

「ピクチャーコントロール(Picture Control)」は、対応デジタルカメラもしくはソフトウェアでお使いいただけるニコンの画作り設定システムです。

初心者からプロフェッショナルまで、お客さまが好みに合わせて写真の仕上がりを柔軟に設定できま す。

同一の「ピクチャーコントロール」を同一の設定で選べば、どの対応デジタルカメラで撮影しても、輪 郭強調、コントラスト、明るさ、色の濃さ(彩度)、色合い(色相)、などが同じ仕上がりの画像を得 られます。

また、ニコン製デジタルカメラで撮影したRAWデータであれば、対応ソフトウェアで同一の「ピク チャーコントロール」を同一の設定で適用すれば、同じ仕上がりの画像を得られます。

ピクチャーコントロールは、以下の4種類に分かれます。

ニコンピクチャーコントロール

RAW 画像の明るさやコントラスト、色合いなどを最適な設定値でバランス良く調整するニコンお すすめのピクチャーコントロールです。

ニコンピクチャーコントロールとして、以下の8種類が用意されています。

• [A] オート

「[SD] スタンダード」をもとに、色合いや階調を自動調整した画質です。

- [SD] スタンダード
 鮮やかでバランスの取れた標準的な画質です。
- [NL] ニュートラル 素材性を重視した自然な画質です。
- [VI] ビビッド
 メリハリのある生き生きとした色鮮やかな画質です。
- [MC] モノクローム
 単色の濃淡で表現した画像です。
- [PT] ポートレート
 人物の肌の色合いや質感を重視した透明感のある画質です。D3 シリーズ、D300 シリーズ、D700 ではオプションピクチャーコントロールとして対応しています。
- [LS] 風景 多様な景観を再現する生き生きとした立体的な画質です。D3 シリーズ、D300 シリーズ、D700 ではオプションピクチャーコントロールとして対応しています。
- [FL] フラット ハイライトからシャドウまで、広い範囲で情報を保持している画質です。

オプションピクチャーコントロール

「ニコンピクチャーコントロール」のオプションとして、以下のピクチャーコントロールがありま す。

• [M1] D2XMODE1

D2X/D2XS の [カラー設定] の [モード I] と近似した色再現のオプションピクチャーコント ロールです。画像調整などをしなくても、人物の肌の色合いやグラデーションを自然で階調豊か に再現します。

• [M2] D2XMODE2

D2X/D2XS の [カラー設定] の [モード II] と近似した色再現のオプションピクチャーコント ロールです。素材性を重視した色再現なので、撮影した画像への積極的な調整、加工に適してい ます。

• [M3] D2XMODE3

D2X/D2XS の [カラー設定] の [モード III] と近似した色再現のオプションピクチャーコン トロールです。風景撮影に適したモードです。画像調整などをしなくても緑や青空などの色を鮮 やかに再現します。

- D2X/D2XS と近似した「明るさ」にするためには、 [明るさ] の設定を [-1] にしてくだ さい。
- [D2XMODE1]、[D2XMODE2]、[D2XMODE3]のオプションピクチャーコントロー ルは、D2X/D2XSの[モード I]、[モード II]、[モード III]とまったく同一の色再現 を保証するものではありません。

Creative Picture Control (クリエイティブピクチャーコントロール)

Z 7以降のカメラで使用できるピクチャーコントロールです。色合いや階調、彩度などを細やかに 作りこんだ多彩な効果により、さまざまな雰囲気を表現する調整ができます。

Creative Picture Controlとして、以下の20種類が用意されています。

- [01] ドリーム
- [02] モーニング
- [03] ポップ
- [04] サンデー
- [05] ソンバー
- [06] ドラマ
- [07] サイレンス
- [08] ブリーチ
- [09] メランコリック
- [10] ピュア
- [11] デニム
- [12] トイ
- [13] セピア
- [14] ブルー
- [15] レッド
- [16] ピンク

- [17] チャコール
- [18] グラファイト
- [19] バイナリー
- [20] カーボン

カスタムピクチャーコントロール

「ニコンピクチャーコントロール」、「オプションピクチャーコントロール」、「クリエイティブ ピクチャーコントロール」をもとに、お客さまがPicture Control Utility 2や対応カメラ上で、各 種の項目をお好みの値に設定して作成できるピクチャーコントロールです。「カスタムピクチャー コントロール」は設定ファイルとして保存して、対応カメラと対応ソフトウェアの間で相互に活用 できます。

🗸 ご注意

- ピクチャーコントロールを使用して調整した画像は、ピクチャーコントロールに対応していないアプリケーションで表示したとき、ピクチャーコントロールの調整が反映されない場合があります。
- カスタムピクチャーコントロールをカメラからインポート、またはカメラにエクスポートする
 には、カメラがカスタムピクチャーコントロール作成機能に対応している必要があります。
- ・以下のデジタル一眼レフカメラはピクチャーコントロールに対応していません。
 D2シリーズ、D1シリーズ、D200、D100、D80、D70シリーズ、D60、D50、D40シリーズ
- COOLPIX ピクチャーコントロールには対応していません。

▼ オプションピクチャーコントロールのご利用について

オプションピクチャーコントロールにはソフトウェア用とカメラ用の2種類があります。

- ソフトウェア用のオプションピクチャーコントロール
 ソフトウェアのインストール時に併せてインストールされますので、そのままご利用いただけます。
- カメラ用のオプションピクチャーコントロール インターネットからダウンロードしてご利用いただけます。ご利用いただけるカメラは以下の とおりです。
 - [M1] D2XMODE1 / [M2] D2XMODE2 / [M3] D2XMODE3 : D3、D3X、D300、D700
 - [PT] ポートレート / [LS] 風景:
 D3 シリーズ、D300 シリーズ、D700

オプションピクチャーコントロールのダウンロードについて詳しくは、付属ソフトウェアの 「Picture Control Utility 2」を起動し、ヘルプをご覧ください。

1. 💌 をクリックして、適用したいカラープロセスを選択する



- 選んだカラープロセスによって、設定できるピクチャーコントロールが異なります。
- [最新のピクチャーコントロール]を選ぶと、最新のニコンのカメラで使っているピク チャーコントロールのカラープロセスを適用します。
- [カメラ互換]を選ぶと、画像を撮影したニコンのカメラで使っているピクチャーコント ロールのカラープロセスを、そのまま適用します。
- カラープロセスの初期設定値は、「ViewNX-i 画面のオプション/環境設定」の[RAW現 像]内の[カラープロセス]で変更できます。
- 2. 💌 をクリックして、適用したいピクチャーコントロールを選択する



選択したピクチャーコントロールが適用され、RAW画像が調整されます。

ニコンピクチャーコントロール、オプションピクチャーコントロール、また「Picture Control Utility 2」で作成したカスタムピクチャーコントロールも選択できます。

Picture Control Utility 2を起動する

カスタムピクチャーコントロールの作成、編集、インポート、エクスポートなどを行うPicture Control Utility 2を起動します。

1. [ユーティリティを起動] をクリックする



Picture Control Utility 2が起動し、ViewNX-i で選択していた画像がユーティリティーの画面に 表示されます。ユーティリティーでは、カスタムピクチャーコントロールを作成、編集するとき のサンプルとして画像を使用できます。

サンプル画像として使用できるのは、ニコン製デジタル一眼レフカメラおよびミラーレスカメ ラ、または COOLPIX A で撮影した NEF 形式の RAW 画像のみです。それ以外の形式の画像を選 択していたときは、初期設定として用意されている画像が表示されます。

Picture Control Utility 2は、 [ファイル] メニューから [Picture Control Utility 2を起動]
 を選択しても起動できます。

✔ ご注意

- COOLPIX ピクチャーコントロールには対応していません。
- COOLPIX で撮影した NEF 形式の RAW 画像は、ViewNX-i のピクチャーコントロールを使用 して調整できません(COOLPIX A は除く)。

✓ ViewNX-i にインストールされていない「オプションピクチャーコントロール」を使用して撮影・編集された RAW 画像について

ViewNX-i 起動後、最初にその画像を選択したときに、ViewNX-i での表示や編集に制約がある ことを示すメッセージ画面が表示されます。

メッセージ画面からWeb ブラウザーを起動してダウンロード元のホームページに移動できます。 ホームページ上の記載に従って、該当する「オプションピクチャーコントロール」のダウンロー ド、インストールを行ってください。

インストールされていないときの制約については「対応フォーマット」をご覧ください。

🚺 D2X 系ピクチャーコントロールについて

D2X 系ピクチャーコントロール(オプションピクチャーコントロール [D2XMODE1]、 [D2XMODE2]、 [D2XMODE3]、またはそれらをもとに作成したカスタムピクチャーコント ロール)を使用するには、下記の 2 つの条件が必要です。

- RAW 画像を撮影したカメラの機種が D3 シリーズ、D300 シリーズ、D700、D90、D5000、D3000 のいずれかであること
 (上記以外の機種では D2X 系ピクチャーコントロールは使用できません)
- [カラープロセス] の設定が [カメラ互換] であること
- ▼ [環境設定]の[RAW現像]画面で選択したピクチャーコントロールが[最新のピクチャーコントロール]の場合

D2X 系ピクチャーコントロールを使って撮影した RAW 画像を開いたときに、自動的に [スタン ダード] に変更されます。 ホーム > 画像を編集する > 輪郭を強調する

輪郭を強調する

RAW 画像(NEF、NRW)、JPEG 画像、TIFF 画像の輪郭を強調できます。

1. [輪郭強調] のスライダーをドラッグして値を設定する



画像の輪郭が強調されます。設定できる値は 0 から 10 までの範囲で、値を大きくするほど強く 適用されます。設定値が [0] のときは適用されません。

画像を拡大表示すると、効果がより確認できます。画像を拡大表示するには「表示サイズを変更 する」をご覧ください。

値は、入力ボックスに数値を入力して設定することもできます。

ホーム > 画像を編集する > コントラストを調整する

コントラストを調整する

RAW 画像(NEF、NRW)、JPEG 画像、TIFF 画像のコントラストを調整できます。

1. [コントラスト] のスライダーをドラッグして値を設定する



画像のコントラストが調整されます。設定できる値は -100 から 100 までの範囲で、プラスに設定するとコントラストが高くなり、マイナスに設定するとコントラストが低くなります。設定値が[0]のときは適用されません。

値は、入力ボックスに数値を入力して設定することもできます。

ホーム > 画像を編集する > 明るさを調整する

明るさを調整する

RAW 画像(NEF、NRW)、JPEG 画像、TIFF 画像の明るさを調整できます。

1. [明るさ] のスライダーをドラッグして値を設定する



画像の明るさが調整されます。設定できる値は -100 から 100 までの範囲で、プラスに設定する と明るくなり、マイナスに設定すると暗くなります。設定値が [0] のときは適用されません。 値は、入力ボックスに数値を入力して設定することもできます。
ホーム > 画像を編集する > ハイライト・シャドーを調整する

ハイライト・シャドーを調整する

RAW 画像(NEF、NRW)、JPEG 画像、TIFF 画像のハイライトとシャドーの部分を調整できます。

[ハイライト]を使用して、画像のハイライト部分を調整して白とびを軽減します。 [シャドー]を使用して、画像の暗い部分を明るく調整します。

1. [ハイライト] または [シャドー] のスライダーをドラッグして値を設定する



画像のハイライトまたはシャドー部分が調整されます。設定できる値はそれぞれ 0 から 100 までの範囲で、値を大きくするほど強く適用されます。設定値が [0] のときは適用されません。 [ハイライト] は NEF 画像に適用したときに、他の形式の画像に比べてより効果が現れます。

ホーム > 画像を編集する > 階調を補正する (D-ライティングHS)

階調を補正する(D-ライティングHS)

D-ライティングHS を使用して、RAW 画像(NEF、NRW)、JPEG 画像、TIFF 画像の階調を補正できます。

逆光やスピードライトの光量不足などで暗くなり隠れて見える被写体を明るく補正したり、明るくなり すぎて白く飛び気味な写真のハイライト部分の階調を補正したりできます。

1. [D-ライティングHS] のスライダーをドラッグして値を設定する



画像の暗い部分、または明るすぎる部分が調整されます。設定できる値は 0 から 100 までの範囲 で、値を大きくするほど強く適用されます。設定値が [0] のときは適用されません。

ホーム > 画像を編集する > 彩度を調整する(カラーブースター)

彩度を調整する(カラーブースター)

カラーブースターを使用して、RAW 画像(NEF、NRW)、JPEG 画像、TIFF 画像の彩度を調整できます。

1. 調整する画像に応じて [人物] または [風景] を選択する

[人物]を選択すると、肌の色は変えずに全体の彩度を調整します。 [風景]を選択すると、すべての色に対して彩度を調整します。



2. スライダーをドラッグして値を設定する

画像の彩度が調整されます。設定できる値は 0 から 100 までの範囲で、値を大きくするほど彩度 が高くなります。設定値が [0] のときは適用されません。

ホーム > 画像を編集する > 画像を切り抜く(クロップ)

画像を切り抜く(クロップ)

画像の必要な部分だけを切り抜くことができます(クロップ)。

作業前に、表示モードを[イメージビューアー]または[全画面表示]モードに変更し、画像表示エリ アにクロップする画像を表示しておきます。

1. 💌 をクリックして、縦横比を選択する

⁄ □⊍	プ			
	縦横比フリー		•	
		開始	適用	
傾き	補正			
	10.0	Ŧ	10.0	
	<u>· ·</u>	•	• 0.0	ш.
自動	赤目補正			
	ロオン			

選択した項目によって、クロップするときの縦横比が固定されます。

- 〔縦横比フリー〕を選択すると縦横比は固定されず、自由な縦横比でクロップできます。
- 選択項目には、元画像のピクセル寸法の項目があります。この項目を選択すると、元画像の 縦横比でクロップできます。
- 2. [開始] をクリックする

3. 画像内をドラッグして、クロップの範囲を指定する

画像を切り抜く(クロップ)



クロップ範囲は、はじめにドラッグ&ドロップで大まかな範囲を指定したあとに、以下の方法で 微調整できます。

- クロップ範囲の境界線をドラッグして、枠の大きさを調整する

4. [適用] をクリックする

指定した範囲で、画像が切り抜かれます。

[キャンセル]をクリックすると、範囲の指定はキャンセルされます。

✔ ご注意

- [適用] をクリックせずに、パレットの 📰 をクリックすると、クロップは適用されません。
- [適用]をクリックする前でも、他の編集機能は使用できます。ただし、ホワイトバランスの [グレーポイントを使用]を選択すると、クロップの枠の設定は解除されます。
- サムネイル画像は一部の編集内容が反映されないため、正しい編集結果にならない場合があります。
- ▶ 縦横比が異なる複数の画像を選択していたとき
 - 各画像は、選択した縦横比を維持するようにクロップされます。画像によっては意図しないクロップの範囲になることがあります。
 - 元画像と同じ縦横比でクロップするときは、選択している画像のうち、フィルムストリップで 一番左側の画像の縦横比が適用されます。

画像を切り抜く(クロップ)

ホーム > 画像を編集する > 傾きを補正する

傾きを補正する

RAW 画像(NEF、NRW)、JPEG 画像、TIFF 画像の傾きを補正できます。

1. [傾き補正] のスライダーをドラッグして角度を設定する



画像の傾きが補正されます。設定できる値は -10.0 度から +10.0 度までの範囲です。プラスに 設定すると右に傾き、マイナスに設定すると左に傾きます。設定値が [0] のときは適用されません。

値は、入力ボックスに小数点第一位まで入力して設定することもできます。

🚺 傾きを補正したとき

- 画像を傾けると、傾けたあとに余白が表示されないように、自動で画像が引き伸ばされます。
- 傾きを補正しても、画像のサイズ(ピクセル寸法)と縦横比は維持されます。

☑ Capture NX-Dで編集した画像について

Capture NX-Dで [画像データのない部分も含む] を有効にした画像をViewNX-iで調整する場合、Capture NX-Dの設定を引き継いだまま傾きを補正します。

ホーム > 画像を編集する > 赤目を補正する

赤目を補正する

フラッシュを使って人物を撮影したときに、瞳が赤く写る「赤目現象」を補正できます。

画像から赤目現象を自動で検出し、補正します。

1. [自動赤目補正]の [オン] にチェックを入れる



人物の赤目が補正されます。

▼ [自動赤目補正] についてのご注意

- 画像によっては、効果が少ない場合があります。
- まれに、赤目現象以外の部分も補正されることがあります。

ホーム > 画像を編集する > 軸上色収差を補正する

軸上色収差を補正する

RAW 画像(NEF、NRW)、JPEG 画像、TIFF 画像の、軸上色収差による色づき(色にじみ)を低減で きます。

軸上色収差とは、光の波長の違いによって結像位置が前後方向にずれる現象をいいます。軸上色収差に より、ピント位置の被写体、またはピント位置の前後の被写体に色づきが生じることがあります。 超望遠レンズを使用したときや、画像の中の輝度が高い被写体の縁に目立つことがあります。

1. [軸上色収差補正]の[自動] にチェックを入れ、スライダーをドラッグして値を設定する



軸上色収差による色づきが補正されます。

[自動] にチェックを入れると値は最初に [50] に設定され、さらにスライダーで他の値に設定 します。設定できる値は 0 から 100 までの範囲で、値を大きくするほど適用度が大きくなりま す。 [自動] のチェックをはずすと、適用されません。

ホーム > 画像を編集する > 倍率色収差を補正する

倍率色収差を補正する

RAW 画像(NEF、NRW)、JPEG 画像、TIFF 画像の、倍率色収差による色ずれを低減できます。

倍率色収差とは、光の波長の違いによって結像する像の大きさが異なる現象をいいます。倍率色収差に より、画像の周辺部で被写体の縁に色ずれが生じることがあります。

1. [自動倍率色収差補正]の [オン] にチェックを入れる



倍率色収差による色ずれが補正されます。

ホーム > 画像を編集する > PFフレアを低減する (PFフレアコントロール)

PFフレアを低減する(PFフレアコントロール)

NEF画像、JPEG画像、TIFF画像の、PFフレアを低減できます。 PF(位相フレネル)レンズ使用時、画面内に強い光源がある場合、画像に写り込むことがあるフレア (リング状、円形など)のことをPFフレアといいます。

1. [PFフレアコントロール]の[オン] にチェックを入れる



リング状または円形のフレアが低減されます。

✔ ご注意

- 対応レンズで撮影した画像のみ調整できます。
- 光源の種類や形状によっては充分な効果が得られない場合があります。
- 意図しない補正が発生した場合は、チェックを外してください。

ホーム > 画像を編集する > 回折を補正する

回折を補正する

NEF画像の回折現象によるぼけ(小絞りぼけ)を低減します。 回折とは、レンズのF値を大きくしたときに画質の鮮明さが失われ全体にぼけた印象になることです。

1. [回折補正]の[オン] にチェックを入れる



回折によるぼけが補正されます。



- 対応するカメラで撮影した画像のみ使用できます。
- 動画は補正できません。

ホーム > 画像を編集する > 画像の編集を元に戻す

画像の編集を元に戻す

ViewNX-i で行った画像の編集を元に戻すことができます。

- RAW画像を撮影時の状態に戻す
- ▶ 調整ファイルを削除する

RAW画像を撮影時の状態に戻す

1. 編集したRAW画像を選択し、 [画像調整/メタデータ] パレットの 🚮 をクリックする



[画像調整] やメタデータの各項目の値が、調整を行う前の状態に戻ります。

2. [画像調整/メタデータ] パレットの 📰 をクリックする

ViewNX-i で編集する前の状態で、画像が保存されます。 保存後は、編集時の状態に戻すことはできません。

▼ ご注意

ViewNX-iで編集したRAW画像(NEF、NRW)のみ、この機能で撮影時の状態に戻すことができます。

調整ファイルを削除する

1. 編集した画像(JPEG、TIFF、NEF、NRW、MOV、MP4)を選択し、[編集] メニューから [最後に保存された状態に戻す] を選択する

選択した画像に関連付けられている調整ファイルが削除され、調整ファイルに保存されていたメ タデータや調整情報が無効になります。

✔ ご注意

- 調整ファイルを削除すると、ViewNX-iやCapture NX-Dで編集した内容が無効になります。
- ViewNX2で編集した内容は、調整ファイルではなく画像ファイルに保存されます。そのため調 整ファイルを削除しても、ViewNX2で編集した内容は残ります。
- 調整ファイルを削除したあとで、編集時の状態に戻すことはできません。

ホーム > 画像を編集する > 編集項目の表示をカスタマイズする

編集項目の表示をカスタマイズする

[画像調整/メタデータ] パレットにある [画像調整] 項目の表示をカスタマイズできます。

編集項目のうち、よく使う機能だけを表示したり、または使う頻度の順に表示を変更したりできます。

画像調整項目の表示方法を選択する

[画像調整]の項目をすべて表示するか、基本的なものだけにするかを選択できます。

1. 💌 をクリックして項目を選択する



表示項目が変更されます。

[すべて]、[クイック]から選択できます。

編集項目の表示/非表示、表示順をカスタマイズする

[画像調整]各項目の表示/非表示、表示の順番を設定できます。 各項目の表示/非表示、表示順の設定内容は、プリセットとして登録できます。

1. 💌 をクリックして、選択項目から [カスタム設定...] を選択する

編集項目の表示をカスタマイズする



設定画面が表示されます。

2. [新規] をクリックする



[登録されているカスタム設定:] に新規プリセットが作成されます。

3. 各項目の表示/非表示、表示順を設定する

以下の設定ができます。

- [表示する項目:] で、表示する項目にチェックを入れ、表示しない項目はチェックをはずす
- [表示する項目:] で項目を選択し、 ▲ / ▼ をクリックして、表示する順番を並べ替える Ctrlキー(Mac OSはCommandキー)を押しながら項目をクリックすると、選択を解除でき ます。項目は複数選択できます。

4. [OK] をクリックする

設定したプリセットが登録されます。

をクリックすると、登録したプリセットが選択項目の中に表示されます。プリセットを選択すると、表示項目が変更されます。



プリセットの管理について

プリセットの修正、削除などは、プリセットの設定画面を表示して行います。

プリセットを修正する

修正するプリセットを一覧から選択し、上記の手順3(各項目の表示/非表示、表示順の設定) 以降の操作をします。

- プリセット名を変更する
 名前を変更するプリセットを一覧から選択し、もう一度そのプリセットをクリックします。名前
 が変更できる状態になります。
- プリセットを複製する

任意のプリセット名を一覧から選択して [複製] をクリックすると、そのプリセットのコピーが、連番をつけた名前で作成されます。入力されている項目のうち一部のみを変更して、新しい プリセットを作成したいときに便利です。

プリセットを削除する

削除するプリセットを一覧から選択して [削除] をクリックします。

ホーム > 画像を編集する > Picture Control Utility 2

Picture Control Utility 2

「Picture Control Utility 2」で、RAW 画像(NEF、NRW)を調整するカスタムピクチャーコントロー ルを管理できます。カスタムピクチャーコントロールを作成したり、メモリーカードへエクスポートま たはインポートしたりできます。

「Picture Control Utility 2」で作成したカスタムピクチャーコントロールは、対応ソフトウェアにて、 画像調整の際にお使いいただけます。Picture Control Utility 2を起動すると、Windows のタスクバー (Mac OS は Dock) 内に 🔤 が表示されます。

Picture Control Utility 2を起動する

カスタムピクチャーコントロールの作成、編集、インポート、エクスポートなどを行うPicture Control Utility 2を起動します。

1. [ユーティリティを起動] をクリックする



Picture Control Utility 2が起動し、ViewNX-i で選択していた画像がユーティリティーの画面に 表示されます。ユーティリティーでは、カスタムピクチャーコントロールを作成、編集するとき のサンプルとして画像を使用できます。

サンプル画像として使用できるのは、ニコン製デジタル一眼レフカメラおよびミラーレスカメ ラ、または COOLPIX A で撮影した NEF 形式の RAW 画像のみです。それ以外の形式の画像を選 択していたときは、初期設定として用意されている画像が表示されます。

Picture Control Utility 2 は、 [ファイル] メニューから [Picture Control Utility 2を起動] を選択しても起動できます。

Picture Control Utility 2 がインストールされているときに使用できます。

ホーム > 動画を編集する (ViewNX-Movie Editor)

動画を編集する(ViewNX-Movie Editor)

動画編集ソフトウェア「ViewNX-Movie Editor」は、デジタルカメラで撮影した動画を変換/連結して 出力したり、動画ファイルと静止画ファイルを組み合わせてオリジナルの動画を作成したりできます。

目的選択画面を表示する

ViewNX-iで素材(動画ファイル、静止画ファイル)を選択してViewNX-Movie Editorを起動すると、 目的選択画面が表示されます。

1. ViewNX-i のブラウザー画面またはマップ画面で素材となる動画や静止画のファイルを選択する

2. 👩 をクリックする

目的選択画面が表示されます。

目的選択画面について



選択できる機能は以下の通りです。

• [動画を切り取る]

[動画出力] 画面が表示され、選択した動画の出力設定を変えるなどして変換/出力します。ViewNX-iで再生範囲を変更した場合は、変更した再生範囲のファイルを切り出します。

• [動画を連結する]

[動画出力] 画面が表示され、ViewNX-i で選択した同じ設定条件で撮影した動画ファイルを1 つの動画ファイルに連結して出力します。

• [動画を編集する]

動画生成画面が表示され、ViewNX-i で選択した動画ファイルと画像ファイルをストーリーボードに並べ、並び順を入れ換えたり、素材の切り換え効果やメッセージクリップ、BGMを加えたり

して編集できます。編集したストーリーボードは新しい動画ファイルとして出力できます。

✓ 【動画出力】画面について

[動画を切り取る]、[動画を連結する]については、表示される [動画出力] 画面からの操作 となります。

[動画出力] 画面からの操作については、「動画を出力する(変換/連結/生成)」をご覧ください。

基本的な使いかた

目的選択画面で [動画を編集する] を選択して表示される動画生成画面からの操作の流れを説明しています。

撮影した動画ファイル、画像ファイルを使って新しいオリジナル動画を作成するにはこちらの章からご 覧ください。

▶ 使ってみよう

- 動画生成画面の見かた
- ▶ ステップ1:静止画や動画をストーリーボードに並べる
- ▶ ステップ 2: 切り換え効果を設定して、タイトルやエンディング、BGMを追加する
- ▶ ステップ 3:編集結果を動画ファイルに出力する

さらに詳しい使いかた

詳細な使いかた、機能について説明しています。基本的な操作の流れを確認したら、必要に応じてこの 章をご覧ください。

- ▶ 素材を並べ換える、追加する、削除する
- 静止画や動画の画面に文字情報を表示する
- ▶ 動画の必要な部分だけを切り出す(トリム)
- ▶ BGM を付ける(オーディオ)
- 静止画の再生時間を調整する
- コマ送りの動画を作成する
- ▶ 動画を出力する(変換/連結/生成)
- 一時保存された設定情報を復元する

その他の情報

▶ ViewNX-Movie Editor のメニュー一覧

ホーム > 動画を編集する(ViewNX-Movie Editor) > 使ってみよう

使ってみよう

動画生成画面の見かたと基本的な操作の流れについて説明します。

動画生成画面の見かた

動画生成画面の各部の名称や機能を説明します。

ステップ1:静止画や動画をストーリーボードに並べる

撮影した静止画ファイルや動画ファイルを使って新規に動画を作成するために、ストーリーボードに素材を登録して再生する順番に並べます。

ステップ2:切り換え効果を設定して、タイトルやエンディング、BGMを追加する

ストーリーボードに並べた素材と素材の画面切り換え効果を設定したり、タイトル、エンディン グ、メッセージクリップなどの挿入やBGM を付けたりして、新しい動画として編集します。

ステップ3:編集結果を動画ファイルに出力する

[動画出力] 画面を表示して編集内容を動画ファイルとして出力、保存します。出力する際にイン ターネット上のWebサービスへアップロードするなど、目的に応じた出力スタイルを選択すること ができます。

```
ホーム > 動画を編集する(ViewNX-Movie Editor) > 使ってみよう > 動画生成画面の見かた
```

動画生成画面の見かた

撮影した動画ファイルや静止画ファイルなどを使って新しい動画を作成する、動画生成画面の見かたに ついて説明します。

- ▶ 共通エリア
- ► [ストーリーボード] タブ
- ▶ [演出・時間設定] タブ

共通エリア



1

メニューバー (Windowsのみ)

動画生成画面で使用できるメニューを表示します。

2

プレビュー表示エリア

作成中の動画を再生して確認します。

3

新規動画の出力

[動画出力] 画面を表示して新しい動画ファイルを出力します。

[ストーリーボード] タブ

動画生成画面の見かた



1

タブ切り換え

以下のタブを切り換えます。

- [ストーリーボード] タブ 作成する動画に使用する素材の追加、並び換え、削除、編集、および再生時の切り換え効果の設定 を行います。
- [演出・時間設定] タブ BGM の登録、作成する動画の再生方法や再生時間を設定します。

2

[スタイル:]

再生時の素材の切り換え効果を設定します。

3

ストーリーボードエリア

使用する素材の並び順の変更、素材の追加や編集、テキストやメッセージクリップの追加などが できます。

4

ストーリーボード追加機能

ストーリーボードへの素材の追加、タイトルやエンディング、メッセージクリップの追加ができ ます。

[演出・時間設定] タブ

動画生成画面の見かた

9		新しい動画を生成する	- 0 *
27-(14)5) 編集(6) 9x7(c) 8800 88(v)	A\$700	
	is near		
BGM(way		······	
60	Sample Music 1	62/00	
60	Sample Husic 2	01:40	
60	Sample Music 3	62/43	
		di#j66.43j	
17191			
	CRAMBER 205		
	16-74 <u>9</u>		
		4	
Osce	KODFERE		
841	NT10001150012		

1

タブ切り換え

[ストーリーボード] タブと [演出・時間設定] タブを切り換えます。

2

BGM 登録エリア

登録された音楽ファイルの一覧が表示されます。

3

エフェクト設定

静止画にモーションを付けた表示効果を設定します。

4

時間設定エリア

静止画の表示時間を設定します。BGM を使用する場合は、BGMの再生時間に合わせた静止画の表示時間が設定できます。

ホーム > 動画を編集する(ViewNX-Movie Editor) > 使ってみよう > ステップ 1:静止画
 や動画をストーリーボードに並べる

ステップ 1:静止画や動画をストーリーボードに並べる

- ▶ 動画ファイル、静止画ファイルを準備する
- ▶ 動画生成画面で素材を追加して並べる

動画ファイル、静止画ファイルを準備する

素材として使用できるファイルの形式は、ニコン製デジタルカメラで撮影した以下の静止画ファイル、動画ファイルです。
 静止画ファイル:
 JPEG、TIFF、RAW (NEF、NRW)
 動画ファイル:
 MOV、AVI、MP4 (H.264/AAC)

 メモリーカードに保存した静止画ファイル、動画ファイルを利用する場合は、あらかじめパソコンの ハードディスクにコピーしておいてください。

動画生成画面で素材を追加して並べる

動画生成画面のストーリーボードに並んだ素材に、さらに静止画ファイルや動画ファイルを追加できま す。

1. 動画生成画面で [🔜 動画および静止画を追加する] ボタンをクリックする



素材を選択するためにViewNX-iの画面に切り換えるかどうかの確認画面が表示されますので、 [OK]をクリックします。

2. ViewNX-iのブラウザー画面で動画ファイル、画像ファイルを選択して 📷 をクリックする

選択した動画ファイル(M が表示されたファイル)、画像ファイルがストーリーボードに追加されます。

画像ファイル、動画ファイルはエクスプローラー(Windows)またはFinder(Mac OS)から、ストー リーボードに直接ドラッグ&ドロップして追加することもできます。 動画や画像などの素材の配置や入れ換えは、すべてストーリーボード上で行います。 画像ファイルや動画ファイルをストーリーボード上でドラッグ&ドロップして、再生する順番に並べ換

画像ファイルや動画ファイルをストーリーホート上でトラック&ドロッノして、再生する順番に並べ換 えることができます。

ためしに再生してみよう

作成中のストーリーボードは、プレビューエリアの 下 をクリックすると、いつでもプレビューできます。

プレビューエリアには以下の動画コントロールがあります。

• XX:XX / XX:XX

「現在の再生時間 / 合計再生時間」の形式で表示します。

• _•

現在の再生点または一時停止点を示します。ドラッグして、任意の再生点に移動できます。

• •

クリックすると、作成中の動画を再生します。

再生中はボタンが m に変わります。再生していないとき、または一時停止中は で表示します。 ストーリーボードにある素材をクリックすると、その素材がプレビュー画面に表示されます。表示され た位置から再生できます。



次に「ステップ 2:切り換え効果を設定して、タイトルやエンディング、BGMを追加する」に進みま

ステップ 1:静止画や動画をストーリーボードに並べる

す。

ホーム > 動画を編集する(ViewNX-Movie Editor) > 使ってみよう > ステップ 2 : 切り換 え効果を設定して、タイトルやエンディング、BGMを追加する

ステップ2:切り換え効果を設定して、タイトルやエンディン グ、BGMを追加する

画面切り換え効果の設定やメッセージクリップを追加したり、BGM を付けたりして、ストーリーボードを編集してみましょう。

- ▶ 切り換えの効果を設定する
- ▶ タイトル、エンディング、メッセージクリップを追加する
- ▶ 素材を並べ換える、削除する
- ▶ BGMを付ける

切り換えの効果を設定する

[スタイル:]を選択してストーリーボード上の素材(動画/静止画/メッセージクリップ)間の切り 換え効果を設定します。

1. [ストーリーボード] タブの [スタイル:] の [スタンダード] をクリックしてスタイルを選択 する



切り換えの効果が設定されます。プレビューエリアで再生して効果を確認できます。

・ [スタンダード]

静止画(写真)や動画を消えることなく滑らかに切り換えて再生します。

• [フェードイン/フェードアウト]

静止画(写真)や動画がゆっくり消えて現れる切り換えかたで再生します。

ステップ 2: 切り換え効果を設定して、タイトルやエンディング、BGMを追加する

・ [ワイプ]

静止画(写真)や動画を右から左へ書き換えるように再生します。

• [ランダム]

静止画(写真)や動画にいろいろな切換効果をつけて再生します。

• [ストップモーション]

素材に静止画(写真)が含まれているときに設定できます。静止画(写真)を短い時間(0.1 秒/0.2秒/0.5秒)で切り換えて再生します。

静止画(写真)をコマ送りにしてパラパラマンガのように再生させるときに使用します。

タイトル、エンディング、メッセージクリップを追加する

作成中の動画の冒頭にタイトル、末尾にエンディングを追加したり、シーンの区切りなどになるように メッセージクリップを追加したりすることができます。

メッセージクリップは、ストーリーボード上で選択状態になっている素材の前に追加されます。追加後 に移動、編集することもできます。

1. [M タイトルを挿入する] / [M メッセージクリップを挿入する] / [M エンディングを挿入 する] をクリックする



クリップの [テキスト設定] 画面が表示されます。

2. [テキスト設定] 画面の左上のテキストボックスをクリックして文字を入力する

ステップ 2: 切り換え効果を設定して、タイトルやエンディング、BGMを追加する

	テキスト設定
Welcome to my movie! 表示す40回答: 中央 * 表示す40回答: すべて *	Welcome to my movie!
■2x244年度 MS LE Conto: 第三 用語名: ■ 月のわ	• 00 : 00 / 00 : 05
	OK 4+5/5%

下記の項目が設定できます。

• [表示する位置:]

テキストの表示位置を選択します。

[表示するタイミング:]

[すべて]のみの設定となり、約5秒間のクリップの表示時間中、テキストが表示したままとなります。

[フォントを指定]

チェックを入れて [変更...] をクリックすると、文字の書体やサイズ、色などを設定できます。

• [背景色:]

[パレット...]をクリックして、テキストの背景色を変更できます。

3. [OK] をクリックする

各項目を設定して [OK] をクリックすると設定が確定され、ストーリーボードにクリップが追加 されます。プレビューエリアで再生して、効果を確認できます。

タイトル、エンディング、メッセージクリップにカーソルを重ねて表示される me をクリックする と、追加した内容を編集できます。

素材を並べ換える、削除する

ストーリーボードに追加した画像ファイルや動画ファイル、メッセージクリップなどは、ドラッグ&ド ロップで並べ換えできます。

並べ換えの操作、または削除について詳しくは、「**素材を並べ換える、追加する、削除する**」をご覧く ださい。

BGMを付ける

作成中のストーリーボードにBGMを付けられます。 BGMに使用する音楽(音声)ファイルを用意して、動画生成画面の[演出・時間設定]タブで登録しま す。一般的な音声ファイルにも対応しています。 登録できる音楽ファイル形式は、WAV、AAC です。 BGM の登録について詳しくは「BGM を付ける(オーディオ)」をご覧ください。

次に「ステップ3:編集結果を動画ファイルに出力する」に進みます。

ホーム > 動画を編集する(ViewNX-Movie Editor) > 使ってみよう > ステップ 3: 編集結
 果を動画ファイルに出力する

ステップ3:編集結果を動画ファイルに出力する

ここまでの編集内容を新しい動画ファイルに出力して保存できます。

作成したストーリーボードを動画ファイルに出力する

作成したストーリーボードは新しい動画ファイルに出力できます。 出力した動画ファイルは、市販のツールや OS 付属のツールを利用して、 DVD に記録することもできま す。

1. 👩 をクリックする



書き出す動画のファイル名、ファイル形式などを設定する画面が表示されます。

動画出力の設定について、詳しくは「動画を出力する(変換/連結/生成)」をご覧ください。



登録したファイルに、以下の操作を ViewNX-i、エクスプローラー、Finder などで行うと、ストーリーボードに読み込めなくなります。

- パソコンから削除する
- ファイルを別のドライブやフォルダーに移動する
- ファイル名を変更する

読み込むことができない画像ファイルや動画ファイルは、ストーリーボードからサムネイルが削除されます。音楽ファイルは[演出・時間設定]タブのBGM一覧から削除されます。

「さらに詳しい使いかた」以降のページでは、これまで紹介した機能の詳しい説明があります。

.....

ホーム > 動画を編集する (ViewNX-Movie Editor)	>	さらに詳しい使いかた
-------------------------------------	---	------------

さらに詳しい使いかた

ViewNX-Movie Editor の詳細な使いかた、機能について以下のページで説明しています。

▶ 素材を並べ換える、追加する、削除する
▶ 静止画や動画の画面に文字情報を表示する
▶ 動画の必要な部分だけを切り出す(トリム)
▶ BGM を付ける(オーディオ)
▶ 静止画の再生時間を調整する
▶ コマ送りの動画を作成する
▶ 動画を出力する(変換/連結/生成)
▶ 一時保存された設定情報を復元する
▶ ViewNX-Movie Editor のメニュー一覧
ホーム > 動画を編集する(ViewNX-Movie Editor) > さらに詳しい使いかた > 素材を並べ 換える、追加する、削除する

素材を並べ換える、追加する、削除する

静止画ファイルや動画ファイルを並べ換えて、プロジェクト内の動画の再生順を変更できます。メッ セージクリップの位置も変更できます。

1. ストーリーボードで、素材をドラッグ&ドロップする

素材の順番を並べ換えられます。



動画ファイル、静止画ファイル、メッセージクリップは並べた順番で再生します。再生順を変更すると きは、各素材をドラッグ&ドロップして並べ換えます。

ストーリーボードにある素材をコピーする、貼り付ける

ストーリーボードで、素材のコピーを作って配置できます。同じ素材を繰り返して使いたいときなどに 便利です。

1. ストーリーボードで素材を選択して [編集] メニューから [コピー] を選択する

2. 追加する位置の素材を選択して[編集]メニューから[貼り付け]を選択する

ストーリーボードから静止画ファイル、動画ファイルを削除する

1. ストーリーボードで、削除する静止画ファイルや動画ファイルを選択する

2. [編集] メニューから [削除] を選択する

選択した静止画ファイルや動画ファイルがストーリーボードから削除されます。

V 静止画ファイル、動画ファイルの追加について

静止画ファイルや動画ファイルの追加については、「**ステップ 1:静止画や動画をストーリー** ボードに並べる」をご覧ください。

タイトルやエンディング、メッセージクリップの追加については、「**ステップ 2 : 切り換え効果** を設定して、タイトルやエンディング、BGMを追加する」をご覧ください。 ホーム > 動画を編集する(ViewNX-Movie Editor) > さらに詳しい使いかた > 静止画や動 画の画面に文字情報を表示する

静止画や動画の画面に文字情報を表示する

画像ファイルや動画ファイルにテキスト(文字情報)を重ねて表示できます。

- ▶ テキストを設定する
- ▶ 設定したテキストを編集する

テキストを設定する

1. 画像ファイル、動画ファイルの 🜇 をクリックする

静止画ファイルや動画ファイルの上にマウスのカーソルを重ねると、 mのアイコンが表示されま す。



[テキスト設定] 画面が表示されます。

2. テキストの入力およびフォントや表示位置を設定する



[テキスト設定]画面の左上のテキストボックスをクリックして文字を入力します。全角、半角、改行コードを含めて最大64文字まで入力できます。

文字の書体やサイズ、色などの書式設定は[フォントを指定]にチェックを入れて、[変更...] をクリックします。

下記の項目を設定します。

• [表示する位置:]

テキストの表示位置を選択します。

[表示するタイミング:]

テキストが表示されるタイミングを設定します。 [すべて] をクリックすると、素材表示中に 入力した文字を表示し続けます。 [はじめから] / [おわりから] を選択すると、ファイルの 表示時間の開始または終了から3秒/5秒/7秒のタイミングで表示するように設定できます。

3. [OK] をクリックする

設定が確定します。テキストを設定した素材には、 📷 が表示されます。

設定したテキストを編集する

設定したテキストを変更したり、削除したりできます。

テキストを変更する

ストーリーボード上に M が表示されている素材を選択します。 R をクリック、または [クリップ] メ ニューから [テキストを追加または更新...]を選択して、表示された [テキスト設定] 画面にあるテキ ストボックス内の文字を変更します。

変更を終了して [OK] をクリックすると設定が確定されます。

テキストを削除する

ストーリーボード上に M が表示されている素材を選択します。 [クリップ] メニューから [テキスト を追加または更新...]を選択して、表示された [テキスト設定] 画面にあるテキストボックス内の文字 を削除します。

変更を終了して [OK] をクリックすると設定が確定され、 📓 が消えます。

ホーム > 動画を編集する(ViewNX-Movie Editor) > さらに詳しい使いかた > 動画の必要 な部分だけを切り出す(トリム)

動画の必要な部分だけを切り出す(トリム)

動画の必要な部分を範囲設定して切り出すことができます(トリム機能)。 再生するときは、切り出した部分だけが再生されます。

- ▶ トリムを設定する
- ▶ トリムの設定を解除する

トリムを設定する

1. ストーリーボード上の素材から、トリムする動画ファイルにマウスのカーソルを重ねて W をク リックする



動画の [再生時間設定] 画面が表示されます。

トリムの開始点と終了点を設定します。設定した開始点と終了点にはさまれた部分が、再生される動画になります。

開始点または終了点のどちらかだけを設定することもできます。

[再生時間設定] 画面について

動画の必要な部分だけを切り出す(トリム)



1

プレビュー表示エリア

動画を再生して切り出す開始点や終了点を確認します。

2

動画展開表示エリア

動画全体の流れがわかるように7つに分けてサムネイル表示します。左右の []をスライドさせて開 始点・終了点の位置を設定します。

3

再生スライダー

再生位置を示します。

4

現在の再生位置(時間)/全再生時間

再生時間を確認します。

5

開始点(IN)、終了点(OUT)設定ボタン

ボタンをクリックすると、 📷 の位置で開始点、終了点を設定します。

動画のコントローラー

左からコマ戻し/再生(一時停止)/コマ送りボタン

7

開始点、終了点の位置(時間)

切り出した動画の開始タイム、終了タイムを表示します。

トリムの開始位置と終了位置を設定する

動画の必要な範囲を左右の || を動かして設定します。

1. 左端の ||を動かして開始位置を、右端の ||を動かして終了位置を設定する

• 左右の || の間で 📷 を左右にスライドさせて選択した範囲の内容を確認できます。

 ・ 左右の []の間で ▲ / ▶ をクリックして ● の位置を微調整できます。微調整した ● の位置で [IN] をクリックして開始位置の []を、 [OUT] をクリックして終了位置の []を修正できます。

2. [OK] をクリックする

トリムの設定を解除する

トリムの再生時間設定画面で動画展開表示エリアに表示されている開始点、終了点それぞれの ファイルの左端と右端に移動して [OK] をクリックします。

```
ホーム > 動画を編集する(ViewNX-Movie Editor) > さらに詳しい使いかた > BGM を付ける (オーディオ)
```

BGM を付ける(オーディオ)

作成中の動画にBGMを付けて、雰囲気を変えたり、印象を強めたりできます。 登録できる音楽ファイル形式は、WAV、AAC です。16 bit を超える WAV ファイルは登録できません。

- ▶ BGM を登録する
- BGM の再生順を並べ換える
- ▶ BGM の登録を削除する
- ▶ 素材の動画ファイルの音量を0にする

BGM を登録する



1. [演出・時間設定] タブをクリックする

BGMの設定タブが表示されます。

BGMの一覧には、あらかじめサンプルの音楽ファイルが登録されています。

音楽ファイルの (M) / (M) をクリックしてオン/オフを切り換えられます。楽曲リストの右下 には使用するBGMの合計再生時間が表示されます。

2. [追加...] をクリックする

音楽ファイルを選択する画面が表示されます。

3. 使用する音楽ファイルを選択し、 [開く] をクリックする

[BGM(wav, m4a)] に音楽ファイルが追加されます。

最大10曲まで登録できます。

登録した音楽ファイルは、 [BGM(wav, m4a)] に上から順番に表示されます。作成した動画を 再生するときに、この表示順で BGMが再生されます。

BGM の再生順を並べ換える

再生順を変更する音楽ファイルを選択して、上下にドラッグして順番を並べ換えることができます。

BGM の登録を削除する

登録を削除する音楽ファイルを選択して、右クリックして [削除] を選択します。 あらかじめ登録されているサンプルファイルは削除できません。

🚺 BGM の再生について

作成動画の設定内容により、BGM に合わせた再生方法が変わります。

- 切り換えスタイルに[ストップモーション]を選択した静止画を含む作成動画の場合、[時間 設定]で[ノーマル再生]に設定すると、動画の[繰り返し回数:](1回/2回/3回/5回から 選択)を設定できます。BGMは動画の再生時間に合わせて終了します。
- 切り換えスタイルに [ストップモーション]を選択した静止画を含む作成動画の場合、 [時間 設定]で [BGMに合わせて再生] に設定すると、BGMの再生時間に合わせて動画の [繰り返し 回数:]が自動的に設定されます。ただし、動画の [繰り返し回数:]が31回以上になる場合 は、エラーメッセージが表示され、 [ノーマル再生] に切り換わり、 [BGMに合わせて再生] は設定できません。
- 切り換えスタイルに[ストップモーション]以外を選択した静止画を含む作成動画の場合、 [時間設定]で[BGMに合わせて再生]に設定すると、静止画の再生秒数が表示されます。た だし、静止画の再生秒数が2秒未満または15秒以上になる場合は、エラーメッセージが表示さ れ、[ノーマル再生]に切り換わり、[BGMに合わせて再生]は設定できません。

素材の動画ファイルに含まれている音声は、BGM と重なって再生されます。素材の動画ファイルの音声を消して BGM だけで再生するように設定できます。

詳しくは下記「素材の動画ファイルの音量を 0 にする」をご覧ください。

プレビューエリアの 🕡 をクリックすると、再生中のすべての音を消音にできます。

素材の動画ファイルの音量を 0 にする

素材の動画ファイルの音量を0にできます。

BGM を使用しているときは、素材の動画ファイルの音量を 0 にして、BGM だけで再生します。

1. [クリップ] メニューから [すべてのビデオの音量を0にする] を選択する

ストーリーボードにあるすべての動画ファイルの音量を元に戻す

[クリップ]メニューから[ビデオの音量をデフォルトに戻す]を選択すると、動画ファイルの音量を元に戻せます。

ホーム > 動画を編集する(ViewNX-Movie Editor) > さらに詳しい使いかた > 静止画の再 生時間を調整する

静止画の再生時間を調整する

静止画(画像ファイル)の再生時間を調整できます。

再生時間を設定する

静止画の再生時間を調整します。

設定していないときは、デフォルトの再生時間になります。また、BGM の音楽ファイルを登録している 場合は、BGM の再生時間に合わせた設定ができます。

1. [演出・時間設定] タブを表示する

2. [ノーマル再生] / [BGMに合わせて再生] を選択する



時間設定について

[ノーマル再生]の[静止画再生時間:]で[短め]/[普通]/[長め]のいずれかを選択します。
 静止画1枚当たりの再生時間は、それぞれ[短め]=3秒、[普通]=5秒、[長め]=10秒となります。
 動画再生の終了時に BGM はフェードアウトします。BGM の再生時間が動画の再生時間よりも短い場合は、BGM は繰り返し再生します。
 [BGMに合わせて再生]を選択すると、合計時間に合わせた静止画1枚あたりの再生秒数が表示されます。切り換えスタイルを[ストップモーション]に設定している場合は、作成中の動画の再生回数が表示されます。

BGM の再生については、「BGM を付ける(オーディオ)」をご覧ください。

メッセージクリップの再生時間は約5秒で、変更はできません。

ホーム > 動画を編集する(ViewNX-Movie Editor) > さらに詳しい使いかた > コマ送りの 動画を作成する

コマ送りの動画を作成する

デジタルカメラで連写した静止画などをストーリーボードに並べて、切り換え効果のスタイルを[ストップモーション]に設定すると、コマ送りのパラパラマンガのような動画が作成できます。

1. ストーリーボードに使用する画像ファイルを登録する

2. 切り換え効果のスタイルの [ストップモーション] を選択する



[静止画再生時間:]を[0.1秒]/[0.2秒]/[0.5秒]から選択できます。

ご使用の環境によっては[静止画再生時間:]を[0.1秒]または[0.2秒]に選択した場合、プレビュー再生にて正しく画像が切り替わらない場合があります。

その場合はプレビュー表示エリアの画面サイズを小さくしてください。

なお、この現象が発生しても出力する動画には影響がありません(出力する動画では正しく画像 が切り替わります)。

3. 素材を編集する

タイトル、メッセージクリップ、エンディングを追加したり、 [演出・時間設定] タブでBGMを 登録したりできます。

▼ BGM の再生について

切り換えスタイルに [ストップモーション] を選択した場合、 [演出・時間設定] タブの [時間 設定] で [BGMに合わせて再生] に設定すると、BGM の再生時間に合わせて生成動画の [繰り 返し回数:] が自動的に設定されます。ただし、生成動画の [繰り返し回数:] が31回以上にな る場合は、エラーメッセージが表示され、 [ノーマル再生] に切り換わり、 [BGMに合わせて再 生] は設定できません。 ホーム > 動画を編集する(ViewNX-Movie Editor) > さらに詳しい使いかた > 動画を出力 する(変換/連結/生成)

動画を出力する(変換/連結/生成)

作成したストーリーボードは、新しい動画ファイルとして出力できます。

- ▶ 動画出力を設定する
- ▶ Webサービスにアップロードする動画を作成する

動画出力を設定する

1. 👩 をクリックする



[動画出力] 画面が表示されます。

2. 各項目を設定する

[動画出力] 画面について



以下の各項目を設定して[出力]をクリックすると、作成したストーリーボードや動画ファイルが新し い動画ファイルとして出力されます。

目的選択画面で選択した項目により、表示される項目が異なります。

1

[設定:]

目的選択画面で [動画を編集する] を選択した場合は、次の出力スタイルを選択すると、出力ス タイルの説明と詳細情報(形式:、サイズ:、フレームレート:)が表示されます。

• [PC]

高品質な動画を出力します。60分以上になる動画は出力できません。

• [YouTube]

YouTube用に容量を抑えた動画を出力します。15分以上、2GB以上になる動画は出力できません。

• [Webサービス]

Webサービス用に容量を抑えた動画を出力します。15分以上、1GB以上になる動画は出力できません。

• [詳細設定]

詳細情報(形式:、サイズ:、フレームレート:)をお好みの設定で出力します。60分以上になる 動画は出力できません。

2

[保存先:]

保存先のフォルダーが表示されます。変更する場合は [参照...] をクリックしてフォルダーを選択します。

3

[ファイル名:]

所定の動画ファイル名が表示されます。変更する場合は、入力欄をクリックして入力します。

V 目的選択画面で [動画を切り取る] を選択した場合

ViewNX-iで再生範囲を切り出した動画ファイルを選択してViewNX-Movie Editorを起動し、目 的選択画面で [動画を切り取る] をクリックすると、次の出力スタイルが選択できます。

- [クイック]
 ViewNX-iで指定した再生範囲を高速に切り出します(約1秒単位/H.264のみ)。
- [詳細設定]
 ViewNX-iで指定した再生範囲をお好みの設定で出力します。

✔ 目的選択画面で [動画を連結する] を選択した場合

ViewNX-iで同じ撮影設定で録画した複数の動画を選択してViewNX-Movie Editorを起動し、目的選択画面で [動画を連結する] をクリックすると、次の出力スタイルが表示されます。

[クイック]
 選択した複数の動画を1つの動画ファイルに高速に連結します。

設定項目

出カスタイルは目的選択画面で選択した項目により、表示される内容が異なっています。 [動画を切り 取る] または [動画を編集する] から [動画出力] 画面を表示すると、 [詳細設定] を選択して、次の 項目が設定または確認できるようになります。素材の種類や選択した出カスタイルにより、表示される 項目や選択できる項目は変わります。

[形式:]

ファイル形式を、以下の3種類から選択できます。

[MP4 (H.264/AAC)]

拡張子 : .mp4 ビデオ圧縮形式 : H.264 オーディオ形式 : AAC

[MOV (H.264/AAC)]

拡張子:.mov ビデオ圧縮形式:H.264 オーディオ形式:AAC

[MOV (H.264/Linear PCM)]

拡張子:.mov ビデオ圧縮形式:H.264 オーディオ形式:リニアPCM

出力する動画のファイル容量を小さくするときは、 [MOV (H.264/AAC)]を選択します。

[サイズ:]

対象動画の縦横比などによって、選択できる項目は異なります。

- 640 x 424 (3:2)
- 640 x 480 (4:3)

- 960 x 540 (16:9)
- 1280 x 720 (16:9)
- 1920 x 1080 (16:9)

初期状態で表示されるサイズは、ストーリーボードで使用している画像ファイルまたは動画ファイルのサイズによって選択されます。

ストーリーボードが静止画のみの場合は、 [1920 x 1080] が選択されます。

[フレームレート:]

出力する動画の1秒あたりのフレーム数が表示されます。選択した出力スタイルにより、最適なフレーム数([PC]の場合は50fps/60fps、[YouTube]または[Webサービス]の場合は24fps/25fps/30fps)が選択されます。

ファイル名と保存先について

出力時にファイル名と保存先を設定できます。

[ファイル名:]

変換する動画のファイル名を入力します。

ファイル名とフォルダー名の合計文字数が制限を超えた場合、画面下部の[出力] ボタンが一時的 に無効になります(Windows のみ)。

[保存先:]

変換する動画の保存先を設定します。

作成する動画のサイズ設定について

作成する動画のサイズは、ストーリーボードに含まれる動画の中で一番大きなサイズの動画(縦横 ピクセルによる面積で最大の動画)を対象に、次の優先順位で決まります。

- 出力スタイルが [PC] または [YouTube] の場合:
 対象動画のサイズが [1920 x 1080] と等しいか、または面積ベースで大きいときは [1920 x 1080] が適用されます。
- 出力スタイルが [Webサービス] の場合:
 対象動画のサイズが [1280 x 720] と等しいか、または面積ベースで大きいときは [1280 x 720] が適用されます。
- 対象動画の縦横比が3:2の場合:
 [640 x 424] が適用されます。
- 対象動画の縦横比が4:3の場合:
 [640 x 480]が適用されます。
- 上記の条件に当てはまらない場合:
 [1280 x 720] が適用されます。

フレームレートについて

[フレームレート:] で設定するフレーム数の1秒あたりの実際の数値は、以下の通りです。

- 24 fps: 1 秒間に 23.976 フレーム再生されます。
- 25 fps: 1 秒間に 25 フレーム再生されます。
- 30 fps: 1 秒間に 29.97 フレーム再生されます。
- 50 fps: 1 秒間に 50 フレーム再生されます。
- 60 fps: 1 秒間に 59.94 フレーム再生されます。

Webサービスにアップロードする動画を作成する

動画出力時に出力スタイルの [YouTube] または [Webサービス] を選択して、簡単な設定で容量など を抑えてアップロードできるように出力できます。

1. [動画出力] 画面で [YouTube] / [Webサービス] を選択する

	PC	2	
	PC		
	YouTube	MP4 (H.264/AAC)	
	詳細設定	1920 x 1080	
	C:¥Users¥user¥Vide	os	参照
71.	ル名:		
	MOVIE_0606		

2. [出力] をクリックする

動画の長さが15分以上になる場合、またはファイルサイズが2GB(YouTube、NIKON IMAGE SPACE) /1GB(Webサービス)を超える場合は、エラーメッセージが表示され出力できません。ストーリーボードに戻って素材を調整してください。

ホーム > 動画を編集する(ViewNX-Movie Editor) > さらに詳しい使いかた > 一時保存された設定情報を復元する

-時保存された設定情報を復元する

ストーリーボードを出力するときに、動画生成画面で編集した設定情報が自動的に一時保存されます。 一時保存された設定情報を読み込んで、ストーリーボードを復元した動画を再編集することができま す。

ー時保存される設定情報は最大10件までです。10件を超えると古いものから削除されます。削除された くない設定情報は、 ()) をクリックして5件まで保護() () できます。また、不要な設定情報は削 除できます。

1. 動画生成画面の [ファイル] メニューから [保存された設定を読み込む...] を選択する

一時保存された設定情報の一覧が表示されます。

2. 復元する項目を選択して、[復元]をクリックする



画面上に編集中のストーリーボードがあった場合は、復元情報を表示する前に編集中の素材や設 定情報を一時保存するかどうかの確認画面が表示されます。保存する場合は、 [はい] をクリッ クします。

設定情報の一覧に不要な項目がある場合は、選択して[削除]をクリックします。

保存されたストーリーボードが復元され、編集できます。

```
ホーム > 動画を編集する(ViewNX-Movie Editor) > ViewNX-Movie Editorのメニューー
覧
```

ViewNX-Movie Editor のメニュー一覧

ViewNX-Movie Editor で使用できるメニューの一覧です。

- ► [ファイル] メニュー
- ▶ [編集] メニュー
- [クリップ] メニュー
- ▶ [再生] メニュー
- ▶ [表示] メニュー
- [ヘルプ] メニュー
- [ViewNX-Movie Editor] メニュー (Mac OS のみ)

[ファイル] メニュー

[保存された設定を読み込む...]

[動画を編集する]でストーリーボードを動画ファイルに出力した場合、使用したファイル情報や 設定内容を復元用のファイルとして一時保存します。一時保存された復元用ファイルを読み出しま す。

[動画および静止画を追加...]

[ストーリーボード]に、画像ファイルまたは動画ファイルを追加します。パソコンやメモリー カードに保存されている画像ファイルまたは動画ファイルを選択する画面が表示されます。

[動画を生成...]

作成した [ストーリーボード] を新しい動画ファイルに変換します。変換の設定画面が表示されます。

[終了] (Windowsのみ)

ViewNX-Movie Editor を終了します。現在のプロジェクトがまだ保存されていないときは、保存の 確認画面が表示されます。

Ctrl+Q (Windows)

[編集] メニュー

[コピー]

[貼り付け]

画像、動画ファイル、またはメッセージクリップをコピーしたときは、ストーリーボードに貼り付 け (ペースト)します。

Ctrl+V (Windows) / Cmd + V (Mac OS)

[削除]

ストーリーボードで、選択した画像、動画ファイル、またはメッセージクリップを削除します。 Del

[クリップ] メニュー

[トリム...]

動画用の [再生時間設定] 画面を表示して、動画ファイルの必要な部分を切り出すことにより、再 生時間を調整します。

[テキストを追加または更新...]

[テキスト設定]画面を表示して、選択している動画ファイル、画像ファイル上にテキストを重ね て表示するように設定します。

[タイトルを挿入...]

[テキスト設定]画面を表示して、作成中の動画にタイトル画面をストーリーボードの先頭に追加 します。すでにタイトル画面がある場合は、[タイトルを編集...]と表示されます。

[メッセージクリップを挿入...]

[テキスト設定]画面を表示して、作成中の動画にシーンの区切りなどとして背景色を付けたメッセージクリップを挿入します。メッセージクリップは選択している素材の前に追加されます。

[エンディングを挿入...]

[テキスト設定]画面を表示して、作成中の動画にエンディング画面をストーリーボードの末尾に 追加します。すでにエンディング画面がある場合は、[エンディングを編集...]と表示されます。

[すべてのビデオの音量を0にする]

ストーリーボード上のすべての動画の音量を0にして、再生されないように設定します。設定後に追加した動画の音量も再生されません。

[ビデオの音量をデフォルトに戻す]

動画の音量を元に戻します。

[素材を撮影日順に並び替える]

ストーリーボード上の素材を、撮影日順に並び替えます。

[再生] メニュー

[再生]

編集中の動画をプレビューエリアで再生します。再生中はこの項目名が[一時停止]に変わりま す。

[停止]

プレビューエリアで動画を再生しているときは、停止します。

[表示] メニュー

[ストーリーボード]

[ストーリーボード] タブを表示します。

[演出・時間設定]

[演出・時間設定] タブを表示します。

[ヘルプ] メニュー

[ViewNX-Movie Editorヘルプ]

このヘルプを表示します。

[ViewNX-Movie Editor] メニュー (Mac OS のみ)

[ViewNX-Movie Editorについて]

ViewNX-Movie Editor のバージョン情報画面を表示します。

[ViewNX-Movie Editorを終了]

ViewNX-Movie Editor を終了します。現在のプロジェクトがまだ保存されていないときは、保存の確認画面が表示されます。

Cmd + Q (Mac OS)

ホーム > Webサービスを活用する

Webサービスを活用する

ViewNX-iでは、ニコンが提供するWebサービス「NIKON IMAGE SPACE」へ画像や動画をアップロードして公開したり、公開したファイルを閲覧・管理したりできます。

Webサービスのアカウント登録(ログイン/認証)も [Webサービス] ワークスペースから行うことが できます。

[Webサービス] ワークスペースの [ナビゲーション] パレットでは、NIKON IMAGE SPACEのアルバムを表示して画像閲覧ができるほか、 [画像調整/メタデータ] パレットでは投稿されたコメントや評価を確認することができます。

[1] (NIKON IMAGE SPACE) アイコンをクリックしてパソコンのブラウザーで画像やコメントを表示 することもできます。

- ▶ Webサービスにログイン(認証)する
- ▶ Webサービスへ画像をアップロードする
- ▶ アップロードした画像や動画を表示・閲覧する

ホーム > Webサービスを活用する > Webサービスにログイン(認証)する

Webサービスにログイン(認証)する

ViewNX-iでは、Webサービスとして「NIKON IMAGE SPACE」をサポートしています。ワークスペー スを [Webサービス] に切り替えると、 [ナビゲーション] パレットにはあらかじめ NIKON IMAGE SPACE が表示されています。 [ログイン設定] ボタンをクリックしてWebサービスにログイン(認証) を行います。

1. [Webサービス] をクリックして、ワークスペースを切り替える



2. [ログイン設定] をクリックする



[オプション] (Mac OS は [環境設定])の [Webサービス] の画面が表示されます。

3. [ログイン] / [認証] をクリックする



NIKON IMAGE SPACEのIDをお持ちでない方は、 [NIKON IMAGE SPACE] をクリックして画 面の案内に従ってIDを取得してください。IDをお持ちの方は [メールアドレス:] 、 [パスワー ド:] を入力してから [ログイン] をクリックします。

NIKON IMAGE SPACEとは

NIKON IMAGE SPACEはインターネット上で画像や動画などのファイルを保存・管理できるニコンのサービスです。

ニコン製デジタルカメラをお使いのお客様は、ニコンユーザー特典をご利用いただけます。

NIKON IMAGE SPACEについての詳細は、NIKON IMAGE SPACEのホームページをご覧ください。

http://www.nikonimagespace.com/

ログイン(認証)状態になると

[ナビゲーション]パレットのWebサービス名の下に各Webサービス提供のアルバムが表示され ます。アルバムを選択すると、アルバムに含まれるアップロードされた画像のサムネイルが画像表 示エリアに一覧表示されます。

Webサービス上で公開された画像に対する評価やコメントは約5分ごとに更新され、 [画像調整/メ タデータ] パレットに更新情報が反映されます。表示を [ブラウザー] に切り替えていても、差分 がある場合は更新情報を通知します。

ログイン時に[パスワードを保存する]にチェックを入れるなどしてログインした状態を保持していた場合は、そのままViewNX-iを終了して再起動した際にもログイン状態を回復します。

ログアウト(認証解除)する

Webサービスをログアウト(認証解除)するには、「ログイン設定」をクリックして、「ログアウ

ト] / [認証解除] をクリックします。

[ナビゲーション] パレットにはWebサービス名のみが表示されます。更新情報は取得されなくなります。

✔ ご注意

- インターネットに接続できる環境が必要です。
- 以下のファイル形式をアップロードできます。 JPEG(RGB モー
 - ド)、RAW(NEF、NRW)、TIFF(非圧縮、LZW 圧縮)、MPO(3D 形
 - 式)、MOV、MP4、AVI、モーションスナップショット画像ファイル、音声メモ付き画像ファ イル
- ViewNX-i 画面でNIKON IMAGE SPACEに保存されている動画ファイルを表示するときは、1 フレーム目を静止画像として表示します。
- NIKON IMAGE SPACEで対応している言語についてはNIKON IMAGE SPACEのホームページ をご覧ください。

ホーム > Webサービスを活用する > Webサービスにログイン(認証)する > Webサービス へ画像をアップロードする

Webサービスへ画像をアップロードする

Webサービスへの画像や動画のアップロードは、 [ブラウザー] ワークスペースから行います。アップ ロードできるのは下記のWebサービスです。

- NIKON IMAGE SPACE
- YouTube

アップロード先について

- アップロードしたファイルは、アルバムに保存されます。新しいアルバムを作成して保存するか、またはすでにあるアルバムに保存するかを設定できます。
- NIKON IMAGE SPACEでは、同じ階層に同じ名前のファイル、アルバムを保存または作成できます。ファイルやアルバムをアップロードするとき、同じ名前のファイルやアルバムがすでにNIKON IMAGE SPACEにある場合でも、上書きされません。

アップロードする前に

- アップロードできるファイル形式はWebサービスにより異なります。
 JPEG(RGBモード)、RAW(NEF、NRW)、TIFF、MPO(3D 形
 式)、MOV、MP4、AVI、モーションスナップショット画像ファイル、音声メモ付き画像ファイル
- ファイルをアップロードする前に、利用するWebサービスにログインしておくことをおすすめします。
- また画像ファイルのときは、タグなどの情報の設定やファイル形式の変換などの設定をあらかじめ行っておきます。
- 動画をアップロードする際、動画の再生範囲の変更を行っていた場合は、再生範囲で指定した範囲で動画をトリミングしてアップロードします。

アップロードする

1. アップロードするファイルを選択して 🌇 をクリックする



2. アップロード先のWebサービスを選択する

アップロード
Webサービス: NIKON IMAGE SPACE V
アップロード設定
画像 交换
変換しない ∨ フォレビーキ2849
デルバムを選択 新規作成 ~
アルバム名
✓ XMP/IPTCのキーワードをNIKON IMAGE SPACEのタグとして追加する
✓ XMP/IPTCのレーティングをNIKON IMAGE SPACEのレーティングとして追加する
開始キャンセル

Webサービスにログインしていないときは、ログインするかどうかの確認の画面が表示されます。

Webサービスにログイン(認証)するとアップロードの設定画面が表示され、以下の項目を設定 または選択します。

- 「画像変換]:元の画像サイズのままにするか、選択したWebサービスごとに表示される画像サイズから選択します。
 アップロード先のWebサービスに [NIKON IMAGE SPACE]を選択していた場合は、 [変換しない]を選択して、NEFまたはNRWの画像ファイルをそのままアップロードできます。その他のWebサービスや画像サイズを選択した場合は「JPEG」に変換されてアップロードされます。
- [アルバムを選択]:アップロード先のアルバム名を選択するか、[新規作成]を選択して 新しいアルバムを作成してアップロードできます。

• YouTubeでは、公開の範囲を設定することができます。

3. [開始] をクリックする

アップロード処理の状況を示す画面が表示されます。

- アップロードの途中で[キャンセル]をクリック、またはViewNX-iを終了すると、アップ ロードを中止します。複数のファイルをアップロードしている場合、すでに完了している ファイルはアップロードされます。
- 「NIKON IMAGE SPACE」へ画像ファイルをアップロードする場合は、タグなどの情報を設 定することができます。

フォトトレイからアップロードする

[ブラウザー] ワークスペースでフォトトレイに移動したファイルを、 [Webサービス] ワークス ペースに切り替えて [ナビゲーション] パレットのWebサービスヘドラッグ&ドロップしてアップ ロードすることができます。

[Webサービス] ワークスペースで画像のファイル一覧画面から画像ファイルをドラッグ&ドロップしてフォトトレイへ移動したり、他のWebサービスへ移動することはできません。

✔ ご注意

- [NIKON IMAGE SPACE] では、1つのアルバムにアップできる画像ファイルは200枚までです。ただし、登録しているアカウントにより制限が異なる場合があります。
 [NIKON IMAGE SPACE] での保存可能容量の表記と、お使いのパソコンでのファイル容量の表記とで、ファイル容量の換算方法が異なる場合があります。このためアップロードするファイルの容量が、設定画面に表記されている残容量の範囲内であっても、容量超過となりアップロードできない場合があります。
- [YouTube] ヘアップロードできる動画は、一度に1点、再生時間が15分以内のものです。

タグとレーティングは、設定画面のチェックボックスにチェックを入れて設定します。

タグとレーティングについて

NIKON IMAGE SPACEでは、タグとレーティングをもとにしたファイルの整理、検索、表示の絞り込みなどができます。

- ファイルに関連がある言葉を[タグ]として設定して、検索のキーワードとして使うことができます。画像ファイルにメタデータの[キーワード]が設定されているときは、タグとして設定できます。
- ファイルの重要度や評価を5段階の [レーティング] として設定して、ファイルを整理、抽出で

きます。画像ファイルにレーティングが設定されているときは、その設定が NIKON IMAGE SPACE に追加されます。

[XMP/IPTCのキーワードをNIKON IMAGE SPACEのタグとして追加する]

すでに画像に [キーワード] が設定されている場合、チェックを入れると、NIKON IMAGE SPACEの [タグ] として追加されます。

[XMP/IPTCのレーティングをNIKON IMAGE SPACEのレーティングとして追加する]

すでに画像に [レーティング] が設定されている場合、チェックを入れると、NIKON IMAGE SPACEの [レーティング] として追加されます。

NIKON IMAGE SPACEのタグとレーティングを設定するには、あらかじめメタデータを編集して調整ファイルとして保存しておきます。

- XMP/IPTC情報の [キーワード] の設定については「メタデータを編集する」をご覧ください。
- レーティングの設定については「レーティングを割り当てる」、「メタデータを編集する」をご覧く ださい。

✔ ご注意

- 動画ファイルをアップロードするときは、タグは設定されません。
- XMP/IPTC のキーワードに「,(カンマ)」がある場合、アップロード時に追加されるタグは「,(カンマ)」で区切られて複数になります。
- 画像に調整ファイルが関連付けられている場合、メタデータ(ファイル/撮影情報、XMP/IPTC 情報)がアップロードする画像に埋め込まれます。

ホーム > Webサービスを活用する > Webサービスにログイン(認証)する > アップロード した画像や動画を表示・閲覧する

アップロードした画像や動画を表示・閲覧する

Webサービスに保存されている画像や動画を [Webサービス] ワークスペースに表示して閲覧したり、 更新情報を確認できます。また、 [Webサービス] メニューを利用してWebサービスのアルバムをダウ ンロードすることなどができます。

1. [Webサービス] をクリックして、ワークスペースを切り替える

2. [ナビゲーション] パレットのWebサービス名またはアルバム名をクリックする



Webサービス名をクリックした場合は、選択したWebサービスにアップロードされたすべての画像のサムネイル一覧が表示されます。

[ナビゲーション] パレットにWebサービス名とアルバム名が表示されている場合は、すでに Webサービスにはログイン(認証)状態です。アルバム名が表示されていないWebサービスは、 ログアウト(認証解除)状態です。ツリーボタンの[ログイン設定]をクリックしてログイン (認証)ができます。

更新情報があるファイルには、サムネイルの右上に 🗛 が表示されます。

3. 更新マークの付いたサムネイルファイルを選択する

アップロードした画像や動画を表示・閲覧する



複数のサムネイルファイルを選択した場合は、 [画像調整/メタデータ] パレットにはWebサービ ス情報は表示されません。

[Webサービス] メニューについて

ワークスペースを [Webサービス] に切り替えて、 [Webサービス] メニューから、以下の項目 が選択できます。

- 「アルバムをダウンロード…]
 [NIKON IMAGE SPACE]のマイアルバム内のアルバムをダウンロードします。
 音声付き画像ファイルやモーションスナップショットのファイルがダウンロード対象に含まれている場合は、画像ファイルとは別に音声ファイルや動画ファイルがダウンロードされます。
 [NIKON IMAGE SPACE]の場合、Web上で位置情報を付加するなどの更新した内容は、ダウンロード後のオリジナルファイルには反映されません。
- [元ファイルを表示]
 Webサービス上のファイルのオリジナルファイルがパソコン内にある場合に、オリジナルファイルを表示します。
- [ホームページを開く]
 Webブラウザーを起動してWebサービスのホームページを表示します。
- [最新の情報に更新] Webサービス上の従来のキャッシュ情報を削除して、最新の情報だけで表示します。

ホーム > 位置情報を活用する(地図)

位置情報を活用する(地図)

[地図]では、撮影時に画像や動画に埋め込まれた位置情報をもとに、インターネット上の地図サービスを使用して、地図上に撮影地点をアイコンで表示できます(動画は一部機種で撮影された動画ファイルのみ)。撮影地点を表示した地図は自由自在にスクロールしたりズームしたりできるので、世界中の どこで撮影したのかを、一目で確認できます。



ViewNX-i で活用できる位置情報について

ViewNX-i で位置情報として扱うのは以下の3種類です。

- 衛星測位システムによって計測した位置情報
- 気圧計で計測した高度情報
- 水深計で計測した水深情報

これらのシステムに対応したデジタルカメラは、位置情報、高度情報、水深情報を画像に埋め込むことができます。画像に埋め込まれた位置情報は、メタデータの一部として ViewNX-i で確認できます。位置情報が埋め込まれた画像や動画ファイルのサムネイルには、

メタデータについては「画像に埋め込まれた情報を見る/編集する」をご覧ください。

衛星測位システムに対応していないカメラで撮影した画像や、位置情報が埋め込まれていない画像 も、ViewNX-i上で位置情報を追加できます。位置情報の追加は、地図上で直接場所を指定したり、衛 星測位システム対応の受信機などで保存した位置情報ログファイルや、気圧計や水深計を搭載したニコ ン製デジタルカメラで保存した高度・水深情報ログを読み込んだりして行います。 地図上に表示した撮影地点は、その場で誤差の修正もできます。

地図上に撮影地点を表示する

画像や動画ファイルに埋め込まれた位置情報をもとに、撮影地点を地図上にアイコンで表示できます。

▶ 位置情報を操作する

画像に埋め込まれた位置情報を、地図上で場所を確認しながら編集できます。また衛星測位システム対応のデジタルカメラがなくても、ViewNX-i で新たに位置情報を追加できます。

▶ 位置情報ログを利用する

位置情報ログの取得に対応したカメラや携帯電話、市販の受信機などで保存した位置情報ログをも とに、画像に一括で位置情報を追加したり、位置情報と高度・水深情報を結合したりできます。ま た、位置情報ログファイルに記録された移動ルートを表示できます。

▶ 位置情報からキーワードを検索する

説明文やキーワードを画像に追加したり、編集したりできます。

▶ 撮影ルートを表示する

撮影地点を直線ルートで結んで地図に表示できます。

▶ 地図を設定する

接続する地図サーバーや、地図のホームポジションを設定できます。

✔ ご注意

- この機能では、地図の表示に Google マップを使用しています。
 また、メタデータを編集するときに、「Wikipedia」からキーワードを取得するサービスを使用しています。
- この機能を利用するには、インターネットに接続できる環境が必要です。
- この機能をご利用の際に生じたお客さまご自身または第三者の損害その他の問題について、株式会社ニコンでは一切の責任を負いません。
- この機能で使用しているオンライン地図サービスとキーワードを取得するサービスは、第三者 提供によるため、予告なく変更・終了となる場合があります。
- この機能のご利用にともない、経度緯度情報がサービス提供元のサーバーへ送信されます。
- Google マップをご利用の際には、必ず利用規約をお読みください。Google マップの利用規約 は地図上にリンクとして表示されています。
 株式会社ニコンでは、Google マップのご利用についてはサポートしておりません。
- 位置情報の追加・編集は、静止画像ファイル(NEF、NRW、JPEG、TIFF)にのみ行うことができます。
- ・位置情報の精度によっては、地図上に表示される位置は実際の撮影地点と異なる場合があります。
- ViewNX-i は「日本測地系(Tokyo)」または「世界測地系(WGS-84)」を基準にした位置 情報に対応しています。その他の測地系で撮影地点を記録した画像の場合、地図上に表示され る位置に誤差を生じる場合があります。
- ViewNX-i で位置情報を編集または追加した場合は、「世界測地系(WGS-84)」を基準にして位置情報が保存されます。
 基準にした測地系は、[画像調整/メタデータ]パレットの[ファイル/撮影情報]で確認できます。メタデータについては「画像に埋め込まれた情報を見る/編集する」をご覧ください。
- このソフトウェアは、「Geonames web services」の API を使用しています。

ホーム > 位置情報を活用する(地図) > 地図上に撮影地点を表示する

地図上に撮影地点を表示する

画像や動画ファイルに埋め込まれた位置情報をもとに、撮影地点を地図上にアイコンで表示できます。 地図は自由にスクロールしたり、ズームしたりできるので、どこで撮影したかを地図上で簡単に確認で きます。

位置情報を埋め込んでいない画像でも、位置情報を追加することで地図上に表示できます。位置情報を 画像に追加するには「位置情報を操作する」をご覧ください。

1. 位置情報を利用するファイルを保存したフォルダーを開く

2. [地図] をクリックして、ワークスペースを切り替える



画像表示エリアに、インターネットの地図サービスから取得した地図が表示されます。

[画像調整/メタデータ] パレットに各種情報が表示されます。


フィルムストリップで、フォルダーに保存されているファイルを選択できます。

他のフォルダーにあるファイルを見たいときは、ナビゲーションエリアに表示された [フォル ダー] パレットから見たいフォルダーを選択できます。

複数のフォルダーにまたがって表示したい画像があるときは、それぞれのフォルダーから、フォ トトレイに画像を登録します。実際の保管場所から移動せずに、画像を一覧できます。

フォトトレイに登録した画像を表示するには、画像表示エリアの **-----** をクリックします。 フィルムストリップの表示が、フォトトレイの登録画像に切り替わります。

[地図] ツールバーの項目



■ビューアーの設定

[地図]のレイアウトを切り替えられます。 ■ [フィルムストリップを水平表示]、 ■ [フィルムストリップを垂直表示]、 ■ [フィル ムストリップを非表示]、 ■ [全画面]の4種類から選択できます。

💦 選択ボタン

最初に選択されているツールです。 位置情報の編集などの作業が終了すると、自動で ▶ に戻ります。 また他のツールでの作業を終了するときも、このツールを選択します。

■ 位置情報変更ボタン

位置情報を追加したり、編集したりします。

📖 位置情報を操作する

💟 方位情報変更ボタン

方位情報を編集します。

📖 方位情報を編集/追加する

💽 ルート表示ボタン

撮影地点を直線ルートで結んで地図に表示します。

🛄 撮影ルートを表示する

ホームポジションに戻るボタン

地図の表示を「地図を設定する」で設定したホームポジションに戻します。

□ ブラウザーで開くボタン

地図エリアに表示した地図を、インターネット上の地図サービスを使用してWebブラウザーに 表示します。

🛄 地図をWebブラウザーで表示する

💽 環境設定ボタン

接続する地図サーバーや、地図のホームポジションを設定します。

🐼 ログ管理ボタン

位置情報ログファイルを選択し、地図上に移動ルートを表示します。このボタンが選択されて いるときのみ、ログデータを管理するログエリアが表示されます。

📖 位置情報ログを利用する

🗛 ターゲットボタン

目的の地点が地図エリアの中央に表示されるように、地図の表示を切り替えます。 □ 撮影地点を地図の中央に表示する

地図検索エリア

地名や住所を検索して、地図上に表示できます。表示したい地名または住所をエディットボックスに入力して、 [地図を検索] をクリックします。 地名または住所が検索されると、地図の 表示がその地点に切り替わります。

検索で見つからなかったときは、「見つかりませんでした。」というメッセージが地図検索エ リアに表示され、地図の表示は切り替わりません。

而

選択または表示しているファイルまたはフォルダーを削除します。 [全画面表示] モードのと きは表示している画像や動画ファイルを削除します。

 $\leftrightarrow \rightarrow$

[ナビゲーション] パレットおよび [画像調整/メタデータ] パレットの開閉を切り替えます。

[地図] ワークスペースに切り替えたときの地図の表示について

現在のフォルダーにある位置情報を持つファイルの数や、位置情報を持つファイルの選択状態に よって変わります。表示方法は「**地図を設定する**」の [撮影位置] で設定します。

地図検索について

複数の検索結果が見つかったときは、検索されたうちの第一番目の地点に地図の表示が切り替わり ます。 ■ をクリックして、検索結果の一覧から表示したい地名を選択します。

地図上のアイコンについて

- ・ 位置情報を持ったファイルのサムネイルをクリックすると、地図エリアの該当する
 ・
 ダわります。
- ・ 地図上の <u>></u>をクリックすると、ファイルの詳細ポップアップウィンドウが表示されます。詳しくは「地図上でファイルの詳細情報を確認する」をご覧ください。

同時記録されたRAW画像(NEF、NRW)とJPEG画像をひとつのファイルとして表示する設定にして いるとき

同時記録された RAW(NEF、NRW)画像とJPEG画像はひとつのファイルとして表示されます。 位置情報やメタデータの編集を行ったときは、両方のファイルに同時に適用されます。

同時記録画像の表示の切り替えについて詳しくは、「**同時記録画像の表示を切り替える**」をご覧く ださい。

グループ画像について

- グループ画像の代表画像が位置情報を持っている場合のみ地図エリアの該当位置に が表示されます。
 れます。
- グループ画像のうち、位置情報を持った代表画像以外の画像を選択している場合、 は非表示
 になります。
- グループ画像の代表画像の位置情報を削除すると、その他の画像の位置情報も削除されます。

地図エリアについて

撮影地点付近の地図が表示され、地図上には撮影地点を示す 🎐 が表示されます。 同じ位置情報を持っている複数のファイルは、ひとつの 🎾 で表示されます。また地図の縮尺によって は、複数の異なる位置情報を持つファイルでも、撮影地点が近いときはひとつの 👂 で表示されます。 方位情報を持ったファイルがひとつだけ選択された場合、 👂 ではなく、 🌕 が表示されます。複数の ファイルを選択した場合、 🍋 は表示されません。

地図の操作について

- 地図上ではマウスカーソルが手のひらアイコンに変わり、ドラッグすると地図を自由にスクロー ルできます。(Mac OS は、OS のバージョンによってはマウスカーソルのまま、手のひらアイ コンに変わらない場合があります。)
- 地図上の任意の場所でダブルクリックすると、クリックした場所を中心に拡大表示できます。
- ・地図エリアでは、画面上のツールを使用して、地図をスクロールしたり、拡大/縮小表示したりできます。また、地図の表示を衛星写真などに切り替えたりできます。言語環境によって表示される内容が異なります。

地図上で複数のアイコンを選択する

地図上で複数選択するには、Ctrl キー (Mac OS は Command キー) を押しながら p をクリックします。

また、すでに選択した ♀ を Ctrl キー(Mac OS は Command キー)を押しながらクリックする と、選択を解除できます。

関連項目

- ▶ 地図上でファイルの詳細情報を確認する
- ▶ 撮影地点を地図の中央に表示する
- ▶ 地図をWebブラウザーで表示する

ホーム > 位置情報を活用する(地図) > 地図上に撮影地点を表示する > 地図上でファイルの 詳細情報を確認する

地図上でファイルの詳細情報を確認する

ファイル名やメタデータなどの詳細情報を、地図上に表示された 👂 上にポップアップウィンドウで表 示できます。

1. 詳細情報を確認する 🦻 をひとつ選択し、 アイコンが 읻 に変わった状態でもう一度クリックする

詳細ポップアップウィンドウが表示されます。

2. [写真] または [メタデータ] のタブをクリックして、表示させる情報を切り替える



- [写真] タブをクリックすると縮小した画像とファイル名を表示します。
 動画ファイルのときは、動画の1フレーム目を表示します。
- 〔メタデータ〕タブをクリックするとカメラ名、撮影日時など、画像に埋め込まれたメタ データを表示します。方位や POI (地名情報)が記録されている場合は、それらの情報も合 わせて表示します。
 動画ファイルのときは、「メタデータ」タブをクリックしたときに表示される情報は静止画 像ファイルとは異なります。
 右上の ■ をクリックするか、地図をスクロールすると、ウィンドウは閉じます。

その他の方法...

フィルムストリップで、位置情報を持つファイルを選択して、該当する 2 をクリックする
 そのファイルの詳細ポップアップウィンドウが表示されます。

詳細ポップアップウィンドウについて

 ● 同じ位置情報を持っている複数のファイルは、ひとつの ♀ で表示されます。また地図の縮尺に よっては、複数の異なる位置情報を持つファイルでも、撮影地点が近いときはひとつの ♀ で表 示されます。

この 읻 をクリックして表示される詳細ポップアップウィンドウには、 🚽 または ▶ ボタンが 表示されます。

ボタンをクリックして、ひとつの 👂 で地図に表示されている、ほかのファイルの詳細を表示できます。

グループ画像の場合、地図上の をクリックして表示される詳細ポップアップウィンドウには、代表画像の情報のみが表示されます。

ホーム > 位置情報を活用する(地図) > 地図上に撮影地点を表示する > 撮影地点を地図の中 央に表示する

撮影地点を地図の中央に表示する

目的の地点が地図エリアの中央に表示されるように、地図の表示を切り替えられます。

1. 地図エリアの中央に表示させたい 👂 またはサムネイルを選択する

2. 🕁 をクリックする



• 👂 またはサムネイルをひとつ選択した場合:

該当する 😡 が地図エリアの中央に表示されるように、地図がスクロールします。

• 👂 またはサムネイルを複数選択した場合:

該当するすべての 🥥 が地図エリア内におさまるように地図の表示が切り替わります。



地図をWebブラウザーで表示する

地図エリアに表示した地図を、インターネット上の地図サービスを使用してWebブラウザー上に表示で きます。

1. 🔝 をクリックする



Webブラウザーが起動し、インターネット上の地図サービスのサイトが表示されます。地図エリアで表示していた地図と同じ場所が表示されます。 🦻 などのアイコンは表示されません。

✔ ご注意

一部の Web ブラウザーは Google マップに対応していない場合があります。詳しくは、Google マップのヘルプをご覧ください。

ホーム > 位置情報を活用する(地図) > 位置情報を操作する

位置情報を操作する

画像に埋め込まれた位置情報を、地図上で場所を確認しながら編集できます。また衛星測位システム対応のデジタルカメラがなくても、ViewNX-iで新たに位置情報を埋め込むことができます。

編集・追加した位置情報は [画像調整/メタデータ] パレットの [ファイル/撮影情報] で確認できます。

[ファイル/撮影情報]については「**画像に埋め込まれた情報を見る/編集する**」をご覧ください。

位置情報は、衛星測位システムに対応したカメラや携帯電話、市販の受信機などから出力した位置情報 ログファイルを読み込むことで編集・追加できます。詳しくは「位置情報ログを利用する」をご覧くだ さい。

- ▶ 位置情報を編集する
- 位置情報を追加する
- 位置情報を削除する
- ▶ 位置情報をコピー・貼り付けする
- 方位情報を編集/追加する

✔ ご注意

- 位置情報を編集・追加できるのは静止画像ファイル(NEF、NRW、JPEG、TIFF)だけです。
- ViewNX-i で位置情報を編集または追加した場合は、「世界測地系(WGS-84)」を基準にして位置情報が保存されます。
 基準にした測地系は、[画像調整/メタデータ]パレットの[ファイル/撮影情報]で確認できます。[ファイル/撮影情報]については「画像に埋め込まれた情報を見る/編集する」をご覧ください。
- ▶ ツールバーで、同時記録された RAW 画像(NEF、NRW)と JPEG 画像を個別のファイルとして表示する設定(▶) にしているとき

個別のファイルとして扱う条件について詳しくは「**同時記録画像の取り扱いについて**」をご覧く ださい。 ホーム > 位置情報を活用する(地図) > 位置情報を操作する > 位置情報を編集する

位置情報を編集する

1. 位置情報を持った画像の、サムネイルまたは 👰 をひとつ選択する

位置情報を編集できるのは、一度にひとつの画像だけです。

2. 🞧 をクリックする



地図上の 🥥 が 🦞 に変わり、地図上を移動できるようになります。

3. 位置情報を設定したい地点に、 🢡 をドラッグ&ドロップする

確認の画面が表示されます。

ドラッグ中は 🢡 が 💡 に変わります。

4. [OK] をクリックする

位置情報が書き替えられ、 💡 が 🥥 に変わります。

[キャンセル]をクリックすると、 ? はドラッグする前の位置に戻り、位置情報は書き替えられません。

[OK] も [キャンセル] もクリックせずに、再び 🌳 をドラッグすると、続けて 🢡 の位置を変 更できます。

位置情報編集のヒント

 ・ 位置情報は、位置情報を持った別の画像から、位置情報をコピーすることによっても編集できます。

詳しくは「位置情報をコピー・貼り付けする」をご覧ください。

- 地名または住所を地図検索エリアで検索して、地図上に表示することもできます。
- グループ画像の代表画像の位置情報を編集すると、その他の画像がすでに位置情報を持っていて
 も、代表画像と同じ位置情報が上書きされます。

ホーム > 位置情報を活用する(地図) > 位置情報を操作する > 位置情報を追加する

位置情報を追加する

1. 位置情報を持っていない画像を選択する

位置情報を持っていない画像を複数選択して、同じ位置情報を一度に追加できます。

2. 🚺 をクリックする



マウスカーソルの表示が + に変わります。(+ はお使いのOSによって形状が異なる場合があります。)

3. 地図上の、位置情報を設定したい地点をクリックする

→ が 🦞 に変わり、確認の画面が表示されます。

4. [OK] をクリックする

位置情報が画像ファイルに書き込まれ、 🥥 が地図上に追加されます。

[キャンセル]をクリックすると、位置情報は書き込まれません。

[OK] も [キャンセル] もクリックせずに、再び 🌳 をドラッグすると、続けて 🤗 の位置を変 更できます。

位置情報追加のヒント

 ・ 位置情報は、位置情報を持った別の画像から、位置情報をコピーすることによっても追加できます。

詳しくは「位置情報をコピー・貼り付けする」をご覧ください。

- 地名または住所を地名検索エリアで検索して、地図上に表示することもできます。
- グループ画像の代表画像に位置情報を追加、変更する場合は、その他の画像がすでに位置情報を 持っていても、代表画像と同じ位置情報が上書きされます。

ホーム > 位置情報を活用する(地図) > 位置情報を操作する > 位置情報を削除する

位置情報を削除する

1. 位置情報を持った画像の、サムネイルまたは 👂 をひとつ選択する

位置情報を持った複数の画像を選択できます。

2. [編集] メニューから [位置情報の削除] を選択する

確認の画面が表示されます。 [はい] をクリックすると位置情報が削除され、地図上から 읻 が 消えます。

位置情報削除のヒント

 グループ画像の代表画像の位置情報を削除すると、その他の画像がすでに位置情報を持っていて も地図上から 9 が消えます。

ホーム > 位置情報を活用する(地図) > 位置情報を操作する > 位置情報をコピー・貼り付け する

位置情報をコピー・貼り付けする

画像に埋め込まれた位置情報をコピーして、他の画像に貼り付け(ペースト)できます。コピーした位 置情報は複数の画像に同時に貼り付けできます。方位情報や POI(地名情報)が含まれている場合は、 ほかの位置情報と同時にコピーして貼り付け(ペースト)できます。

1. 位置情報を持った画像の、サムネイルまたは 👰 をひとつ選択する

複数の画像を選択した場合は、位置情報のコピーはできません。

2. [編集] メニューから [位置情報のコピー] を選択する

3. 位置情報を貼り付けたいサムネイルを選択し、[編集] メニューから [位置情報の貼り付け] (Mac OS は [位置情報のペースト])を選択する

貼り付けた位置情報の地点に、該当する 🥥 が移動または追加されます。

🗸 ご注意

貼り付ける画像にすでに位置情報が埋め込まれているときは、上書きされます。

ホーム > 位置情報を活用する(地図) > 位置情報を操作する > 方位情報を編集/追加する

方位情報を編集/追加する

方位情報対応のカメラで取得した方位情報を編集・削除したり、新たに追加したりできます。

方位情報を編集・追加できるのは、一度にひとつの画像だけです。

1. 方位情報を編集・追加したい画像の、サムネイルまたは 🌕 をひとつ選択する

2. 📉 をクリックする。



現在記録されている方位に直線が表示されます。この直線の方向を変えることで方位情報を編集 できます。

すでに方位情報を持っている画像の場合は、現在記録されている方位に直線が表示されます。この直線の方向を変えることで方位情報を編集できます。

方位情報を持っていない画像の場合は、新たに方位情報が追加されます。初期設定では、北(真方 位 0.00)の方位に直線が表示されます。

3. 直線を地図上の任意の方位にドラッグする

を中心に直線をドラッグして方向を変えられます。

直線が引き直されると 😡 上に確認メッセージが表示されます。



4. [OK] 、 [キャンセル] 、 [削除...] のいずれかをクリックする

[OK]をクリックすると方位情報が書き替えられ、 🕙 の向きが編集した方向に変わります。

[キャンセル]をクリックすると方位情報は書き替えられません。

[OK] も [キャンセル] もクリックせずに、再び地図上の任意の地点をクリック、または直線を ドラッグすると、続けて方位情報の編集ができます。

[削除...]をクリックすると確認メッセージが表示されます。 [OK] をクリックすると地図上の

[削除...]はすでに方位情報を持っている画像を編集した場合にのみ表示されます。

方位情報編集のヒント

方位情報は、方位情報を持った別の画像から、位置情報をコピーすることによっても編集できます。

詳しくは「位置情報をコピー・貼り付けする」をご覧ください。

- 方位情報を設定したい地点が、現在表示している地図上にないときは、画面上のツールを使用して地図をスクロールします。
- グループ画像で方位情報を編集できるのは、代表画像が方位情報を持っている場合のみです。
- 方位情報の削除は、[編集]メニューの [方位の削除] からも行うことができます。

ホーム > 位置情報を活用する(地図) > 位置情報ログを利用する

位置情報ログを利用する

位置情報ログの取得に対応したカメラや携帯電話、市販の受信機などで保存した位置情報ログをもと に、画像に一括で位置情報を追加したり、位置情報と高度・水深情報を結合したりできます。

位置情報ログとは、衛星測位システムに対応したカメラや携帯電話、市販の受信機などにより、一定時 間おきの位置情報を連続して記録したファイルをいいます。

高度情報ログとは、気圧計や水深計を搭載したニコン製デジタルカメラにより、一定時間おきの高度・ 水深情報を連続して記録したファイルをいいます。

また位置情報ログや高度・水深情報ログにおける各時刻ごとの記録ポイントを、トラックポイントといいます。

- ▶ 位置情報ログファイルを読み込む
- ▶ 位置情報ログをもとに位置情報を追加する
- ▶ 位置情報ログに高度・水深情報ログを結合する

対応している位置情報ログや高度・水深情報ログのファイル形式

以下のファイルに対応しています。

- NMEAファイル(拡張子:.nmea / .nma / .log)
- GPXファイル(拡張子:.gpx)
- au の衛星測位システム対応携帯電話(2007 年夏モデル以降の WIN端末)で保存した「あしあ とデータ」(拡張子:.txt)
- ・ドコモの衛星測位システム対応携帯電話(905i以降の90Xiシリーズ)で保存した「足あとデータ」(拡張子:.csv)
- 「au」は KDDI株式会社の登録商標です。
- 「ドコモ」は株式会社NTTドコモの登録商標です。
- 携帯電話の対応機種について詳しくは、各社ホームページ、お問い合わせ窓口などでご確認ください。

✔ ご注意

位置情報ログや高度・水深情報ログは一定時間おきに記録されるため、画像の撮影日時にもっと も近いトラックポイントでも数値のずれる場合があります。このため画像に追加される位置情報 や高度・水深は完全に正確な数値ではない場合があります。



位置情報ログファイルを読み込む

1. 👩 をクリックする



[Log Matching] エリアが表示されます。この画面から位置情報ログファイルの追加や、ログファイルの結合を行えます。



[Log Matching] エリアの項目

[トラックログファイル]

位置情報ログファイルが追加した順番に表示されます。リストに表示できるログファイルは 10 個です。

[追加…]

位置情報ログファイルを追加します。

チェックボックスにチェックがついている位置情報ログファイルの移動ルートが地図上に表示され ます。

[削除]

位置情報ログファイルを削除します。

ホーム > 位置情報を活用する(地図) > 位置情報ログを利用する > 位置情報ログをもとに位置情報を追加する

位置情報ログをもとに位置情報を追加する

位置情報ログの取得に対応したカメラや携帯電話、市販の受信機などで保存した位置情報ログから、画像の撮影日時(撮影時刻)にもっとも近いトラックポイントを検索し、そこに記録された位置情報をもとに、画像に位置情報を追加します。

位置情報ログファイルは、前もってパソコンに取り込んでおくか、メモリーカードに保存してカード リーダーなどでパソコンに接続しておきます。位置情報ログファイルや高度・水深情報ログファイルの 保存、転送方法について詳しくは、お使いのカメラや携帯電話、受信機などの使用説明書をご覧くださ い。

1. 位置情報を追加する画像を選択する

フィルムストリップまたはフォトトレイから選択します。

2. ツールバーの 👩 をクリックする



[Log Matching] エリアが表示されます。

3. [追加...] をクリックする

位置情報ログをもとに位置情報を追加する



お使いのパソコンやカードリーダーなどから、位置情報ログファイルを選択する画面が表示されます。

4. 読み込む位置情報ログファイルを選択し、 [開く] をクリックする

[Log Matching] エリアに位置情報ログファイルが読み込まれます。

[Log Matching] エリアのログファイル一覧には、読み込まれた位置情報ログのファイル名、 ファイルの形式、記録開始・終了時刻が表示されます。

- ・位置情報ログの記録範囲とその前後1時間の範囲に画像の撮影日時が含まれるとき、画像に緯度・経度などの位置情報が割り当てられます。
- ツールバーの ■をクリックして、 [Log Matching]を選択して、位置情報ログを画像に適用する方法を設定できます。必要に応じて、あらかじめ設定を行っておきます。
- ・ 位置情報が正しく割り当てられなかったときは、タイムゾーンの設定が誤っているか、また は撮影時にカメラの内蔵時計がずれていた場合が考えられます。 設定について詳しくは、「位置情報ログの適用方法の設定」をご覧ください。

5. [実行] をクリックする

チェックしたログをマップに表示します。表示するログは10個までです。

6. [保存] をクリックする

確認の画面が表示されます。

[はい]をクリックすると、割り当てられた位置情報が新たな位置情報として画像に書き込まれます。

[キャンセル]をクリックすると、位置情報は画像に書き込まれずに終了します。

Log Matchingの結果表示について

Log Matchingの結果は、以下の方法で表示されます。

- ・地図上に ・を表示する

 位置のずれは、地図上で場所を確認しながら修正できます。詳しくは「位置情報を操作する」を
 ご覧ください。
- サムネイルにアイコンで表示する
 サムネイルにLog Matchingの状態を示すアイコンを表示します。
 マッチング可能であり、対象とする画像
 クリックすると
 になり、画像をマッチング対象からはずします。もう一度クリックすると、
 に戻り、マッチング対象となります。
 :マッチング可能だが、対象としない画像(ユーザーが選択をはずした画像)

🔣 :マッチングできない画像(ログのデータと日時情報が一致しない画像)

アイコンをクリックしても変化しません。

位置情報ログファイルの読み込みについて

複数の位置情報ログファイルを読み込んで、画像に適用できます。

- ・ 位置情報ログファイルを追加で読み込むには
 [追加…]をクリックします。ログファイル一覧に
 は、読み込んだ位置情報ログファイルが表示されます。
- ログファイル一覧で位置情報ログファイル名をクリックすると、その位置情報ログの内容をもとにしたおおよそのルートが、地図エリアに表示されます。
- ログファイル一覧にあるすべての位置情報ログファイルの内容をもとに、画像に位置情報が割り 当てられます。
- 複数の位置情報ログファイルで記録時間の範囲が重なっていたときは:
 - 重なっている範囲では、ログの開始時刻が遅いほうのファイルの内容を優先して適用します。
 - 開始時刻が同じときは、記録時間の範囲がより大きいほうのファイルの内容を優先して適用します。
- 読み込んだ位置情報ログファイルを一覧から削除するには、削除したい位置情報ログファイルを 選択して [削除] をクリックします。

位置情報の割り当てについて

画像には、下記の2通りの方法で位置情報を割り当てます。

• [最も近いトラックポイント(1点)を使用する]

トラックポイントのうち、画像の撮影日時にもっとも近い記録時刻における位置情報を画像に割 り当てます。

例:

1 分おきに記録した位置情報ログがあり、位置情報ログのトラックポイント[1]、[2]の間で 画像[A]を、トラックポイント[2]、[3]の間で画像[B]を撮影したとします。



画像 [A] はトラックポイント [1] の位置情報を割り当てられ、画像 [B] はトラックポイント [3] の位置情報を割り当てられます。

• [前後のトラックポイント(2点)を使用する] 画像の撮影日時をはさむ 2 つのトラックポイントの記録時刻と、画像の撮影日時との差をもとに 位置情報を計算して、画像に割り当てます。

例:

1 分おきに記録した位置情報ログがあり、位置情報ログのトラックポイント[1]、[2]の間で 画像を撮影したとします。



トラックポイント [1] 、 [2] の間隔は 1 分 = 60 秒です。画像の撮影日時はトラックポイン ト [1] から 40 秒を経過しています。

トラックポイント [1]、 [2] 間のうち経過した時間の割合(40 秒 / 60 秒 = 2/3)を、ト ラックポイント [1]、 [2] の位置の変化量の割合として、位置情報を決定します。

割り当てる方法は、設定画面で設定します。設定画面については「位置情報ログの適用方法の設 定」をご覧ください。

タイムゾーンと「地域と日時」について

位置情報の割り当てには、タイムゾーンの設定を参照します。

位置情報ログの記録時刻は多くの場合、協定世界時(UTC)です。協定世界時とは、天文学的な観 測に基づく世界共通の時刻です。この時刻との時差が世界中の地域ごとに定められており、同じ時 差を持つ地域をタイムゾーンといいます。

画像を撮影した地域のタイムゾーンと、協定世界時の時差をもとに、画像の撮影日時を協定世界時 に置き替え、その時刻をもとに位置情報ログのデータを検索します。

- ・画像のメタデータに「地域と日時」が保存されているときは、その「地域と日時」に設定された
 タイムゾーンを参照します。
 - 「地域と日時」とは、その画像を撮影した地域のタイムゾーンの情報を持つメタデータです。
 - 「地域と日時」は、 [画像調整/メタデータ] の [XMP/IPTC情報] でも確認できます。 画

像のメタデータについては「**画像に埋め込まれた情報を見る/編集する**」をご覧ください。

- 画像のメタデータに「地域と日時」が保存されていないときは、設定画面で設定したタイムゾーンを参照します。設定画面については「位置情報ログの適用方法の設定」をご覧ください。
- ・時差適用後の画像の撮影日時と、その撮影日時からもっとも近いトラックポイントの記録時刻の
 ・時間差が1時間を超えるときは、位置情報は割り当てられません。

位置情報の書き込みについて

位置情報ログから画像に割り当てられる位置情報は、緯度、経度、協定世界時(UTC)です。位置 情報ログに標高、測地系の情報があるときは、それらも同時に書き込まれます。

- チェックボックスのチェックをはずすと、位置情報は書き込まれません。
- すでに位置情報を持っている画像は、位置情報ログから位置情報が割り当てられるとその画像の 位置情報は上書きされます。もとの位置情報を残したい場合は、チェックをはずします。



位置情報ログの適用方法の設定

ツールバーの Technology をクリックして、 [Log Matching]を選択すると、設定画面が表示されます。

撮影した地域のタイムゾーンや、画像に位置情報を割り当てる方法を設定できます。



設定後に[OK]をクリックすると、設定内容が反映されます。

設定画面の項目

高度・水深の単位

地図で表示する際の単位系を選択できます。

- 初期設定では、「オペレーティングシステムの設定を使用する」が選択されています。
- 高度・水深グラフで使用する単位系をメートル [m (メートル)] と [ft (フィート)] から選択できます。この選択は、グラフに表示される単位に反映されます。実際に出力されるログの単位系はオリジナルのまま保持されます。

タイムゾーン

撮影時のタイムゾーン

撮影した地域のタイムゾーンと協定世界時(UTC)との時差を、 🔜 をクリックして設定します。

• 初期設定では、Windows は「日付と時刻」/「タイムゾーン」、Mac OS では「日付と時刻」/ 「時間帯」をもとに設定されています。

撮影した地域がどのタイムゾーンに属するかは、上記 OS の設定画面で確認できます。

- ・ 画像のメタデータに「地域と日時」が保存されているときは、この設定画面での設定にかかわらず、「地域と日時」に設定されたタイムゾーンを適用します。
- 「地域と日時」とは、その画像を撮影した地域のタイムゾーンの情報を持つメタデータです。
- 画像のメタデータに「地域と日時」が保存されていないときは、この設定画面で設定した時差を

画像の撮影日時に適用します。

位置情報の割り当て

位置情報ログのトラックポイント(各時刻ごとの記録ポイント)をもとに、画像に位置情報を割り 当てる方法を[参照するトラックポイント:]で設定します。 位置情報ログに標高のデータがあるときは、画像に割り当てられる位置情報に標高も含まれます。

[最も近いトラックポイント(1点)を使用する]

トラックポイントのうち、画像の撮影日時にもっとも近い記録時刻における位置情報を画像に割り 当てます。

[前後のトラックポイント(2点)を使用する]

画像の撮影日時をはさむ2つのトラックポイントの記録時刻と、画像の撮影日時との差をもとに位置 情報を計算して、画像に割り当てます。

割り当てのしくみについて、詳しくは「位置情報ログをもとに位置情報を追加する」をご覧ください。

関連項目

▶ 位置情報ログを利用する

ホーム > 位置情報を活用する(地図) > 位置情報ログを利用する > 位置情報ログに高度・水 深情報ログを結合する

位置情報ログに高度・水深情報ログを結合する

位置情報ログの取得に対応したカメラや携帯電話、市販の受信機などで保存した位置情報ログに、ニコン製デジタルカメラで保存した高度・水深情報ログを結合します。

位置情報ログファイルと高度・水深情報ログファイルは、前もってパソコンに取り込んでおくか、メモ リーカードに保存してカードリーダーなどでパソコンに接続しておきます。

位置情報ログファイルや高度・水深情報ログファイルの保存、転送方法について詳しくは、お使いのカ メラや携帯電話、受信機などの使用説明書をご覧ください。

1. [地図] メニューから [高度情報をトラックログに結合...]を選択する



[高度情報をトラックログに結合]画面が表示されます。画面上には大きく分けて、地図エリ ア、高度・水深グラフエリア、位置情報ログファイル表示エリア、高度・水深情報ログファイル 一覧があります。



2. [選択...] をクリックする

高度	清報をトラックログに	(結合)		- • ×
トラックログファイルに両皮・水準価格を結合します。				
	15990577+114			選択
K25A	-841	種類	1004448	終了時間
20+3A	٠			
2	高度・水澤ログファ	1.6	i870	1152
	-841	種類	開始時間	8714開
				_
7 7 7				_
Coosts				_
Po(000)	-			
- +				
				_
1	(C			>
			(年存	キャンセル

お使いのパソコンやカードリーダーなどから、位置情報ログファイルを選択する画面が表示されます。

選択できる位置情報ログファイルは、一度にひとつだけです。

3. 読み込む位置情報ログファイルを選択し、 [開く] をクリックする

[高度情報をトラックログに結合] 画面に位置情報ログファイルが読み込まれます。

[高度情報をトラックログに結合]画面の位置情報ログファイル表示エリアには、読み込まれた 位置情報ログのファイル名、ファイルの形式、記録開始・終了時刻が表示されます。

4. [追加...] をクリックする

高度情 ラックログファイルに高度・水津価額を結合します。	報をトラックログに結合	8		×
	19990579414		選択	
	名前 N170313.log K	種類 NMEA	NR4+468 2013/03/17 13:36:01	M*7時間 2013/03/17: >
· //##*	高度・水洋ログファイル		i810	8.028
Соружание и соруж	80	923	1954-1498	14774号型
515 m 115 m 11	ĸ			>
			保存	キャンセル

お使いのパソコンやカードリーダーなどから、高度・水深情報ログファイルを選択する画面が表示されます。

選択できる高度・水深情報ログファイルは、一度に 10 個までです。

追加された高度・水深情報ログファイルの左にあるチェックボックスにチェックを入れると、位 置情報ログファイルに結合する候補として設定されます。

- 高度・水深情報ログファイルの左にあるチェックボックスにチェックが入っていて、かつ記録範囲が位置情報ログの記録範囲に含まれるとき、位置情報ログファイルに高度・水深情報が割り当てられます。
- 設定について詳しくは、「**高度・水深情報ログの適用方法の設定**」をご覧ください。

5. [保存...] をクリックする

保存先とファイル名を設定する画面が表示されます。

ファイル名は初期設定で位置情報ログのファイル名に連番を追加した文字列が入力されており、 保存すると位置情報ログに高度・水深情報ログが結合され、[高度情報をトラックログに結合] 画面が終了します。

[キャンセル]をクリックすると、位置情報ログと高度水深情報ログは結合されずに[高度情報 をトラックログに結合]画面が終了します。

位置情報ログファイルの読み込みについて

読み込める位置情報ログファイルは、一度にひとつだけです。

- ・ 位置情報ログファイルを追加で読み込むには [追加...]をクリックします。位置情報ログファイル表示エリアには、読み込んだ位置情報ログファイルが表示されます。
- ・ 位置情報ログファイルを読み込むと、その位置情報ログの内容をもとにした位置情報が地図エリアに表示されます。また、すでに位置情報ログが高度・水深情報を持っていた場合のみ、高度・水深情報が高度・水深グラフエリアに表示されます。

高度・水深情報ログファイルの読み込みについて

10個までの高度・水深情報ログファイルを読み込んで、位置情報ログファイルに結合できます。

- 高度・水深情報ログファイルを追加で読み込むには [追加...]をクリックします。高度・水深情報ログファイル一覧には、読み込んだ高度・水深情報ログファイルが表示されます。
- 高度・水深情報ログファイル一覧にあるすべての高度・水深情報ログファイルの内容をもとに、
 位置情報ログファイルに高度・水深情報が割り当てられます。
- 複数の高度・水深情報ログファイルで記録時間の範囲が重なっていたときは:
 - 重なっている範囲では、ログの開始時刻が遅いほうのファイルの内容を優先して適用します。

- 開始時刻が同じときは、記録時間の範囲がより大きいほうのファイルの内容を優先して適用 します。
- すでに位置情報ログが高度・水深情報を持っていた場合、新しく追加した高度・水深情報で上書 きされます。
- 高度・水深情報ログファイル一覧で任意の高度・水深情報ログファイルのチェックボックスに
 チェックを入れると、高度・水深情報を示すグラフが高度・水深グラフエリアに表示されます。
- 読み込んだ高度・水深情報ログファイルを一覧から削除するには、削除したい高度・水深情報ログファイルを選択して[削除]をクリックします。

高度・水深情報の割り当てについて

位置情報ログファイルには、下記の2通りの方法で高度・水深情報を割り当てます。

「最も近いトラックポイント(1点)を使用する」
 位置情報ログのトラックポイントにもっとも近い高度・水深情報ログのトラックポイントから高度・水深情報を位置情報ログに割り当てます。
 例:

1 分おきに記録した位置情報ログのトラックポイント [1] 、 [2] と、30 秒おきに記録した高度・水深情報ログのトラックポイント [A] 、 [B] 、 [C] 、 [D] があったとします。



トラックポイント [1] はトラックポイント [A] の高度・水深情報を割り当てられ、トラックポ イント [2] はトラックポイント [C] の高度・水深情報を割り当てられます。

「前後のトラックポイント(2点)を使用する]
 位置情報ログのトラックポイントをはさむ 2 つの高度・水深情報ログのトラックポイントの記録
 日時と、位置情報ログのトラックポイントの記録日時との差をもとに高度・水深情報を計算して、位置情報ログに割り当てます。

例:

1 分おきに記録した位置情報ログのトラックポイント[1]、[2]と、30 秒おきに記録した高度・水深情報ログのトラックポイント[A]、[B]、[C]、[D] があったとします。



トラックポイント [1] はトラックポイント [A] 、 [B] 間のうち経過した時間の割合から変化 量を決定した高度・水深情報を割り当てられ、トラックポイント [2] はトラックポイント [C] 、 [D] 間のうち経過した時間の割合から変化量を決定した高度・水深情報を割り当てら

れます。

割り当てる方法は、設定画面で設定します。設定画面については「高度・水深情報ログの適用方法 の設定」をご覧ください。

タイムゾーンについて

高度・水深情報の割り当てには、タイムゾーンの設定を参照します。

- 高度・水深情報ログの記録時刻は多くの場合、協定世界時(UTC)です。協定世界時とは、天文学的な観測に基づく世界共通の時刻です。この時刻との時差が世界中の地域ごとに定められており、同じ時差を持つ地域をタイムゾーンといいます。
- 参照するタイムゾーンは設定画面で設定できます。設定画面については「高度・水深情報ログの 適用方法の設定」をご覧ください。

ホーム > 位置情報を活用する(地図) > 位置情報ログを利用する > 高度・水深情報ログの適 用方法の設定

高度・水深情報ログの適用方法の設定

ツールバーの Technology をクリックして、 [Log Matching]を選択すると、設定画面が表示されます。

高度・水深情報ログを記録した地域のタイムゾーンや、位置情報ログに高度・水深情報ログを割り当て る方法を設定できます。



設定後に [OK] をクリックすると、設定内容が反映されます。

設定画面の項目

高度・水深の単位

高度、水深ログを位置情報と結合させる際の単位系を選択できます。

- 初期設定では、 [オペレーティングシステムの設定を使用する] が選択されています。
- 高度・水深グラフで使用する単位系をメートル [m (メートル)] と [ft (フィート)] から選択で きます。この選択は、グラフに表示される単位に反映されます。実際に出力されるログの単位系 はオリジナルのまま保持されます。

タイムゾーン

記録した地域のタイムゾーンと協定世界時(UTC)との時差を、
P をクリックして設定します。
初期設定では、Windows は「日付と時刻」/「タイムゾーン」、Mac OS では「日付と時刻」/「時間帯」をもとに設定されています。

記録した地域がどのタイムゾーンに属するかは、上記 OS の設定画面で確認できます。 お使いのタイムゾーンに合わせてお使いください。

位置情報の割り当て

高度・水深情報ログのトラックポイント(各時刻ごとの記録ポイント)をもとに、位置情報ログに

高度・水深情報を割り当てる方法を [参照する高度・水深トラックポイントの範囲:] で設定します。

[最も近いトラックポイント(1点)を使用する]

位置情報ログのトラックポイントにもっとも近い高度・水深情報ログのトラックポイントから高 度・水深情報を位置情報ログに割り当てます。

[前後のトラックポイント(2点)を使用する]

位置情報ログのトラックポイントをはさむ 2 つの高度・水深情報ログのトラックポイントの記録日 時と、位置情報ログのトラックポイントの記録日時との差をもとに高度・水深情報を計算して、位 置情報ログに割り当てます。

割り当てのしくみについて、詳しくは「高度・水深情報の割り当てについて」をご覧ください。

[参照する高度・水深トラックポイントの範囲:]

高度・水深情報を参照する際の範囲を設定します。 位置情報ログのトラックポイントの記録日時と高度・水深情報ログのトラックポイントの記録日時 との差が、設定した範囲内であるとき、位置情報ログに高度・水深情報が割り当てられます。

関連項目

▶ 位置情報ログに高度・水深情報ログを結合する

ホーム > 位置情報を活用する(地図) > 位置情報からキーワードを検索する

位置情報からキーワードを検索する

画像に埋め込まれた位置情報をもとに、インターネットのサービスを使用して、キーワードを検索できます。検索したキーワードは、メタデータとして画像に埋め込むことができます。

検索できるキーワードには、撮影した地点の住所や地名、撮影した地点に関連がある用語などがあります。

1. 位置情報を持った画像のサムネイル、または地図で 👂 を選択する

キーワードを検索、設定できるのは、一度にひとつの画像だけです。

2. [画像調整/メタデータ] パレットの [XMP/IPTC情報] を詳細表示にして、 [タグ] 情報の [位置情報を利用...] をクリックする



キーワードの設定画面が表示され、撮影地点をもとに住所、地名が検索されます。

位置情報力	からキーワードを検索
住所 ウィキペディア	
CM-4111 13179 Popuelo de Ca	latrava Ciudad Real 7 AV
スペイン Castila-i a Mancha	lau ava, Cludau Real, XAN 🗸 🥆
Ciudad Real Pozuelo de Calatrava	
CM-4111 13179	~
	追加 前派
	OK ระบายน

3. キーワードを検索、設定する

キーワードは、住所、地名に加えて [ウィキペディア] からも検索できます。

キーワードの検索、設定について詳しくは、下記「キーワードの検索、設定方法」をご覧ください。

4. [OK] をクリックする

キーワードの設定画面下部の設定済み一覧に追加したキーワードが [タグ] 情報の [キーワード] に追加されます。

- すでに他のキーワードが設定されている画像のときは、キーワードの設定画面で設定された
 キーワードが新たに追加されます。
- 追加されたキーワードを画像に埋め込んで保存するには、[XMP/IPTC情報]パレットの をクリックします。

[XMP/IPTC情報] パレットの操作について詳しくは「**メタデータを編集する**」をご覧くだ さい。

キーワードの検索、設定方法

キーワードの設定画面を開くと、自動で住所、地名が検索されます。

• [住所]
撮影地点をもとに住所、地名を検索し、その住所、地名をキーワードとして設定できます。

• [ウィキペディア]

インターネット上の百科事典「Wikipedia」掲載ページのタイトルから検索し、キーワードとし て設定できます。

[ウィキペディア] タブをクリックして [キーワードを取得] をクリックすると、画像の撮影地 点の周辺で「Wikipedia」に掲載されているページのタイトルが検索され、ボタンの下の一覧に 表示されます。

キーワードを追加する

一覧に表示されたキーワードを選択し、[追加]をクリックすると、画面下部の設定済み一覧に キーワードが追加されます。

キーワードは 100 個まで追加できます。

キーワードを修正する
 追加したキーワードは修正できます。設定済み一覧で、修正したいキーワードを選択し、もうー度そのキーワード名をクリックすると、名前が変更できる状態になります。入力後、Enter キーを押します。

キーワードを削除する

追加したキーワードを削除するには、削除したいキーワードを設定済み一覧から選択して [削除] をクリックします。

- インターネットの接続環境または画像の撮影地点によっては、「ウィキペディア」または [住所]からキーワードを取得できない場合があります。また検索結果は正確ではない場合 があります。
- 設定済み一覧でキーワードを修正する場合、30文字を超えているときは、超えている部分の文字は削除されます。

ホーム > 位置情報を活用する(地図) > 撮影ルートを表示する

撮影ルートを表示する

撮影地点 🦻 を直線ルートで結んだり、ルートに沿って 🛉 とともに地図を自動でスクロールさせたりで きます。撮影した画像をルートに沿って順番に表示することもできるので、地図と画像から撮影の足取 りを振り返ることができます。

- ▶ 撮影ルートを直線で結ぶ
- ▶ ルートに沿って地図をスクロールする

ホーム > 位置情報を活用する(地図) > 撮影ルートを表示する > 撮影ルートを直線で結ぶ

撮影ルートを直線で結ぶ

- 1. 異なる位置情報を持ったファイルのサムネイルまたは 👂 を複数選択する
- 2. 💽 をクリックする



撮影日時順または選択順に 🥥 が直線で結ばれます。

それぞれの撮影地点間のおおよその距離が表示されます。

- 位置情報を持つ他のファイルを追加で選択すると、追加で選択した ♀ が、撮影日時順また は選択順に直線で結ばれます。
- 直線で結ばれたすべての 🥥 が地図エリア内におさまるように、地図がスクロールします。

直線で結ぶ順番を、撮影日時順または選択順で切り替える

▲をクリックして [オプション] (Mac OS は [環境設定]) 画面の [地図] で [ルート表示] の [撮影日時順] または [選択順] を選択する

- 撮影日時順:撮影日時順に結ばれます。
- 選択順:ファイルの選択順に結ばれます。

次回直線ルートを表示するとき、ここで選択した順番で 👂 に直線が結ばれます。

[撮影日時順]を選択すると、動画ファイルおよび撮影日時の情報を持たない画像は作成日時の順 番になります。 ホーム > 位置情報を活用する(地図) > 撮影ルートを表示する > ルートに沿って地図をスク ロールする

ルートに沿って地図をスクロールする

1. 直線ルートを表示した状態で、 🕅 をクリックする



直線で結ばれた最初の 🧕 が地図エリアの中央に表示されるように地図がスクロールし、 🛔 が最 初の 🧕 の上に表示されます。

続けて 🛊 が直線に沿って移動を始め、 🛊 の移動にあわせて地図がスクロールします。

🕺 が 🔟 / 🔳 に変わります。



• 🛊 を一時停止するには 🔟 をクリックします。一時停止中は 🔟 が 🕞 に変わります。

スクロール中のその他の操作について

- スクロール中に地図の表示位置を移動したり、縮尺を拡大/縮小したりするには、一時停止する
 か、または ▼ をクリックします。



 ● ● をクリックして [オプション] (Mac OS は [環境設定]) 画面の [地図] で [アイコンの 移動中にポップアップを表示] にチェックを入れると、ポップアップの表示/非表示を切り替え ることができます。

	オプション	
-校 -校 ちょうか。 お切したのかあん。 タイアログラをか カラーマネージントト ファイルを開くアフリカーション からっなージントト ラベル 留景色 100 Matching 素の 100 Matching 素の サービス	オプション	8* *

ホーム > 位置情報を活用する(地図) > 地図を設定する

地図を設定する

接続する地図サーバーや、 [地図] のホームポジションを設定できます。

1. 📉 をクリックする



設定画面が表示されます。設定項目については下記「設定画面の項目」をご覧ください。 設定画面の [OK] をクリックすると、設定内容が保存されます。

設定画面の項目



接続するサーバー

地図を表示するための地図サーバーを指定します。 初期設定では [常にこのサーバーに接続する] が選択され、お使いの OS 上での「国と地域の設 定」をもとに、接続するサーバーが選択されています。 [常にこのサーバーに接続する] の選択項 目にない国または地域では、アメリカのサーバーが選択されています。

[常にこのサーバーに接続する]

■ をクリックして、接続するサーバーを選択します。

[自動的に選択されたサーバーに接続する]

お客様がインターネットに接続するときのIPアドレスをもとに国または地域を判定し、接続する サーバーを自動で設定します。IP アドレスから位置を判定できないときは、OS の「国と地域の設 定」をもとに設定します。

また [常にこのサーバーに接続する] の選択項目にない国または地域のときは、アメリカのサー バーが設定されます。

「国と地域の設定」は、Windows では「地域と言語のオプション」/「地域オプション」/「場所」、Mac OS では「言語と地域」/「地域:」での設定内容をもとにします。

🗸 ご注意

設定画面の [OK] をクリックすると、設定内容に従って接続するサーバーを変更します。指定したサーバーによっては接続できない場合があり、エラーの画面が表示されます。このような場合は他のサーバーに変更してください。

ホームポジション

[地図]の操作の基点とする地図の表示位置と縮尺を設定します。

- 撮影地点を地図に表示するファイルがないとき、ワークスペースを [地図] 切り替えると、ホームポジションで地図を表示します。撮影地点を地図に表示する条件は、下記 [撮影位置] で設定します。
- ・ [地図] ツールバーの
 へる をクリックすると、地図の表示をホームポジションに戻すことができます。

[自動で設定する]

[自動で設定する]を選択したときは、以下の2つの項目から選択します。自動で設定された表示位置にあわせて、表示する縮尺も設定されます。

[オペレーティングシステムが使用する地域と国コードを参照する]

お使いの OS 上での「国と地域の設定」をもとに、ホームポジションを設定します。

[IPアドレスを参照する]

お客様がインターネットに接続するときの IP アドレスをもとに位置を判定し、ホームポジションを設定します。判定によって設定された位置は、誤差を生じる場合があります。IP アドレスから位置を判定できないときは、OS の「国と地域の設定」をもとに設定します。

[手動で設定する]

この項目を選択し [現在の位置を使用] をクリックすると、現在地図で表示している位置とその縮 尺をホームポジションに設定します。

[世界地図を使用する]

世界地図をホームポジションに設定します。

撮影位置

位置情報を持つファイルの撮影地点を地図に表示する条件を設定します。

- ・現在開いているフォルダーに、撮影地点を地図に表示するファイルがあるときは、ワークスペースを [地図] に切り替えると、表示するファイルの ▶ がすべておさまるように地図が表示されます。
- 現在開いているフォルダーに、地図に表示するファイルがないときは、ワークスペースを [地図] に切り替えると、ホームポジションで地図を表示します。

[フォルダー内のすべての画像の撮影位置を表示する]

現在開いているフォルダーにあるファイルのうち、位置情報を持つすべてのファイルの撮影地点を 地図に 👂 で表示します。

[フォルダー内の選択された画像の撮影位置を表示する]

現在開いているフォルダーで選択状態になっているファイルのうち、位置情報を持つファイルの撮 影地点を地図に 👂 で表示します。

フィルムストリップでファイルの選択状態を解除すると、該当する 👂 は地図では非表示になります。

位置情報付き画像選択時の地図表示

位置情報を持つファイルを選択したときに、その撮影位置が表示されるように自動で地図の表示位置、縮尺を変更するかどうかを設定します。この設定は **国**がオフの場合にのみ有効です。

[地図を移動して選択中のすべての画像のピンを表示する]

フィルムストリップで位置情報を持つファイルを選択したときに、そのファイルの 👂 が表示されるように地図の表示位置と縮尺を変更します。位置情報を持つ複数のファイルを選択すると、該当する 👂 がすべて表示されるように地図の表示位置と縮尺を変更します。

[地図を移動しない]

位置情報を持つファイルを選択しても、地図の表示位置と縮尺は変更しません。 地図にファイルの撮影地点を表示するには、位置情報を持つファイルを選択して → をクリックし ます。表示するファイルの 🎐 がすべておさまるように地図が表示されます。

ルート表示

ルート表示する位置情報の表示順を、 [撮影日時順] または [選択順] から設定します。

[アイコンの移動中にポップアップを表示]

チェックを入れると、ルート表示で が撮影地点を通過するときに、ファイルのサムネイル画像や メタデータの詳細情報をポップアップで表示します。

ホーム > 付録

付録

- ▶ バージョン情報を表示する
- > ソフトウェアをアップデートする
- ▶ 対応フォーマット
- ▶ 調整ファイルについて
- ▶ 同時記録画像の取り扱いについて
- ▶ スマートフォトセレクター画像の取扱いについて
- ▶ ViewNX-i がサポートする色空間について
- ▶ ViewNX-i のアンインストール
- Nikon Transfer 2 のアンインストール
- ▶ ファイル名の作成ルール
- ▶ フォルダー名の作成ルール
- ▶ XMP/IPTC プリセットの管理について
- ▶ FTP画像送信モードで画像を送信した際の送信記録について

ホーム > 付録 > バージョン情報を表示する

バージョン情報を表示する

ViewNX-i

ViewNX-iのバージョン情報を表示します。

1. Windows : [ヘルプ] メニューから [バージョン情報] をクリックする Mac OS : [ViewNX-i] メニューから [ViewNX-i について] をクリックする

ViewNX-i のバージョン情報画面を表示します。バージョン情報画面を閉じるには、画面の任意の位置をクリックします。

Nikon Transfer 2

Nikon Transfer 2 のバージョン情報を表示します。

1. Windows : [ヘルプ] メニューから [バージョン情報...] をクリックする Mac OS : [Nikon Transfer 2] メニューから [Nikon Transfer 2について] をクリックする

Nikon Transfer 2 のバージョン情報画面を表示します。バージョン情報画面を閉じるには、画面の任意の位置をクリックします。

ホーム > 付録 > ソフトウェアをアップデートする

ソフトウェアをアップデートする

インターネットを通じて ViewNX-i をアップデートできます。

1. [ヘルプ] メニューの [ソフトウェアのアップデート...]を選択する

「Nikon Message Center 2」が起動し、ViewNX-i のアップデート情報の有無をインターネット を通じて確認します。

- Nikon Message Center 2 ではデジタルカメラをはじめ、お使いのニコン製品ファームウェアのアッ プデート情報も確認できます。
- Nikon Message Center 2 の使いかたについては、Nikon Message Center 2 のヘルプをご覧ください。

ホーム > 付録 > 対応フォーマット

対応フォーマット

ViewNX-i で対応するファイル形式について説明します。

画像ファイル

NEF形式またはNRW形式のRAW画像(拡張子:.nef / .nrw)

ViewNX-iでRAW画像を表示するときの制約については、下記「RAW画像の表示について」を ご覧ください。

JPEG(拡張子:.jpg)

Exif 2.2~2.3 準拠の JPEG 画像に対応しています。 RGB モードのみ対応しています。CMYK モード、JPEG 2000 には対応していません。

TIFF(拡張子:.tif / .tiff)

RGB モードのみ対応しています。CMYK モードには対応していません。 TIFF 画像の編集は、非圧縮または LZW 圧縮されたファイルだけ対応しています。

MPO(拡張子:.mpo)

動画ファイル

ニコン製デジタルカメラで撮影、またはニコン製のアプリケーションで保存された動画ファイルの み対応しています。

Windows用ビデオフォーマット(拡張子:.avi)

QuickTimeフォーマット(拡張子:.mov)

MPEG-4フォーマット(拡張子:.mp4)

音声ファイル

WAV形式(拡張子:.wav)

音声メモ付き画像の音声メモファイルとして関連付けられている場合と、COOLPIX の音声レ コード機能で録音された音声データだけ対応しています。

詳しくは「**音声ファイルを再生する**」をご覧ください。

イメージダストオフデータ

イメージダストオフデータ(NDF)は Capture NX シリーズの「イメージダストオフ機能」を使うために、ニコン製デジタル一眼レフカメラおよびミラーレスカメラで取得したデータです。

NDF ファイル(拡張子:.ndf)

ViewNX-i ではファイルの移動、コピー、削除などのファイル操作だけ行うことができます。

✔ RAW 画像の表示について

以下の RAW 画像(NEF、NRW)は、RAW 画像内のプレビュー(簡易表示)のみを表示しま

す。

- Nik Color Efex Pro シリーズ を使用して編集された RAW 画像
- ViewNX-i にインストールされていない「オプションピクチャーコントロール」を使用して撮影・編集された RAW 画像

また、これらの RAW 画像には以下の制約があります。

- ファイル変換できません。
- 画像の編集ができません。
- 画像を印刷するとき、 [画質と速度のバランス:] で [画質優先] を選択しても、RAW 画像内のプレビュー(簡易表示)を使用して印刷します。

RAW ボタンについては「RAW画像を表示する」をご覧ください。

ホーム > 付録 > 調整ファイルについて

調整ファイルについて

画像調整またはメタデータを編集すると、元画像と同じ階層に「NKSC_PARAM」というフォルダーが作成され、そこに調整ファイルが保存されます。編集内容は調整ファイルに記録され、元画像のメタデー タを変更することはありません。フォルダーや調整ファイルを削除すると、編集内容は失われます。 画像ファイルと調整ファイルは、ファイル名でひも付けされています。OS上でどちらか一方のファイル 名を変更すると、調整内容が失われたり、他の画像に調整が適用されたりすることがあります。 調整ファイルは、Capture NX-D と共通で使用されます。画像調整またはメタデータの編集内容が ViewNX-i と Capture NX-D で互いに適用されます。

ViewNX-i で編集した画像は、編集した内容だけが調整ファイルに保存されます。画像ファイル自体に は変更を加えません。 ホーム > 付録 > 同時記録画像の取り扱いについて

同時記録画像の取り扱いについて

撮影したときに同時記録したRAW画像(NEF、NRW)とJPEG画像は、以下の操作を行うことで個別 ファイルの扱いとなります。

- ・ ツールバーで、同時記録された RAW 画像(NEF、NRW)とJPEG画像を個別のファイルとして表示する設定(ボタンが ■)にしているとき、RAW 画像または JPEG 画像のどちらか一方に以下の操作を行う
 - 削除する
 - ファイル名を変更する
 - 別のフォルダーなどに移動する
- ツールバーで、同時記録された RAW画像(NEF、NRW)とJPEG画像をひとつのファイルとして表示 する設定(ボタンが) にしているとき、RAW 画像がプロテクトOFFで、なおかつ JPEG 画像がプ ロテクトONの状態で以下の操作を行う
 - 削除する
 - ファイル名を変更する
- ViewNX-i 以外のアプリケーションで編集、加工、ファイル名の変更などをする

関連項目

- 同時記録画像の表示を切り替える
- ▶ 画像を回転する
- 画像に埋め込まれた情報を見る/編集する
- ▶ 位置情報を操作する

ホーム > 付録 > スマートフォトセレクター画像の取扱いについて

スマートフォトセレクター画像の取扱いについて

スマートフォトセレクター表示とは、シャッターを1回切る間にカメラが自動的に5カットを1セット とした連写を行う機能です。1セットの中からカメラが自動選択した代表画像が[ベストショット]で す。

ツールバーで、ボタンが 😼 のときはベストショット画像を代表画像として 5 カットの画像はグループ 化され、ひとつのグループ画像ファイルとして扱うことができます。

🚺 🔄 のときに ViewNX-i で代表画像の削除を行った場合

グループ画像のグループ化が解除され、すべてのファイルが個別ファイルの扱いになります。

💟 ViewNX-i 以外でファイル名の変更を行った場合

変更したファイルのみグループ化が解除され、個別ファイルの扱いになります。

関連項目

▶ グループ画像の表示を切り替える

ホーム > 付録 > ViewNX-i がサポートする色空間について

ViewNX-i がサポートする色空間について

▶ ViewNX-i がサポートする標準 RGB 色空間

ViewNX-i がサポートする標準 RGB 色空間

ガンマ 1.8 系

Apple RGB(Windowsの場合はNKApple.icm、Mac OSの場合はNikon Apple RGB 4.0.0)

Adobe Photoshop 4.0以前のバージョンで使用されていたRGB色空間です。各種DTPアプリケーションでも使用されている、Mac OS用モニターの平均的なRGB色空間です。Mac OS上で画像を表示して仕事をする場合に適しており、バージョン5.0以降のAdobe PhotoshopのRGB設定の「Apple RGB」に相当します。

ColorMatch RGB (Windows の場合はNKCMatch.icm、Mac OS の場合はNikon ColorMatch RGB 4.0.0)

Radius社のPressviewモニター用の色空間で、Apple RGBよりもやや色域が広く、特に青の色域が広いのが特徴です。バージョン5.0以降のAdobe PhotoshopのRGB設定の「Color Match RGB」に相当します。

ガンマ 2.2 系

sRGB(Windowsの場合はNKsRGB.icm、Mac OSの場合はNikon sRGB 4.0.0)

ほとんどのWindows用モニターの代表として定義された色空間です。一般的なカラーTVの色空間にも非常に似通っており、近年アメリカで標準となりつつあるデジタルTV放送用色空間でもあります。この色空間を初期設定色空間として使用するハードウェア、ソフトウェアが多く見受けられます。近年Webページ上に貼り付ける画像の標準色空間になりつつあり、スキャンした画像を編集またはプリントせず、そのまま電子画像として使用する目的に適しております。しかし色域が狭く、特に青の色域が狭いのが特徴です。Adobe Photoshop 5.0または5.5におけるRGB設定の「sRGB」、Adobe Photoshop 6.0における「sRGB IEC61966-2.1」に相当します。

Bruce RGB(Windowsの場合はNKBruce.icm、Mac OSの場合はNikon Bruce RGB 4.0.0)

Bruce Fraser氏が定義した色空間です。xy色度図上で「Adobe RGB」のGと「sRGB」のGの間にGの色度を定義し、sRGBの青色色域を広げてSWOP CMYKの色域を包含する色域を実現しています。Bruce RGBのRとBは「Adobe RGB」と一致しています。

NTSC(1953)(Windowsの場合はNKNTSC.icm、Mac OSの場合は NTSC(1953)4.0.0)

National Television Standard Committee(NTSC)で定義されたビデオ色空間で、従来のカラーテレビの標準RGB色空間です。バージョン5.0以降のAdobe PhotoshopのRGB設定の「NTSC(1953)」に相当します。

Adobe RGB(1998)(Windowsの場合はNKAdobe.icm、Mac OSの場合は Nikon Adobe RGB(1998)4.0.0)

Adobe Photoshop 5.0で定義された色空間です。sRGBよりもかなり色域が広く、ほとんどのプリン ターのCMYK色域を包含しているので、DTP関連の仕事に適しています。Adobe Photoshop 5.0のRGB 設定の「SMPTE-240M」、バージョン5.5以降の「Adobe RGB(1998)」に相当します。

CIE RGB(Windowsの場合はNKCIE.icm、Mac OSの場合はNikon CIE RGB 4.0.0)

Commission Internationale d'Eclairage (CIE) で定義された色空間です。色域はかなり広めですが、 シアン系の色域が狭いのが特徴です。バージョン5.0以降のAdobe PhotoshopのRGB設定の「CIE RGB」に相当します。

Adobe Wide RGB(Windowsの場合はNKWide.icm、Mac OSの場合はNikon AdobeWide RGB 4.0.0)

Adobe社が定義した可視カラーの大半を表現できる色空間です。しかしこの色空間で定義される色の大半は一般的なモニターやプリンターでは表現できない色となります。バージョン5.0以降のAdobe PhotoshopのRGB設定の「Adobe Wide RGB」に相当します。

以下に各色空間の色域(色再現領域)のxy色度図を示します。三角形が大きいほど広い色域を表します。

```
ViewNX-i がサポートする色空間について
```



ホーム > 付録 > ViewNX-i のアンインストール

ViewNX-i のアンインストール

- Windows
- Mac OS

Windows

お使いのOS・バージョンによって、表示される画面やメニュー名、操作手順が異なる場合があります。 詳しくはお使いのパソコンやOSのマニュアルをご覧ください。

- 1. Administrator (管理者) 権限を持つアカウントで、OS にログオンする
- 2. [スタート] ボタンを右クリックして [アプリと機能] を選び、 [ViewNX-i] を選んで [アンイ ンストール] をクリックする

3. [アンインストール] をクリックする

アンインストールが開始されます。アンインストールの開始前に[ユーザーアカウント制御]画 面が表示されます。[はい]をクリックしてください。 ViewNX-i とほかのプログラムで共有し ている共有ファイルや読み取り専用ファイルがある場合、確認の画面が表示されます。画面の表 示を確認しながらファイルを削除、または残してください。

V 再起動

パソコンを再起動する画面が表示されたら、画面の指示に従ってパソコンを再起動してください。

Mac OS

1. Administrator(管理者)権限を持つアカウントで、OS にログインする

2. [アプリケーション] - [Nikon Software] - [ViewNX-i] の順にフォルダーを開き、 [ViewNX-i Uninstaller] をダブルクリックする

認証画面が表示されます。

3. 管理者の [名前] と [パスワード] を入力し、 [OK] をクリックする

確認の画面が表示されます。 [はい] をクリックすると、アンインストールが開始されます。画面の指示に従って ViewNX-i をアンインストールしてください。





ホーム > 付録 > Nikon Transfer 2 のアンインストール

Nikon Transfer 2 のアンインストール

- Windows
- Mac OS

Windows

お使いのOS・バージョンによって、表示される画面やメニュー名、操作手順が異なる場合があります。 詳しくはお使いのパソコンやOSのマニュアルをご覧ください。

- 1. Administrator (管理者) 権限を持つアカウントで、OS にログオンする
- 2. [スタート] ボタンを右クリックして [アプリと機能] を選び、 [Nikon Transfer 2] を選んで [アンインストール] をクリックする

3. [アンインストール] をクリックする

アンインストールが開始されます。アンインストールの開始前に [ユーザーアカウント制御] 画 面が表示されます。 [はい] をクリックしてください。 Nikon Transfer 2 とほかのプログラムで 共有している共有ファイルや読み取り専用ファイルがある場合、確認の画面が表示されます。画 面の表示を確認しながらファイルを削除、または残してください。

🔽 再起動

パソコンを再起動する画面が表示されたら、画面の指示に従ってパソコンを再起動してください。

Mac OS

1. Administrator (管理者) 権限を持つアカウントで、OS にログインする

Nikon Transfer 2 のアンインストール

2. [アプリケーション] - [Nikon Software] - [Nikon Transfer 2] の順にフォルダーを開き、 [Nikon Transfer 2 Uninstaller] をダブルクリックする

認証画面が表示されます。

3. 管理者の [名前] と [パスワード] を入力し、 [OK] をクリックする

確認の画面が表示されます。 [はい] をクリックすると、アンインストールが開始されます。画面の指示に従って Nikon Transfer 2 をアンインストールしてください。



▼ 再起動 パソコンを再起動する画面が表示されたら、画面の指示に従ってパソコンを再起動してください。 ホーム > 付録 > ファイル名の作成ルール

ファイル名の作成ルール

[ファイル名の作成ルール] 画面の設定項目について説明します。

[ファイル名の作成ルール] 画面は以下の方法で表示されます。操作方法はいずれも共通です。

- Nikon Transfer 2 の [転送先] タブにある [転送中に名前を変更する] の下にある [編集...] をク リックする
 - 📖 転送時にファイル名を変更する
- ViewNX-i 画面で、複数のファイルのファイル名を変更する
 ファイルやフォルダーの名前を変更する
- [ファイル変換]機能で複数のファイルをファイル変換するときに、出力するファイルのファイル名
 を変更する

📖 ファイル変換して出力する



入力できる文字について

- 入力できる文字数は110文字までです。
- ファイル名に以下の半角文字は使用できません。
 Windows: 「/」、「¥」、「:」(コロン)、「?」、「<」、「>」、「|」(縦棒)、「*」 (アスタリスク)、「"」(ダブルコーテーション)、バックスラッシュ
 Mac OS: 「/」、「:」(コロン)、最初の文字が「.」(ピリオド)

日付と時間の表示方法について

日付の表記について 「yyyy」は西暦4桁、「yy」は西暦2桁、「mm」は月、「dd」は日にちを表します。 例: 2007年8月31日 yyyymmdd: 20070831 mm_dd_yy: 08_31_07
時間の表記について 「hhmmss」は時・分・秒、「hhmm」は時・分を表します。
例: 午後11時5分40秒 hhmms: 230540 hhmm: 2305
hh_mm_ss: 23_05_40 hh-mm: 23-05

サンプル

設定したルールのサンプルを表示します。 サンプルは下記の各項目と連動して表示されます。

プレフィックス

プレフィックス(先頭に付ける文字)を選択します。

元の名前

変更前のオリジナルの名前を使用します。

なし

[プレフィックス]を使用しません。

新規作成

新しい名前を入力し、使用します。 下に表示されるテキストボックスに変更する名前を入力します。

元の名前+新規作成

変更前のオリジナルの名前の後に、新しい名前をつなげて使用します。区切り文字は入りません。

新規作成+元の名前

新しい名前の後に、変更前のオリジナルの名前をつなげて使用します。区切り文字は入りません。

区切り文字1

プレフィックスとミドルネームの区切り文字を選択します。

アンダーバー

アンダーバー「_」を挿入します。

ハイフン

ハイフン「-」を挿入します。

スペース

空白スペース「」を挿入します。

なし

区切り文字を挿入しません。

ミドルネーム

プレフィックスとサフィックスの間のミドルネームを選択します。

連番

連番を挿入します。

下段に表示される各項目を設定できます。

[開始番号:]

連番の開始番号をテキストボックスに入力します。

開始番号は前回設定した内容が記憶されます。次に設定を行うときは、前回の変更で行った最後の番号の次の番号が表示されます。この番号を変更する度にリセットするには[開始番号を1 にする]をチェックします。

[桁数]

スライダーをドラッグして開始番号の桁数を設定します。桁数は1桁から8桁まで設定できま す。

スライダーは [開始番号:] と連動しています。

[開始番号を1にする]

チェックを入れると、名前を変更するたびに開始番号を「1」にリセットします。

撮影日

撮影日と連番を挿入します。 下段に表示される各項目を設定できます。

撮影日

○新規作成			○新	規作成
○元の名前+新規作成			○元	の名前+新規作成
○新規作成+元の名前		○新規作成+元の名前		
アンダーバー	•	撮影日	•	なし
				末尾番号: 001
yyyymmdd 🔹	+	アンダーバー	+	桁数

[yyyymmdd] (日付の表示方法)

日付の表示方法を選択します。

[アンダーバー] [ハイフン] [スペース] [なし]

日付の後の区切り文字を選択します。

[末尾番号:]

ファイル名の末尾に連番として付ける番号をテキストボックスに入力します。 末尾番号:は前回設定した内容が記憶されます。次に設定を行うときは、前回の変更で行った 最後の番号の次の番号が表示されます。

[桁数]

スライダーをドラッグして末尾番号の桁数を設定します。桁数は1桁から8桁まで設定できま す。

スライダーは [開始番号:] と連動しています。

撮影日時

撮影日時と連番を挿入します。

下段に表示される各項目を設定できます。

撮影日時

○斬規作成	○ 新規作成
○元の名前+新規作成	○ 元の名前+新規作成
○新規作成+元の名前	○ 新規作成+元の名前
アンダーバー	撮影日時
voormedd 🖛 🔸	T ¹ -M-17 blooms*
yyyyminda -	122 11
	*末尾番号は同一名が存在する場合に自動で付加されま

[yyyymmdd] (日付の表示方法)

日付の表示方法を選択します。

[アンダーバー] [ハイフン] [スペース] [なし]

日付の後の区切り文字を選択します。

[hhmmss] (時間の表示方法)

時間の表示方法を選択します。

同一のファイル名が存在する場合や、名前を変更するときに秒数まで同一の撮影日時の画像が 存在する場合は、末尾に「_01」、「_02…」の番号が自動的に振られます。

なし

プレフィックスまたはサフィックスのどちらかで [元の名前] を選択している場合、およびプレ フィックスまたはサフィックスのどちらかで [新規作成] を選択し、そのテキストボックスに文字 が入力されている場合にこの項目を選択できます。

✔ ご注意

撮影日時情報がないファイルでミドルネームの[撮影日]、[撮影日時]を選択したときは、 ファイルの作成日または作成日時が設定されます。

区切り文字2

ミドルネームとサフィックスの区切り文字を選択します。

アンダーバー

アンダーバー「_」を挿入します。

ハイフン

ハイフン「-」を挿入します。

スペース

空白スペース「」を挿入します。

なし

区切り文字を挿入しません。

サフィックス

サフィックス(末尾に付ける文字)を選択します。

元の名前

変更前のオリジナルの名前を使用します。

なし

[サフィックス] を使用しません。

新規作成

新しい名前を入力し、使用します。

下に表示されるテキストボックスに変更する名前を入力します。

元の名前+新規作成

変更前のオリジナルの名前の後に、新しい名前をつなげて使用します。区切り文字は入りません。

新規作成+元の名前

新しい名前の後に、変更前のオリジナルの名前をつなげて使用します。区切り文字は入りません。

ホーム > 付録 > フォルダー名の作成ルール

フォルダー名の作成ルール

[フォルダー名の作成ルール] 画面の設定項目について説明します。

[フォルダー名の作成ルール] 画面は以下の方法で表示されます。操作方法はいずれも共通です。

- Nikon Transfer 2 の [転送先] タブにある [転送のたびに転送先フォルダーに新規サブフォルダーを 作成する] の下にある [編集…] をクリックする
 - □□ 転送先フォルダーを選択する
- [ファイル変換]機能で、[ファイル変換のたびに新規サブフォルダーを作成する]の[名前の設定…]をクリックする

💴 ファイル変換して出力する



入力できる文字について

- 入力できる文字数は110文字までです。
- ファイル名に以下の半角文字は使用できません。
 Windows: 「/」、「¥」、「:」(コロン)、「?」、「<」、「>」、「|」(縦棒)、「*」 (アスタリスク)、「"」(ダブルコーテーション)、バックスラッシュ
 Mac OS: 「/」、「:」(コロン)、最初の文字が「.」(ピリオド)

日付と時間の表示方法について

日付の表記について
 「yyyy」は西暦4桁、「yy」は西暦2桁、「mm」は月、「dd」は日にちを表します。
 例: 2007年8月31日

yyyymmdd: 20070831 mm_dd_yy: 08_31_07 • 時間の表記について 「hhmmss」は時・分・秒、「hhmm」は時・分を表します。 例: 午後11時5分40秒 hhmmss: 230540 hhmm: 2305 hh_mm_ss: 23_05_40 hh-mm: 23-05

サンプル

設定したルールのサンプルを表示します。 サンプルは下記の各項目と連動して表示されます。

プレフィックス

プレフィックス(先頭に付ける文字)を選択します。

なし

[プレフィックス]を使用しません。

新規作成

新しい名前を入力し、使用します。 下に表示されるテキストボックスに変更する名前を入力します。

区切り文字1

プレフィックスとミドルネームの区切り文字を選択します。

アンダーバー

アンダーバー「_」を挿入します。

ハイフン

ハイフン「-」を挿入します。

スペース

空白スペース「」を挿入します。

なし

区切り文字を挿入しません。

ミドルネーム

プレフィックスとサフィックスの間のミドルネームを選択します。

連番

連番を挿入します。

下段に表示される各項目を設定できます。

[開始番号:]

連番の開始番号をテキストボックスに入力します。

開始番号は前回設定した内容が記憶されます。次に設定を行うときは、前回の変更で行った最後の番号の次の番号が表示されます。

[桁数]

スライダーをドラッグして開始番号の桁数を設定します。桁数は1桁から8桁まで設定できま す。

スライダーは [開始番号:] と連動しています。

転送日

Nikon Transfer 2 でファイルを転送するときは、 [転送日] も選択できます。 [転送日] を選択したときに設定できる項目は、 [撮影日] と同じです。

転送日時

Nikon Transfer 2 でファイルを転送するときは [転送日時] を、ViewNX-i 画面のファイル変換機 能を使うときは [撮影日時] を選択できます。 下段に表示される各項目を設定できます。

[yyyymmdd] (日付の表示方法)

日付の表示方法を選択します。

[アンダーバー] [ハイフン] [スペース] [なし]

日付の後の区切り文字を選択します。

[hhmmss] (時間の表示方法) 時間の表示方法を選択します。

撮影日

撮影日と連番を挿入します。 下段に表示される各項目を設定できます。

[yyyymmdd] (日付の表示方法)

日付の表示方法を選択します。

[アンダーバー] [ハイフン] [スペース] [なし]

日付の後の区切り文字を選択します。

[末尾番号:]

フォルダー名の末尾に連番として付ける番号をテキストボックスに入力します。

末尾番号:は前回設定した内容が記憶されます。次に設定を行うときは、前回の変更で行った 最後の番号の次の番号が表示されます。

[桁数]

スライダーをドラッグして末尾番号の桁数を設定します。桁数は1桁から8桁まで設定できま す。

スライダーは [開始番号 :] と連動しています。

[末尾番号をつけない]

チェックを入れると、フォルダー名に [末尾番号:] を付けません。同名のサブフォルダーが すでに存在するときは、作成するサブフォルダー名の末尾に「_01」「_02…」の通し番号が自 動的に付加されます。

▶ ファイル変換機能でサブフォルダーを作成するとき

ミドルネームの[撮影日]、[撮影日時]を選択したときは、画像表示エリアで先頭に選択され ている画像の撮影日(撮影日時)が使用されます。撮影日時情報がない画像のときは、ファイル の作成日または作成日時が設定されます。

区切り文字2

ミドルネームとサフィックスの区切り文字を選択します。

アンダーバー

アンダーバー「_」を挿入します。

ハイフン

ハイフン「-」を挿入します。

スペース

空白スペース「」を挿入します。

なし

区切り文字を挿入しません。

サフィックス

サフィックス(末尾に付ける文字)を選択します。

なし

[サフィックス] を使用しません。

新規作成

新しい名前を入力し、使用します。 下に表示されるテキストボックスに変更する名前を入力します。

関連項目

▶ 転送時にファイル名を変更する

ファイル変換して出力する

ホーム > 付録 > XMP/IPTC プリセットの管理について

XMP/IPTC プリセットの管理について

XMP/IPTC プリセットの管理について説明します。

XMP/IPTC プリセットの管理画面は以下の方法で表示できます。操作方法はどちらも共通です。

Nikon Transfer 2 の [環境設定] タブにある [XMP/IPTCプリセット:]の [編集...] をクリックする

□□ 転送時にメタデータを調整ファイルとして保存する

ViewNX-i 画面のオプション(環境設定)で[XMP/IPTCプリセット]を選択する
 XMP/IPTC プリセットを利用する

XMP/IPTC プリセットを登録する

1. [新規] をクリックする



XMP/IPTC プリセット一覧に新しい XMP/IPTC プリセットが追加され、名前が変更できる状態になります。名前を入力し Enter キーを押すと、XMP/IPTC プリセットの名前が確定します。

2. 入力フィールドの各項目を入力、編集する

一款 ラムネイル				べてチェック
ビューアー お気に入りフォルダー ファイルの第の扱い ダイアログ音楽 カラーマネージズント ファイル名歌(アラリケーション MAR (アラリケーション	著作権のみ エキシピンルンゲーム 結婚式	● 95 うべル レーティング キーワード	圓▼ 俳仏 荀☆☆☆☆☆	
うべん 貿易色		• 10 ⁴		
地区 Los Makines		1640		
RAW 現象		1/01		
用わサービス		多イトル		
		著作權情報	(C)2014 (著作権所有者名), all righ	2
	\$5.9g	- Autor		
	18.04	0.046	2010/01/01/01	
	NEX	0004 /08	NewFORLtuby	
	空白の原目にチェックマークき	0.54 071		
	付けると、フリセット通用まさ の項目のデータは消去されま	自成者清明村名		
	4.	作成者 酸液府养老		
		(1)成者(図)名		

各項目の入力について詳しくは「**主な項目の編集方法**」をご覧ください。項目のうち [キーワード]を複数設定するときは、セミコロンで区切って入力します。

- 入力フィールドの各項目の右端にはチェックボックスがあります。XMP/IPTC プリセットを 読み込むときは、チェックを入れた項目だけが読み込まれます。
- 入力フィールドが空白の項目にチェックを入れると、「消去」の指定となります。読み込みの操作を行ったとき、画像にすでに保存されている XMP/IPTC 情報からその項目の内容は消去されます。

3. [OK] をクリックする

XMP/IPTC プリセットが登録されます。

チェックの ON/OFF をまとめて切り替える

各カテゴリーのタイトル左にあるチェックボックスで、各カテゴリーごとにまとめてチェックの ON/OFF を切り替えることができます。 [すべてチェック] のチェックボックスで、すべての項目 のチェックの ON/OFF を一度に切り替えることができます。

プション		×
□ タヴ		^
	ラベル 🚺 🔹 (なし)	
	レーティング 首☆☆☆☆☆	
	キーワード	
■説明		
	i说 ⁸ 月	
	イベント	

その他の XMP/IPTC プリセットの管理について

- プリセット名を変更する
 名前を変更するプリセットを一覧から選択し、もう一度そのプリセットをクリックします。名前
 が変更できる状態になります。
- プリセットを複製する
 任意のプリセット名を一覧から選択して [複製] をクリックすると、そのプリセットのコピーが、連番をつけた名前で作成されます。入力されている項目のうち一部のみを変更して、新しいプリセットを作成したいときに便利です。
- プリセットを削除する
 削除するプリセットを一覧から選択して [削除] をクリックします。

▼ ViewNX-i 画面から XMP/IPTC プリセットを読み込んだとき

ViewNX-i 画面では、 [編集] メニューから [XMP/IPTCプリセットの読み込み] を選択して、 画像に XMP/IPTC 情報を読み込みます。画像にすでに埋め込まれている XMP/IPTC 情報がある ときはそれらのうち、XMP/IPTC プリセットから読み込んだ項目は上書きされます。
ホーム > 付録 > FTP画像送信モードで画像を送信した際の送信記録について

FTP画像送信モードで画像を送信した際の送信記録について

D5等の一部カメラでサポートされている[FTP画像送信モード]で、[送信記録の保存]を[する]に 設定すると、画像ファイルに送信日時を記録できます。 画像ファイルに記録された送信日時は、[画像調整/メタデータ]パレットの[ファイル/撮影情報]で

確認できます。